

へうしつ(形) 剽疾すばやきてばやき
 へうしう(する) 剽襲ぬすむ(他人の著書等を)
 べうじや(名) 廟社、やしろ(神の)
 べうじや(する) 他) 描寫、なきうつす、かきあらはす
 へうじやう(する) 他) 表彰、ほめあらはす(善行等を)
 へうじき(名) 表式、かたぎしき、儀禮
 へうじき(名) 標識、しるし、みればえめじるし
 へうじぎ(名) 拍子木、柝、蝦蟇、更、擣撃て事を報する木
 へうじゆつ(名) 表率、てほん、また標準
 べうじゆく(名) 廟祝、みやもり、はふり、神主
 へうじゆん(名) 標準、ぢやうぎ、めじるし
 へうえい(する) 漂泳、たたいひ、れよく
 べうえい(名) 苗裔、しそん、すゑ、末裔
 へうえう(副形) 飄飄、ひるがへる(風に)
 へうえう(する) 自) 飄搖、ふるひまはる。ひるがへる
 へうひ(名) 表皮、うはかは
 べうひ(形) 渺微、すこし、わづか
 べうひ(形副) 渺微、ひろくゆきわたれる(大水の充わたる貌)
 へうもつ(名) 俵物、たわらもの
 へうもく(名) 表目、めじるし、目錄
 べうもく 眇目、かため、一眼
 へうもん(名) 表文、みかどにたてまつるふみ
 へうもん 表門、たもてもん
 へうせい(する) 他) 表旌、あらはす
 べうせい(せき) 名) 猫睛石、猫眼石に同じ
 へうせつ 氷雪、こほりゆき



(圖の矢摺)

へうせつ(する) 他) 剽竊ぬすむ(他人の著書の言等を)
 へうせう(名) 蝶蛸、あしたかぐも(動物)
 べうせう(形) 眇少、ちひさき、わづか
 へうせき(名) 標石、たていし、しるしのいし
 へうせき(名) 飄石、つんばい、礫、濔、ふりつんばい、いしなげ
 へうせん(副形) 飄然、ひらひら、ひるがへる
 べうせん(副) 渺然、海上の景色の遠く遙かなる貌
 へうすりば(名) 豹摺矢
 へ(の) 名) 男根、男陰、外腎、玉莖、陰莖、尿管
 へ(他) 擗、批、へがす、(圖の) 矢摺、豹摺矢
 はがす、ぞぐ、掬、剝
 へ(り) 平郡(氏) また地名
 へ(そ) かつら(名) 百部根、天門冬、ほどつら、きじかくし(植物)
 へ(や) 名) 部屋、部家、まさしき、又女の室、局、つぼね、長局(ながつぼね)
 へ(や) ずみ(形名) 部屋住、房住(父母の手の下に在る)。また曹司(未だ出て仕へざる人)
 へ(ご) 名) 抄糞、莎羅樹の如き樹(植物)
 へ(こ) はり 背評(氏)
 へ(こ) ね(自) 平胡帶、布絹等の一幅にて縫はぬ帶
 へ(こ) せ(自) 陷窪、くぼむ、凹下(れされて)
 へ(こ) きむし(名) 行夜、へひりむし、扇盤蟲、氣蟻、負蟻(動物)
 へ(こ) み(名) 耗入、へり、めり減

へ(わ) がる(自) 經上、なりあがる
 へ(さ) き(名) 艦、舩、船、船首、みよし
 へ(き) 名) 壁、壁宿、二十八宿の一にして西方にあり
 へ(き) 日置(氏)
 へ(き) 名) 癖、くせ
 へ(き) 形) 癖、かたよれる、かたゐなかの。ひがめる、かたすんだる
 へ(ぎ) 名) 櫃、片木、歴木、そぎ(木等の)
 へ(き) べく、べし(助語) 可、宜、應、當、合(須要適當の義、又將來の意を示す)
 へ(き) いう(名) 碧友、酒を謂ふ
 へ(ぎ) いた(名) 薄板、へきたるいた、うすいた
 へ(き) いふ(名) 僻邑、ゐなかわら
 へ(き) ち(名) 碧蘆、うどのよし(植物)
 へ(き) ち(形) 僻陋、いやしき、ひなびたる
 へ(き) ち(名) 僻論、ひがごと、偏屈の談
 へ(き) ほう(名) 僻邦、ゐなかくに、僻陬之邦國
 へ(き) ち(名) 僻地、かたゐなか
 へ(き) ち(名) 壁厨、わしいれ、とだな(戸棚)
 へ(き) ち(名) 碧瑠璃、あをるりたま
 へ(き) かり(名) 碧海、あたらみ、青海
 へ(き) かい 僻街、うらまち、うらとほり(市街の)
 へ(き) かう(名) 碧香酒を謂ふ
 へ(き) かう(名) 癖好、くせ、このみ
 へ(き) かう(名) 僻郷、かたゐなか
 へ(き) たい(名) 碧苔、青苔、あををけ

(圖の壁)

へ(き) たら(名) 碧桃、白桃、しらもも(植物)
 へ(き) たら(名) 碧潭、ふかきふち、あをぶち
 へ(き) ら(名) 辟蕪、やませり(植物)
 へ(き) れ(名) 霹靂、はたたかみ、かんだち、かむとぎ、かみとけ
 へ(き) せん 僻村、かたゐなか
 へ(き) ら(名) 辟蘿、つたかつら、まささかつら(植物)
 へ(き) ら(名) 碧落、あまつそら、青空、あをぞら
 へ(き) む(名) 碧夢、茶の異名
 へ(き) くら 碧空、あをぞら
 へ(き) くら(名) 僻隅、すみ、かたすみ
 へ(き) やう(こう) 名) 辟陽公、密夫、まをどこ、いろをどこ、かくしづま
 へ(き) けん(名) 壁藓、ひらくも(動物)
 へ(き) こ(名) 壁虎、やもり(家屋の内に栖み壁天井等にどまる蟲(動物))
 へ(き) こ(名) 壁骨、こまへ(壁の)
 へ(き) こ(名) 僻巷、うらまち
 へ(き) こ(名) 壁虎、くもがひ(動物)
 へ(き) こ(名) 開墾、ひらきはる(土地を)
 へ(き) て(名) 鵬、いよめ、には、かいつぶり(動物)
 へ(き) て(名) 壁泥、かべつち
 へ(き) て(名) 碧天、あをぞら
 へ(き) でん(名) 霹靂、いなびかり
 へ(き) む(名) 僻案、ひがかんがへ、謬見
 へ(き) ざい(する) 自) 僻在、かたゐなかにをる
 へ(き) きよ(名) 僻居、ゐなかつまひ、僻住

へんどう(名) 饗豆祭品を載る器也、方形を饗と云ひ圓形を豆と云ふ

へんどう(名) 遍道、わうらいみち、往還道

へんどう(名) 變動、かはりうごき、うごきかはる

へんどうせん(名) 扁豆腺(咽喉の内の肉塊)

へんどう(形) 偏特ひとへ、かたより

へんどう(名) 篇牘、てがみ、尺牘、書翰

へんどう(名) 便毒瘡よこね(病名)

へんち(名) 便地、便利之地、かつてよきばしよ

へんち(形) 鞭苔、むちうつ

へんちよう(形) 偏重、片重、かたれも、かたかたれもき

へんちつ(形) 貶黜、しりぞけれどす(官位を)

へんちつ(名) 篇帙、ぢぢまき、書冊、ふみまき

へんちく(名) 篇蓄、にはやなぎ(植物)

へんり(形) 便利、つがふよき、てがる

へんり(名) 辨理、とりあつかふ事務を

へんり(形) 勉力、つとめはげむ

へんり(名) 冕旒、かんむり(王者等の)

へんり(名) 見旒、かんむり(王者等の)

へんり(名) 辨理公使(外國公使但し全權よ非ず)

へんり(名) 芸香、うのみきやう(植物)

へんり(名) 偏屋、さしかけや、かたびさし

へんり(名) 返歌、かへしうた

へんり(名) 遍界、世界中、遍地

へんり(名) 變改、かへあらたむる

へんかい(名) 返禮、かへすれいごと

へんかい(名) 勉勵、つとめはげむ

へんれき(名) 遍歴、へめぐりわたる

へんれき(名) 變則、正則に非ざる捷徑をいふ

へんれき(名) 菘豆、へんどう、あぢまめ、ひらまめ(植物)

へんれき(名) 偏傍漢字の左右を謂ふ

へんれき(名) 偏突、漢字の傍を見せて偏を營する戯

へんれき(名) 便伎、口あつて人に取りいと謂ふ

へんれき(名) 偏念、かたよりれもひ

へんれき(名) 片腦、薬品

へんれき(名) 返納、かへしをさむる

へんれき(名) 駢羅、並列ならぶならぶる

へんれき(名) 扁鵲、しじみ(動物)

へんれき(名) 便頼、たよりよる、よりのたむ

へんれき(名) 變亂、さわぎみだれ

へんれき(名) 篋篋、よつてかこ

へんれき(名) 片雲、むらくも

へんれき(名) 變化、かはり、かはる、かはらす

へんれき(名) 片回、かたかへり(鷹の二歳なる者)(動物)

へんれき(名) 變換、かはる、かふる

へんれき(名) 邊關、くにさかひのせき(國境の關門)

へんれき(名) 拊歡、てうちよろこぶ

へんれき(名) 辨官、古の次官を謂ふ

へんれき(名) 偏屈、かたぐるしき、ひがみたる、拘泥、拘執

へんれき(名) 片隅、邊隅、かたすみ

へんれき(名) 編譯、あみうつす(他國の書物等を我

へんがく(名) 扁額、額面を謂ふ、かけがく

へんがく(名) 冕、いけま(植物)

へんがく(名) 勉學、勤學、つとめまなぶ

へんがく(名) 返簡、返翰、へんじてがみ

へんがく(名) 篇簡、書冊をいふ

へんがく(名) 篋、かこ、あんだ、あじろごし

へんがく(名) 邊帶、ささべり、へり

へんがく(名) 篇題、題號、題名

へんがく(名) 冕帶、冠の紐、かむりひも

へんがく(名) 鞭撻、むちうつ、たたく

へんがく(名) 匾條、ひらうちひも

へんがく(名) 便當、行厨(行先に食ふ飯)

へんがく(名) 便當箱、便當を運ぶ箱、めしいればこ

へんがく(名) 扁桃油、扁桃より取る油

へんがく(名) 貶謫、れとしうつす(官人を官位より

へんがく(名) 貶して他の地方に移す)

へんがく(名) 泛宅、舟を云ふ

へんがく(名) 返答、こたへ、こたふる

へんがく(名) 偏袒、かたはだぬく(天竺人の如く)

へんがく(名) 變約、やくそくをかへる

へんがく(名) 拊躍、てうちをどる

へんがく(名) 辨膜、うそかは

へんがく(名) 偏滿、あまねくみつる

へんがく(名) 變化、妖精、妖怪、ばけもの

へんがく(名) 邊警、くにさかひのそなへ、邊境警備

へんがく(名) 偏輕、かたがる

へんがく(名) 景天草、いさくさ(植物)

へんがく(名) 辨慶、綉其盤目形の模様

へんがく(名) 便血、大小便に血の交れるを云ふ

へんがく(名) 褊狹、せまき、ちひさき

へんがく(名) 駢脅、いちまいわばら(晋文公の如く肋骨の

へんがく(名) 只一枚なるを謂ふ)

へんがく(名) 偏見、ひがみ、かたよりかんがへ

へんがく(名) 片言、かたこと、ことなかば

へんがく(名) 拊舞、てうちまなぶ、おほいによろこぶ

へんがく(名) 偏物、かたくなもの、へんじん

へんがく(名) 蝙蝠、伏翼、かはほり、かうもり(動物)

へんがく(名) 編戶、あみど

へんがく(名) 偏固、かたいが偏屈

へんがく(名) 變故、かはりごと、事變

へんがく(名) 辯護、かばひいひとく(代言人が四

徒の爲に、いひたすく)

へんがく(名) 邊寇、國境に攻入る敵

へんがく(名) 邊寇、國境に攻入る敵

へんがく(名) 邊寇、國境に攻入る敵

へんがく(名) 邊寇、國境に攻入る敵

へんがく(名) 邊寇、國境に攻入る敵

へんがく(名) 邊寇、國境に攻入る敵

へんがく(名) 邊寇、國境に攻入る敵

へんがく(名) 邊寇、國境に攻入る敵

へんがく(名) 邊寇、國境に攻入る敵

へんがく(名) 邊寇、國境に攻入る敵

へんこう[する]自 偏行、めぐりあはるく
 べんこう(名) 辯口、くちかしこさ、くちまめ
 へんてい(形) 偏聴、かたきき
 へんてい(形) 偏低、かたさがり
 へんてつ(名) 褊褊、直綴、ちつとく、ころものな
 へんてふ(名) 返牒、返札、返書、かへりてがみ
 べんてん(名) 便殿、くつろぎの、やすみどの
 へんさい(俗)名。一する(他) 返済、かへす(借金を)
 へんさい[する]目 片碎、こみぢんにくだる
 べんさい(名) 辯才、くちがしこさ、口才
 べんさい[する]二俗(他) 辨濟、わかまへすます(借財等を)
 べんざいてんによ 辨才天女(七福神の一なる女神)
 へんざつ(名) 返札、返牒、返書、へんじてがみ
 へんざう[する]他 變造、かへつくる
 べんざう(名) 冕藻冠の模様を云ふ
 べんざく(名) 鞭策、むち
 へんざん[する]他 編纂、あみあつむる
 へんざん(名) 偏袒、ひとへぎぬ(僧尼の上服)
 へんざん[する]他 眩暈、眩暈、たどしうつす
 へんぎ(名) 偏氣、かたいぢ
 へんぎ(名) 騙欺、かたり
 べんぎ(名) 鉛泥(板壁等に塗る物)
 べんぎ[する] 抔喜、てをうちてよろこぶ
 べんぎ(名) 便器、ねかは、ねまる
 へんぎ(形) 便宜、たよりよき、つがふ
 へんぎ(名) 扁魚、かれい(動物)
 へんぎ(名) 扁魚、をしきう(動物)

べんぎ(名) 便魚、やがらうを(動物)
 べんぎ(名) 鰐魚、あら(動物)
 へんぎ(名) 騙局、かたり、たぶらかし
 へんぎ(名) 騙牛(動物)
 へんぎ(名) 邊境、くにさかひ
 へんぎ(名) 偏境、かたむな
 へんぎ(名) 偏狂、かたこり、偏癖
 べんぎ(名) 一する(自他) 勉強、しひてつとむる
 へんぎ(名) 一する(他) 返却、かへす、もどす
 へんぎ(名) 褊急、せわしない、せかつく
 へんぎ(名) 變名、かへな、偽名
 へんぎ(名) 返命、かへりごと、復命
 べんぎ(名) 辨明書、いひひらきがき、とさわかじふ

べんじ(名) 辯子、くみがみ支那人の頭髮の如き
 べんじ(名) 辨子、みほん
 べんじ(名) 辨事、事を取扱ふ事又人
 べんじ(名) 辯辭、辯口、くちまめ
 へんじ(名) 變死人、かわりじにせるひと、横死人
 へんじ(名) 返書、返翰、かへしふみ
 へんじ(名) 偏諸、ころものへり、へり
 べんじ(名) 便所、くつろぎどころ、又かはや、雪隠
 へんじ(名) 變色、いろをかへる、いろがかはる
 へんじ(名) 扁蟲、だに(動物)
 べんじ(名) 便室、かはや、便所、又くつろぎどころ
 へんじ(名) 扁舟、こぶね
 へんじ(名) 一する(他) 返酬、かへしむくゆ
 へんじ(名) 編者、あむもの(書を)
 べんじ(名) 辯者、くちまめもの(辯舌善き人)
 へんじ(名) 返章、返簡、かへりてがみ、かへりふみ
 へんじ(名) 篇章、文章の段落を謂ふ
 へんじ(名) 返償、かへしつくのふ
 へんじ(名) 編輯、まながつ(動物)
 へんじ(名) 返上、奉還、かへしたてまつる
 へんじ(名) 返状、返章、かへしてがみ
 べんじ(名) 辨償、わかまへつくのふ
 へんじ(名) 一する(他) 編輯、あつめあむ書籍を、編集
 へんじ(名) 偏執、かたこり、かたくな
 へんじ(名) 騙取、かたりとる
 べんじ(名) 抔手、てをうちつ(喜ぶ時)

へんじん(名) 變心、ころがはり、異心
 へんじん(名) 偏心、せまきところ、かたよるところ
 へんじん 偏身、かたみ、半身
 へんじん 遍身、一身、總身、からだぢう
 へんじん(名) 變人、偏人、かはりもの
 へんじん(名) 編人(編者に同じ)
 べんじん[する]自 抔悦(手を拍て悦ぶ)
 へんじん(名) 邊要、敵國に近き肝要の地境を云ふ
 へんじん(名) 變易、かはる、かふる
 べんじん(副) 勉馬(つとめはげむ貌) 勉勉
 へんじん[する]自 駢比、ならぶ
 へんじん(名) 邊鄙、ひな、かたのな
 べんじん(名) 便秘(大便秘結して通せぬを謂ふ)
 べんじん(名) 便裝(初學に便するを謂ふ) はやわかり
 へんじん(名) 偏目、かため
 へんじん(名) 篇目、目錄、みだしじるし
 べんじん(名) 便門、うらもん、かつてぐち
 へんじん[する]他 編成、あみなす、あみつくる
 べんじん[する]他 辯折、いひやふる(敵手を)
 べんじん[する]他 辯説、とさわかす、とさわける
 べんじん(名) 辯舌、辯口、ものいひ、くちまめ
 へんじん(形) 褊少、せまき、ちひさき
 へんじん(名) 一する(他) 變遷、うつりかはり、かはりゆ
 へんじん[する]自 騙驢、たちまはる、めぐる、あちこちゆ
 へんじん(名) 邊陲、邊陲、かたはとり、かたむな

と 登、砥柱、徒、度、是は「と」の父音と「れ」の母韻を合して生ずる音にして五十韻中なる第四行第五段に位す

と(名) 砥(刃物を磨ぐ石)と(し)

と(する) 吐、はく、はき、たす、嘔吐

と(後置詞又接續詞) 與、及、とも、に、に

と(或とう) (名) 斗、十升を謂ふ

と(名) 戸(障子雨戸の類を凡て)と(といふ)

と(名) 徒、どもがら、な、か、ま、く、み、黨、與

と(名) 土、つち

と(名) 筥(魚を捕る竹器)

と(名) 度(經緯度等の度、また適當の度或は分量)

と(名) 度、たび、同、次(一回二回の度数)

と(する) (他) 度(濟度する)と(すく) (佛經の語)

と(名) 弩、いしゆみ、たはゆみ(戰具)

と(或とゆ) (名) 承、需、あ、ま、だ、り、う、け、貸、か、け、ひ、ひ、樋

と(名) 土、居、せ、き、堰、とて

と(名) 土、居、土、井(氏)

と(いはら) 豊原、とよはら(氏)

と(いわう) (名) 土、硫、黄、ゆ、の、は、な

と(いた) (名) 戸、板、戸、の、板、いた

と(いつ) (名) 獨逸(歐羅巴洲の一強國また日耳曼)「セルマ」

と(いふ) (名) 都、邑、都、會、た、は、い、な、る、ま、ち、み、や、こ

と(ろく) (副) 鈍、に、ぶ、く

と(ろまみれ) (形) 泥塗漬漬、汗漬、被漬、泥をかぶれる

と(ろける) (自) 蕩、姪、心、が、色、等、に、迷、ひ、て

と(ろける) (自) 鎔、物、の、と、ける、を、い、ふ、鎔、解、鎔、融

と(ろこね) (名) 泥捏壁塗るため等に泥とねる事

と(ろめん) (名) 兜羅綿、天竺より出る柔かき織物の名

と(ろみち) (名) 泥路、ぬかるみち、泥濘

と(ろん) 徒論、ひだわらこひ

と(ば) (名) 鳥羽(氏また地名)

と(ば) (名) 驚馬、れ、そ、う、ま、の、ろ、う、ま

と(ば) (名) 奴輩、やつばら、やつら

と(ば) (或だうば) (名) 鴿、飛、奴、い、へ、ば、堂、鴿(動物)

と(ばり) (名) 帳幕、た、れ、ぬ、の、帳、あ、げ、は、り、帷、幃、幌、紳、帳、外

と(ばつ) (名) 土撥鼠、う、ぐ、ろ、も、ち、も、ぐ、ら、も、ち(動物)

と(ばう) (俗) (名) 途方、し、か、た、ゆ、き、が、た

と(ばう) (名) 賭房、ば、く、ち、や、と、ば

と(ばう) (に) (名) 暮途方、せ、ん、か、た、つ、き、て、ま、ど、ふ

と(ばう) (自) (名) 失途方、い、か、が、せ、ん、と、れ、も、ひ、ま、ど、ふ

と(ばう) (自) (名) 無途方、と、ん、で、も、な、い、不、都、合、極、ま、る

と(ばく) (名) 賭博、ば、く、ち、博、奕

と(ばふ) (名) 徒法、ひ、た、れ、き、て、(其、人、を、得、ず、る、死、法、律、を、い、ふ)

と(ばし) (名) 土橋、つ、ち、の、は、し

と(ばし) (自) (名) 濃、進、(流、動、物、等、が、は、し、り、と、ぶ、を、謂、ふ、は、ね

る、泥、水、等、が)

と(ばる) (名) 鳥羽畫詭馬書、し、や、れ、る、諷、刺、畫、あ、て、つ、け、の

と(いで) (名) 外出、ぐ、わ、い、し、ゆ、つ、他、出、他、行、そ、と、入、い、で、ゆ

く、こ、も

と(いき) (名) 大息、吐、息、た、め、い、き、た、は、い、き

と(いし) (名) 砥、礪、砥、石、礪、石、磨、刀、石、と(刃物とく石)

と(ろ) (名) 都、威、く、も、ま、ひ

と(ろ) (する) (他) 吐、露、い、ひ、わ、ら、は、す、は、く、意、見、等、を

と(ろ) (名) 泥、ひ、ぢ、り、こ、淤、泥、土、泥、土、壤、泥、漠、土、の、水、と、和、し

た、る、者

と(ろ) (俗) 洋銀、弗、銀、の、如、き、色、の、金、常、に、墨、色、の、銀、貨、と、も

然、か、い、ふ

と(ろ) (俗) (形) 鈍、に、ぶ、き、よ、わ、き、愚、鈍

と(ろ) (名) 薯蕷汁、山、薯、等、を、搗、り、た、る、食、物

と(ろ) (名) 黃蜀葵、と、ろ、ろ、わ、ふ、ひ、(植、物)

と(ろ) (し) (名) 泥、螺、(動、物)

と(ろ) (ばう) (俗) (名) 泥、棒、盜、ぬ、す、び、と

と(ろ) (ろ) (副) 緩、緩、慢、慢、地、火、の、靜、に、燃、る、貌、と、ろ、と、ろ

と(ろ) (ろ) (名) 轟、轟、般、般、地、雷、等、の、聲、と、ろ、と、ろ

と(ろ) (ぬ) (名) 泥、沼、と、ろ、ふ、か、き、ぬ、ま

と(ろ) (が) (名) 蟛、蛄、(動、物)

と(ろ) (が) (名) 泥、龜、(動、物)

と(ろ) (よ) (名) 泥、除、泥、を、防、ぐ、具、欄、頭、板、車、等、の、)

と(ろ) (う) (名) 土、籠、ぬ、り、こ、め

と(ろ) (う) (名) 土、蟻、け、ら、(動、物)

と(ろ) (う) (形) 驚、愕、れ、ろ、か、馬、鹿

と(ろ) (う) (う) (名) 土、臺、藤、ふ、う、と、う、か、づ、ら、つ、る、こ、せ、う、(植

物) どの、き、(名) 白、楊、は、と、け、き、か、ど、ろ、(植、物)

と(ば) (が) (たり) (名) 獨、語、ひ、ど、り、こ、と、ひ、ど、り、に、て、も、い、ふ

こ、と

と(ばん) (名) 吐、蕃、支、那、近、鄰、の、蠻、民、の、名

と(ばん) (名) 土、蕃、え、び、す、と、じん

と(に) (かく) (副) 左、右、兎、角、と、も、か、く、も

と(に) (う) (び) (やう) (名) 吐、乳、病、ち、ち、は、く、や、ま、ひ、(小、兒、の、)

と(は) (名) 徒、歩、か、ち、足、に、て、あ、る、事

と(ぼ) (ぼ) (副) 蹠、蹠、よ、ろ、よ、ろ、(足、さ、だ、ま、ら、ぬ、貌)

と(ぼ) (ぼ) (し) (形) 疎、遠、疎、濶、疎、曠、疎、信、疎、う、と、き、し、た、し

か、ら、ぬ、ま、た、遠、遠、み、ち、と、ほ、き、は、る、か、な、る

と(ほ) (と) (ふ) 遠、江、東、海、道、の、一、國

と(ほ) (ち) (名) 遠、路、と、ほ、み、ち

と(ほ) (り) (名) 及、後、置、詞、通、ゆ、く、み、ち、と、ほ、り、み、ち、こ、と、く、ま

ま

と(ぼ) (り) (名) 燃、炷、點、燈、火、の、も、え

と(ほ) (り) (あ) (き) (う) (と) (名) 通、商、買、旅、商、た、び、あ、き、う、と

と(ほ) (り) (き) (つ) (て) (名) 通、切、手、通、券、往、來、證、路、票、通、行、券、旅、行

死、狀、と、ほ、り、て、が、た

と(ほ) (る) (自) 透、融、徹、は、い、る、つ、ら、ぬ、く、通、行、通、過、ゆ、き、す

ぐる、達、れ、こ、な、は、れ、る、う、ま、く、ゆ、く

と(ぼ) (そ) (名) 扉、闔、扇、と、と、ぐ、ち、か、ど、ま、た、樞、と、の、か、ぎ、あ

な

と(は) (つ) (れ) (は) (ば) (名) 高、祖、母、曾、祖、母、の、母

と(は) (つ) (れ) (は) (ぢ) (名) 高、祖、父、曾、祖、父、の、父

と(は) (つ) (れ) (や) 遠、祖、先、祖、祖、先、ひ、か、し、の、れ、や

と(は) (つ) (く) (に) 遠、國、と、ほ、き、く、に、絶、域

とほなだ 遠洋遠海とほきうみ、わき
 とほなげ(名) 投壺、つぼうち(遊戯の具)
 とほう(名) 土封、つかやま、つきやま
 とほう(名) 土峰、じがばち、あなはち、ゆするばち(動物)
 とほう「する」(自) 土崩、つちのごとくくづれる
 とほうぐわかい 土崩瓦解くづれやぶれる(國家等が)
 とほのり(名) 遠騎、遠く馬にて乗あれる(事)
 とほのく(自) 遠退、とほくしりぞく、とほごかる
 とほく(名) 奴僕、ぬぼく(しもべ)
 とほく(名) 土木、工事、ふしん
 とほくち(名) 戶外口、とぐち、いりくち
 とほくし(名) 土木師、工事家、ふしんにくはしきひと、ふ
 しんうけれひて
 とほや(名) 遠矢、とほくよりいるや
 とほやま 遠山、とほきやま、また(氏)
 とほまはし(名形) 遠回、迂回、とほくまはるこ、それと
 なくいふこと
 とほける「俗」(自) 偽爲不知、しらばくれる、伴爲、そらつか
 ふ、また書、ぼける
 とほけるもの「俗」(名) 伴爲者、そらつかひ、また書者、ぼけ
 たるもの
 とほわさ(名) 遠淺岸邊の水の淺き處をいふ
 とほざかる(自) 遠遠退、とほくさる、とほくはなれる
 とほざむらひ(名) 遠侍、さむらひのたまりのま
 とほざける(他) 遠、遠離、とほくさける、とほくしりぞけ
 る
 とほさ(形) 遠はるかなる、遠遠修遠、ちかくあらぬ

とほぎよ(名) 杜父魚、ねまる、うそのな(動物)
 とほきくに 遠國、絶域はるかはなれたるくに
 とほめがね(名) 遠鏡、望遠鏡、千里鏡(とほくをみるうつ
 は)
 とほみ(名) 遠見、遠望、とほくよりみるこ、又のみ斥
 候
 とほみみ(名) 遠耳、ときみみ、聴
 とほし(名) 篩筭、あらぶるひ(米穀等を篩ふ具)
 とほし(名) 通、とほること(副)始終、たえず
 とほし(名) 燃點燈、もやすこと(燈等を)
 とほしちろ(名形) 遠著、めだちてみゆる、いちじるき
 とほしま 遠島、とほきしま
 とほしあぶら(名) 燃油(燈油をいふ)、あかりのあぶら
 とほしき(形) 乏、匱、たらぬ、かけてなき
 とほしぎり(名) 鑽、圓錐(工人が物に穴を穿つ具)、まるぎ
 り
 とへはたへ 十重廿重、とかさねはたかさね
 とべたがひ(名) 蝸螺、光螺、螺、かひのな(動物)
 とべら(名) 海桐花、石南、石檀、苦楨、椶(植物)
 とへう(名) 土俵、つちだはら、土包、土囊、土豚
 とへうば(名) 土俵場(相撲場等を謂ふ)
 とへうし(名) 銅拍子、調拍子、はやしのなりもの
 とへん(名) 杜騙、かたり、ゆすり(盗の類)
 とへ「俗」(名) 爺父、ちちてれや
 とご(名) 海驢、胡猿猪に似たる海獸(動物)
 とご「俗」(名) 大尾、つまり、はて
 とご(副) 一度、つとつと、たびたび、毎毎、ことごと
 とごめさす 絶命、のどをさしてころす(最後に)
 とごん(形) 驚鈍、にぶき、のろい、ねそき
 とご(名) 土地、ところ
 とご(名) 椽、沙羅樹、七葉樹(植物)
 とご 共同志、どもに、なかも、ともがら
 とご「俗」(名) 鈍痴、よぶきもの、ばかもの
 とごばにんじん(名) 土參(植物)
 とごにんじん(名) 土參(植物)
 とご(他) 綴、綴、冊(書籍を)、ぬひあはせる、摺綿、わたを
 むひとめる(布團などの)
 とご(他) 閉、しめる(門戸等を)、圍塞
 とごか(名) 水甕(動物)
 とごら(代名詞) 何地、どこ、いつく、孰、いつれ、どれ
 とごう(名) 杜仲、ばい、まゆみ(植物)
 とごう 途中、みちなか、半途
 とごのかみ 土地神、うじがみ(氏神)
 とごのき(名) 七葉樹、とち(植物)
 とごのみ(名) 椽、斗、皂斗、天師栗、どんぐり
 とごぐるよ「俗」(自) 嬉戯、たはふれる(男女等が)、ふざけ
 る
 とごやく(形) 「する」(自) 土着(兵士が無事の時其郷國よ
 在て農作其他に従事し居ると謂ふ)
 とごまめ(名) 罌、まめのたぐひ(植物)
 とごぶみ(名) 冊子、さふし、綴本、とごたるほん
 とごこむ(他) 綴込、とごつらねる(書冊中)、とごられる
 とごこめる(他) 閉入、とごしいれる(幽閉閉住監禁、れし
 こめる)

とご 百百(氏)
 とごい(名) 都都(一俗歌の名)
 とごち(自) 轟、動響、震動、ひびきたる、なりわたる
 とごち(名) 轟聲、颯颯之音、なりわたり、震蕩、鳴動、ふる
 ひわたり
 とごち(他) 等等力、轟木(氏)
 とごむ(他) 停止、禁止、嚴禁、過密、沮格、やめさする、駐
 (馬を)
 とごう(名) 渡頭、わたしば、馬渡
 とごうさい(名) 土頭菜、つくし(植物)
 とごのへ(他) 調、整齊、整頓、整理、勅、こなへる、したくす
 る、そらへる
 とごく(名) 都督、かしら(近衛兵等の)、長官
 とごく(自) 屑、達、いたる、れよふ
 とごまる(自) 停留、留止、駐、駐、在留、逗留、稽留、すす
 まぬ、ひかへる
 とごけい(名) 届出、まうし、い(官府等よ)
 とごけい「俗」(名) 届書、まうし、い(官府等への)
 とごこほる(自) 滯淹、凝滯、淹滯、滯滯、遲滯、はかどらぬ、
 停滞、つかへる、通滯、通負、借金(か)
 とごせ(名) 三平二滿、れたふくづら(醜女の面相を云
 ふ)
 とごぶき(名) 嚙、くちばし、口角
 とごき(名) 沙參、鈴兒草(植物)
 とごめ(名) 絶命、斷息、人を殺す時に最後に咽喉を刺す
 事、最後之一撃
 とごめく(自) 暗幕、かまびすしくある

とごめさす 絶命、のどをさしてころす(最後に)
 とごん(形) 驚鈍、にぶき、のろい、ねそき
 とご(名) 土地、ところ
 とご(名) 椽、沙羅樹、七葉樹(植物)
 とご 共同志、どもに、なかも、ともがら
 とご「俗」(名) 鈍痴、よぶきもの、ばかもの
 とごばにんじん(名) 土參(植物)
 とごにんじん(名) 土參(植物)
 とご(他) 綴、綴、冊(書籍を)、ぬひあはせる、摺綿、わたを
 むひとめる(布團などの)
 とご(他) 閉、しめる(門戸等を)、圍塞
 とごか(名) 水甕(動物)
 とごら(代名詞) 何地、どこ、いつく、孰、いつれ、どれ
 とごう(名) 杜仲、ばい、まゆみ(植物)
 とごう 途中、みちなか、半途
 とごのかみ 土地神、うじがみ(氏神)
 とごのき(名) 七葉樹、とち(植物)
 とごのみ(名) 椽、斗、皂斗、天師栗、どんぐり
 とごぐるよ「俗」(自) 嬉戯、たはふれる(男女等が)、ふざけ
 る
 とごやく(形) 「する」(自) 土着(兵士が無事の時其郷國よ
 在て農作其他に従事し居ると謂ふ)
 とごまめ(名) 罌、まめのたぐひ(植物)
 とごぶみ(名) 冊子、さふし、綴本、とごたるほん
 とごこむ(他) 綴込、とごつらねる(書冊中)、とごられる
 とごこめる(他) 閉入、とごしいれる(幽閉閉住監禁、れし
 こめる)

どろど(名) 椽木、柄木氏また地名
 どろど(名) 綴代(書物の後よ置き綴るよ用ふる白紙)
 どろ(名) 杜梨あまなし(植物)
 どろ(名) 鳥禽、羽属、飛禽、つばさあるいきもの(動物)
 どろ(名) 鳥居、華衣、鶏栖、神宮の前なる門様の立物
 どろ(名) 鳥井、鳥居氏
 どろいれ(名) 取入、収獲、収斂、かりいれ
 どろいは(名) 養母(養家の母)やしなひはは、やしれや
 どろは(名) 取計、執計、とりまかなひ、處置、處分、い
 たしかた
 どろは(名) 鳥膚、鶏皮、栗膚(寒氣等を感じて毛孔が粟
 粒の如くよ成ること)
 どろは(名) 取外、はめはづし(戸障子等の)
 どろは(名) 取拂、取撥、どりのける、除去、移去、うつす
 どろは(名) 取放題、どるにまかせ
 どろに(名) 捕逃、賊等を誤て逃れしむるをいふ
 どろに(名) 取走、どりにげはしる(貨物等を)
 どろに(名) 鳥邊野、ひとをはうむるどろ
 どろに(名) 區區、まぢまぢ、いろいろ
 どろに(名) 取所、とりへ、長所、よきところ
 どろに(名) 取留、つかまへ、どろに、ねさへ、どろ
 どろに(名) 取違、誤認、誤見、まちがつてどろ
 どろに(名) 取散、とりあらず、ちらかす
 どろに(名) 鳥尾(氏)
 どろに(名) 押索、ばかりぎをのひも
 どろに(名) 鳥威、案山子、かがし
 どろに(名) 取落、遺失、もらす、ねとしなくする、うし

どろに(名) 養父、やしれや、やしなひれや
 どろに(名) 執行、しゆきやう、つとむる(儀式等を)
 どろに(名) 捕住、拿捕、とらふる
 どろに(名) 鳥追、ものもらひをんな、乞丐、歌女
 どろに(名) 取分、區別、わりわかつ(各種のものを)
 どろに(名) 取分、特、ことに、格別
 どろに(名) 取固、賦税、せい、課役
 どろに(名) 取交、執替(我物を彼に彼の物を我に取
 る)、とりやりする
 どろに(名) 取替、交換、さしかへる、また欺代、すりか
 へ
 どろに(名) 交換子、どりかへたるこ
 どろに(名) 取返、復獲、とりもどす
 どろに(名) 取楫、取楫船を右よ向ける様にする楫の使
 用法
 どろに(名) 取掛、しはじむる、始為、着手
 どろに(名) 捕吏、どりにて罪人等を執ふる人
 どろに(名) 取方付、かたよする、きれいにする
 どろに(名) 草鳥頭、鶯、鶯、鶯、附子、双鶯、鶯、鶯、い
 ぶす、さうらうづ、かぶと、きく(毒草)
 どろに(名) 鳥兜、俗人の蒙る冠の一種
 どろに(名) 鳥籠、かご(鳥を入れる)
 どろに(名) 取圍、とりまく、かこむ
 どろに(名) 鳥飼、鳥養、鳥を養ふ人、また(氏)
 どろに(名) 貝鳥、形尖りて鳥嘴の如き貝(動物)
 どろに(名) 土龍、もぐら、うぐらもち(動物)

どろよく(する) 努力、つとむる、せいだす、ちからをつく
 す、盡力
 どろよ(せる) 取寄、もちきたらしむる
 どろだ(は) 鶏栖、鳥と交合する事
 どろだ(か) 收領、いりだか、また産額、どりあがりだか、
 産出額
 どろた(る) 取立、どりあつめる(税金等を)、徴取
 どろだ(す) 取出、どりにいだし、ひきいだし
 どろそ(へ) 取添、執副、くはへる、おはする
 どろつ(か) 取束、鞭等の持つ所
 どろつ(く) 取着、どりすがる、つかまる、又、魅、のりうつ
 る(狐、幽霊等が)
 どろつ(く) 取續、かざる、どりのへる、修飾、彌縫
 どろつ(き) 取次、傳言、將命(兩人の間に往來して相方
 の意を通する人)
 どろな(は) 捕繩、しばりなは、はやなは
 どろな(し) 取成、仲裁、和講、なかどりもち、あつかひ
 どろな(す) 取成、仲裁、あつかひする(上を見よ)
 どろむ(す) 取結、どりきめる、決定、契約等を
 どろの(ぼ) 取上、逆上、せきあげる、氣が狂ふ
 どろの(ぞ) 取除、どりさる、はらひのぞく、除去
 どろの(け) 取退、除去、のぞきさる
 どろの(こ) 鳥子、たまご、卵、たまご、越前國より出る紙の
 名
 どろの(こ) 取殘、あまり、殘餘
 どろの(こ) 取殘、どりあます、存留、のこしれく
 どろの(あ) 鳥迹、もじ、書頭が故事に因る)

どろの(あ) 升麻、うたかたぐさ(植物)
 どろの(す) 鳥巢、鳥窠、鳥の臥す床
 どろに(する) 屠戮、はふりころす、屠殺
 どろに(つ) 取崩、分解、ばらばらにどりはなすこと
 (機械等を)、又うちこぼつこと
 どろに(つ) 取崩、分解、ばらばらにどりはなすこと
 ぶる
 どろに(む) 取組、くみあふ、相撲等が、なかになる
 どろに(み) 取組、くみあふこと(力士などが)、又なかに
 なること
 どろに(ひ) 耒、農具
 どろに(や) 鳥屋、どりあきうど、鳥商
 どろに(や) 取遣、やりどり(贈物等の)、贈答、受授
 どろに(や) 度量、器量、このろのひろさ
 どろに(や) 度量、衡、ばかり
 どろに(や) 鳥山(氏)
 どろに(ま) 舉止、進退、あつかひかた、みぶり
 どろに(ま) 取賄、調理、どりあつかふ
 どろに(ま) 取捲、どりかこむ、圍繞、圍困、かこむ
 どろに(ま) 取紛、まぎれこむ、混雜、紛亂
 どろに(け) 取消、うちけし(前言等を打消を事)、廢弛
 どろに(け) 取消、うちけす、いひけす(上を見よ)
 どろに(き) 鳥葺、屋根の葺方に云ふ
 どろに(こ) 俘、囚虜、虜俘、囚とらはれびと
 どろに(こ) 養子、やうし、もらひこ
 どろに(こ) 俘、擒虜、生擒、虜獲、捕虜、生俘、いけと
 る

とりころす(他) 崇殺たりころす(怨靈等が)
 とりこむ(自) 取込、多事、多用、いそがしくある
 とりこむ(他) 取籠、とりまく、圍、かこむ
 とりこみ(名) 取込、執掌、多事、多用、繁多、いそがし
 とりこし(名) 取越、さきまはり
 とりこす(他) 取越、先爲、さきだちてたこなふ
 とりて(名) 捕手、捕縛方、しばるもの(官の)
 とりで(名) 砦、堡、堡、堡、小堡、城、砦、だいは、である
 とりあはせ(名) 闘鶏、けわひ(鶏の)
 とりあへず(副) 不取取、ただちに、すぐに(直に)
 とりあつかふ(他) 取扱、處置、處分、措置、とりたこなふ
 とりあつかひ(名) 取扱、處理、襄辨、とりたこなひ、待遇、接
 待、もてなし
 とりあつかひ(名) 取扱人、處理人、てに、かけるひと
 とりあつむ(他) 取集、よせあつむ
 とりあげ(名) 産婆術、收生術、子を産まする道、又其道の
 人
 とりあげば(名) 産婆、穩婆、接生母、收生姫、こをうませる
 もの
 とりあげる(他) 取上、とる、うばふ、没收、官没
 とりあげる(他) 取上、ひろひあげる、てに、とる、また受理、
 うけとる、うけひく
 とりあふ(自他) 取合、かかりあふ
 とりあみ(名) 烏網、烏羅、罟、鳥を捕る網
 とりあし(やうま) 落新婦(植物)
 とりさば(他) 裁決、裁斷、裁判、判決、斷定、審定、裁定、さ
 ばく、さだめる、審判、又とりあつかふ、處理、取捌

とりさへる(他) 取逃、とらへる、とらへざり、とめる
 とりさを(名) 粘竿、さしとりさを(網にて鳥捕る竿)、もち
 さを
 とりさかのり(名) 鶏冠菜、とさかのり(植物)
 とりさた(俗) 取沙汰、物議、物論、流言、風説、風聞、評判、
 うはさ
 とりさし(名) 鳥刺、收禽人、とさし(網竿にて鳥とる人)
 とりさ(名) 壓木、壓條(枝を地上に壓して根を生せしむる
 法)
 とりさまる(自) 取極、さだまる、決定
 とりさめ(名) 取極、さだめ、規定、規約、規則、締約、成規
 とりきめる(他) 取極、さだむる、決定
 とりめ(名) 鳥眼、雀眼、雀盲、雞眼(日暮に至れば物の見
 ぬ目と云ふ)
 とりみち(名) 鳥道、やまみち、やまのほそみち
 とりみだす(他) 取亂、紛亂、ちらかす
 とりしらべ(名) 取調、調査、査察、ぎんみ、しらべ
 とりしらべる(他) 取調、調査、しらぶる、吟味する
 とりしまり(名) 取締、管理、監察、統轄、つかさどること
 とりえ(名) 取柄、とりどころ、みどころ、長所
 とりえだ(名) 壓枝、とりきをみよ
 とりひろげる(他) 取擴、皇張、ひろくする、擴張
 とりひき(名) 取引、うりかひ(買買)、また受授、やりとり
 とりひし(他) 挫折、挫衄、挫、うちやぶる、くじく、うちま
 かす
 とりもどす(他) 取戻、とりかへす、捉反、得翻、回收
 とりもち(名) 烏網、烏膠、膠網、鳥を捕る網

とりもち(名) 烏網、狗骨、やまぐるま(植物)
 とりもつ(他) 取持、周旋、薦舉、推舉、すいきよ、斡旋、せわ
 する
 とりもなほさす(副) 不取直、ただちに、すなはち、やがて
 とりんどう(名) 都淋藤、はとうれい(植物)
 とる(他) 取扱、采、執資、採擷、搦、搦、捉、拵、搦、搦、乘
 れのれにてに、いる、わがものとする、うくる
 とる(名) 菟藥、ねなし、かづら、菟絲子(植物)
 とるば(名) 弗匣、弗函、金銀を蓄ふる鐵函
 とるこ(名) 土耳其(歐亞兩洲に跨る一大國の名)
 とる(名形) 十両手の指の數即ち五と五の數、じふ
 とをか 十日、盈旬、旬
 とをだん(名) 十團子、駿河國宇津の谷より出る名物
 とわたり(名) 會陰(陰所と肛門の間といふ)、ありのとわ
 たり
 とわたる(自) 疾渡、とくわたる(河海を)
 とか 都下、みやこのうち、府中
 とが(形) 都雅、みやびやか、風雅、しどやか
 とが(名) 櫻梅、つが(植物)
 とが(名) 科、過、咎、罪科、犯罪、罪過、過失、つみ、あやまち
 とが 問叶(氏)
 とが(形) 驚下、たろか、ぐづ
 とかい 渡海、うみをわたること、航海
 とがは 戸川、外川(氏)
 とがにん(俗) 科人、罪人、犯人、つみびと
 とかへりのまつ(名) 十回松、花咲きたる松をいふ
 とかへる(自) 鳥回鷹の羽が鳥棲「とや」にてかほるを謂

とどか(俗) 擁擠、たしかけける貌
 とかち 十勝(北海道中の國名)
 とかち(名) 兔褐、兔の毛にて織たる物
 とがり(名) 尖銳、鋒、圭角、尖利、針鋒の鋭の如き者
 とがりがは 尖面、いかりがは
 とがりや(名) 秦片、つかりや(植物)
 とかた(名) 料、ますがた
 とかう(名) 杜衡、かんわふひ(植物)
 とかう(する) 徒行、かちあるきする、あゆみゆく
 とかう(副) 左右、どかく、かれこれ
 とかう(名) 兔毫、うさぎのけ
 とかう(名) 土豪、どちのいへがら、郷土
 とかく(副) 兎角、どかう、ややもすれば
 とかく(名) 斗格、どかき、ますかき
 とがま(名) 敏鎌、はのときかま
 とがま(名) 外構、そとがまへ、郭、そとぐるわ、外廓
 とかげ(名) 常陸、つねのひかげ(山の陰等をいふ)
 とかげ(名) 蜥蜴、石籠子、猪婆蛇、泉龍、石蜴(動物)
 とがふ 都甲(氏)
 とかき(名) 斗格、斗概、概、ますかき
 とかき(名) 蜥蜴、どかげを見よ
 とがめ(名) 讒責、督責、嚴責、嚴戒、詰責、せめ
 とがめる(他) 咎、せめる、詰責、なじる、非難
 とがみ(名) 桐、ねすみばし(植物)
 とがし 富樫(氏)

とつさかん 咄嗟間、しばしのあいだ
 とつぎどき(名) 嫁齡よめいりどき
 とつぎをしへどり(名) 鶴鶴、にはたたき、いしたたき(動物)

とつみや(名) 離宮、かりみや、外宮

とつし(名) 凸齒、でば、そつば、反齒

とつしゆつ(する)自 凸出、たかくいづる、ぬつとである

とつしゆつ(する)自 突出、つきいづる

とつしん(する)自 突進、つきすすむ

とつび(名) 貂皮、てんの如き獸の皮

とつもく(形) 訥嚙、くちまめならぬ、ものいはぬ

とつせん(する)自 突戦、つきたてたかふ、激戦

とつせん(副) 突然、ふいに、にはかに、だしぬけに

とね 利根川(名)また氏

とね(名) 刀禰、役人(官)の役人、をさ、長

とねり(名) 舍人(宮廷又は東宮に侍りて事ひまつる官吏、又うまくるまにしたがふしもべ)

とねり(名) 秦皮、樺、きのな植物

とねがは 利根川(源を上野利根郡に發して常陸の銚子海に注ぐ大河)

とねん(自) 都捻子、つくばね、はこのき(植物)

となべ(名) 土鍋、瓷鍋、土鼎、つちなべ

となへる(他) 唱稱號、くちにいふ、銜、いひつぐる

となり(名) 隣、隔壁、合壁、つぎのいへ、つぎのいへのひ

とつきつづける

となる(俗)自 吹鳴、よばはる(大聲を發する)

となかい(名) 馴鹿、なれしか(北地に産する鹿の類)(動物)

とらふ(名) 斑魚、ふぐのたぐひ(動物)
 とらごけ(名) 土馬鬣(植物)
 とらん(名) 奴欄、賣奴小屋(奴隸即ち黒奴等と入るる處)
 とらん(名) 土園兒、九羊子、ほど、ほども、土芋、地栗子(植物)

とむ(自) 富致富有、かねもちになる、ゆたかになる

とむ(他) 止、停留、はばむ、存留、とどむる、ねさふる

とむね(名) 胸懷、むね、ふところ、こころ

とむらひ(名) 送葬、はらひり(但し俗用)、また訪吊、唁、吊(死人の爲に哀戚を表するをいふ)、また訪問、ねどなひ、とひたづねること

とむらひ(名) 吊合戦(死者を吊ふために起して其敵たる者を撃つるの戦闘をいふ)

とむひと(名) 富人、金満家、かねもち

とむ(名) 頭、かみ、かしら、又つむぢ、あたま、ただき

とむ(名) 藤(植物)

とむ(名) 杜宇、ほととぎす(動物)

とむ(名) 斗(二十八宿の一にして西方に位す)

とむ(名) 土芋、ほど、いものたぐひ、土(圖の斗)

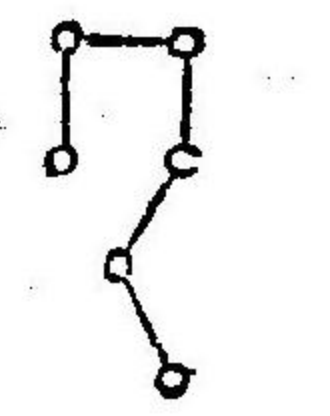
とむ(形) 同、ねなじき、ひとしき

とむ(名) 銅、あかがね

とむ(俗)副 如何、いかに、いかが

とむ(名) 胴、身幹、せなかのところ

とむ(名) 東夷、あづまをいひす(關東の舊土人)



どなた(俗)代名詞 何方、誰、何誰、孰、尊敬の詞

どな(名) 土囊、どへら

どなみ 礪波(氏)また地名

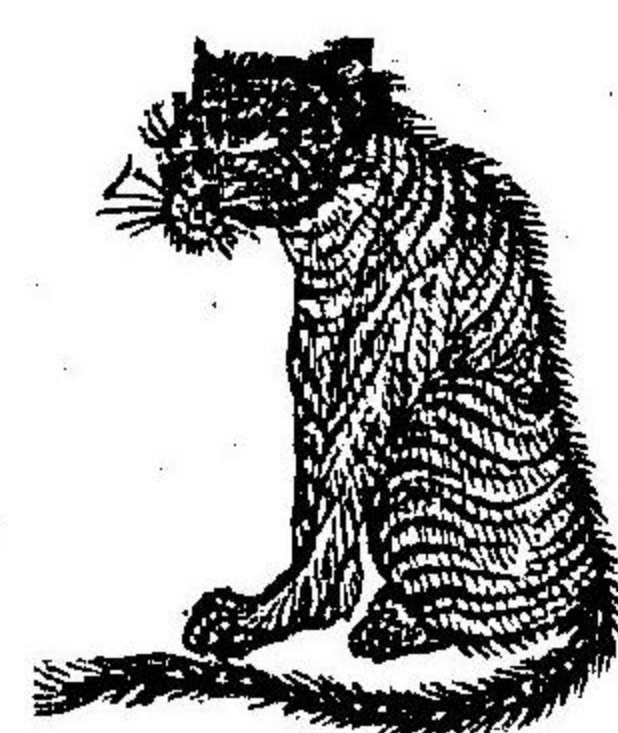
どら(名) 虎、猫の屬の獸の最も猛惡なる者にて印度に多く産す

どら(名) 銅羅、鉦、ならしが

どら(佛)寺の樂具

どら(俗)形 放蕩、だらう

(圖の虎)



どらい(する)自 渡來、わたりきたる(外國より)

どら(れ)び(と)名 囚人、めしうど、俘虜、どりこ

どらへる(他) 捕執、とらふる(をみよ)

どら(れ)と(し)名 虎落、とらをとる、あな、又やらい、柵

どら(か)す(他) 蕩どかす(心等を)、消融、鏗、鎔物を

どら(れ)こ(名) 虎斑猫、とらふ、あるね(動物)

どら(う) 徒勞、むだばねをり

どら(う) 怒浪、はやなみ、激浪、ねはなみ

どら(の)を(名) 虎卷草、珍珠菜、鳳尾草、をかどら(の)を(植物)

どら(の)を(と)ら(名) 虎尾櫻、さくら(の)たぐひ(植物)

どら(の)かは 虎皮、虎革、卑比

どら(のみ)み(名) 虎耳草、ゆきのした、石荷葉(植物)

どら(ふ)名 虎文、斑文(虎皮の斑文をいふ)、又其如きをも謂ふ

どら(ふ)い(し)名 虎斑石、ふの、あるいし

どら(ふ)る(他) 執、捕、捕獲、つかまへる、捕拿、逮捕、捕縛、捕捉、しばる

どら(う) 登位、くらゐにのぼる(帝王が)
 どら(う)名 莞、ぬぐさ(植物)
 どら(う)い(する)自 同意、こころをねなじうする、賛成、よしとする
 どら(う)い(つ)する(他) 統一、すべくくる(天下等を)、をさめ

どら(う)い(う)名 桐油、あぶらがみ

どら(う)い(う) 東遊、あづまをい(東國に漫遊するを謂ふ)

どら(う)い(ふ)俗 何云、いかなる

どら(う)い(す) 藤椅子、藤登、て編みたる腰掛

どら(う)い(ん) 銅印、かないん、あかがねぼりのはん

どら(う)ろ(名) 磴路、さかみち、いしざか

どら(う)ろ(名) 頭顱、あたま、かうべ

どら(う)ろ(う)名 燈籠(神社佛閣又は其他にて火をとぼす器)燈籠、灯球

どら(う)ろ(う)名 冬籠、ふゆごもり(動物の)

どら(う)ろ(う)する 登樓、遊女屋などにあそぶ

どら(う)ろ(う)名 藤簾、つづら

どら(う)ろ(う)する(自) 透漏、すきもる

どら(う)ろ(う)ば(名) 金燈花、さんして、きんとうさう、無義

どら(う)ろ(う)さ(う)名 燈籠草、はらうづき(植物)

どら(う)ろ(く)する(他) 登錄、かきしるす、かきのする

どら(う)ろ(く)しん(名) 藤六神、ゆきのかみ

どら(う)は(い)名 等輩、同輩、ねなじくらゐのやから、等儕

どら(う)ば(い)名 燈煤、ゆねん、油焰、ともしびのすす

どら(う)ば(と)う(名) 登馬橋、ふみだい

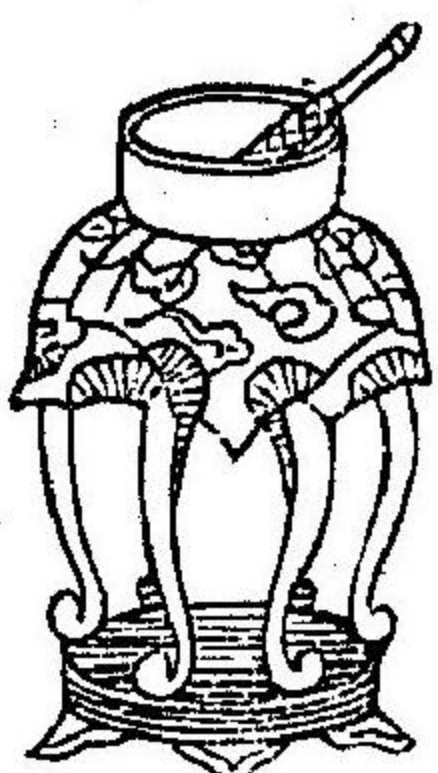
どうはち(名) 銅鉢(佛事に用

る樂器)

どうはつ(名) 頭髮、かみ

どうはつ(名) 頭髮菜を

(圖の鉢銅)



どうばう(名) 東方、ひのでるかた、ひがし

どうばう(名) 同胞はらから兄弟

どうはん(名) 痘癩、あばた、いも

どうばん(名) 同伴、ともなふ、つれだつ、同

行みちづれ

どうばん(名) 銅盤、かなだらひ、あかがねだらひ

どうばん(名) 銅版、あかがねのほりいた(印刷用の)

どうばん(名) 銅版畫、銅版にてすりたる畫

どうによ(名) 童女、めのはらは、とどめ、こをんな、小女、兒

女

どうにうき(名) 凍乳、器乳とかたむる器

どうにん(名) 頭人、をさ、かしら、頭取

どうぼう(名) 同朋、ともだち、朋友、あかま

どうぼう(名) 檸檬水、れもんすい

どうぼう(名) 東北、うしろとら、ひがしきた

どうぼう(名) 童僕、やつこ、しもべ、こもの、でつち

どうぼん(名) 同母兄弟、ひとつはらのきやうだい

どうぼん(名) 勝本、うつし(書物の)しやほん

どうへい(名) 斗柄、破軍の劍鋒をいふ

どうべい(名) 投袂、たもとをふりはらふ(怒り起ち去る時等

どうりやう(名) 棟梁、之才(國家の柱石とも成るべき

器量を云ふ)

どうりん(名) 登臨、のぼりのぞむ(下に)のぼりてなが

める

どうりん(名) 等倫、ひとなみ、出倫に非ず

どうる(名) 同類、ななじたぐひ、なかま、一味

どうる(名) 同音、ななじこゑに、ひとつこゑに

どうわすれ(名) 偶忘、ふとわすれること、遺忘

どうか(名) 藤架、ふぢだな

どうか(名) 藤架、つるなそび植物

どうか(名) 燈架、短檠、とうだい、あんどん

どうか(名) 東家、ひがしのいへ、あるじ、主人

どうが(名) 燈蛾、ひとりむし(動物)

どうが(名) 凍餓、こごえらるる

どうがい(名) 東海、ひがしのうみ、又東國

どうがい(名) 燈盞、行燈の點火皿、とうがいざら、かはら

け

どうがい(名) 童孩、わらんべ

どうかい(名) 東海道、日本九道の一にして東京より箱

根へ通る者)

どうかつ(名) 統轄、しはい、そべをさむる(縣廳

等が)

どうがね(名) 銅金鞘等の胴にまきたる金

どうから(名) 疾自從前、まへより、はやくより

どうへう(名) 一する(自) 投票、いれふだ、いれふだする

どうべう(名) 一する(自) 投鏑、いかりをねらふ

どうと 東都、あづまのみや、江戶(今の東京)

どうと(名) 僮孺、童奴、やつこ、でつち、こぞう

どうどり(名) 頭取、頭人、かしら

どうどう(名) 偷盜、ぬすみ、どろぼう

どうどう(名) 東頭、佛寺に前任と東頭と云ひ當住を堂頭

と云ふ)

どうどう(名) 同等、ひとしき、平等、ひとしき

どうとく(名) 一する(他) 董督、みはる、つかさどる、をさむる

どうとく(名) 一する(他) 偷得、ぬすみうる

どうち(名) 一する(他) 統治、すべをさむる(天下等を)

どうち(名) 童稚、をさなき、幼稚、こども、小兒、兒童

どうちやうべう(名) 藤長苗、ねはひるがは植物)

どうちやく(名) 一する(自) 撞着、つきあたる、ふれる、よくあは

ぬ、もてる

どうちせい(名) 東馳西奔、あちらこちらかけまはる

どうり(名) 藤梨、こくみ植物)

どうり(名) 同侶、つれ、とも、なかま

どうり(名) 一する(自) 逗留、とどまる、滯留、淹留

どうりやう(名) 透涼、かざぬき(空氣を通す孔を謂ふ)

どうりやう(名) 棟梁、むなぎ(國家の重臣を譬て然か言

ふ)又俗(工匠の長たる者を稱す)建築長、大工長

どうりやう(名) 斗量、ます、ばかり

どうりやう(名) 一する(他) 統領、とさ、かしら、又すべをさ

どうかう(名) 投稿、新聞社等に投寄せる原稿

どうかう(名) 筒蒿、むじんさう植物)

どうかう(名) 登降、のぼりくだり、上下、陟降

どうかう(名) 一する(自) 同行、みちづれ、同道

どうかう(名) 銅坑、かなやま、銅山

どうかく(名) 同格、格式の同じき、同等

どうかく(名) 同窓、同門、同窓、がくかうともだち

どうがふ(名) 一する(自) 媿合、なれあふ、いつはりとりこむ、つ

りひきこむ

どうがめ(名) 鼈、泥龜、すつばん(動物)

どうがめ(名) 一する(名) 睡蓮、こはちと植物)

どうかん(名) 一する(他) 膝織、ゆはひる、ゆはひからぐる

どうかん(名) 偷閑、ひまどぬすむ

どうかん(名) 一する(名) 豆甘鳥、まめうまし(動物)

どうよう(名) 一する(他) 登用、登庸、あげもちふる(高官に)

どうよく(名) 俗(形) 胴慾、剛慾、むごたらしき、なさけなき

どうたい(名) 凍餓、うるごえ、寒餓

どうたい(名) 登第、及第に同じ)

どうたい(名) 燈臺、ともしびだい

どうたい(名) 動體、うごくもの(水の如き)

どうたい(名) 童體、わらんべすがた、不犯之體

どうたい(名) 一する(名) 燈臺草、とうだいくさ、五鳳草、蜀漆、澤

漆植物)

どうたう(名) 藤堂、氏)

どうたう(名) 同黨、なかま、同類

どうたう(名) 一する(自) 動盪、ゆれる(船等が)、わちつかぬ

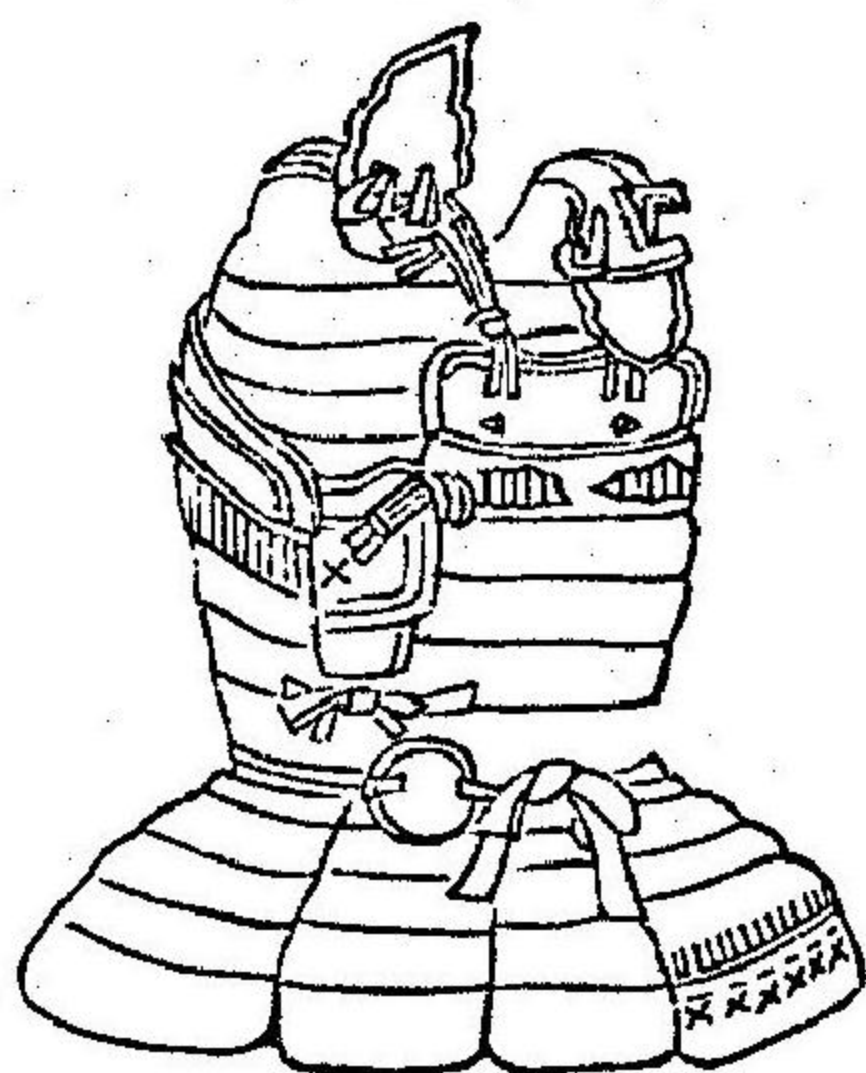
どうだう[する]名 同道つれだつ、同行、ともなふ、同伴
 どうたん[する]名 惆歎かなしみなげく
 どうだん[形] 同断、なまじき
 どうれ 誰何(門に来れる客の呼ぶに答ふる詞)
 どうれい[する]名 凍冷かじける(こほる)
 どうれつ 同列、なまじくらぬ
 どうれう[名] 同僚、なまじ同寮、同役、あひやく(官吏の)
 どうぞ 登祚、くらむにのぼる(帝王が)
 どうぞ[副] 何卒、なにぞぞ
 どうそう[名] 冬葱、凍葱、ふゆねぎ、わけぎ、かりぎ(植物)
 どうそう[する]名 他 投贈、れくりやる(進物等を)
 どうそう[する]名 他 抖擻、ふるひうごかす、ふるふ、振起
 どうそう[名] 同窓、でしはうばい、學友、同學、あひでし
 どうつう[名] 疼痛、いたみ、うづき
 どうつう[する]名 自 洞通、とほる、とほす
 どうつう[する]名 自 透過、すきとほる
 どうねん 同年、ねなじとし、ねないとし
 どうなん 東南、ひがしみなみ、たつみ
 どうなん[名] 童男、わらべ、をとこのこ
 どうらん[名] 銅鑼、どら、うちがね、佛寺の樂器
 どうらん[名] 藤籃、ふぢかご
 どうらん[名] 銅卵銃、砲丸をいれる物
 どうらん[名] 動亂、みだれ、騒動、みだれさわぐ
 どうらん[名] 胴亂、佩囊、こしざげ
 どうむしろ[名] 藤鹿、藤にて編みたる鞋
 どうらん[名] 東雲、よあけ、しのめ
 どうらん[名] 頭暈、わたまがふらつくこと、眩暈、めまひ、

たちぐらみ

どうくわ[名] 燈花、ちやうじがしら(行燈等の)
 どうくわ[名] 冬瓜、かもうり、白瓜、水芝、地芝(植物)
 どうくわ[名] 同夥、つれ、なまじ
 どうくわ[名] 銅貨、あかがねのせに
 どうくわい[形] 等外(等級の外の意にて判任官の下の雇吏にいふ)
 どうくわちう[名] 偷火蟲、ひとりむし(動物)
 どうくわつ[する]名 統括、すべくくる
 どうくわう[名] 豆花雨、八九月の雨をいふ
 どうくわう[名] 東皇、春の神を謂ふ、はる
 どうくわう[名] 銅鑛、箔石、あかがねのあらがね
 どうくわん[名] 形管、あかぢくふで(宮女などの用ひし)
 どうくわん[名] 銅鑼、どらこ
 どうぐう[名] 東宮、春宮、まらけのきみ、みこのみや、ひつぎのみこ、太子
 どうぐうばう[名] 東宮坊、皇太子の居る所
 どうぐすり[名] 火藥、くわやく、彈藥、たまぐすり
 どうぐん[名] 統緒、はなばかま、かかえ、うてな花の
 どうぐう[名] 東洋、ひがしのくに(亞細亞をいふ)
 どうぐう[する]名 自 騰揚、あがる、とびあがる
 どうぐう[形] 同様、ななじさま、なまじき
 どうぐく[する]名 自 騰躍、とびをどる、をどりあがる
 どうぐく[名] 筒藥、火藥をいふ、どうぐすり
 どうぐやく[名] 同役、同僚、ななじつとめ
 どうぐはし[形] 遠回、それとなく直接ならねをいふ
 どうぐまる[名] 東鷄、鷄、あかぢくふで、はいなるはとり(動物)

どうまる[名] 胴丸
 胴圓、どうのま
 るきよろひ(此
 圖なるは南都春
 日神庫に藏する
 所)
 どうまう[名] 銅網
 かなあみ、あか
 がねあみ
 どうまき[名] 胴巻巾、纏袋、かねいれ
 どうまん[名] 朱髓、そつぼん(動物)
 どうけい[名] 嶺峠、たふげ、みね(高山の峯をいふ)
 どうけい 東京、とうきやう(日本の首府元江戸をいふ)
 どうけい[名] 闘鷄、とりあはせ、けあひ
 どうけい[名] 頭髻、もとどり(髪のかみ)
 どうけい[名] 統計、そうしらべ(事物の部類を分けて其一
 の状況を調査して逐一に記載する術)
 どうけい[名] 燈檠、燈臺、ともしびだい、しよくだい
 どうけい[名] 銅磬、樂器(此圖なる
 は桑名家藏岩代國岩瀬郡鏡沼村
 地中より所得)
 どうけい[名] 統計學、とうけい
 のがくもん
 どうけいし[名] 凍瓊脂、かんでん
 どうけつ[名] 洞穴、ほらあな
 どうけう[名] 動橋、いふりばし(加賀國の地名)
 どうけん[名] 闘犬、けんくわいぬ(動物)

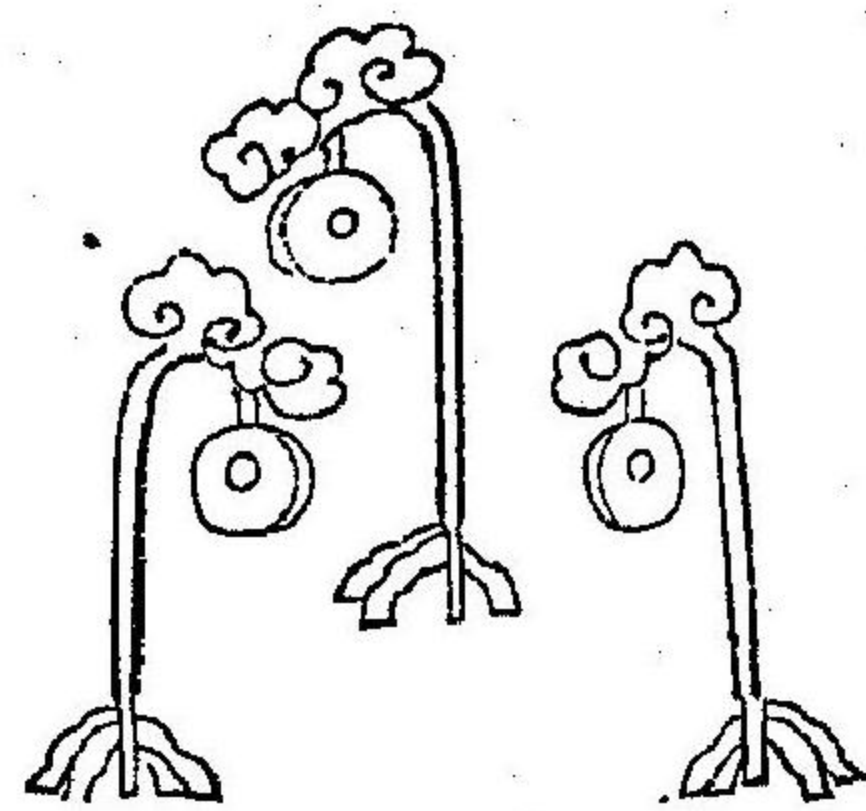
(圖の丸胴)



(圖の磬銅)



(圖の鼓銅)

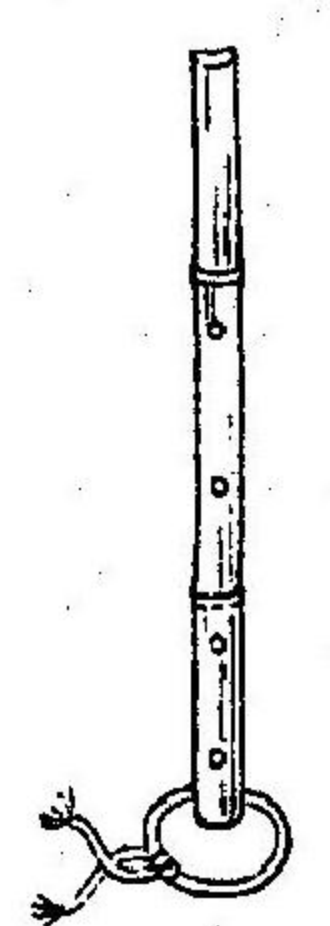


どうげん[名] 頭眩、たちぐらみ、めまひ、眩暈
 どうけん 同權、同等の權理自由を云ふ
 どうふ[名] 豆腐、菽乳(豆をひきて作れる食物)
 どうぶ 東武(關東の武藏をいふ事)
 どうぶる[名] 胴慄、ぞつとすること、みぶるひぞくぞくすること(寒氣などにて)
 どうぶつ[名] 動物、いさまもの、生物
 どうぶつがく[名] 動物學、いさまものがくもん(鳥獸等の)
 どうぶつるん[名] 動物園、鳥獸等の生き物を飼置く所
 どうふう 東風、こち、ひがしかせ、たにかせ
 どうふうさい[名] 東風菜、さいいたつま、しらやまきく(植物)
 どうふのから 雪花菜、さしらす
 どうふく 冬服、ふゆぎ、ふゆぎもの
 どうふく 同腹心、の同きを云ふ、ななじはら、同心
 どうぶく[名] 胴服、どうぎ
 どうぶん[形] 等分、ひとしき(分量の同じきをいふ)
 どうふん[名] 粉銅、あかがね
 どうこ[名] 寶戸、きりど、ぐり
 どうこ[名] 投壺(壺に物を投
 いるる戲の名)
 どうこ[名] 銅鼓(樂器なり此
 圖なるは宮川家所藏)
 どうこ[名] 銅壺、銅甕、あかが

どうし(名) 瞳子、ひとみ(眼の)
 どうし(名) 銅絲、はりかね、あかはりがね
 どうし(名) 同志、おなじこころざしのもの、同心者
 どうし(名) 同士、おなじなさま
 どうし(名) 動止、うごきとどまる、ふるまひ、ねこなひ、擧動
 どうし(名) 動詞、はたらきことば、活用言、わざことば(文法語)
 どうし(名) 同時、たなじとき
 どうし(名) 童兒、童子、わらべ(十五歳以下の小供)
 どうし(名) 同士、戦、なかまごしのいくさ(重に誤解等に因て爲す)
 どうし(名) 動、うごく
 どうし(名) 投書、なげふみ、よせふみ、寄書
 どうし(名) 藤色、ふぢいろ
 どうし(名) 偷食、ぬすみぐらひする
 どうし(名) 冬莠、ふゆはぐさ(植物)
 どうし(名) 銅臭、せいのにおひ
 どうし(名) 同士、擧、どうしいくさ(なかまごころしあふこと)
 どうし(名) 藤縮、つるてまり、いはかがみ(植物)
 どうし(名) 騰寫、うつつ、かさうつつ
 どうし(名) 銅砂、あかがねくづ
 どうし(名) 礪砂、すなのたぐひ(藥品)
 どうし(名) 同車、たなじくるま
 どうし(名) 驢驘、とびあがる、とびのぼる
 どうし(名) 銅章、あかがねいん

どうしやう(名) 同姓、どうせい、たなじちすぢ、たなじいへな
 どうしやせい(名) 礪砂、精安母、尼亞(藥品)
 どうしふ(名) 頭楫、やうだじ(船の)
 どうしゆ(名) 嶋守、しまもり、さきもり
 どうしゆ(名) 童孺、わかもの、をさなご
 どうしゆく(名) 逗留、とどまる、逗留する
 どうしゆく(名) 投宿、やどる、とどまる(旅宿に)
 どうしゆく(名) 同宿、あひやど、たなじとまり、たなじやどり
 どうしゆし(名) 東堅司、ひめまつ、あづまわらは(女官の舊稱)
 どうしめ(名) 胴締、腹を束ぬる帯
 どうしめ(名) 燈炷、どうしんに同じ
 どうしせん(名) 冬至線、冬至の時に太陽が至れる線
 どうしん(名) 登進、りつしんする、すすみのぼる
 どうしん(名) 等身、ひとのみのたけにひとしき、みのたけほどわる
 どうしん(名) 燈心、燈をともすに用ふる者、重にむぐさのしん
 どうしん(名) 投身、みなげ(河等に身を投ずる)
 どうしん(名) 同心、たなじこころ、こころをたなじうする
 どうしん(名) 同仁、ひとしくめぐむ(諸人を)
 どうしん(名) 同人、同志之人、たなじこころのひと、なかまた同門之人
 どうしん(名) 燈壓、燈杖、燈心をたさふる物
 どうしん(名) 同心協力、心を一にして力を協せらる

どうえい(名) 東嶽山、元江戸上野の山上にありし寺の號也、寛永寺と名く
 どうえう(名) 童幼、こども、をさなご
 どうひ(名) 橙皮、だいたいのかは
 どうひゆ(名) 橙皮油、橙の皮にて製したる油
 どうもう(名) 檸檬、さるぶしゆかん(植物)
 どうもう(名) 童蒙、幼稚にて智慧なき者
 どうもく(名) 瞳目、めをみはる、みつめる
 どうもん(名) 同門、てしほうばい、あいでし、同窓、同學
 どうせい(名) 童正、ただす
 どうせい(名) 冬青、凍青、もちのき(植物)
 どうせい(名) 豆青、みるちや(染色)
 どうせい(名) 禱晴、はれをいのる(天氣を祈る)
 どうせい(名) 斗星、北斗星をいふ
 どうせい(名) 同姓、姓氏の同じき者
 どうせい(名) 動靜、うごかうごかぬ、様子、舉動
 どうせい(名) 銅青、ろくしやう、銅緑
 どうせい(名) 同勢、儀従ともまはり、つはもの
 どうせい(名) 冬青樹、もちのき(植物)
 どうせつ(名) 銅屑、あかがねくづ
 どうせう(名) 洞簫、樂器大
 どうせう(名) 和國法隆寺藏
 どうせう(名) 東照宮、徳川家康を祭れる名
 どうせき(名) 同席、同坐、たなじすわり、おなじくすわる
 どうせん(名) 登仙、仙人と成て天に登るを云ふ、羽化



どうせん(名) 燈船、ともしびをてらすふね、燈明船
 どうせん(名) 闘戰、たたかふ
 どうせん(名) 東漸、東方にすすみ傳はるを謂ふ
 どうせん(名) 銅線、あかはりがね
 どうせん(名) 銅錢、銅にて造りし錢、銅貨
 どうせん(名) 同船、ひとつふね、のりわひふね
 どうせん(名) 同前、まへにたなじ
 どうせん(名) 投錢、あないち
 どうす(名) 東司、かはや、せついん、廁寺の
 どうす(名) 統帥、大將、將帥、いくささみ
 どうす(名) 投、なぐる
 どうす(名) 等數、ひとしきかず(同等の數)
 どうす(名) 相公、男子を尊稱する語、家公、いへのさみとのさま(家の)
 どう(名) 殿堂、の高大なる者を云ふ、みや、又(人の尊稱に用ふ)
 どう(名) 宿直、侍宿、禁中に宿して非常に備ふる事、また女御などの天子に添臥するにも言ふ
 どう(名) 外池、(氏)
 どう(名) 宿直衣、なほし(衣服の名)
 どう(名) 宿衣、どのゐにきるよきなど
 どう(名) 殿儕、どのたち、又さみたち
 どう(名) 外重、禁裏の外圍をいふ
 どう(名) 外方、外面、そとつら、そとがは
 どう(名) 礪粉、磨刀、なみがきこな
 どう(名) 殿御、殿子、男を女より敬ひ呼ぶ詞、郎
 どう(名) 宿寢、宿籠、いぬること、ねること

とこのさま 殿様(主君等と敬ひ稱する詞)
 とこのさまがへる(名) 金線(動植物)
 とこのみち(俗)副 何道、いづれにせよ
 とこのもり(名) 殿守、このもつかさ(殿上を守る官)
 とこのもつかさ(名) 殿司、主殿寮古時天子の乘輿、灯油、火燭薪柴の事を掌れる所の官署
 とく(副) 急疾、過敏、早はやく、すみやかに
 とく(名) 土狗(けら動植物)
 とく(他) 解、はやく(結びをどく) 釋(むづかしき事をどきわくる) 解釋
 とく(他) 説、説明、演説、説話、いひのふる
 とく(名) 得、うる、こと、まうけ
 とく(形) 特、ひとり、ただ
 とく(名) 徳、よき、れこ、なひ、よき、わざ、善行、善徳
 とく(他) 淘、わらひ、よめる(米を)
 とく(他) 磨、礪、研、磨、みがく、すりみがく、する
 とく(名) 毒、毒(毒の害になる物)
 とく(形) 獨、ひとり、ただ
 とく(自) 退、よける、のく
 とく(名) 得意、主顧、かひつけびと、花客
 とく(い)うせい 特有性、他物に異なる格別の性質
 とく(い)み(名) 毒忌、毒禁、どくだち
 とく(ろ)名 匿路、にげみち、かくれみち
 とく(ろ)名 獨體、されかうべ、しやりかうべ
 とく(ろ)ま(自) 蟠屈、わだかまる、蛇等の
 とく(は)形 特派、ことにつかははされたる、ことさらにつかはしたる

とくはつ 禿髪、はげかみ、かぶろ
 とくにん 特任、ことになんする(官職を)
 とくにん(名) 徳人、どくあるひと、しあはせびと
 とくは(する) 獨歩、ひとりあるく、ならぶものなし
 とくぼくけう(名) 獨木橋、いつぼんばし、まるきばし
 とくべつ(形) 特別、かくべつ、格段、こと
 とくへう(名) 積票、ふだ、ふたがみ
 とく(俗)副 篤、篤熟、ふかく、つくづく、ゆるりと
 とく(名) 一する(他) 得度、すくひ、さいど(濟度) すすふ(佛などが)
 とく(よ)い 熟讀、くはしくよむ
 とく(とう) 禿頭、はげあたま、かぶろあたま
 とく(と)く(副) 疾疾、はやくはやく
 とく(と)く(い)形 毒毒敷、あまりなる、はなはだしき
 とく(と)みる 熟見、熟閱、熟覽、熟視、よくみる
 とく(ち)名 戸口、いりぐち(入口)
 とく(ち)う 毒蟲、どくあるむし、どくむし
 とく(り)名 徳利、壺、磁罎、びん、ふらそこ
 とく(り)は(さ)み(名) 禪托、びんばさみ
 とく(り)つ(形) 一する(自) 獨立、ひとりだち(人に頼らぬ事) ひとりだちする
 とく(り)や(う)名 獨梁、まるきばし、ひとつばし
 とく(り)さい(名) 獨力、衣、ふんどみ
 とく(る)わ(名) 郭、そとがまへ、そとぐるわ(城外の大郭をいふ)
 とく(る)よし(名) 解由(前太守の金銀出納を精算するを謂ふ) ひきわたし

とぐるま(名) 戸車、戸の下につける小車
 とくれん 特恩、格別の恩典
 とくわ(名) 土蝸、なめくじ(動物)
 とくわ(い)名 都會(人多く集りたる盛なる市街を云ふ) 邑
 とくわ(い)名 土槍、おすなる、ひば(植物)
 とくわ(い)形 度外、かんがへのそと
 とくわ(い)にたく 置度外、かまへつけぬ、かへりみぬ
 とくわ(し)や(う)名 塗毒匠、さいしきするひと
 とくが(名) 獨我、われといふところ、われがわれがのかんが
 とくが(い)する(他) 毒害、もりこらす(毒を食せて殺す)
 とくが(は) 徳川(幕府將軍の姓)
 とく(か)う 特效、ことにはちるきしるし、奇功
 とく(か)う 篤行、あつさかこなひ、善行
 とく(か)う(名) 德行、みさを、よきみもち
 とく(か)く 督學、學事の有様を監督する者
 とく(か)く(する) 獨學、ひとりまなびする
 とく(か)さ(う)名 獨荷草、ひまはり(植物)
 とく(か)ん 獨眼、めつかち、かためくら
 とく(よ)う(俗)名 徳川、經濟りかた
 とく(よ)う(し)や(う)ん(名) 獨用將軍、つらぬきさう(植物)
 とく(よ)け(名) 毒除、どくけし
 とく(だ)い(じ) 徳大寺(氏)
 とく(だ)ち(名) 毒禁、毒斷、毒絶、戒口(障になる物を食はぬ事) どくけし
 とく(た)つ(する) 特達、ことに、たくみになる(或伎藝等に)

とくだつ(する) 自 得脱、すくはれる、ほとけになる、得道
 とく(た)く(名) 徳澤、めぐみ(君主の)
 とく(だ)み(名) 羊麻草、ぢうやく、莪菜、莪草(植物)
 とく(だ)ん(名) 一する(他) 獨斷、ひとりきめ、ほしのままにさだむる
 とくれ(い)名 特例(特別の例規をいふ)
 とくれ(う)する(他) 得了、はる、てにいれる
 とく(そ)く(する) 他 督促、うながす、さいそくする、せつく
 とく(つ)名 土窟、つちあな、ほらあな
 とく(な)が 徳永(氏)
 とく(ら)名 時ねぐら(鳥の宿る所)
 とく(ら)く 獨樂、こま(小兒の玩具) 又ひとりだけ(獨飲酒)
 とく(ら)ま(く) 蟠屈、わだかまる(蝮蛇等が)
 とく(む)し(名) 毒蟲、どくあるむし
 とく(ら) 土公(堅牢地神)
 とく(の)う 得能(氏)
 とく(く)わ(名) 徳化、よきにあらたまること(民風が)
 とく(く)わ(つ)名 獨活、つちたら、のたら、ししうど、うど(植物)
 とく(やく)名 毒藥、がいをするくすり、鳩毒
 とく(け)う(名) 徳教、よきをしへ、徳化
 とく(げ)ふ(せい)名 得業生、大學の卒業生をいふ
 とく(け)し(名) 消毒藥、解毒、どくのぞきくすり
 とく(けん)名 督憲、ぶぎやう(奉行) 監督者
 とく(けん)名 特權(特別の權利) 特許
 とく(ふ)名 督府(總大將の居る所)

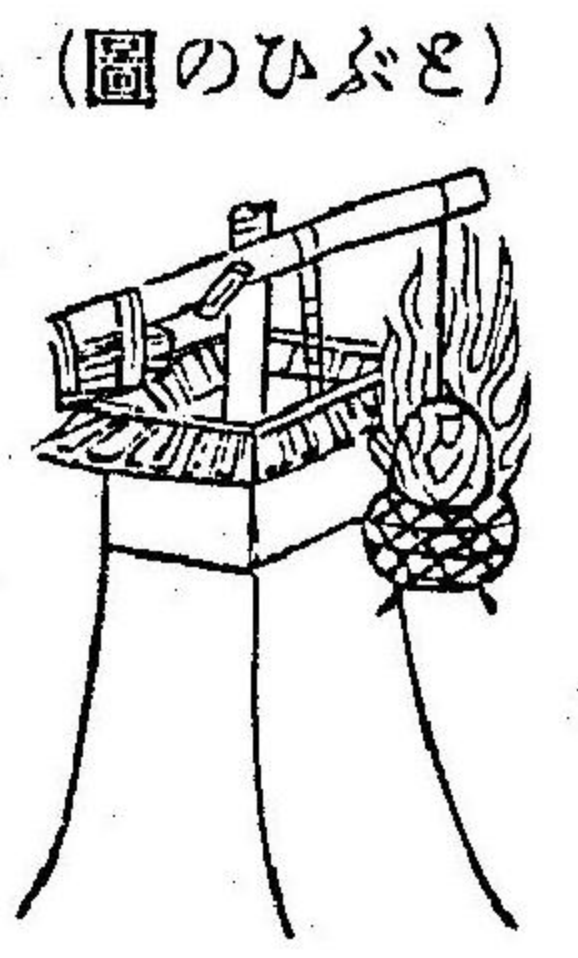
とくふ(名) 獨夫、ひとりもの、獨身者
 とくぶん(名) 得分、わけまへ、とりぶん
 とくこ(名) 獨鈞(密家の法具)
 とくご(名) 獨語、ひとりごと
 とくこつ(名) 獨骨、あたまぼね
 とくこう(名) 督工、ふしんぶぎやう、土木長
 とくこう(形) 篤厚、あつあつ、あつあつ
 とくてん 特典、格別のねほしめし、特旨
 とくあたり(名) 中毒毒に中てらるる事
 とくさ(名) 抵草、木賊、木解、ものをみがくべきくさ(植物)
 とくさ(名) 獨坐、ひとりすわる、ひとりをる
 とくさい(名) 秃某、のたいわう(植物)
 とくさい(名) 獨裁、ひとりきめ、擅制、獨斷
 とくさい(名) 獨裁政治、君主擅制政治をいふ
 とくさが(名) 孤草、貝、かひのな(動物)
 とくさつ(名) 毒殺、もりころす、燻殺、毒害
 とくさう 得喪、得失、よしあし
 とくさぎめ(名) 木賊、鮫、さめのたぐひ(動物)
 とくさん(名) 秃山、はげやま、童山
 とくさ(名) 德義、道徳、善徳、よきわざ、みち
 とくさ(名) 毒氣、害になる氣
 とくさ(名) 特許(格別の免許)
 とくさ(名) 獨居、ひとりをる、獨坐、獨住、ひとり
 すまふ
 とくさ(名) 毒魚、どくわうを
 とくさ(名) 鱧魚、かははぎ(動物)
 とくさ(名) 犢牛、特牛、こうじ(動物)

とくさ(名) 讀經(佛經をよむ)、看經
 とくきん 獨吟、ひとりずさみ
 とくめい(名) 特命、ことさらのたはせ(格別の命令)
 とくめい 匿名、なをかくせる、無名
 とくめい(名) 匿名書、無名書、ねとしぶみ、落書
 とくみ(名) 毒見(人に食て羞むる前に己自ら先味ふて毒の有無を驗する事)
 とくし(名) 特旨、格別なる天皇のねほしめし、特典、特恩
 とくし(名) 特使、特別の使、わざわざづかひ
 とくし(名) 特賜、格別のくだされ物
 とくし 篤志、あつあつ、こころざし
 とくし(名) 獨子、ひとりご
 とくし(名) 讀書、ほんよみ、ものよみ
 とくし(名) 蟬、くも(動物)
 とくし(名) 獨春鳥、よしごひ(動物)
 とくし(名) 得色、にたりがは、したりがは、とくらの
 いろ
 とくしつ 得失、せんねき、よしあし
 とくしつ 篤疾、たもきやまひ
 とくじつ(形) 篤實、すなは、まめやか
 とくじら(名) 沙蟲(動物)
 とくし(形) 特秀、ことにぬきんする
 とくし(名) 特赦、格別に罪をゆるす事
 とくし(名) 犢車、牛車、うしのひくくるま(御所車)
 とくじや 毒蛇、どくわうへび(動物)
 とくし(名) 獨酌、獨りにて酒を飲む事
 とくし(形) 特殊、ことなる、特別

とくし(名) 秃鷲、かぶろわし(動物)
 とくし(名) 毒酒、毒をいれたる酒
 とくし(名) 特出、ひとりぬきんする、ひいづる
 とくし(名) 得心、のみこむ、承知、納得(なつとく)
 とくし(名) 特審(別段の審問)、べつしらべ
 とくし(名) 獨身、ひとりみ、單身
 とくし(名) 督營、大將の居る陣營
 とくし(名) 督役者、みまはりやく
 とくし(名) 秃筆、ちびふで、ふるふで、きれふで、ばうす
 ふで
 とくし(名) 犢鼻褌、ふんどし、たふさき、なれぎぬ、で
 てら、したれば
 とくせい 德政、よきまつりごと、善政
 とくせい(形) 篤節、みさをただしき、まめやか
 とくせい(名) 督責、せめうながす、たひつかふ
 とくせい(形) 特選、ことさらのねらみ
 とくせい 得選、ねらまる
 とくせい(名) 獨占、ひとりでしめる、獨有
 とくせい(名) 鳥屋、策宿、柵房、柵、ねぐら、どりのとまること
 うち
 とくせい(名) 嗜嗜、嗷嗷、とよめきて、なむぎたち
 とくせい(名) 鳥屋尾氏
 とくせい(名) 脱毛、けがはりがする(鷹など
 が羽毛ぬけて一新するを云ふ)
 とくせい(名) 左右東西、かれこれ
 とくせい(名) 左右とやかう(上を見よ)

とくせい(名) 富山、外山、氏また地名
 とくせい(名) 鳥屋出(鳥の柵を出づる事)
 とくせい(名) 苫(菅茅等を編みて屋を覆ふ物)、蓬竹を編みて
 舟車を覆ふ物
 とくせい(名) 土間、つちのま、ゆかなし、又劇場の低き坐り
 處
 とくせい(名) 戸前、かど、いりくち、とぐち
 とくせい(名) 戸迷、ねぼけて方角を失ふ事
 とくせい(名) 外町(氏)
 とくせい(名) 碓泊、ふなかり、宿投宿、やどり
 とくせい(名) 止、をはり、とまり、宿直
 とくせい(名) 宿番、宿直、しくちよく
 とくせい(名) 宿鳥、ねどり
 とくせい(名) 暮鴉、やどりがらす、ねぐらにかへるか
 らす
 とくせい(名) 泊掛、やどるつもり、とまるつもり
 とくせい(名) 止宿屋、歌家、やどや、はたごや、旅宿
 とくせい(名) 泊宿、かかりふね
 とくせい(名) 止木、柵架、榎木、やどりき、鳥の
 とくせい(名) 塗抹、ぬりけす、けす、抹擦
 とくせい(名) 土毛(土産と謂ふ)
 とくせい(名) 苦屋、とまぶきのらへ
 とくせい(名) 窟、とまじむる、かねもちにする
 とくせい(名) 斗升(一斗を容るる樹)
 とくせい(名) 刺針、はり、刺(木等の)、そら
 とくせい(名) 時計、自鳴鐘、時辰表、時計器、時を計る器、とま
 ばかり

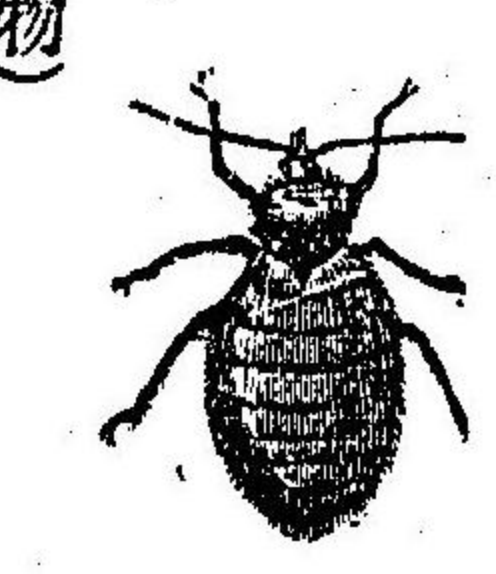
とけい(名) 圖形、ひながた、づがた、式樣
 とけい(名) 土圭日の晷を計る具、ひかげはかり
 とけい(名) 圖計、はかりごと
 とけい(名) 徒刑、懲役刑、つかひこらすばつ
 とけい(名) 時計函、時辰表函、とけいばこ
 とけい(名) 土荊芥、玉蘂花、西番蓮、ありたさう、るう
 ださう(植物)
 とけい(名) 土荊草、風車花、るうださう、「とけいがい」
 に同じ(植物)
 とけい(名) 時計師、鐘表匠、時器匠、とけいつくり
 とける(自) 解鎔、さける、洋、みづになる、消融
 とける(自) 遂、成就なる、できる、かなふ(望などが)
 とける(俗) 退、よける、のける
 とけつ 吐血、ちをばく
 とけあふ 解合、なかなほりする、和睦
 とけん(名) 杜鵑、ほととぎす(動物)
 とけんくわ(名) 杜鵑花、つつじ、さつき(植物)
 とふ(名) 都府、みやこ、都城、京師
 とふ(名) 妬婦、りんきをんな、嫉妬女、ねたみふかきをん
 な
 とふ(他) 問、詰問、訊問、たづぬる、さく。また訪、訪問、みま
 ふ、とひたづぬる
 とふ(他) 訪、訪問、みまふ、たづぬる
 とふ(自) 飛、蜚、翔、翹、飛、越、まふ、霏(雪等の)
 とぶ(俗) 街渠、溝渠、みぞ(汚水を流す)
 とぶろく(名) 濁酒、醜醜、泥、にごりざけ
 とぶがひ(名) 蚌、かひのな(動物)



とぶつ(名) 土佛、つちぼとけ
 とぶつ(名) 驚物、やくにたれたぬもの。にぶきもの、のろま
 とぶら(他) 平、吊、暗、くやみをいふ(死者の家等に)。訪
 とぶ(とむらふに似た)
 とぶら(名) 土風、ところのならばし、土俗
 とぶく(する) 屠腹、割腹、はらさる
 とぶくろ(名) 戸袋、板厨(戸をわくりいるる處)
 とぶくりやう(名) 土茯苓、刺楸茶、山地栗、かでぐさ(植物)
 とぶさら(俗) 漆溝、みぞさらひ、げすのさらひ
 とぶぎ(名) 杜父魚、かしふつ、かくぶつ、ちんこうを、ね
 まる、うしぬすびと(動物)
 とぶひ(名) 烽燧(往昔國境に
 寇の攻入りたる時用ひて
 相圖をなせし者) 燧、烽火、
 のろし
 とぶんでう(名) 吐蚊鳥、蚊母鳥
 鴨、つとどり(動物)
 とこ(名) 牀、床、ねどこ。又ゆか(笠船の)
 とこ(形) 常櫃、つね
 とこ(名) 屠戸、にくや、ももんじや、うしころし、屠兒
 とこ(名) 兎野、うさぎあみ
 とこ(名) 土壘、みみかきびる(動物)
 とこ(俗) 何處、いづこ
 とこいは(名) 常磐、とぎは(岩石の變せざるを云ふ)
 ところ(名) 所處、攸、ば、ぼしよ。また攸、所(關係代名詞に
 用ふ)
 ところ(名) 韓、韓、女裝やまいものたぐひ(植物)

ところばらひ(名) 所拂、追放、放逐、おひはらひ、退去
 ところどころ 處處、あちらこちら、はうばう
 ところがへ(名) 處替、はしよがへ
 ところがら(名) 處柄、ところのならばし、土風
 ところがき(名) 處書、なわて、わてな
 ところづら(名) 藪蓼、つるいも(植物)
 ところならはし(名) 土風、土俗、土地の風俗、どちがら
 ところのもの 土人、土地人、本地人、くにのもの
 ところてん(名) 石花菜、瓊脂、鶏脚菜、大凝菜、かんでん、こ
 ころぶと(植物)
 ところあふひ(名) 黃蜀葵(植物)
 ところせく或とこせきまで 所迫、ところせきまで、
 とこらうつばい
 とこはな(名) 常花、つねにさきさるはな、不斷花
 とこばなれ(名) 床離、ねわき、ねさいづること
 とこばしら(名) 床柱、このまのはしら
 とことは(形) 常住、永久、つねづね、とこしなへ
 とことはに(副) 長久、とこしなへに、いつまでも、かぎり
 なく
 とことう(名) 土鼓、藤にたまさき(植物)
 とこがま(名) 床框、とこがまへ、ねだいのわく
 とこよ(名) 常世、とこしへのよのなか
 とこよむし(名) 常世蟲、いもむし(動物)
 とこよのながな(名) 常世長鳴鳥、鶴と謂ふ
 とこよのくに 常世國、蓬萊山、仙地、仙人の居る地
 とこづれ(名) 眠瘡、とこづめ
 とこづめ(名) 眠瘡、破爛、長く病に臥て胸腹の床に當る所

とこなつ(名) 瞿麥、常夏、そでぬれぐさ、なでしこ、せきぢ
 く(植物)
 とこなめ(形) 常滑、つねになめらかなる
 とこむし(名) 鼠婦蟲、をむし(動物)
 とこ(名) 渡口、わたしば、わたり
 とこ(名) 杜公、くも(動物)
 とこ(名) 土侯、土地の豪族
 とこ(名) 土工、つちぶしん
 とこ(名) 土公神、つちのかみ
 とこのま(名) 牀間、座敷の少し引込たる處
 とこくじゆ(名) 杜谷樹、ひひらぎ(植物)
 とこやみ(名) 恆暗、常闇、とこしなへのくらやみ、まつく
 ちやみ
 とこ(他) 詛、のろふ、呪詛
 とこふる(自) 床齧、とこなれる(夫婦などが)ながくそふ
 とこぶし(名) 小蛇、鰻魚(動物)
 とこゆ(名) 常袖、たちばな(植物)
 とこめづらし(形) 常珍、長愛、いつもめづらしき
 とこみせ(名) 床店、浮舗、かたびさしみせ
 とこし(形) 常長久、いつも、かぎりなき
 とこしなへに「或とこしへに」 長、恆、終古、常時、ながく、か
 ぎりなく
 とこしらみ(名) 床蟲、なんざんむ
 し(動物)
 とこん(名) 吐根、はきぐすり(藥品) (圖の蟲床)
 とこんさう(名) 鈍根草、みやうが若荷(植物)



とて(名) 土堤、つつみ
 とてい(名) 徒弟でし門弟、門人、門徒
 とてつ(名) 途轍、みちすぢみち
 とてつもない(俗) 無途轍、とはうもない、もつてのほか
 とてら(名) 厚袍、あつわたいれ、ねまき、寝衣
 とてふ(名) 度牒、度僧牒、免許状、卒業証(僧徒の間に用ふる者)
 とても(副) 迎播、いかにしても
 とてん 渡天(天竺へ渡りゆくを謂ふ)
 とわみ(名) 投網、投て魚捕る網
 とわみ(名) 烏網、烏を捕る網
 とは 土佐(南海道中の國名)
 とはする 土坐、つちにすわる
 とは(名) 妬猜、ねたみ、そねみ
 とは(名) 賂債、ばくちのかり
 とは(名) 徒罪、徒刑に同じ
 とは(名) 吐劑、はきぐすり
 とは(名) 驚才、にぶきもの、のろま、鈍才
 とは(名) 奴儂、やつばら、やつら
 とはは 戸澤(氏)
 とは(副) 雜選、とやとや、れしかへして
 とは(名) 朱冠、鷄冠、鳥冠、毛冠、鳥幘(鷄等の頭の赤き肉)
 とは(名) 冠雞草、雞頭花、けいとう(植物)
 とは(名) 鷄冠菜、とりさかのり(植物)
 とは(名) 屠殺、ほふりころす、屠戮
 とは(名) 土葬、死人を土の中に埋むること

とら(名) 土藏、ぬりごめ、つちぐら
 とら(名) 帑藏、かねぐら、金庫
 とら(名) 混雜、とりこみ、まぜこぜ
 とら(名) 外様譜代の旗本に非る國司を謂ふ
 とら(名) 曲曲、東行南行、あわかう、このやうあのやう
 とら(名) 土佐節(土佐國より出づる鯉節也)
 とら(名) 楸(植物)
 とら(名) 鎖關、としまり(門戸の)扇、とぼそ
 とら(名) 土左衛門、溺死人、たぼれしにびと
 とら(名) 土蓋、かはらけ
 とら(名) 土産、地質、産物(其土地に産する所の物を云ふ)
 とら(副) 塗置、けす、ぬりけす
 とら(名) 北向(氏)
 とら(名) 都畿(五畿内を云ふ)
 とら(形) 疾速、敏過、駛、銳敏、敏慧、敏捷、銳利、迅速、はやき、すみやか
 とら(氏) 土岐(氏)
 とら(名) 妬氣、ねたげ、ねたみぎ
 とら(名) 吐氣、はきけ、はくきみ
 とら(名) 時辰、刻節、時期、時候、じかん
 とら(名) 鯨波、めづ、とぎのこゑ
 とら(名) 菟葵、いちげさう、いへにれ、せつぶんさう(植物)
 とら(名) 齋、ひじ(供養の食膳)、又ふるまひ(寺の)、又くひもの(僧の)
 とら(名) 鶉、朱鷄、紅鷄、桃花鳥(動物)

とら(名) 側侍、坐者、そばにすわるもの、あひて(病人等の側侍する者をも謂ふ)、ねまのとき、よるのあひて
 とら(名) 刺、とげ、刺はり
 とら(名) 怒氣、はらたち、いかりのみ
 とら(名) 土器、かはらけ、瓦器、つちのうつは
 とら(名) 土妓、土娼、ところのねやま、とちちようら
 とら(名) 正銀、うすもいろ
 とら(形) 常葉、常磐、長青、つねにあをき(樹が)
 とら(名) 常盤井(氏)
 とら(名) 通泉草(植物)
 とら(名) 常盤、常盤石、常石、とこしなへにかはらま
 とら(名) 野木瓜、ひべ(植物)
 とら(名) 常葉木、常磐木、長青樹、常青木、常綠樹(年中葉の落ぬ樹)
 とら(副) 干時、干のとき、ころしも
 とら(名) 解剖、とさわける
 とら(名) 伽婢子、露拂、あまがつ(天倪)
 とら(名) 解部、あらかじめ、さばきするひと、さばきびと
 とら(名) 磨滅、みがきへらす
 とら(副) 時時、をりをり、よりより、ままた
 とら(副) 悻悻、悻悻、むねとどろく
 とら(名) 磨皮、研革、磨刀皮、磨刀革、刀削(刀等をとぐ革)
 とら(名) 時代、じせつ、じだい
 とら(名) 渡御(天子の來臨を云ふ)

とら(名) 蠶魚、しみ、ほんくひむし(動物)
 とら(氏) 常田(氏)
 とら(名) 時絶、とだね、斷續
 とら(名) 時津風、時風(海上にて時を定て吹く風)
 とら(名) 半時、とぎのなかば
 とら(名) 不時、非時、とぎにあらぬ、臨時
 とら(名) 屠牛、うしをはふること、うしころし
 とら(名) 屠牛場、うしころしば、ほふりば
 とら(名) 菟葵之地(老て隱居する場所)
 とら(名) 前中書王が遜世の賦にして本朝文粹に見ゆ
 とら(名) 駿馬、逸馬、驥はやうま(動物)
 とら(名) 土牛兒、かたつぶり(動物)
 とら(名) 更鐘、ときつぐるかね
 とら(名) 時氣、時疫、えやみ
 とら(名) 凱歌、凱波、雄詰、闘、をたけび
 とら(名) 解櫛、梳、とかしぐし
 とら(名) 吐逆、はく、もとす、嘔吐
 とら(名) 齋米、ひじごめ、てらのめしのこめ
 とら(名) 説伏、いひふせる、いひまかす
 とら(名) 説明、説明、とさわけ、釋義、解釋
 とら(名) 説明、説明、あきらかにする、とさわくる
 とら(名) 朱蘭(植物)
 とら(名) 菟葵希、いそぎんちやく(植物)
 とら(名) 解衣、はききたるきぬ
 とら(名) 時榮、とさをえる、さかんにある、さかえる

とぎし(名) 礪師磨工、とぎや、とぎもの
 とぎしく(形) 常時、いつもある、とぎしなへ
 とぎしく(副) 常常たねず、いつも、とぎしへに
 とぎひ(名) 齋非時(法事の供膳)、そうにあたふるふる
 まひ
 ときもり(名) 時守、守辰丁(漏刻即ち時計を司る人)
 ときすめる(他) 徳徳、すすめこむ、いざなふ、勸告
 ときん(形) 鍍金、めつき、きんながし
 ときん(名) 頭巾、兜巾、頭襟、修験者の帽、やまぶしづきん
 ときんいばら(名) 茶藨、茶藨花(植物)
 ときんけい(名) 吐錦鶏、吐綬雞、真珠雞、功曹、辟株、七面鳥、
 からくんでう(動物)
 ときんさう(名) 石胡荽、はなひりぐさ(植物)
 ときんし(名) 鍍金師、めつきし
 とゆけのみや 豊受宮、伊勢外宮をいふ
 とめ(名) 留止、とどまり、とまり、とどむること
 とめ(名) 姥、れうな、うば
 とめば(名) 止場、禁場、獵を禁じたる場所
 とめば(名) 制齒(車の)、わどめ
 とめばり(名) 留針、釘頭針、鼓繩針、とめにさすはり
 とめばりし(名) 留針師、とめばりつくり
 とめど(俗)(名) 止所、とどまりどころ
 とめちやう(名) 留帳、止帳、ひかへちやう
 とめる(他) 止留、とどむるをみよ
 とめるいへ 富家、豪家、かねもち
 とめれき(名) 留置、拘留(警察署等に罰として留められ
 る事)、又とどめれくこと(一般)

とめがね(名) 扣釦、ぼたんがね
 とめつ(する)(他) 塗滅、ぬりけす、なすりけす
 とめく(自) 暗闇、がやがやいふ、やかましくある
 とめぐるま(名) 制輪、わどめ
 とめや(名) 止矢、とどめさすや
 とめやま(名) 禁山、獵を禁じたる山
 とみ 迹見(氏)
 とみ(名) 富、富有ゆたかなること、かねもちなること
 とみ(名) 白鶴票、富(無盡の類)
 とみに(副) 頓、はかに、すぐに
 とみぞみ(副) 曇曇、天氣の曇れる貌
 とみかふみ 兎見角見、左見右見(いろいろにながめみる
 こと)
 とみた 富田(氏)
 とみれば 但見、ちよつとみれば
 とみなが 富永(氏)
 とみのこうち 富小路(氏)
 とみくさ(名) 富草、稻、いね(植物)
 とみくじ(名) 富籤、とみのくじ、白鶴票無盡の類
 とみみ(名) 聴耳、はやみみ
 とみん(名) 士民、いやしきたみ、賤民、百姓、たみ
 とし(名) 徒士、かち(舊幕時代の士の身分の名)
 とし(名) 徒死、いぬじに、むだじに
 とし(名) 年、歳、季、稔(三百六十五日の一週)
 とし(名) 賭子、かけことし、ばくちうち
 とし(名) 都市、みやこ
 とし(名) 菟絲、ねなしかつら(植物)

「とし」 菟子、ひちこ(氏)
 とし(名) 塗師、ぬしや
 とし 刀自、主婦、主婦婦人の尊稱
 とし(名) 屠兒、た、たどり、けものころし、かはし
 とし 途次、みちすがら、みちのついで
 とし 共、どち、あひどもに
 としいくさ 同士軍、なかまいくさ
 としは(名) 年積、としかす
 としは(名) 鳥柴、たもぎ、鷹の捕りたる鳥を附くる棒
 としは(形) 年長、としまさり
 としは(名) 年榮、としさか
 としどくじん 歳徳神、としのかみ(其年と守る神)
 としり(名) 臘、をじし、あぶらしり、ひつたれ(鳥の尾の上
 の肉)
 としれとこ(名) 歳男、新年の始に儀式を執行する男
 としわか(形) 年若、青年、少年、としはのゆかぬ
 としわすれ(名) 年忘、分歳、別歳、忘年會(十二月の末に其
 年を送る爲に設ける酒宴)
 としかへる 改年、改曆、としわらたまる、としかはる
 としかさ(形名) 年長、年重、としばい、又年の數
 としよ 圖書、とつ及ふみ、圖書と書籍
 としより(名) 年老、老年、黄耆、老、としれい、又長老、父老
 としよりこ 老年子、れいこ
 としよりこひ(名) 鴈鳩、やまばと、ふふどり、鶺鴒、鶺鴒布
 穀(動物)
 としより(名) 杜松、よれねづ、むろひば(植物)
 としより(名) 杜松子(植物)

としよく 蠶蝨、すむしがくふ
 としよく(名) 徒食、るぐひ、あそびぐひ
 としよくわん(名) 圖書館、書籍館、文庫(文書圖書の類を
 徧く陳列する館)
 としたかき(形) 年高、年闊、としいたる
 としたま 年玉、歳贊(年始の進物)、としはじめのれくりも
 の
 としたけ 年長、としよる、年高
 としなみ(形) 歳次、年次、としせし、としごと
 としうち(名) 同士、討、みかたあらし、ひ
 としのいち(名) 年市(年の終に來春元旦の用具を賣る市)
 としのはじめ 年始、年頭、年甫、歳首
 としのをはり 年終、歳末、歳暮、としのくれ
 としのくれ 年暮、歳末、歳暮終歳、年尾、年抄
 としく(名) 兎宿、たまをのはし(星宿の名)
 としや(名) 屠者、屠兒、はふりて、うしころし。た
 としや(名) 吐瀉、はきくだし
 としや(する) 圖寫、えがきうつす
 としや(名) 土砂砂の類、又つちすな
 としやう(名) 塗匠、かべぬり、左官
 としやう 登城、しろにのぼる(將軍の城に參るを謂ふ)、登
 營
 としやう(名) 土娼、土妓、とちぢやうち、ぢごく
 としやう(名) 土匠、あなぐらだいく
 としやう(名) 泥鰌、とせう(動物)
 とじやうさん(名) 土常山、あまぢや(植物)
 とじやく(名) 杜若、やぶみやうか(植物)

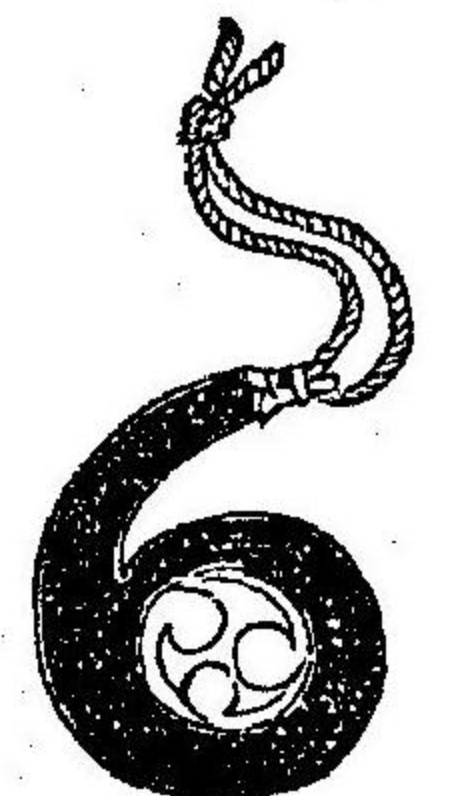
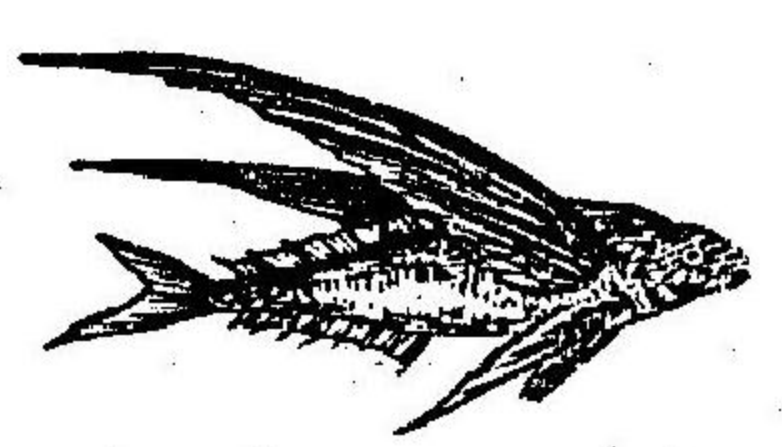
としま(俗)名形) 年増(二十五歳位以上四十五歳位以下)
 の女をしか言ふ)
 としま 豊島敏馬、外島氏)また(地名)
 としまり(名) 戸緘戸鎖とさしかたむること(家を)
 としと(名) 年子(一年の内に復生する子)
 としとろ 年来、あまたとし、としながく、比年
 としとど 毎年(まいねん)、毎歳、としとし
 としとこ(名) 年越、としこゆること
 としとひまつり 祈年祭(年の豊吉を祈る祭)
 としこもる(自) 閉籠、閉居、蟄居、籠居、こもりていでぬ
 としざかり 壯年、さかりとし
 とじさん(名) 兎兒傘、たいしんがさ、てんにんがさ、もみ
 ちがき(植物)
 としざり或としざれ(名) 年切(果木が果を結ばぬ年、み
 のならぬとし、やすみとし)
 としきみ(名) 鬮戸道、しきむ
 としゆ 徒手、からて、空拳、むなしで
 としゆ(名) 土朱(赤き繪の具)
 とじゆけい(名) 吐綬、吐錦、うみきじ、からくんでう、
 しちめんでう(動物)
 としゆせき(名) 土酒石(薬品)
 としみ(名) 精進、しやうじんをとし、しやうじんあがり
 としじ(名) 兎絲子、ねなしかつら(植物)
 としじり(名) 益智子(植物)
 としした(形) 年少、幼麩、としすくさき
 とじべう(名) 兎兒尾苗、るりとらのを、はくせんさう
 (植物)

としん(名) 兎脣、いぐち、みつうち
 としん(名) 土參、ちくせつにんじん(植物)
 としん(名) 蠶臣(不忠貪婪の臣を謂ふ)
 としん(名) 妬心、ねたみごころ
 としん(名) 土人、ねたみごころのもの
 としんじ(名) 都人士、みやこびと、みやびびと
 とはい(名) 土榮、すすき(植物)
 とえう(名) 土曜(七曜の一)
 とえうにち(名) 土曜日(一週の最後の日)
 とえん(名) 妬怨、ねたみのうらみ
 とえんくわん(名) 吐烟管、けむりだし
 とえんさつ或えんさつじ(名) 兎園冊、兎園冊子(經にも
 史にも非ざる書を云ふ)
 とひ(名) 訪、訪問、みまひ、とひたづね(安否の)
 とひ(名) 戸廻、かけひ(水を引く管)
 とひ(名) 徒費、むだつかひ、いたづらにつひや
 す、浪費
 とひ 都鄙、みやこひな、みやこひなな
 とひ(名) 問、たづね、諮問、とひたづね(事件の)、さくこと、
 疑問
 とひ(名) 鶯、鶯、鶯、鶯(動物)
 とひ(俗)名) 鶯、とひのもの、消火夫、消防夫、しごとし
 とひ 土肥(氏)
 とひ 奴婢(ぬひ)をとしもべ及をんなしもべ
 とひ(名) 茶藨、とさんいばら(植物)
 とひ(名) 除離、にぎりさげどぶろく
 とひいろ(名) 鶯色、褐色、赭色、茶褐色

とびいる(自) 飛入、とびこむ
 とびいし(名) 歩石、あゆみいし、踏石(庭園の)
 とびはちぢやう(名) 飛八丈(織物の名)
 とびはなれる(自) 飛離、とびのく、又とほくはなれる
 とびち(名) 飛地(此處彼處にとびとびに在る地)
 とびちがふ(自) 飛違、とびてゆきちがふ、趨錯
 とびたりる(自) 飛下、とびくだる、躍下
 とびわたる(自) 飛渡、とびこす、躍超
 とびかへる(自) 飛反、躍還、はねかへる
 とびかか(自) 飛掛、飛躑、扑向、跳進、狛はせかか
 とびかける(自) 翱翔、翻翻、まひかける(鳥が)
 とびかふ(自) 飛交、とびてゆきかよふ(鳥等が)、とびちが
 ふ
 とびたつ(自) 飛立、躍起、とびあがる
 とひたづねる(他) 問、尋、さきただす、きく、訊問
 とひつ(名) 土筆、つくづくし、つくし(植物)
 とびつく(自) 飛着、とびかかるとびすが
 とひつめる(他) 詰問、とひなじる
 とびら(名) 鬮、扉、門、扇、ひらき、門等の)
 とびむし(名) 水蟲(動物)
 とびうを(名) 飛魚、文鰩魚(空を飛ぶ
 魚)(動物)
 とびのをと(名) 鳴尾琴(樂器)
 とびのく(自) 飛退、とびしりぞく
 とびのもの(名) 鶯者、しごとし、ひけ
 し、消防夫、救火夫
 とびぐち(名) 鶯口、鶯賀(火事場にて物

とびくた(自) 飛下、とびをりる、躍下
 とひや(名) 問屋、會屋、大舖、全賣商、とひまる、ねろしうり
 あきんぞ
 とひやば 問屋場、たば(宿驛の)
 とひまはる(自) 跳回、躍回、はねまはる
 とひまる(名) 問丸、とひや、とんや
 とびこむ(自) 飛込、とびいる、躍入
 とびこし(名) 跳越、はねこゆる、躍越
 とびこゆる(自) 跳越、はねこゆる、躍越
 とひわはする(他) 問合、ささわはする、うちわはする、照
 會
 とびあがる(自) 飛上、飛揚、まひのぼる(鳥の)
 とびさる(自) 飛去、まひうせる、奔去、はしりさる
 とびきり(形) 飛切、極上、極上等
 とびにひ(名) 海鰩魚、とびうを(動物)
 とびひ(名) 飛火、とびはしるひ
 とびん(名) 土瓶、やきものびん
 とも(名) 友、朋、朋友、伴侶、ともだち、なかま、つれ、倫
 とも(名) 鞆、鞍、鞍、鞍にかけて
 弓弦をよける具、ゆみ
 とも(名) 攝津國住吉社藏
 とも(名) 艦、船の後頭を云
 (圖)の鞆
 ふ、船尾
 とも(名) 跟班、從者、從屬、ともびと、列、部從、ともまはり、
 つまびと
 ともに(副)又後置詞) 共、俱、與、偕、いっしょに、もろとも

(圖)の魚飛



ともどもに(副) 共共、もろともにも
 ともり(名) 燃、炷、點、火の、もに、もに、かた
 ともり(名形) 吃、饗、ことどもり、誦、ことばつかへる
 ともる(自) 燃、もゆる、炷、燈等が
 ともがら(名) 輩、曹、黨、儕、黨、與、な、かま
 ともがき(名) 友、垣、した、しき、とも、親、友
 ともだち(名) 朋、友、友、生、曹、黨、儕、侶
 ともぞうへ(名) 部、從、ごう、せい、とも、ま、は、り
 ともづな(名) 纜、綱、繩、舟の、とも、の、な、は
 ともね(名) 同、義、そ、ひ、ね、ひ、と、つ、ね
 とももの 友、野、氏
 ともりの(名) 從、騎、とも、の、う、ま、の、り
 ともくかう(名) 土、木、香、も、つ、か、う、た、は、ぐ、る、ま、植、物
 ともやぐら(名) 鱗、櫓、船、尾、樓、舵、樓、ふ、ね、の、う、し、ろ、の、や、ぐ
 ともまはり(名) 供、廻、部、從、ごう、せい、とも
 ともふね(名) 同、船、も、あ、ひ、ふ、ね
 ともさる(自) 横、斷、行、列、とも、を、よ、こ、さ、る、(大、名、あ、の、) 犯
 雨、澤、天、子、の、
 ともしら(名) 借、白、髮、借、老、死、ぬ、ま、で、そ、ひ、と、ぐ、る、事、を、い、ふ
 ともしまつ(名) 燃、松、たい、まつ、松、明
 ともしあふら(名) 燈、油、あ、ん、ど、ん、あ、ふ、ら
 ともしび(名) 燈、火、燈、火、燭、あ、か、り
 ともえの(名) 巴、紋、紋、の、名
 ともびと(名) 從、人、從、者、とも、す、る、ひ、と
 ともす(他) 燃、燗、炷、とも、ら、せ、る、つ、け、る、(あ、か、り、を、)
 とせ(名) 年、と、し、歳

とせい(名) 渡、世、な、り、は、ひ、よ、わ、た、り、商、賣、營、業
 とせい 土、星、七、曜、星、の、一
 とせつ(する) (他) 吐、絶、ふ、さ、ぐ
 とせう(名) 鱒、鱒、鱒、泥、鰍、(河、沼、に、を、る、鰻、の、如、き、小、魚、(動、物))
 とせふ(する) 徒、涉、か、ち、わ、た、り、す、る
 とせん(名) 徒、跳、は、だ、し、か、ち、は、だ、し
 とせん(名) 賭、錢、か、け、せ、ん、(博、奕、の、)
 とせん(名) 渡、船、わ、た、し、ぶ、ね
 とせん(形名) 徒、然、つ、れ、つ、れ、た、い、く、つ
 とする(他) 吐、は、く、も、ど、す、嘔、吐、い、ひ、い、だ、す
 とする(他) 度、濟、度、す、る、解、脫、せ、し、む、る、す、く、ふ、僧、に、す、る
 とすう 度、數、た、び、か、ず、か、ず
 とすう(る) (俗) 形 暗、黒、わ、る、く、く、ろ、い
 とすう(る) (俗) 濁、聲、に、ご、り、ご、ろ、だ、み、ご、ろ
 とすわかひ 暗、赤、わ、る、く、あ、か、い
 とん(名) 墩、こ、や、ま、(小、丘、だ、い、臺)
 とん(名) 頓、一、頓、は、我、が、二、百、七、十、二、貫、三、百、八、十、四、匁、に、當
 〔英語〕
 とん(形) 鈍、に、ぶ、き、の、ろ、ま、れ、ろ、か
 とん(名) 殿、(の) の、訛、に、し、て、常、に、卑、き、者、を、呼、ぶ、に、用、ふ
 とんいん(する) (他) 搭、引、ひ、き、す、る、撈、引
 とんろ(名) 遁、路、に、げ、み、ち、の、が、れ、み、ち
 とんに(副) 頓、と、み、に、は、は、か、に
 とんは 噉、哺、あ、け、く、れ、朝、暮
 とんぼ(名) 蜻、蛉、蜻、蛉、胡、蝶、赤、卒、胡、蝶、蝶、娘、や、ん、ま、(動、物)
 とんぼ(名) 筋、斗、斤、斗、さ、か、さ、が、へ、り、さ、か、さ、だ、ち

とんぼう(たま) (名) 猫、睛、石、お、の、め、い、し、(石、の、名)
 とんぼく(形) 敦、朴、あ、つ、く、す、な、を、す、れ、て、を、ら、ぬ、を、と、な
 しき
 とんへい(名) 頓、病、と、ん、び、や、う、に、は、か、や、ま、ひ
 とんべい(する) (他) 吞、併、あ、は、せ、と、る、(他、人、の、國、を、) 併、吞、
 兼、併
 とんど(俗) (副) 頓、さ、つ、ば、り、ま、る、で
 とんどく(する) (自) 遁、匿、の、が、れ、か、く、る
 とんとん(名) 銅、味、は、ど、は、ど、(斤、を、叩、く、音)
 とんとん(名) 關、關、鑿、鑿、太、鼓、の、聲
 とんち(名) 頓、智、機、智、頓、才、(た、ち、ま、ち、に、う、ま、い、か、ん、が、へ、
 する、ち、か、ら、し)
 とんちう(する) 屯、駐、あ、つ、ま、り、と、ま、る、た、む、ろ、す、る
 とんちやう(名) 綬、帳、や、す、し、ば、る、下、等、劇、場
 とんちやう(名) 狹、腸、草、ひ、る、が、は、植、物
 とんちやく(する) 貪、着、か、ま、ふ、さ、に、か、く、る
 とんちき(俗) (名) 頓、痴、氣、と、ん、ま、の、ろ、ま
 とんが 嫩、芽、わ、か、め、や、は、ら、か、さ、き、の、め
 とんが(る) 嫩、芽、わ、か、め、や、は、ら、か、さ、き、の、め
 とんかう(する) 腎、行、い、さ、る、す、り、あ、る、く
 とんかく 鈍、角、に、ぶ、き、か、ど、す、る、と、か、ら、ぬ、か、ど
 とんかふ(名) 遁、甲、占、卜、の、法、の、名
 とんがめ(名) 泥、盤、す、つ、ば、ん、(動、物)
 とんかん(名) 鈍、漢、に、ぶ、き、を、と、こ、鈍、物
 とんよう(名) 腎、懸、い、し、き、ば、す
 とんよく(名) 貪、欲、が、う、よく、よく、ば、り
 とんだ(形) 嫩、懦、や、は、ら、か、さ、よ、は、き、め、め、し、き
 とんたう(する) (他) 搭、倒、ひ、き、た、ふ、す

とんたう(する) (自) 遁、逃、に、げ、る、の、が、れ、る
 とんたう 鈍、刀、に、ぶ、き、か、た、な
 とんたく(俗) (名) 休、日、やす、み、び、日、曜、日、安、息、日
 とんれう(する) (他) 頓、了、は、やく、と、る、す、く、の、み、こ、む
 とんそう(する) (自) 遁、走、に、げ、は、し、る
 とんそく 頓、足、あ、し、を、ふ、む、つ、ま、づ、く
 とんそん(する) (他) 遁、進、の、が、れ、さ、く、る
 とんづまり(俗) (名) 最、後、終、結、を、は、り、は、て、結、局
 とんねる(名) 蹊、道、は、り、ぬ、き、み、ち、(英、語、用、道)
 とんな(俗) 何、様、い、か、な、る
 とんらう(しやう) (名) 貪、狼、星、北、斗、星、の、一
 とんぐり(名) 椽、質、團、栗、無、食、子、か、し、の、み
 とんくわ(する) (自) 敦、化、よ、き、な、ら、は、し、に、か、は、る、よ、き、に
 あ、ら、た、ま、る、(風、俗、が、)
 とんくわい(する) (自) 屯、會、よ、り、あ、つ、ま、る
 とんぐわん(形) 鈍、頑、に、ぶ、く、か、た、く、な
 とんぐう(名) 頓、宮、行、宮、か、り、み、や
 とんやう 鈍、痒、む、づ、か、ゆ、き、こ、と
 とんま(俗) (形) 頓、間、の、ろ、ま、ば、か
 とんけん(名) 貪、慳、む、さ、ぼ、り、よ、く、ば、り
 とんぶり(名) 井、深、孟、ふ、か、さ、ざ、ら、ま、た、各、物、を、水、に、投、ず
 る、聲、)
 とんぶつ(名) 鈍、物、に、ぶ、き、も、の
 とんぶ(名) 頓、悟、は、や、さ、ど、り
 とんこう(形) 敦、厚、あ、つ、き、風、俗、等、が、)
 とんこん 鈍、根、に、ぶ、き、こ、ろ
 とんで(る) (俗) (形) 案、外、も、つ、て、の、ほ、か

どんてん 曇天、くもりぞら、あまぐもり
 どんご(する) 他 頓挫文章の轉變を謂ふ
 どんご(名) 縹袍、つづれ衣服の
 どんざい(名) 頓才、はやぢ、頓智
 どんざい(する) 自 屯在、たむろする
 どんざい 嫩菜、わかな
 どんざい 鈍才、にぶきこころ
 どんざつ(する) 自 屯割、たむろする
 どんざく 頓作、はやつくり、すまにづくること(詩歌等を)
 どんざく(名) 豚糞、ふたごや
 どんさん(名) 呑酸、わくび、暖氣
 どんさよ(形) 頓達、にはか、たちまち
 どんぎよ 敦園、はらたつ、いさまく
 どんぎよ(名) 豚魚、ふく(動物)
 どんきよもの(名) 頓達者、わけてもの、とぼけもの
 どんきん(名) 噸听、あさひ、旭日、朝暾
 どんめつ(する) 他 呑滅、のみはろぼす
 どんじ(名) 頓死、にはかじ、暴死
 どんじ(名) 嫩紫、わかむらさき
 どんじ 嫩枝、わかえだ
 どんじ(名) 遁辭、にげことば
 どんじ 豚兒(無用の兒、我子と人に言ふ時に用ふる謙遜の辭)
 どんじよ(名) 屯所、たむろじよ
 どんじよ(名) 鈍書、にじりがき、にぶがき
 どんじようぼだい 頓證菩提、ただちにはとけになる
 どんじよく(する) 呑食、のみくらふ

ち

どんじよく(名) 鈍色、にびいろ、にぶいろ
 どんじや 頓寫、はやうつし
 どんじやく(形) 嫩弱、やはらか、みづみづしき
 どんじふ(する) 自 屯集、たむろする、むれぬる、あつま
 る
 どんじふ(する) 屯聚、たむろしをる、あつまりをる
 どんじさう(名) 鈍耳草、たほそべりびゆ(植物)
 どんじき(名) 屯食、つみいひ(食品)
 どんじゆ(する) 自 屯守、たむろしてまもる
 どんじゆ(する) 頓首、ぬかづく、低頭、かしらをとぐる
 どんじゆ(名) 屯戍、たむろがため(兵卒の)守衛
 どんじゆつ(する) 遁出、のがれいづる
 どんじんち 貪瞋痴、むさぼり、いかり、ねろかさ
 どんえい(名) 屯營、たむろところ(軍人の)
 どんえん 呑冤(無實の罪をしのぶ)、うらみをのむ
 どんびかつば(名) 鷲合羽(羅紗合羽の類)
 どんびだこ(名) 鷲風、どんびがたちのいかのぼり
 どんせい 遁世、避世、よそのがる
 どんせい(名) 一する(他) 呑噬、のみかむ、かみくらふ
 どんす(名) 緞子(織物の名)
 どんすい 貪睡、ねむりをむさぼる、ねむたがる

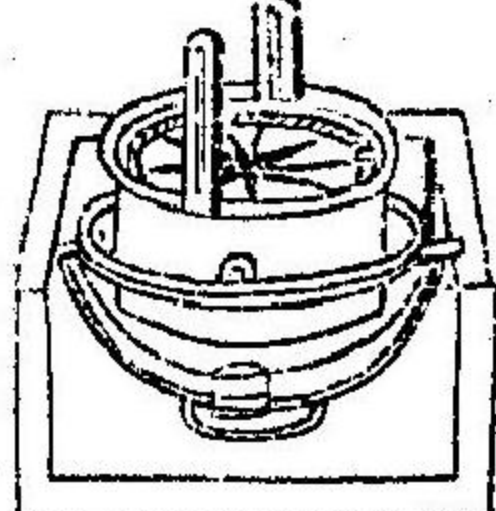
ち ナ、知、智、千、持、地 是は「つ」の父音と「い」の母韻と合して生ずる音にして五十韻中にては第四行第二段に位す

ち(名) 地、つち、地球、ところ、ば
 ち(名形) 智、ちゑ、さどりのちから、才
 ち(名形) 千(十百を謂ふ、又大多數の稱に用ふ)
 ち(名) 治をさまり、泰平、まつりごと、政事
 ち(する) 他 治、平治、をさむる、なをす
 ち(名) 血、ちしは(脈管をめぐる赤き流動物)
 ち(名) 乳、ちち(乳房より出る流液、奶)
 ち(名形) 癩、ねろかさ、ぐち
 ち(名) 蟻、みづち(動物)
 ち(名) 襪、旗幕等の、とほしわ
 ち(名) 茅、ちがや、かや(植物)
 ち(名) 致、ねもむき、意匠、ところぐみ
 ち(名) 痔、しりのやまひ
 ち(名) 路、みち、ねはぢ等をいふ
 ち(名) 地衣、こけ(植物)
 ち(名) 地位、くらゐ、ゐどころ、たちどころ
 ち(名) 雉鷲、さぢ(動物)
 ち(名) 祖父(父の父)、ちぢ
 ち(う) 名 置郵、しくつき、しくば、つぎたてば(郵便等の)
 ち(い) 名 血忌日(曆中の一凶日の名)
 ち(いん) 名 知音、したしきしりあひ、したしきなかのど
 も、知己、たのれをしるもの
 ち(ろ) 名 地爐、ゐちり、ろ
 ち(ろり) 名 酒注、さけつき、銚籠、てうし(酒器)
 ち(ろう) 名 血漏、ねがち(婦人月経病)
 ち(ろう) 名 痔漏、痔の病、しりのやまひ

ち(ろく) 名 油盡、いんじくつば、肉池
 ち(ば) 名 千葉(氏また地名)
 ち(ばち) 名 地蜂(動物)
 ち(はり) 名 王孫草、日功草(植物)
 ち(ばれもの) 名 乳癌、乳癰、ちちのはれあがり
 ち(はつ) 名 薙髮、かみをとる、剃髮
 ち(ばな) 名 茅針、つばな、かやのはな(植物)
 ち(ばなれ) 名 乳離、斷乳(小兒が哺乳を止むる事)
 ち(はら) 名 地方、ところ、土地、又、なな
 ち(はらくわん) 名 地方官、ぢかたやく(縣令知事の類をいふ)
 ち(はうせい) 名 地方税(其地方限に取たつる税金にして國税と異なり)
 ち(はく) 名 地柏、まつばらん(植物)
 ち(ばくさう) 名 地麥草、ちぶし(植物)
 ち(はや) 名 裨衣、はふりめのころも、れいづる
 ち(はやふる) 名 千劍振、千劍破、千早振(神と言ふ枕語にて威光の著しさを謂ふ)
 ち(ばしる) 自 血走、血射ちがはしる、ちがわたる
 ち(ばん) 名 地盤、ぢならし、ぢどり
 ち(ぼ) 名 遲暮、ゆふぐれ、たそがれ
 ち(ぼかさ) 名 茅蒲笠、女の笠の名
 ち(ぼそ) 形 地細(帛布の地絲細くして緻密なるを謂ふ)
 ち(ぼう) 名 智謀、智略、かしこきはかりど
 ち(ぼく) する 自 躡踏、つまづきたふるる
 ち(へい) 名 形 治平、清平、泰平、ねだやか
 ち(へい) 名 地平、水平(眼界の中に入來る所の平面)

ちへいけいぎ 地平儀(羅經)
 の一種にして其装置は常
 用の羅經と大同小異なり
 此器の用は日月星の高度
 等を測りて磁石針の差を
 驗するに在り

(圖の儀經平地)



ちべつと 西藏(また)圖伯特と書く、亞細亞の一國にして
 支那と印度の間に在り
 ちへん 池邊、いけべ、いけのはどり
 ちべん(する)他 答鞭、むちうつ
 ちど(副) 些、少、僅少、すこし、いささか、聊
 ちどり(名) 千鳥、水喜鳥、衛みづどりのな(動物)
 ちどり(名) 地取(相撲に言ふ所)けいこすまふ。したどり
 ちどり(名) 地準、ぢならし(建築の爲の)ぢわけ
 ちどう(名) 地頭、ぢところのかみ、つかさ、領主
 ちどうてんわう 持統天皇(人皇第四十二代の女帝)
 ちどめ(名) 止血、止血藥、ちどめるもの
 ちどめぐさ(名) 鷄骨草、石胡荽、積雪草(植物)
 ちどせ 千歳、千年、ちまたのとし
 ちどん(形) 癡鈍、ねろか、ぐづつく、痴鈍、遲鈍、にぶき
 ちち(名) 父、家父、家嚴、阿爺、賤、ちちれやてれや
 ちち(名) 乳、ち奶、又ちぶさ、乳房、婦女の、脱
 ちち(形) 稚稚、みづみづしき、わかやか
 ちち(形副) 遲遲、ゆるゆる、ところ、緩緩
 ちぢ(形副) 千千、いろいろ、もろもろ
 ちぢ(名) 祖父、おぢ
 ちぢ(名) 耆老、老翁、ねきな、としより

ちちすひ(名) 哺乳類(赤兒に牛乳等を飲する器)
 ちち(名) 地理(土地の筋道山川土地廣狹等を謂ふ)
 ちち(名) 塵、埃、塵埃、ほこりごみ
 ちち 智利(南亞米利加の一國)
 ちりはらひ(名) 塵掃、はたき、ちいはい、また塵尾
 ちりばめる(他) 鍔鐔、鏤彫、はる、る、る、る、る、る
 ちりぼし(名) 井宿二十八宿の一也「せいしゆく」をみよ
 ちりどり(名) 塵取、ごみどり、箕塵、塵斗、糞斗、塵拈
 ちりぢり(副) 散散、ばらばら、散乱する貌
 ちりをいづ(自) 出塵、よをのがれる、逐世
 ちりねとし(名) 塵落、ちりはらひ
 ちりがみ(名) 塵紙(粗紙の名、多く鼻紙等に用ふ)
 ちりがく(名) 地理學(地理の學)
 ちりがくしや(名) 地理學者(地理を究むる人)
 ちりよう(名) 螭龍、あまうら(雨龍)(動物)
 ちりようし(名) 地龍子、みみづ、蚯蚓(動物)
 ちりよく(名) 智力、オカ、ちる
 ちりれんげ(名) 散蓮花、せどもものさし(食具)
 ちりつ 持律(佛の戒律を守るをいふ)
 ちりづか(名) 塵堆、ごみすてば
 ちりつし(名) 地栗子、ほごいも、土團兒(植物)
 ちりう(する) 遲留、たちやすらふ、ちごまりやすむ
 ちりうけ(名) 塵承、ちりどり
 ちりのほか 塵外、このよのほか、物外、世外
 ちりのよ(名) 塵世、濁世、塵區、世寰、塵土(佛經の語にして
 此世を指す)しやば
 ちりやく 智略、智計、智謀、かしてきはかりごと

ちちろむし(名) 蟋蟀、さりとざりす(動物)
 ちちはは 父母、ふたれや、雙親
 ちちばば 翁媪、たきななれうな、老人老婆
 ちちかた(名形) 父方、内戚(父に屬する親戚)
 ちぢかまる(自) 屈居、かがむちひさくなる、すくむ
 ちぢれる(自) 縮(毛等が)縮、ちぢかまる
 ちぢれけ(名) 絨毛、縮毛、ちぢかまれるけ
 ちぢなし(名) 亡父、兒ててなしと、かくしと(婦人の)
 ちぢむ(自) 恭縮、屈縮、縮縮、しじまる、かがむ
 ちぢう(する)自 踟躕、たちどまる、たゆたふ、ためらふ
 ちぢう(名) 多蟲、はふむし(動物)
 ちぢうかい(名) 地中海(歐羅巴と阿非利加の中間の海を
 云ふ)
 ちぢく(する)自 馳逐、れひかける、はしりたふ
 ちぢく(名) 地軸、坤軸(地球の心棒)
 ちぢやう(名) 答杖、むちうち(犯罪人の)
 ちぢやう(する)自 治定、さだめる、さだまる
 ちぢまる(自) 縮、ちぢむ、つまる、屈小
 ちぢぶ(する)自 秩父綱(織物の模様)
 ちぢぶ(名) 嚴父(子自ら稱す)、令尊(他人の言ふ所)、爺子、
 ちぢれや
 ちぢこぐさ(名) 鼠麴草、ははこぐさ(植物)
 ちぢゆ(名) 蜘蛛、くも、ささがに(動物)
 ちぢみ(名) 縮緬、ちぢまり、又縮布、ちぢまれるれりもの
 ちぢみかた(自) 縮帷子、縮緬、ちぢみ
 ちぢみかみ 縮髮、絨毛、ちぢれけ
 ちぢみあし 蹠、かがまりあし

ちりげ(名) 身柱、頭の後筋を謂ふ、ぼんのくぼ
 ちりあくた 塵芥、ごみくづ
 ちりめん(名) 縮緬、縮綿、縮紗(縮れたる絹布の名)
 ちりめんかづら(名) 石血(植物)
 ちりめんがみ(名) 縮緬紙、ちぢらしたるかみ(皿敷等に用
 ふ)
 ちりめんじと(名) 縮緬紫蘇、花紫蘇(植物)
 ちりひぢ(名) 塵泥、どろ、ひぢりこ
 ちぬ(名) 海鯽(動物)
 ちぬ(他) 霽、霽、ちまつりする(血を塗る)
 ちぬし(名) 地主(地所の所有主)
 ちぬ(自) 散、ちらばる、ちりぢりになる、散逸、ちりうせる
 ちをどる 放血、出血、ちをたす(病を治する爲など)
 ちをとるみち 刺絡術、ちとるわざ
 ちをあます 吐乳、嘔吐(小兒が乳をもどすをいふ)
 ちねも(名) 乳母、うば
 ちわ(名) 痴話、昵語(男女の戯話)、又あろかごと、あろそひ
 (夫婦等が嫉妬などより爲る)
 ちわう(名) 地黄、さこひめ、地髓(植物)
 ちわぐるひ(名) 姪殿、たはむれ(男女の)
 ちわぶみ(名) 艶書、いろぶみ
 ちか(名) 地價(土地の價格にて政府にて定めし者)
 ちがい(形) 癡呆、癡騷、愚騷、あはう、ばか、れろか
 ちがい(名形) 持戒(佛戒を持つ事にして六度中の二)
 ちかいさう(名) 稚海藻、わかめ(植物)
 ちかほどり 近邊、もより、近所
 ちかどなり 近隣、比隣、ちかま

ちかぢか(形) 近近、どはからぬうち

ちかち(名) 近寄、近依、そばへよりくる

ちかづく(自) 近着、接近、ちかよる。昵近、狎、なれしたじ

ちかづける(他) 近、昵、昵近、昵近、そばへよする

ちかづき(名) 相識、知己、しりあひ、知音、慈意の人

ちから(名) カつよさ、膂力、能力、勢力、いきほひ

ちから(名) 主税(古の官名にて税賦を司る者)。又租税、み

つぎ(古語)

ちから(名) 最良、ひぬき

ちから(名) 勳力、併力、協力、合力

ちから(名) 力役、ちからしごと

ちから(名) 斬、逆、逆斬、あふみかは、馬具の名

ちから(名) 力金、しめがね

ちから(名) 力竹、いきづゑ

ちから(名) 無力、弱、懦弱、よわき、軟弱、薄弱

ちから(名) 庸布、みつぎのぬの

ちから(名) 角力、相撲、すまひ

ちから(名) 知風草、蟋蟀草をひしば(植物)

ちから(名) 力毛、腋胸等の長毛をいふ

ちから(名) 力瘻、臍腕に顯はる筋肉の太く逞きを謂

ちから(名) 力手、たぢから

ちから(名) 力木、ちきり、ばたのしんぎ

ちから(名) 辰草(植物)

ちから(名) 健兒、ちからつよきひと、力士

ちよ(名) 女(二十八宿の一にして西方

にあり)

ちよ(名) 芋衣、かたびら、あさぎぬ

ちよ(名) 除移、のぞきうつす。

ちよ(名) 除位、叙位、くらむについづる

ちよ(名) 女萎、ぼたんづる(植物)

ちよ(名) 一寸、しばし、すこし

ちよ(名) 女陰、をんなのまへ、女生殖器

ちから(名) 力持、力量、膂力、腕力(慰みにするちから

わぢ)

ちかうじつ(名) 地窖室、あぐら

ちかうじやく(名) 知更雀、こまどり(動物)

ちかく(名) 知覺、こころざし、こころよね

ちかく(名) 知覺、さとするところ、しるところ、かんかく

ちかく(名) 地學、地質學を謂ふ

ちか(名) 茅、かや、白羽草(植物)

ちか(名) 誓、かひ、ちかひ

ちか(名) 誓、かひ、ちかひ

ちか(名) 誓、かひ、ちかひ

ちか(名) 誓、かひ、ちかひ

ちか(名) 誓、かひ、ちかひ

ちか(名) 誓、かひ、ちかひ

ちか(名) 誓、かひ、ちかひ

ちか(名) 誓、かひ、ちかひ

ちか(名) 誓、かひ、ちかひ

ちか(名) 誓、かひ、ちかひ

ちか(名) 誓、かひ、ちかひ

ちか(名) 誓、かひ、ちかひ

ちか(名) 誓、かひ、ちかひ

ちか(名) 誓、かひ、ちかひ

ちか(名) 誓、かひ、ちかひ

ちか(名) 誓、かひ、ちかひ

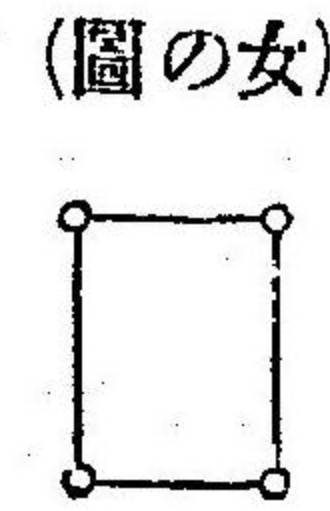
ちか(名) 誓、かひ、ちかひ

ちか(名) 誓、かひ、ちかひ

ちか(名) 誓、かひ、ちかひ

ちか(名) 誓、かひ、ちかひ

ちか(名) 誓、かひ、ちかひ



(圖の女)

ちようい[する]他 寵異、ことになつくしむ
ちようちぎ[名] 草石蠶、甘露子、ちひさきかぶのたぐひ
(植物)
ちようはい[名] 澄杯はいせん(盃洗)、さかづきあらひ
ちようはつ[する]他 徴發、めす、いださする(軍用品等
を)
ちようはつ[する]他 懲罰、つみしこらす、懲戒
ちようはつれい[名] 徴發令、めしふれ(軍用品を人民より
徴する令)
ちようはう 重寶、たもきたから、俗(便利)てがる
ちようにん 重任、たもにつとめ、又たもに(重荷)
ちようぼ[名] 一する(他) 徴募、つものり(兵士等の)、めしだ
し、めしつものる
ちようへい[名] 徴兵、めしつはもの(人民一般より徴募せ
る兵士)
ちようへい[する]他 徴聘、めしいだし(官途に)
ちようへいれい[名] 徴兵令、つはものをめすれきて
ちようへき[名] 癩癧、かめばら、はらはりやまひ(婦人病)
ちようぢ[する]他 懲治、いましめこらす
ちようぢかん[名] 懲治、懲罰少年を懲戒する場所
ちようぢよう[副] 重重、ぢうぢう、かさねがさね、ぢうぢ
う
ちようり 重利、りにりをつけてとること(貸金の)
ちようりよく[名] 重利、たもさちから、下に下る力)
ちようりやう[名] 重量、めかた、たもさ
ちようをく[名] 重屋、にかいや(二階屋)
ちようたん[名] 寵恩、ためぐみ(君王の)

ちようか 重荷、たもに、重負
ちようか[名] 癩癧、かたばら、かめばら(腹内の堅く成る
婦人病)
ちようかい[名] 一する(他) 懲戒、こらしめ、いましめ、こら
し、いましむる
ちようかう[する]他 寵幸、いつくしみめぐむ
ちようかく[名] 重學(運動の理並に器械の理由と講究す
る學)
ちようたく 澄濁、とみにこり、清濁
ちようれん[する]他 重斂、たもくとする(租税を)
ちようれん[する]他 徴斂、どりたつる(租税等を)
ちようそ[名] 重祚(再び王位に即く事)、再祚
ちようそ 徴租、みつぎをとりたつる
ちようそんくわい[名] 町村會(町或村にて開く協議の會
をいふ)
ちようぐう[名] 一する(目) 寵遇、いつくしみ、なさけをか
くる
ちようやう[名] 重陽(舊曆九月九日の節句をいふ)
ちようけつ[形] 澄潔、きよらか、すみわたれる
ちようけん[名] 寵養、いつくしみ、ひいき、寵遇
ちようふ[名] 冢婦、おによめ、嫂
ちようふく[する]目 重複、かさなる、ふたへになる
ちようこう[形] 重厚、あつさ
ちようこう 徴候、しるし、さざし、前徴、症
ちようこん 重婚、ふたたびよめいりすること
ちようてい[する] 重訂、ふたたびただす(書物等を)、再訂
ちようでふ[副] 重重、かさねがさね、重重

ちようあひ[名] 一する(他) 寵愛、いつくしみ、かわいがり
ねさにいり、めでつくしむ
ちようさう 重創、たもで、たもさず、ふかで、重傷
ちようさん[名] 重三(舊曆三月三日の節句を稱す)
ちようさう[名] 重九(舊曆九月九日の節句をいふ)
ちようめい[形] 澄明、すみわたる
ちようめい 寵命、おりがたさはせ(君主の)、めぐみ
ちようし[名] 徴士、めしだされもの(官府へ)
ちようしよう[名] 徴證、しようこ、あかし、しるし
ちようしう[する]他 徴收、どりあつむる(税金等を)
ちようじやう 重傷、たもで、たもさず、いたで
ちようしふ[する]他 徴集、めしあつむ(金錢又は人夫等
と)
ちようしん[名] 寵臣、きにいりもの、嬖人
ちようえい[名] 寵榮、めぐまれてさかゆること(君主等に)
ちようえい[名] 冢瑩、はか、つか
ちようえき[名] 懲役(罪人と懲罰の爲に使役するの刑)
ちようえきぢやう[名] 懲役場、懲役を爲しむる處
ちようひやう[名] 徴憑、しるし、あかし、證據
ちようびやう[名] 重病、たもさやまひ
ちようせい[形] 澄晴、はれわたる(天氣が)
ちようせい[形] 澄清、すみてきよきよきよらか
ちようせい[形] 澄靜、すみわたりにしづかなる
ちようせい[する]目 懲省、こりる、こりこりする
ちようせい 重税、たもさとりか、苛税
ちようせう[名] 一する(他) 徴召、めし(官府よりの)、めす
ちよく[名形] 直、なほさ、すくなる、ただしき

ちよく[なる]二俗[形] 直きがるなごがる
ちよく或ちよ[名] 猪口、さかづき、醜口、盃瑤
ちよく[名形] 一する(目) 勅、みこと(帝王の命)、い
ひつける
「ちよくい[名] 直次、なほし、ひたたれ之類」
ちよくい 勅意、みかどのねほしめし(天子の御意)
ちよくにん[形] 勅任(天子が直に命じ玉ふ官にして其級
最高し)
ちよくちやう[名] 直腸(大腸をいふ)
ちよくぢやう[名] 勅諭(帝王の詔)、繪旨、みこと(のり)
ちよくり[名] 陟釐、かはあをのり、あをさ、かはさけ、みつ
わた植物
ちよくりつ[する] 直立、つたつ、ますぐにたつ
ちよくわ[する] 直話、直談、ぢかにはなす
ちよくわ[名] 楮貨、紙幣、さつ
ちよくわん[名] 猪獮、みだぬき(動物)
ちよくわん[名] 除官(官職に叙任する)
ちよくわん[名] 女官(にやうくわん)
ちよくか[名] 直下、ました、まつすぐした
ちよくか[名] 直價、ねだん、あたひ
ちよくか[名] 直轄、直管、ちかにをさむる(土地人民等
を官廳にて)
ちよくかう 陟降、のぼりくだり、昇降
ちよくかく[名] 直角、まつすぐのぶつちがひ(十の字の如
く)
ちよくかく[名] 勅額(天子御宸筆の額をいふ)
ちよくかん 直諫、ちかひさめ、面争、めんどう、むかつていさ

ちよくかん 勅樹(天子よりの樹堂)
ちよくだう 匿道(とくだう)かくれみち問道
ちよくだう 直道(すぐなるみち)まつすぐみち
ちよくたふ(名) 勅答(帝王の御答詞)
ちよくれい(名) 勅令(みこと)のりのふれこと(天子の勅)
ちよくくわん 直管(ちきしはい)直轄(に同じ)
ちよくぐわんじ 勅願寺(天子の祈願所なる寺院)
ちよくやく(他) 直譯(原書の言をほりに翻譯するをいふ)
ちよくけい(名) 直徑(さしわたし)ぢかわたし
ちよくげん(名) 直言(忠言)直諫(はばからずしていふこと)
ちよくふく(する) 匿伏(とくふく)かくれる、ひそむ
ちよくご(名) 勅語(天子の御言)
ちよくてい(名) 直丁(つかはれ)よはろ
ちよくあく(形) 濁悪(よごりてあしき)此世(の如く)
ちよくさい(名) 勅許(天子の許しをいふ)
ちよくきよ 勅諭(聖諭)帝王(の説諭)みこと(のり)
ちよくゆ(名) 勅命(みこと)のり、救誥
ちよくめい(名) 勅免(勅許に同じ)
ちよくめん(名) 勅免(勅許に同じ)
ちよくし(する) 直視(まつすぐ)にみつめる
ちよくし(名) 勅旨(みこと)のり、救命
ちよくし(名) 勅使(天子の遣はさるる使者)
ちよくしよ(名) 勅書(みこと)のりがき、勅狀
ちよくじつ(名) 直日(ばんび)番日(つどめ)ひ
ちよくしや(名) 直者(なほさき)もの、正者

ちよくじゆ(形) 勅授(五位以上の叙任)勅任(又)天子より授かる事をいふ
ちよくしん 直臣(すぐなるけらい)鯁直之臣(へつらはぬしもべ)
ちよくひつ(名) 勅筆(宸翰)天子の御手跡
ちよくもん(名) 勅問(みかぎ)のねんとひたづね
ちよくせい(名) 直稅(ぢかにとるせい)税金の、直接稅
ちよくせい 濁世(にどれるよ)此世界(を謂ふ)
ちよくせつ(形) 直接(ぢか)ただち、ぶちつけ
ちよくせう(名) 勅詔(みこと)のり
「ちよくせう」接 直饒(たどひ)假使(設)よしや
ちよくせん(形) 直捷(てみじか)てばや、ぢかづけ
ちよくせん(名) 勅宣(勅詔)みこと(のり)
ちよくせん(名) 勅撰(天子の御作を云ふ)
ちよくせん 直線(まつすぐ)のすぢ
ちよくせん(する)自 濁染(にどりそまる)
「ちよくせい」名 直垂(ひたれ)
ちよくん(名) 儲君(まうけ)のきみ、ひつぎのきみ、太子、東宮
ちよや(名) 除夜(ねはみそ)か(十二月の終りの晩)
ちよま(名) 芋麻(からむし)あかそ(植物)
ちよけい(名) 猪頸(ぶくび)みじかくび
ちよけい(名) 女兄(あね)姉
ちよけん(形) 著顯(いちじる)しき、めだつ
ちよけん 女權(婦女の權利)
ちよふ(名) 紵布(あさぬの)
ちよぶ(形) 豬武(いのしし)むしやなる、むかふみず

ちよふう(し)名 椿(夫)子(紙を謂ふ)
ちよふく(名) 除服忌明(いみあけ)ものをはり、ぶくあき
ちよこう(名) 女工(をんな)しごと、女職
ちよこう(名) 女公(をんな)なごみ
ちよこう(名) 女工場(をんな)ものしごと
ちよてい(名) 女弟(いもうと)妹
ちよてい(名) 女貞(もち)のき、ねすみもち冬青(万年枝)て
ちよばき(ひめ)つばき(植物)
ちよあう(名) 猪殃(やへむぐら)植物
ちよさい 貯財(たくはへ)がね
ちよざう(する)他 貯藏(たくはへ)をさむる
ちよざく(名) 一する(他) 著作(著述)ほんをつくる、かきあ
ちよさく(名) 著作(著述)著述家、著書家
ちよさく(名) 千代木(松)松の木(の異名)
ちよきう(名) 儲宮(まうけ)のみや、東宮(太子の宮殿)
ちよきやう(名) 儲槽(かしのき)植物
ちよきぶね(名) 猪牙船(鴨)猪船(こぶね)
ちよきん 儲金(たくはへ)がね
ちよめい 著名(なだ)かき、なをあらはす、又(な)のあらはれ
ちよめい 著明(あきら)か、いちじるしき
ちよめい(形) 除名(なをのぞく)會(或)連判(帳等)より
ちよめん(名) 除免(地租等)をゆるさるる事
ちよじ(名) 儲貳(ひつぎ)のみこ、儲君(太子)
ちよじ(名) 女師(をんな)しじやう(女師匠)
ちよじ(名) 女史(をんな)ふびと(婦女の學者)の稱

ちよじつ(名) 除日(ねはみそ)か(一年の終りの日)
ちよしや(名) 著者(著述者)作者(かきて)つくりて
ちよしやう(形) 著彰(いちじる)さ、あきらか
ちよしやう(名) 女牆(こま)がき、ひめがき(城の)
ちよじゆ(名) 除授(官に任する事)
ちよじゆつ(名) 一する(他) 著述(著作)かきあらはすこと
(書籍を)
ちよしん(名) 女眞(たま)みつぎ(植物)
ちよじん 女神(をんな)がみ、めがみ
ちよるん(名) 女薺(ひめ)しをん(植物)
ちよひ(名) 楮皮(かうづ)のかは
ちよもく(名) 除目(任官)任職(やく)づけがき
ちよせい(名) 女姓(をんな)のさが、又(をんな)
ちよせい(名) 女婿(むこ)むすめのとつと
ちよせう(名) 楮鈔(さん)さつ、紙幣
ちよせき 除籍(人別をのぞく)帳外(にする)脱籍(せき)をぬく
ちよせんせい(名) 椿先生(紙の異名)
ちよんべり(俗)副形 蕞爾(すこ)しばかり、黠
ちだ 千田(氏)
ちたい(名) 治體(とさ)まりかた(州縣等)の治蹟

ちたい(名) 地確、ふみうす、からうす
ちたい(名) 一する(自) 遲滞、とどこほり、阻滞、滯滞、とど

ちだい(名) 地代借地料、ちかりれう
ちだり(名) 煙突、けふりだし
ちだらけ(俗) 形 血汚、ちまふれ
ちたう(名) 薙刀、なきなた、長刀
「ちたう」(名) 遅稻、ねそしね、晚稻、わくて(植物)
ちだう(名) 治道(天下を治る道)
ちだう(名) 馳道、はするみち、はせば(馬にての)。又ねなり
みちどほりみち

ちだけ(名) 虎耳草(植物)
ちたび 千度、千遍、千回、あまたたび
ちたん(名) 地膽、にはつく、蚯青子(動物)
ちだんだふむ(俗) 自 踏地鞠、あしふみする(すねるとき
等に)
ちれう(名) 一する(他) 治療、れうぢ、れうぢする
ちれう「する」 知了、ささる、曉通
ちそ(名) 地租、ねんぐ(政府に取る土地の税)
ちそ(名) 地層、つちかさなり(各色の土段段の上に置き
重られる者)
ちそ(俗) 名 一する(他) 馳走、もてなし、饗應、もてなす
ちそ(自) 馳走、かけはしる、奔走
ちそ(名) 知足、たるをしること(身分に満足するをい
ふ)
ちそく 遅速、れそきはやくさ
ちつ(名) 峽、ふみつ(書包)、書蓋、冊

ちねすみ(名) 地鼠鼯、のらねすみ(動物)
ちなり(名) 地形、どちのかたち、くにかたち
ちなり(名) 地鳴、ぢひびき、地動
ちならし(名) 壓塊器(道路等をならす爲に引く大なる筒
状の石)
ちなむ(自) 囚、ちなみある、えんある
ちなみ(名) 囚、縁、因縁、縁故、親ゆかり
ちなん(形) 緞軟、さめこまかにやはらか(皮膚織物等の)
ちなん(名) 呢喃、さへづり(鳥の)又くどくどとばなし
ぢらい(名) 地雷、くるま(車)
ぢらい(名) 地雷火(地下に埋めて破裂する火薬)
ぢらほら(副) 稀薄、ぼつぼつ、あすこここ
ぢらちら(副) 霏霏、粟粟、雪などの降り飛ぶ貌
ぢらり(副) 警、ちよつと(眼にて見る)
ぢらつく(自) 閃、閃飛、きらめきみゆる(眼の前等に)
ぢらう(名) 血癆(婦人の病の名)
ぢらう(名) 地牢、つちのをり、土獄
ぢらし(名) 散亂、ぢらしこと
ぢらしがみ 散髮、蓬首、亂髮、解髮、みだれがみ
ぢらす(他) 散、ぢらばらす、れどす、散布、まぢらす
ぢらん 治亂、をさまりみだれ治平(戦亂)
ぢむし(名) 廣、地鼯、鼯鼠、穴に居る土鼯(動物)
ちう(名) 忠、まめごころ(君に盡す節義)
ちう(名) 宙、はぞら、なかぞら、空
ちう(名) 註、とぎわかし、註解、註譯
ちう(名) 柱、はしら
ちう「する」(他) 誅、つみする、こちす、誅戮

ちづ(名) 地圖(國郡の繪圖)
ちつ(自) 一する(他) 繫維、つなぐ、しばる
ちつろく(名) 秩祿、ふちかた、たまはれるろく
ちつば(名) 地坪、地歩(地面の廣狭)
ちつと(俗) 副 些少、小少、すこし、片時、しばらく
ちつと「する」(他) 窒杜、ふさぐ
ちつとく「する」(自) 蟄匿、かくるる
ちつちよく「する」 黜陟、あげさげする官吏等を、賞罰
ちつちつてう(名) 秩秩鳥、ちみさじ(動物)
ちつちう(名) 蟄蟲、ふゆふゆもりむし、こもりむし
ちづか 千束、ちぢのつかね、ねはくのたば
ちつたい「する」(他) 黜退、しりぞくる官吏等を
ちつたう(名) 蟻蟻、つちぐも(動物)
ちつそ(名) 窒素(元素の一)、淡氣
ちつそく「する」(自) 窒塞、ふさがる、充塞
ちつけ(名) 乳侍、うば(生れ子に始て乳のまする者)
ちつふく「する」(自) 蟄伏、かくれふす、こもる(穴等に)
ちつこう(名) 剔紅、堆朱の類
ちつ(形) 禪附、ちのつきたる(旗等の)
ちつ(名) 地搗、ぢならし、ぢぎやうすること
ちつ(自) 一する 蟄居、こもりをる(罪を得て家に、籠居
ちつ(名) 剔金、刻彫の器、はりものうつは
ちつ(自) 一する(自) 昵近、ちかづく、なれしたしむ
ちつ(名) 地圖師、ちつひき
ちつ(自) 一する(自) 秩序、ついで、次第、順序
ちつ(自) 一する(自) 蟄潛、かくれひそむ

ちう(名) 一する(自) 注意、こころづけ、用意、こころをそ
そぐ
ちうい「する」(他) 誅夷、うちたひらぐる
ちう(名) 重圍、ちようゐ、かさねがさねのかこみ
ちういん(名) 中陰、七七四十九日の喪の間を云ふ
ちういん(名) 胃胤、すゑ末孫、しそん
ちうばい(名) 乳母、めのと、うば、ちちうば
ちうばつ「する」(他) 中媒、なかだち、なからと
ちうばつ「する」(他) 抽拔、ぬきだす、ぬきんでる
ちうばつ「する」(他) 誅罰、ころしつみする(朝敵等を)
ちうはう(名) 中保、とりなしびと、仲人
ちうはく(名) 中保、とりなしびと、仲人
ちうはく(名) 蟲白、いぼたらふ
ぢうば(名) 重箱、撞盒、層撞、かざねばこ
ちうはん(名) 中半、なかば、半途
ちうはん(名) 晝飯、ひるめし
ちうにふ「する」 注入、こそぎいるる、ふきこむ
ちうにん(名) 仲人、仲裁人、とりなしびと、中保
ちうにん(名) 住人、すむひと、たみ、住民
ちうにん(名) 重任、おもに、おもやく(重役、重職)
ちうは(名) 晝餽、ひるめし、午餽
ちうぼく(形) 忠朴、まめまめしき、しやうちき
ちうべい(名) 中途、みちなかば、半途
ちう(名) 中途、みちなかば、半途
ちうどほり(俗) 形 中通、ちうどほり、中間
ちうどう(形) 中等、まんなか(上等、下等の間)
ちうどう(名) 仲冬、ふゆのまなか(冬、三月の真中の月)

ちうとう(名) 抽斗、ひきだし(籠笥等の)抽匣
ちうとく(名) 中毒、どくあたり、どくのさばり
ちうぢ(名) 住持、住職、寺院の長、方丈
ちうぢよ(名) 厨女、みづしめ、くりやをんな
ちうぢよく(形) 忠直、まめやか、誠忠、忠實、君に對して
ちうぢう(名) 蛙蟲、さくひむし(動物)
ちうぢう(形副) 忡忡、うれふる貌
ちうぢう(形) 重重、かさねがさね、たはいに
ちうぢやう(する) 自 惆悵、なげく、うれふる
ちうぢやう(する) 他 譁張、あざむく、だまそ
ちうりつ(名形) 一する 自 中立、なかにたつこと、就れに
も與せぬをいふ
ちうりう(名) 中流、かはな、川中、かはな、かば
ちうりく(する) 他 誅戮、つみしころす
ちうりやく 中嬰、まんなかとはぶくこと
ちうりやく(名) 鑿翠、てだて、はかりごと
ちうをく(名) 住屋、すま、居宅
ちうれん 重恩、たもさめぐみ
ちうか(名) 中夏、六月を云ふ、なつな、かば
ちうが 駐駕、駐蹕、くるまをどとどむる(天子の御滞留をいふ)
ちうが(形) 忠慨、まめやか、忠義

ちうかう 忠孝、君主と父母とに事ふる道
ちうがくかう(名) 中學校(中等の學校)
ちうかう(名) 抽匣、ひきだし(籠笥等の)
ちうかふ(名) 衷甲、きこみ、よろひした、くさりかたびら
ちうかん(名) 忠諫、まめやか、いさめごと(君主等に)
ちうかん(名) 中澹、なかのどをか、中甸
ちうかん(名) 中間、あひだ、まんなか
ちうかん(名) 畫間、ひるま、日中
ちうよう(名) 中庸、なかみち、中道、かたよらぬみち、又四書の一
ちうたい(名) 中隊、大隊小隊の間の隊
ちうたい(俗) 重體、たもさわりさま(疾病の)。又たもさか
ちうたい(俗) たちのもの
ちうだい 重代、よよ累代、代代
ちうたう(名) 偷盜、ぬすみ、ぬすびと
ちうたう(名) 中刀、さしぞへ、わきざし
ちうたう(する) 自 惆悵、さぬけがする
ちうたう(名) 中道、半途、また中庸
ちうたく(する) 他 抽擢、ぬきたす(人才等と)
ちうたく(名) 住宅、すま、居宅
ちうたく(名) 肘托子、ひぢつぎ、わしまつぎ
ちうたん(名) 中單、あせとり、はだき
ちうたん 忠騰、まめやか、ごころ、忠心
ちうたん(名) 網緞、きぬれりもの
ちうだん(する) 他 自 中斷、なかつちぎる。又とぎれる、中絶
ちうたん 重擔、たもに、重負、たもさにもつ

ちうれつ(名) 忠烈、まめやかなること、義烈
ちうれん(名) 注連、しめなは、七五三
ちうれん(名) 柱聯、はしら、かくし
ちうそ(名) 註疏、註釋、とさあかし(書物の)
ちうそ(名) 柱礎、いし、すゑ、どだい
ちうそ(名) 住僧、寺に住む法師、住持
ちうねつ(名) 中熱、あつあたり
ちうねん 中年、さかりのとし、よはひな、かば
ちうなごん(名) 中納言、古の官名
ちうらう(名) 中老、大老の次、また女官、中臈
ちうらう(名) 中有、娑婆と冥途の中間を云ふ
ちうのり(名) 宙乘、馬術、輕業、芝居等にて空中を通る如くに見する事をいふ
ちうくわ(名) 中華、もろこし(支那人自ら稱する名)、中土
ちうくわ(名) 沖和、やはらき、よくかなふこと
ちうくわ(名) 譁訛、いつはり
ちうくわ 重科、重過、たもさどが
ちうぐわい 中外、うちそと、内外、内國、外國
ちうくわしんい(名) 重華、辛夷、ひめこぶし(植物)
ちうくわせつ(名) 中和、節、二月一日といふ
ちうくわん(名) 中浣、なかのどをか、中澹、中甸
ちうくわん(名) 注管、たてどゆ、つぎくた、そそぎ、いるる
ちうぐら(名) 中宮、皇后宮を云ふ、さきさき、さきさきのみや
ちうぐん(名) 忠勳、忠烈、まめだて、いさめ、はし、忠蹟
ちうぐん(名) 中軍、本陣、本營
ちうや(名) 中夜、よなか、夜半

ちうや 晝夜、よるひる
ちうやく(名) 重役、たもさやく、かしらやくにん
ちうけい(名) 中徑、さしわたし、直徑
ちうけい(名) 仲兄、あに
ちうけい(名) 中啓、すゑひろ、折腰扇、あふぎのたぐひ
ちうけん(名) 中堅、なかのそなへ、本陣、本營
ちうけん 忠言、まめやかなることば
ちうげん(俗) 名 中間、大名の奴僕を然かいへり
ちうげん(名) 中元、舊七月十五日をいふ
ちうけん 重懲、たもさどが、重過
ちうふ(名) 厨婦、みづしめ、くりや、とんち
ちうふう(名) 中風、瘋癲、からだがゆるやまひ(病名)
ちうふん(する) 忠奮、まめだちいさむ(君王のため)
ちうこ(名) 中古、おかし、中葉、中世
ちうこう(名) 中興、なかつちぎること、王道、君權等の一度廢れたるが再興する事
ちうこく(名) 忠告、いけん、いさめごと、勸告
ちうこく(名) 中國、支那國(中華に同じ)
ちうこしやう(名) 中小性、大名の侍臣の職名
ちうこん(名) 忠魂、忠膽、まめやかなることば
ちうこん(名) 重言、やえことば、複語
ちうてい(形) 忠貞、まめやか、ただしき
ちうてい(名) 厨丁、くりやをとこ、れうりにん
ちうてい(名) 中庭、なかにには
ちうてい 重訂、かゝねて、ただす(書籍等を)
ちうてう 中條、なかでう(氏)
ちうてふ(する) 自 稠疊、しげくかさなる

ちうてん(名) 中天、なかぞら、高空
ちうでん(名) 晴田、たはた、田圃
ちうあ 重瀧、たもき、やまひ、重病
ちうあいてん(名) 仲哀、天皇、人皇、第十四代の帝
ちうあう(名) 中央、せん、なか、中心、中點
ちうざい(名) 仲裁、あつかひ、とりなし
ちうざいする(名) 駐在、とどまる(公使などが外國の朝廷にどまりそむを謂ふ)
ちうざいする(自) 重罪、たもき、つみ、大罪
ちうざいする(自) 駐劄、とどまる(各國公使等が他邦に、

駐在

ちうざう 重創、たもき、す
ちうざく(名) 籌策、はかりごと、てだて
ちうざめ(名) 鱒魚、さめのたぐひ(動物)
ちうざん 籌算、かぞふること、つもり、目算
ちうざんこく 中山國、琉球を云ふ
ちうざ(名) 中氣、ちう、病名
ちうざ(名) 中饋、れうり、めしごとしらへ
ちうざ 稠稀、こさうすき、濃淡、粗密
ちうざ(名) 厨櫃、たんす(箆笥)
ちうざ(名) 忠義、君に盡す節義
ちうざ(名) 重器、くみもの、ちうばこ
ちうざ(名) 住居、すまひ、むどころ、すまふ、を
ちうざようてん(名) 仲恭、天皇(人皇第八十六代、即ち九
ちうざよく(名) 衷曲、こころのうち、衷心
條廢帝の御事)

ちうざん(名) 忠勤、まめやか、につとむること、忠節
ちうざん 重禁、たもき、つと、さびしき、まじめ
ちうざんこ 重禁、銅禁錮の重き者
ちうみつ(形) 血膿、血の如き膿
ちうみつ(形) 稠密、こみあふ、しげき、たてこみたる(人家
人口等の)

ちうみん(名) 晝眠、ひるね、午睡
ちうし(名) 中止、なかば、にてとどむること
ちうしする(自) 駐止、とどまる、在留
ちうし(名) 胃子、あどつぎむすこ
ちうし(名) 中使、天子の私使
ちうし(名) 忠死、君の爲に死する事
ちうし(名) 中指、なかゆび
ちうし(名) 柱址、はしらだい(柱臺)
ちうしする(他) 注視、めをつける、みつめる
ちうし 仲尼、孔子の字、あざな
ちうし(名) 住士、すむひと、住人
ちうしよ(名) 中暑、あつげ、あつさあたり
ちうしよする(他) 誅劔、ねだやしする(逆賊等を)
ちうしよ 忠恕、忠と恕の二徳にして君子の道と謂ふ
ちうしよ(名) 住所、すまひ、すまひどころ
ちうしよ(名) 住職、てらぬし(寺主)、住持
ちうしよ(名) 重職、たもき、つかさ、れもやく
ちうしつ 中溼、濕氣に害せらるる事
ちうじつ(形) 忠實、まめやか、しや、ちぎ
ちうじう(名) 中秋、九月をいふ
ちうじや(名) 注射、とどきこむ(水等を)

ちうじやう(名) 晝餉、ひるめし
ちうじやう(名) 中症、ちう、ちうき
ちうじやうする(名) 抽賞、別段に賞譽とる
ちうじやう(名) 衷情、まごころ、中情
ちうじやう(名) 中情、衷情に同じ
ちうじやう 重傷、たもき、す、ふか
ちうじやう 重賞、たもき、ほめ、たまもの
ちうじやく(名) 註釋、とさわかし、註解
ちうじやく(名) 銚石、しんちう
ちうじぎ(名) 晝食、午飯、ひるめし
ちうじゆ 重手、たもき、たもき、重傷
ちうじゆする(他) 抽出、ぬきいだす
ちうじゆん(名) 仲春、三月を云ふ、なかはる
ちうじゆん(名) 中旬、なかのどをいふ、中澁、中流
ちうしん(形名) 忠信、まめやか、なること、まめまめしき
ちうしん(名) 忠心、まめやか、こころ(忠義の心)
ちうしん 忠臣、まめやか、なるけし
ちうしん(名) 注進、とどけ(長官に)、報知、報道、報告
ちうしん(名) 晝寝、ひるね、午睡
ちうしん(名) 厨人、れうりにん、くりやびと
ちうしん(名) 中人、中等人、なかはるのひと(財産にて)
ちうしん 稠人、ひとごみ、たはきひと
ちうしん 重臣、たもき、けし
ちうしん(名) 胃齋、すね、末葉、末孫
ちうしん(形) 冲幼、いどけなき、幼をさなき
ちうしん(自) 中天、わかじにする、早死

ちうえん(名) 中華、なか、ちう、中世、なかつよ
ちうえき(名) 厨役、くりやびと、れうりにん
ちうえき(名) 肘腋、其だ、我身に近き處に譬へたる詞、は
ななき、おしも
ちうえん 重縁、二重の縁にて繋がるをいふ、又再嫁、にと
のよめいり
ちうひ(名) 厨婢、みづしめ、だいで、ころをんな
ちうひ(名) 中微、なかつび、れ、とらふ(王威等の)
ちうびうする(他) 稠繆、まどふ、たはふ、まつはる、は
なし、あふ、こころをこめる
ちうびやう 重病、たもき、やまひ
ちうもつ(名) 重物、たいせつなるもの
ちうもくする(名) 注目、めをつくる
ちうもん(名) 注文、あつらへ、あつらふる
ちうもん(名) 中門、なかのもん
ちうせい 中世、なかつよ、なかつよ、中古
ちうせい(形) 中正、寒熱などの氣候の中を得たと謂ふ、
はどよき
ちうせい(名) 忠誠、まめやか、まめやか
ちうせつ(名) 忠節、まめやか、まめやか、忠勤
ちうせつ(名) 中絶、なかつたえ、中斷
ちうせつ(名) 重舌、こじた
ちうせう(名) 中霄、なかぞら、中天
ちうせき(名) 晴夕、さくや、よん、ゆふべ
ちうせき(名) 晴昔、きのふ、昨日
ちうせん(名) 抽籤、くじとり、くじをひくこと
ちうせん(名) 重墮、にちうぼり(二重墮、ふたへぼり、城の)

ちの 千野氏)
 ちのぼせ(名) 血逆逆上、のぼせ
 ちのり 地利(土地の利便)
 ちのり(名) 血ぬめらかなるちぬらぬらすち
 ちのり(名) 地乗、のりならし馬の)
 ちのわ(名) 芽輪(茅草にて作れる環にして魔除けに用ふ)
 ちのやまひ(名) 痔疾(肛門に在る病)
 ちのみち 血道(婦人病の惣稱)
 ちのみ(名) 乳哺子赤子、乳兒乳子、わかご
 ちく(する)自) 馳驅、かけはしる(馬にて)
 ちく(形) 痴愚、れろか、のろま
 ちく(名) 軸(掛物の)莖(草花の)しんぼう。しんぎ。かけも
 の
 ちく(名) 舳、ふねのへ、みよし
 ちく(名) 艦、にべ(動物)
 ちく(名) 逐一、委細、くはしく
 ちくろ 舳(船の前後を云ふ)ともへ
 ちくろく 逐鹿、しかをれよ(天下を争ふなどといふ)
 ちくは(名) 竹把、たかくまで。又たけたば竹束
 ちくば(名) 竹馬、たけうま、騎竹、駁竹
 ちくはつ 蓄髪、けとはやす(剃髪の人が)
 ちくばのとも 竹馬之友、こどものときのも、舊友
 ちくはく(名) 竹帛、たけふだ(上古事と記したる)國史(青史)
 ちくばく(名) 竹篋、たけのよりかかり竹夫人

ちくぢ(名) 蚯、なめくじ(動物)
 ちくぢ(形) 狂悞、はづる、はづかしくある
 ちくぢ(名) 地口、戯詞、たはむれうた、しやれうた
 ちくぢやう(名) 竹杖、たけづゑ
 ちくぢやく(する)自) 播擲、ひきつる、つる
 ちくり(名) 姉、あひよめ
 ちくりん(名) 竹林、たけばやし
 ちくりんてう(名) 竹林鳥、るり(動物)
 ちくるる(名) 畜類、家畜類、けだもの。また獸屬
 ちくをく(名) 築屋、たてや、建屋
 ちくわい(する)自) 馳廻、はせめぐる
 ちくわい(する)自) 遅回、まどる、てぬるくある
 ちくわいはふけん 治外法權(他國に居留し其國の法律外に立ち得る權を謂ふ)
 ちくわう(名) 地黃(ぢわう)、さほひめ(植物)
 ちくわい(名) 地瓜、兒苗、しろね、いぬしろね(植物)
 ちくわん(形) 遅緩、ゆるやか、のろい、れそき
 ちくわん(形) 癡頭、れろか、愚癡
 ちくが(名) 竹芽、たかんなたけのこ、筍(植物)
 ちくかく(名) 逐客、さすらひびと、れはれたるひと、浪人
 ちくかん(する)他) 逐趕、たふ、ねひかくる
 ちくよ(名) 竹輿、かご、たけかご
 ちくたい(名) 竹胎、たけのこ、たかんな植物)
 ちくだり(名) 下血、ちのくだること
 ちくたう(名) 竹刀、しなひ(劍術等に用る)。おをびえ
 ちくたふ(名) 竹答、らいがん(植物)
 ちくれき(名) 竹漚、たけのあぶら

ちくれん(名) 竹籬、たけすだれ
 ちくそ(名) 赤痢、あかはら(赤き物の下る病)
 ちくそう(名) 竹叢、たかむら、たかやぶ、叢
 ちくう(する)自) 値遇、であふ、あふ會
 ちくくわん(名) 竹管、たけくだ
 ちくや 逐夜、まいばん、毎夜
 ちくやう(する)他) 蓄養、かひやしなふ(動物等と)
 ちくま(名) 竹麻、いぬせうま(植物)
 ちくけふ(名) 竹筵、あまじ(動物)
 ちくけふ(名) 竹篋、あまじ(動物)
 ちくけふ(名) 逐件、いちいちのくだり、逐條
 ちくふつ(名) 竹佛子、あぶらむし(動物)
 ちくふじん(名) 竹夫人、たけれしまづき、たけまくら、竹姫、ださかご、竹几、たけのよりかかり
 ちくご 筑後(西海道の一國)
 ちくごう 逐項、逐條、いちいちのかご
 ちくてい(名) 竹蟬、まて、かひのな、馬刀貝(動物)
 ちくてん(俗)自) 逐電、かけをちする、逃亡、脱走、にげはしる
 ちくでんつば(名) 蓄電環電槽(電氣を蓄ふる器)
 ちくさ 千種氏)
 ちくさい(名) 竹菜、わうれんだまし、せんとうさう(植物)
 ちくさい 蓄財、ためたるかね
 ちくさい(名) 蓄財家、かねため、かねもち、財産家
 ちくさう(名) 竹槍、たけやり
 ちくさう(名) 竹箱、つづら、竹籠
 ちくさう(する)他) 築造、きづきつくる、たつる、建築家(牆等を)

ちくさく(名) 竹索、たけづな、たけなは
 ちくさき(形) 乳臭、ちちくさい、わかき
 ちくさん(名) 畜産、農家にて畜ふ牛馬の類をいふ)
 ちくき(名) 竹姫、たけれしまづき、たけまくら、竹夫人、だきかご、竹几、たけのよりかかり
 ちくぎ(名) 竹魚、さより(動物)
 ちくじ(する)他) 蓄積、ちくせき、つみたたくはふる
 ちくし(名) 竹子、たけのこ、筍(植物)
 ちくし(名) 竹枝、たはむれうた、きやうかのたぐひ(元楚聲、關州人多唱其名、起夜即竹節、たはむれしんぶん)
 ちくし(名) 竹紙、うすえふ、うすがみ、竹膜紙
 ちくし(副) 逐次、順次、だんだんに
 ちくしよ(名) 竹茹、たけのあまはだ、たけまいはだ
 ちくしつ(名) 竹蝨、ありまき(動物)
 ちくじつ(名) 竹實、たけのみ
 ちくじやう(名) 築牆、つぎがき、ついち、つちのかき
 ちくじやう(名) 畜生道(佛説六道の一)
 ちくしねび(名) 筑紫、籬
 やつば(佐竹家所藏)
 ちくしん(名) 竹籬、ささら
 ちくしん(名) 逐臣(君より讒を受て逐はれたる者)
 ちくえふ 竹葉、たけのは。
 また(酒を謂ふ)
 ちくえふらん(名) 竹葉蘭、さきやうらん(植物)
 ちくえふさい(名) 竹葉菜、つきぐさ(植物)
 ちくえふし(名) 竹葉紙、うすねふ(薄紙也)



(圖)の籬紫筑

ちくえふせう(名) 竹葉椒、ふゆざんせう(植物)
 ちくえん(名) 竹園たけぞの、たけばやし、又皇族の稱
 ちくひ(する) 逐鹿隨波逐塵、わちらこちらになびく、か
 よりかくよる
 ちくび(名) 乳頭、ちぶさのわたま、ちちくび
 ちくせい(名) 竹筴、さつねわな
 ちくせつにんじん(名) 竹節人參、土參(植物)
 ちくせつそう(名) 竹節草、かまつか(植物)
 ちくせき(名) 竹席、たかむしろ
 ちくせき(する) 蓄積、たくはへつむ、ためる
 ちくせき(する) 他、逐斥、ねひしりぞくる、ねひはらふ
 ちくせん(名) 竹筒、さばさみ
 ちくせん(名) 竹尖、さりとそぎ、そぎだけ
 ちくせん 筑前(西海道の一國)
 ちくせんぎよ(名) 竹鏡魚(動物)
 ちくすい(名) 竹酔日(五月十三日を然か曰ふ、此日竹
 を切れば必ず其根茂ると云ふを以て也、或は云ふ此
 日竹葉を浸せし酒を飲むが故に然か云ふ)
 ちくく(名) 賦賦、あかざれ、あかがり
 ちや(名) 茶(煮て飲む所の
 葉并に其樹)茗龍茶、碧
 夢
 ちやいろ(名) 茶色、さいろ
 ちやいろ(名) 茶色、さいろ
 がかりたるいろ
 ちやいろ(名) 茶煎(ちやせ
 ん)、ちやほうじ
 ちやいれ(名) 茶入、碾茶壺、茶罐、ちやつぼ、ちやがめ

(圖の入茶の種各)

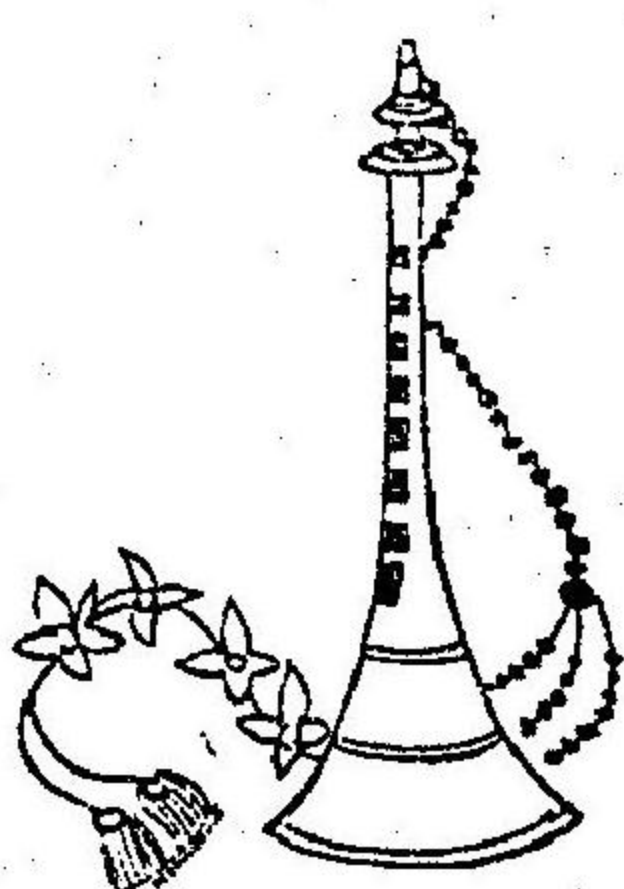


ちやろ(名) 茶爐、ちやをいるかまど、或るちり
 ちやはい(名) 茶牌(亡靈を供養するに用る者)
 ちやばい(名) 茶梅、さざんくわ(植物)
 ちやばうき(名) 茶筴、ちやをはくはばき
 ちやはく(名) 茶伯(茶道の宗匠)、ちやのゆのししやう
 ちやばん(名) 茶番茶を煎る役の人、また狂言(下を見よ)
 ちやばんきやうげん(名) 茶番狂言、だうけしはむ、たはむ
 れしはむ
 ちやば(名) 矮鶏、ちひさきにはどり(動物)
 ちやはうじ(名) 茶焙、ちやいろうつは、又ちやをいるひと
 ちやぼぐり(名) 矮栗樹、ちひさきくり(植物)
 ちやぼけいとう(名) 矮鶏頭(植物)
 ちやばん(名) 茶盆、茶盃、茶葉、茶盤(茶道具を載る盆)
 ちやるめるさう(名) 虎耳草、めゆきのした(植物)
 ちやるめら(名) 太平
 蕭、哨、唎、喇叭(らつ
 ば)、ふきもの(朝鮮
 人等の行列に用
 ふる古樂器)
 ちやわか(名) 茶鑑
 ちやがま
 ちやわん 茶碗、ちや
 のみわん、茗甌、ま
 た飯碗、めしわん
 ちやわんむし(名) 茶
 碗蒸、卵に魚青物
 等いれませて湯

(圖の碗茶)

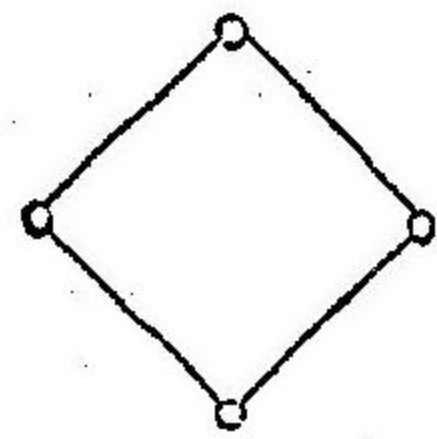


(圖のちやるめら)



にて蒸したる物)
 ちやかついろ(名) 茶褐色、くちちやいろ、かちん
 ちやがら(名) 茶滓、ちやかす、だしがら
 ちやがま(名) 茶釜、茶罐、茶鍋、やくわん
 ちやかす(俗) 他、嘲弄、なぶる
 ちやだ(名) 茶壺、茶托、托子、茶碗臺、ちやわんのせ
 ちやだ(名) 茶斷、ちやをたつこと、ちやをのまぬこと
 ちやたう(名) 茶湯、ちやのそなへもの
 ちやだう(名) 茶道(常に「さだう」と讀む)、ちやのみち、ちや
 のゆのみち
 ちやだう(名) 茶道具、ちやのうつはもの
 ちやたく(名) 茶托、ちやだい
 ちやたてむし(名) 竊虫(動物)
 ちやだし(名) 茶注、ちやつぎ器具
 ちやだん(名) 茶厨、茶匣(茶道具其他を蓄ふる者)
 ちやそう(名) 茶宗、茶道の宗匠、茶道の達人
 ちやぞめ(名形) 茶染、ちやいろぞめ
 ちやつば(名) 女褌、ゆもじ(女のこしさま)
 ちやつば(名) 茶壺、ちやいれ、ちやをいれるつば
 ちやつけ(名) 茶漬、ちやかけめし、ひやめし
 ちやつみ(名) 茶摘(春茶の若葉を摘む事)
 ちやらん(名) 金粟園(植物)
 ちやう(名) 張(二十八宿の一に
 して北方に位す)
 ちやう(名) 帳(帳)、ちやうめん、
 簿籍
 ちやう(名) 帳、とぼり、幕、まく

(圖の張)



ちやう(名形) 長、をさ、かしら、首長、めうへなる、ながき
 ちやう 長氏)
 ちやう(名) 疔、はれもの(瘻の如き)
 ちやう(名) 廳、まんごころ、政廳、官衙
 ちやう(名) 町、六十間を謂ふ
 ちやう(名) 腸、はらわた
 ちやう(名) 娘、むすめ、嬢
 ちやう(名) 丈、十尺を云ふ
 ちやう(名) 錠、鎖、ちやうまへ、とじまりするかね
 ちやういつ(する) 漲溢、みなぎりあふるる(水が)
 ちやういつ(する) 長揖、支那人の如く胸に手をあてて禮
 を爲るを謂ふ)
 ちやうろく(名) 丈六、跣坐、わぐらくこと(佛像にいとと)
 ちやうろく(名) 丈六、佛像(釋迦の結跏趺坐せる
 長大の像を云ふ)
 ちやうろ(名) 草石蠶、甘露子(植物)
 ちやうら(名) 丁場(役夫の持場を云ふ、又宿驛と宿驛の
 間)
 ちやうら(名) 帳場會計場、かんぢやうら
 ちやうら(名) 地楊梅、すずめのやり(植物)
 ちやうら(名) 帳、望、うらみみる
 ちやうら(名) 長方形(細長き角形)
 ちやうら(名) 丁半、奇偶、はくちのたぐひ
 ちやうら(名) 張、樊頭巾、かほかくすづきん
 ちやうら(名) 町人、まちびと、商人
 ちやうら(名) 帳簿、ちやうめん(帳面)、かきつけふみ
 ちやうら(名) 張本、ねこり、根本、起首、また首魁、かしら

ちやうと (賊等の) ちやうと 長途、ながみち、遠路
ちやうと(副) 丁物を打つを表はす詞
ちやうと(俗) 丁度、恰、おだかも、さながら、適然、宛然、宛爾

ちやうと(名) 帳綴、帳面を綴る事
ちやうとかけ(名) 張弩掛、調度懸、ゆみやかけ
ちやうとぢよ 長女、そらりやうむすめ、わねむすめ
ちやうちやう(副) 打打、うちたたく貌
ちやうちやく(俗) 名。一する(他) 打擲、うちたたき、うちたたく

ちやうちん(名) 提燈、張燈、携へ歩かるる燈
ちやうり(名) 張里、うまくすしはくろ、又、た
ちやうりう 長流、ながきながれ、長河
ちやうわ 長話、ながばなし
ちやうか(名) 長歌、ながうた
ちやうか(名) 町家、まちや
ちやうかう(名) 丁香、丁子の雄木
ちやうかう(名) 長庚宵の明星をいふ、ゆふづつ、太白星
ちやうがく(名) 聴學、ききまなび、ききかくもん
ちやうかん(形) 長閑、のどか、のびやか、うららかに

ちやうだい(名) 町代、舊町人の代理役人
ちやうだい(名) 帳臺、帳帳を施せる寢臺、また高坐
ちやうだい(名) 頂戴、いたたく、もらふ、たまはる
ちやうたいそく 長大息、たはためいき
ちやうたい(他) 打倒、うちたふす
ちやうたい(他) 長刀、ながなた

ちやうまん(名) 脹満、痕満、はらふくれるやまひ、鼓脹
ちやうけい(名) 長兄、たはあに、そらりやう
ちやうけい 長計、よきはかりこと、長計
ちやうげつ(名) 暢月、十一月の異名
ちやうげつ(名) 長月、ながつき、舊曆九月の異名
ちやうけん(名) 長絹、公家の服の名
ちやうふ(名) 長婦、おによめ
ちやうふ(名) 丈夫、をとこ、ますらを

ちやうふ(名) 長物、ひだもの、無用物
ちやうふ(他) 聴誤、ききあやまる
ちやうこうしゆ 長公主、帝王の姉をいふ
ちやうごふ(名) 定業、さだまれるいんぐわ(佛法の語)
ちやうごん(名) 悵恨、うらみなげき
ちやうてい 長程、ながみち、長途
ちやうてい(名) 長汀、極浦、とほきみぎは、ながさうら

ちやうあひ(俗) 名。帳合、ちやうめんしらべ
ちやうぢよ 長坐、ながる、ながつちり、ながもの、がたり
ちやうぢよ(名) 廳裁、かみのさばき、政府の裁決
ちやうぢよ(名) 打碎、うちくだく
ちやうぢよ(名) 杖罪、たさばなし(答刑)
ちやうぢよ(名) 定規、定木、界尺、界杖、裁尺、筋目を正うする

ちやうぢよ(名) 罷、また標準、のり
ちやうぢよ(形) 長久、ながくひさしき、永久
ちやうぢよ(名) 打球戯、だきうわそび、たまうちわそび
ちやうぢよ 張歎、はるあはする。ちらすあつむる

ちやうだう 聴道、いふをきく
ちやうだう(名) 廳堂、ひつまつ、ごしき
ちやうたん 長短、ながみじかき。善悪、よしあし
ちやうたん(名) 長歎、ながげく、ためいきつく
ちやうだん(名) 帳簾、帳厨、帳面、金鏡等を入るる者
ちやうれん(名) 長鎌、なががま、薙鎌
ちやうそ(名) 蓑楚、楊桃、きのな(植物)
ちやうそ(名) 長會我部(氏)
ちやうそ(名) 長息、ながいき、ためいき
ちやうそ(名) 腸詰、臘腸、腸の中に物を充したる食物
ちやうない 町内、まちうち

ちやうなふ(名) 聴納、ききいれる
ちやうなん 長男、そらりやうむすこ、長子、うひこ、嫡男、あどとりむすこ
ちやうらう(名) 長老、としより、たもだち、又、佛寺にて住持に次ぐ僧、耶穌教にて牧師に次ぐ人をいふ
ちやうのひ 丁日、雙日、偶日、二四六等の日をいふ
ちやうく(名) 長驅、とほのりする、とほくかけゆく
ちやうく(名) 張外、無宿、むしゆく、除籍
ちやうく(名) 長官、をさ、つかさ、かしら、一局の「ちやうや」

ちやうや 丁野、よほの(氏)
ちやうや 長夜、ながよ、又、こやみ
ちやうや(名) 長養、そだてやしなふ、そだてる
ちやうやく(名) 町役、まちやく、にん
ちやうやく(名) 町役人、まちどしより
ちやうやく(名) 丈間、ひらま
ちやうま(名) 錠前、戸を鎖す具

ちやうぎん(名) 丁銀、つぶがね(幕府の通貨)
ちやうぎん(名) 錠銀、幕府時代の貨幣、丁銀
ちやうめい 長命、ながさいのち、ながいき
ちやうめい(名) 長命丸、腎薬、いろくすり、激淫薬
ちやうめん(俗) 名。帳面、簿冊、帳簿、ひかへちやう
ちやうめん(名) 帳面、簿記、ちやうかた、ちやうつけ

ちやうみやう 定命、さだまりたるいのち(壽命をいふ)
ちやうし(名) 長子、そらりやうむすこ、うひこ、嫡子、元子
ちやうし(名) 長男、とほしとめ、とどむる(一時音)
ちやうし(名) 長姉、たはあね、そらりやうむすめ
ちやうし(名) 長指、たけたかゆひ、なかゆひ

ちやうし(名) 長男、とほしとめ、とどむる(一時音)
ちやうし(名) 丁子、丁香、鶏舌香、植物また其果
ちやうし(名) 場師、にはつくり、植木屋、にはし、園丁
ちやうし(名) 丁子色、丁子の如き色
ちやうしがしら(名) 燈花、燈火に生ずる丁子花形の物
ちやうじよ(名) 自他、暢舒、のびる。のばす。散(氣鬱等を)

ちやうしよ(名) 釘書工、せいほんや(製本屋)
ちやうしよ(名) 丁子染、染色の名
ちやうじつ 定日、さまりひ、期日、さだめひ
ちやうじつ(名) 石南花、こめつ(植物)
ちやうじな(名) 山梗花、植物
ちやうし(名) 聴衆、ききこ、きこひとたち
ちやうし(名) 長袖、ながそで

ちやうしうい 長袖衣ながそでこちもふりそで
ちやうじや(名) 丁子草、瑞香花(植物)
ちやうじや(名) 長者、めうへ、かしら、長上
ちやうじや(俗)(名) 長者、かねもち、素封、ぶげん、侯伯、れ

ちやうしや(名) 杖者、つゑつくもの、老人
ちやうしやう(名) 打傷、うちきず

ちやうじやう(名) 長上、めうへ、かみのひと
ちやうじやう(名) 頂上、いただき、てつべん
ちやうじやく(名) 丈尺、寸尺、たけながさ

ちやうじあぶら(名) 丁子油、丁子より取る油
ちやうじあぶら(名) 荳蔻、ふちもどき(植物)

ちやうじさう(名) 水甘草(植物)
ちやうじさ(名) 定式、さだまれるのり

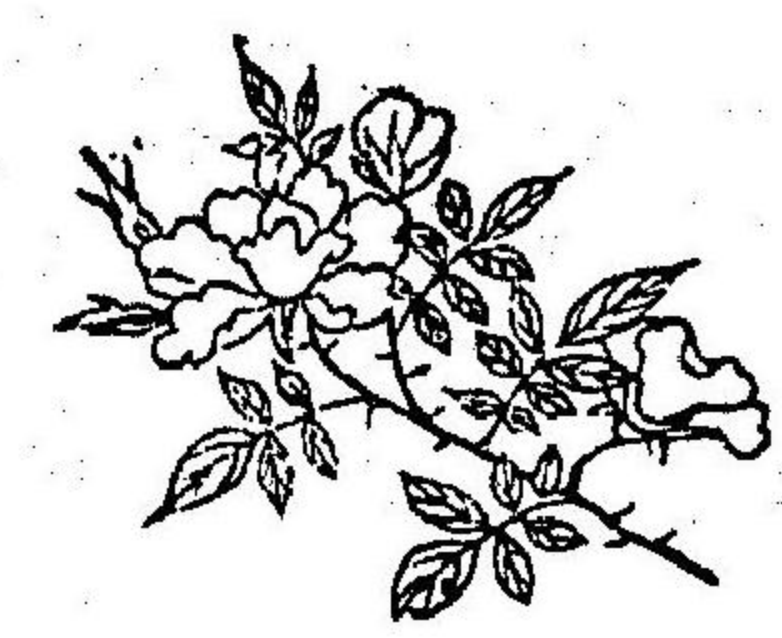
ちやうじゆ(名) 脹腫、はれあがり、ふくれ
ちやうじゆ(名) 長壽、ながいき、長命、高齡、遐齡
ちやうじゆく(自) 聽熟、きこなる

ちやうじゆんどう(名) 長春藤、さつた(植物)
ちやうじゆんくわ(名) 長春花、
月季花、月月花、かうしんば

ちやうじゆんぎく(名) 長春菊
福壽草(植物)
ちやうじん(名) 丈人、をつと(又
妻の父)

ちやうしんけい(名) 聽神經、耳

(圖の花春長)



ちやくい 着意、こころをつくること
ちやくにん(名) 地役人、ところやくにん
ちやくほ(自) 搦捕、からめどる、とらへる
ちやくぼ(名) 嫡母(本妻にして父の妻たる者、但し妾腹の
子おとよりして呼ぶ詞)

ちやくぢよ(名) 嫡女、そうりやうむすめ(本腹の)
ちやくぢやく(副) 着着、歩歩(一步一步をいふ)

ちやくぢん(名) 着陣(陣所に来着する)
ちやくりう(名) 嫡流(正統の子流)、ほんすぢのいへ
ちやくわし(名) 茶菓子、ちやのわひてにくふもの

ちやくか(名) 嫡家、本家、宗家、もといへ
ちやくかふはじめ 着甲、始、よろひきぞめ(武士の事)
ちやくかん 着岸、さしにつく、着船

ちやくがん(自) 着眼、めをつくる、着目
ちやくよう(自) 着用、さる、まどふ

ちやくたう(名) 着到、到着、きたりつくこと
ちやくだん(名) 嫡男、あどとりむすこ、惣領子
ちやくそん(名) 嫡孫、うひまご、ほんすぢのまご

ちやくなん(名) 嫡男、そうりやうむすこ、嫡子
ちやくぐ(名) 鸚鵡、うすべ、たすめどり(動物)
ちやくぐく 着服、さものの着衣、きたるさものの

ちやくざ 着座、ざにつく
ちやくさい(名) 嫡妻、正妻、本妻、まことのつま
ちやくぎよ(名) 着御天子の御來着をいふ
ちやくし(名) 嫡子、嫡嗣、そうりやうむすこ、あどとり

ちやくしよ(名) 嫡庶、ほんばら及めかけばらのこ
ちやくしよく(名) 着色、いろづけ、彩色

ちやくえう 神經、きくすぢ
ちやくえう 長幼、としたけたるといどけなき
ちやくえん(名) 腸炎、腸嫩衝、はらわたのやまひ(病名)
ちやくえん 長遠、ながくとほき

ちやくひ(他) 打塵、うちなびかす
ちやくび 丁日、偶日、剛日(二日四日六日等の日といふ
奇日に對す)

ちやくびやう 長病、ながやまひ、宿痼
ちやくびけい(名) 長尾雞、みのひきにはどり(動物)
ちやくびせい(名) 長尾星、はきはきぼし、彗星

ちやくもん(自) 暢茂、のびしげる(草等が)
ちやくもん(他) 聽聞、きく(説教等を)
ちやくもん(名) 定紋、いへのもんじるし、家紋

ちやくせい 長生、ながいき
ちやくせい(自) 長成、ひととなる、そだつ
ちやくせい(自) 長逝、しぬる

ちやくせう(自) 長嘯、ながくうそふく
ちやくせん(形副) 悵然、うれひなげく貌
ちやくす(名) 茶磨、ちやをひくうす

ちやくす 漲水、みなぎるみづ、でみづ
ちやくすう(名) 丁數、偶數、ちやうめ
ちやくま(名) 茶間、茶室、又めしくひとこち

ちやくのこ(名) 茶子、點心、ちやくぐわし
ちやくのき(名) 茶樹、茗、ちやをとるき(植物)
ちやくのゆ(名) 茶湯、茶をたつる法の名

ちやくする(他自) 着、さる(衣服を)いたる、きたる
ちやくい 着衣、きたるさものの着服

ちやくじつ(形) 着質、ちつきたる、うはつかぬ
ちやくしゆ(自) 着手、とりかかるとをくだす
ちやくしゆ(自) 搦手、からめて(城の後門)

ちやくせん 着船、ふねがつくこと(港に)
ちやくや(名) 茶屋、やすみどころ、飲食店、とりもちや(芝居
女郎屋等の)

ちやくま(名) 茶枕、くくりまくら、茶を入れて作りし枕
ちやくまめ(名) 茶豆、まめのたぐひ(植物)、又さたうづけま

ちやくぐろ(名) 茶袋、茶を入れて煎る袋
ちやくこし(名) 茶漉、茶滓を漉す器
ちやくてい(名) 茶亭、ちやみせ、茶店、茶屋

ちやくでう(名) 茶碟、ちやさら
ちやくさく(名) 茶匙、ちやくしやく(をみよ)
ちやくき(名) 茶器、ちやだらうぐ

ちやくきん(名) 茶巾、ちやふきん
ちやくめし(名) 茶飯、茶汁を入れて炊きたる飯
ちやくみせ(名) 茶店、ちやや

ちやくし(名) 茶師、はちやや、ちやくこしらふひと
ちやくじよう(形) 茶上戸、ちやすすき
ちやくしつ(名) 茶室、茶をたつる間

ちやくやく 茶杓、茶匙、茶鏝、ちやくむもの、ちやくびし
ちやくぶ(名) 茶漉、ちやのわぶらのこときもの
ちやくじん(名) 茶人、茶道の達人、茶好きの人、異風の人、奇
人
ちやくえん(名) 茶園、さえん、茶圃、茗園、ちやばたけ

ちやひきぐさ(名) 燕麥、からすむぎ、雀麥(植物)

ちやびしやく(名) 茶柄杓、茶じく、ちやひしやく

ちやびん(名) 茶瓶、ちやだし、びん

ちやびんしき(名) 茶瓶坐、びんしき

ちやせいろ(名) 茶蒸籠、茶を製する具、ちやほうじ

ちやせんまげ(名) 茶筌、茶をかきまはす籠、ちやたてざら

ちやせんまげ(名) 鬚髻、婦人の髪のかみ方

ちやん(名) 土瀝青、土より出る油の如き者

ちやんはぎ(名) 博落廻、たけにぐさ(植物)

ちやんど(俗) 副 嚴然、ただし、整然、威儀に謂ふ

ちまはり(名) 地廻、近在、近郷、ちかはどり

ちまはりふね(名) 沿岸航行船、近海岸の間を往來する船

ちまよふ(自) 血迷、どりのぼせる、まがちがよ

ちまた(名) 衢、まちのどほり、岐街、またみち、巷、よこみち

(まぢの)

ちまつり(名) 血祭、(戦争の)門出等に血を灌いで軍神を祭る事

ちまつり(名) 地祭、土地の神の祭祀、ぢのかみのまつり

ちまなこ 血眼、ちをそそげるめ、どりのぼせまなこ

ちまう(名) 蜘蛛、くものす

ちまき(名) 茅卷、角黍、粽、楚粽、粽子(笹巻の食物)

ちまきのほ(名) 茅纏、猪ちがやをまきたるほ(五月五日の飾具)

ちまみれ(形) 血塗、血汚、ちまぶれ、ちにそまる、ちだらけ

ちまん(形) 遅慢、のろい、てぬるい

ちまん 持満、ひつばる、よつびく(月を)

ちふし(名) 地膚子、地麥(植物)

ちふし(名) 靈醫、ねはあめ

ちこ(名) 知客(禪宗寺院内役僧の稱にて來客の接待を掌る)

ちこ(名) 乳兒、兒童、をさなご、又ともこのこと、貴人僧徒等の)

ちこ(名) 持基、勝負なき基(戯)

ちこ(名) 乳兒嚙、乳哺子が乳首等を咬み傷むる事

ちこ(名) 稚生、をさなご、ちち、をさなごは

ちこ(名) 幼顔、童顔、をさなごは

ちこ(名) 地骨、いし(石の異名)

ちこく 治國、くにをささむる

ちこく(名) 地獄、惡人の死後に行く刑場の地、(俗)密賣女

ちこくそ(名) 地獄蕎麥、蕎麥(植物)

ちこくのかまのふた(名) 金巻小草、きらんごう(植物)

ちこく(名) 地獄繪、地獄の形を寫せる圖

ちこく(名) 地聲、もちまへのこゑ、うまれつきのこゑ

ちてい(自) 馳騁、かけはしる(馬にて)

ちてい(名) 雉媒、ひめがき、こまがき(城牆の)

ちてい(自) 躑躅、つまづきたふるる

ちあひ(名) 地合、織物地の有様

ちあひ(名) 治安、をさまりてやすきこと(國の)

ちあひ(名) 昔、塘蒿、萬葉菜蔬の類(植物)

ちあひ(形) 緻細、こまか(織地等の)、細密

ちあひ 治罪、つみをただす、罰罪

ちあひ(名) 答罪、むちうつつみ(刑の名)

ちあひ(名) 持齋、さき、法事、佛僧の供養

ちげ(名) 地下(四位以下の人にて昇殿を許されぬ者をいふ)

ちげい 地形、地勢、土勢の形

ちげい(名) 智計、ちえ、かしこさ

ちげい 智計、かしてきはかりごと、良謀、良策、謀略

ちげい(自) 雌經、くびりころす

ちげい(名) 答刑、むちうつしたき(刑名)

ちげい(名) 地下人、四位以下の人をついふ、地下を見よ

ちげい(自) 躑躅、つまづく、まらぶ

ちげい(名) 血煙、戦争の時に八方に流れたる血より煙たつと謂ふ

ちげい(名) 地岐、島と島との中間の狭き地を云ふ

ちげい(名) 締給、くづぬの、あらぬの

ちげい(名) 地券、券狀(土地所有の證券)

ちげい(名) 知見、さとり、見識

ちげい(名) 地膚、ははきぐさ(植物)、又太古自然に地に生せしといふ食物

ちげい 治部(古の官名)、禮部

ちげい(形) 地太(布の地系の太さをいふ)、ぢのふとさ

ちげい 知夫利(氏)

ちげい(名) 血振、産婦等の身振ひする病、又立暈み

ちげい(名) 持佛、いへにまつるほどけ(家に祭る佛、また身にそへて持つ佛)

ちげい(名) 持佛堂、念誦堂、佛壇の間

ちげい(名) 知風草、かせぐさ、ちからぐさ(植物)

ちげい(名) 地杖、園門等のしきみ

ちげい(名) 乳房、乳房、ちち(婦人の)

ちげい(名) 治罪法(犯罪を處理する法則)

ちげい 千里(氏)

ちげい(名) 内豎、小性の如き者

ちげい(名) 地境、地界、くにさかひ

ちげい 穉草、わかぐさ

ちげい(名) 地藏菩薩、小兒の靈魂を守る佛

ちげい(名) 松楊、賣子木(植物)

ちげい(形) 小些、細、細微、ちひさき、ねほきからぬ

ちげい(名) 地靈、すくもむし(動物)

ちげい(自) 持參、もちまゐる、もちきたる

ちげい(名) 持參金、嫁貨、よめいりきん(事故ある婦人が重に携來する者、但し男にも又あり)

ちげい(名) 知己、ちかづき、知友、知人、知音、しりあひ

ちげい 地氣、つちのいき、つちのしめりけ

ちげい(自) 耻愧、はづる

ちげい(名) 地祇、くにのかみ、地神

ちげい(名) 乳木、壇の上に設けたる者

ちげい(名) 千木、逢木、太神宮の屋上等に在る片削ぎの木をいふ

ちげい(名) 秤杆、杜秤、ばかりごを、ばかりのぼう

ちげい(自) 遲疑、ためらふ、いうよする

ちげい(自) 直取引、直賣買(仲買を用ひずしてする賣買)

ちげい(名) 直綴、じつとく(僧或宗匠等の着る長袖の服)

ちげい(名) 膝扶、錐、櫛の縦糸を巻く棒

ちげい(名) 懶婦、人が妻の時などに頭を包む物

ちぎりぎ(名) 斷木力較べの時用ふる木

ちきりじめ(名) 膝緊いたしめ(板緊器)

ちぎる(自) 契、契約、ちかふ、約束する(夫婦約束等にいふ)

ちぎる(他) 拗切、斷離、ねぢぎる

ちきたつ(する) 直達、ちかばあし、直話

ちきだん 直談、ちかばあし、直話

ちぎれちぎれ 斷斷、ぎれぎれ、つたつた

ちきそ(名) 直訴、かけこみねがひ、ちかうつたへ(國主等に平民がする)

ちきそう(する) 直奏、ちかばあし、まうしあぐる(天子に)

ちきなふ(する) 直納、ちかばあし、ねさむる(税金等を)

ちきう(名) 地球、輿地、世界、よ

ちきう(名) 雉鳩、さじばと(動物)

ちきう 持久、ひさしきをたもつ(籠城等にて)、もちこたへる

ちきうづ 地球圖(世界の繪圖)

ちきうぎ 地球儀(輿地圖の球)

ちきやう(名) 知行、あてねこなひぶち、采地、領地

ちきやうだい(名) 乳兄弟、阿彌兒、同じ乳母の育でし別人の子

ちきやうしよ(名) 知行所、采邑、食邑、領地、領分

ちきやうしや(名) 持經者、つねにきやうをよむひと

ちきでん 直傳、ちかにつたへる、ちかにつたはる(秘訣等を)

ちきさん(名) 直參、ちかまゐり、ちきげらい、旗本

ちきしよ(名) 直書、ちきひつ、ちかがさ

ちきしゆしゆつ 直輸出、ちきしゆつ(物品を仲買を経る)

ちみ(名) 魑魅、こたます、たままもの、魔鬼、ばけもの

ちみどろ(形) 染流血、ちだらけ

ちみち(俗) 名) 地道、正道、まじみち、正當

ちみつ(形) 緻密、こまやか、くはしき、精密、明細、つまびらか

ちみやく(名) 地脈、ちのすぢ(地中の脈絡)

ちし(する) 自) 致仕、退隱する(官途より)、告老

ちし(名) 稚子、みづこ、稚兒、をさなこ

ちし(名) 地誌、地理書

ちし(名) 地芝(植物)

ちし 置辭、ことばをわく、ものいふ措辭

ちし(名) 知事、令尹(府縣の長官、つかさ)

ちし(名) 剪刀、股、つるにがな(植物)

ちし(名) 血汐、流血、ながれち

ちし(名) 乳汁、ちち、通

ちし(名) 地所、地面(宅地、耕地などを云ふ)

ちし(名) 耻辱、はづかじめ、はぢ

ちし(名) 地質、地味、地の性質

ちし(する) 知悉、くはしくしる、しりつくす

ちし(名) 地鼠、をめぐむし、わらじむし、のみむし(動物)

ちし(名) 馳騁、いそぎのつぎらふ、はやらふ、びきやく

ちし(名) 遅日、ながきひ、永日

ちし(名) 痔疾、ぢのやまひ(肛門病)

ちし(名) 地質學、地學(地の諸事を探る學)

ちし(名) 地質學士、地質學に精しき者

ちし(名) 地澁、そぶ(植物)

ちし(する) 自) 馳騁、かけりはする(馬にて)

ちきに直に外國へ送りて賣る事をいふ

ちきしん(する) 直進、ちかわたしする

ちきひ(名) 直披、親展、親覽、來書と自身に開封する事

ちきひつ(名) 直筆、ちかがさ(文書の)

ちきせつ(する) 直説、面説、ちかづけにいふ

ちきん(名) 地錦、つた(植物)

ちきん(名) 地琴、あさだけ(植物)

ちきん(名) 地錦草、にしきさう(植物)

ちゆ(名) 地榆、われもかう(植物)

ちゆ(する) 自) 治愈、いゆる、なほる(病が)

ちゆ(名) 拄杖、いきづゑ

ちゆつたう(する) 自) 怵悼、かなしみなげく

ちゆつてき(名) 怵然、うれふる貌

ちゆう(名) 地湧金蓮、えんこうさう(植物)

ちゆう(名) 榊、いぬたら(植物)

ちゆう(名) 空穿、つかあな、墓穴

ちゆう(名) 逆遭、失望、のぞみをうしなふ、ふしあはせ

ちめ(名) 血眼、のぼせめ、かゆきめのやまひ

ちめい 致命、いのちをいたす(命を擲つ也)、又いぬる、いのちにかかはる

ちめいのとし 知命年(五十歳を云ふ)

ちめいしよ 致命處、きんじよ、いのちにかかはるところ

ちめん(名) 地面、土地、地所

ちめん(名) 地面持(田土と多く有する人)

ちみ(名) 地味、地質、土地の肥瘠

ちし(する) 自) 知羞、草れじさう、たちぎく(植物)

ちし(名) 智者、さとさきもの、ちるあるひと、かしこきもの

ちし(名) 治者、をさむるもの(政府を指す)

ちし(名) 萬世、ちさ、なのたぐひ(植物)

ちし(名) 地性(地質をいふ)

ちし(名) 智將(かしてき大將)

ちし(名) 痴情、はれごころ(男女の)

ちし(名) 松陽、ちさのき(植物)

ちし(名) 勢と闘はず、理と闘はず

ちし(名) 千島、北海道に隣れる群島の名

ちし(名) 知死期、しぬときをしる病人等の死期を知る事にて之を爲すには其人の生れ年と月の十干十二支等を操りて見る也

ちし(名) 知識、しること、見識、ものしり(重に僧の)

ちし(名) 地鋪、地面(ぢめん)

ちし(名) 置酒、さけをいだす

ちし(名) 治術、なほしかた、をさめかた

ちし(名) 地子錢、地租(土地の年貢)

ちし(名) 致身、みをさしたす(身命を擲つ)

ちし(名) 癡人、うつけもの、ばかもの、れろかもの

ちし(名) 知人、しりあひ、知己

ちし(名) 地神、くにかみ、地祇

ちし(名) 地震、ぢふるひ、なる、地動

ちし(名) 地震學、地震の事を研究する學

ちし(名) 地神五代(天照太神、彦火火出見、忍穗耳、瓊)

瓊杵、音不合の五尊)

ちしんき(名) 地震器、地震器(地震をはかる器具)

ちじんゆう 智仁勇之を三徳と稱す)

ちゆう(名) 治要(よをささむるみち)治術

ち名のいた 智慧板(物形を考へ作る許多の板片にて遊

戯の具)

ち名のわ(名) 九連環(遊戯に用ひて人の考の巧拙を比ぶ

る環)

ちねん(自) 遅延(たそくなる、はこばぬ、ひまざる

ちび(名) 雉尾(孔雀の尾羽)

ちひろ 千尋(せんじん)せんひろ

ちひろ(名) 千尋草(植物)

ちびちび(俗) 副) 少少遅微遅微すこしづつ

ちびる(自) 禿、耗、へる、される(筆の尖が)

ちびやう(名) 持病、もちまへのやまひ、ながやまひ、宿痼

ちびんで(名) 禿筆、きれんで

ちひさがたな 小刀、短刀、こがたな

ちひさ(名) 侏儒、矮人、こびと、せびく、ひき

ちひさ(形) 小、矮、短小、たはさくあらぬ

ちびきたり(名形) 千引織(織方の名)

ちびきのいし(名) 千引石、大盤石、たはばんじやく、千人

引の石

ちひき(名) 地畏(網海に打つ網の名)

ちも(名) 知母、はなすげ(植物)

ちもく(名) 除目、ちよもく

ちせい(名) 地勢(ちなり、地形)ちのかたち

ちせい(名) 治世、みよ、御宇(帝王の)また(泰平之世)

ちんば(形名) 趁鼓、蹙鼓、蹙子、脚鼓、びつこ、かたちんば

ちんば(名) 陣場、戰場、いくさば

ちんば(名) 陣羽織(戦陣の際に將校の着たる袖無し

上衣)

ちんばら(名) 陣拂、退陣、ひきしりぞくこと、いくさを

やめること

ちんばう(名) 珍寶、めづらしきたから、たからもの、珍品、

珍貨

ちんばう(自) 陣亡、いくさにしぬる

ちんば(自) 陣法、いくさのみち、そなへかた

ちんば(自) 跛行、びつこにあわく

ちんば(名) 鎮藩、だいまやう(大名)諸侯(天子の藩屏と

なり)國家の鎮となる故に然か云と)

ちんに(自) 陣入、かけこむ、まつしぐらにはせい

ちんば(名) 賃舗、かしたな(貸店)

ちんば(名) 陰莖、男根(小兒の語)

ちんばつ(自) 沈没、しづむ(船等が)沈落

ちんばつ(自) 陣没、うちじにする陣亡

ちんべん 枕邊、まくらもと、まくらへ

ちんべん(名) 塵斗、ちりとり、ごみとり

ちんざり(俗) 陣取、ちんがまへ

ちんざり(自) 陣取、布營、いくさそなへする

ちんどう 陣頭、そなへのまへ(戦争の)

ちんどう(名) 鳩毒(鳩の身より取れる毒なり)鳩と見よ

ちんどう(形) 蹠蹠、あしなへ、蹠蹠、ちんば

ちんち(名) 賃地、かじち(賃地)かりぢめん

ちせう(名) 癡笑、ばかわらひ、ねろからしきわらひかた

ちせう(名) 蜘蛛、いひだこ(動物)

ちせう(名) 地椒、つるざんせう(植物)

ちせき(名) 治蹟、まつりごとのあと、政治模様をさまれ

るわと

ちせき(自) 答責、むちうちせむる

ちせき(名) 地籍、みづちやう(水帳)地券簿

ちせん(名) 地鏡、せにひけ(植物)

ちせん(自) 治痊、いゆる、なほる、全快、平癒

ちず(名) 地髓、ちわう(植物)

ちず(名) 血脈、経絡、ちみち(血の環る筋)

ちず(名) 血統、ちつづき(親子兄弟従兄弟の如き同血の

相續く事)

ちず(名) 地菘、はまたかな(植物)

ちん(名) 鳩(毒鳥なり)

其肉を食ふ時は立

ろに死す、此羽を

酒にいれて毒酒を

製す)

ちん(名) 矮狗、佛林狗、こいね(動

物)

ちん(代名詞) 朕、われ、まろ(天子自ら稱するの詞にして

秦の始皇帝より始まる其昔は諸人に通じて用ひたり)

ちん(名) 賃(勞苦或使用等に報る金錢と謂ふ)あたひ、代

ちん(形) 亭、あつまや(園中等の)

ちん(形) 陣、ふるびたる、ふるくた

ちん(名) 陣、いくさそなへ陣營

ちんちよう(自) 他形) 珍重、めづらしがる、たいせつに

する、めづる、愛玩、めでたき

ちんちやう(名) 陣中、いくさそなへのうち

ちんちやう(名) 沈丁花、瑞香、りんちやう(香花樹の

名)植物)

ちんちやく(形) 沈着、れちつきたる(輕卒ならぬ)

ちんちん(形副) 沈沈、しめやか、しづか

ちんちん(形副) 醜醜、然(安くたのしむ貌)

ちんちん(自) 沈淪、しづむ、ねちいる(罪惡或地獄等

に)陥落

ちんちん(名) 陳廩米、ふるくらごめ

ちんちん(名) 賃屋、かりいへ、借屋、又かしの、

ちんちん(名) 塵芥、ちりあくた

ちんちん(名) 陣鉦、陣刀、軍刀、たち、のたち

ちんちん(名) 陣鉦(出陣行軍等に鳴す鐘)

ちんちん(名) 賃耕、こさく(小作)かりづくり(田圃の)

ちんちん(名) 珍肴、うまささかな、珍饈酒の)

ちんちん(名) 沈香、かはりぎ、沈水香

ちんちん(名) 陣笠(紙或木の厚き笠にて戦争又は火事等

に)蒙る)

ちんちん(名) 陣笠、昆虫、金花虫(動物)

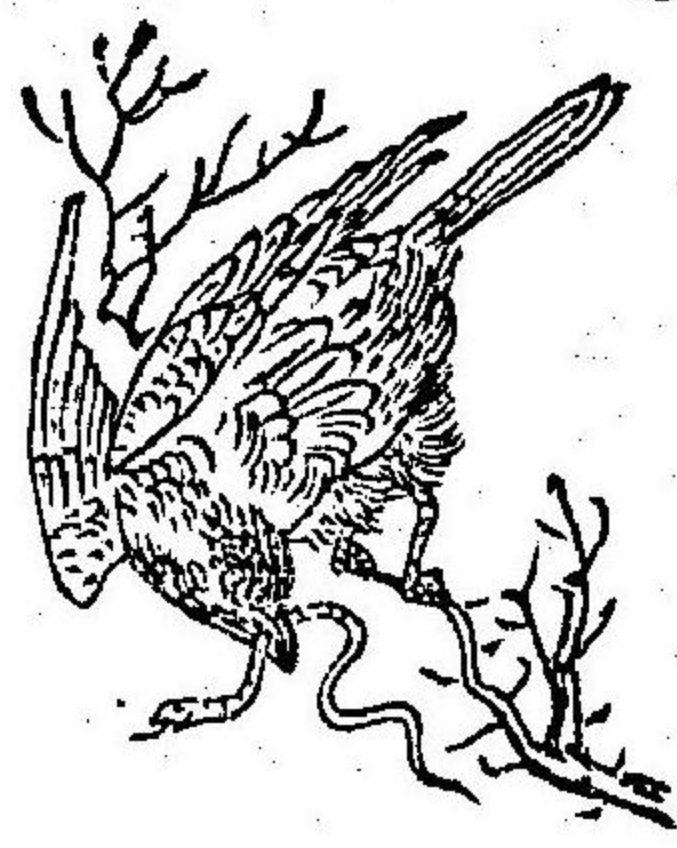
ちんちん(名) 賃貸、租料貸、あたひをうけてかすこと

ちんちん(名) 陣螺、陣囉(動物)

ちんちん(名) 陣蠶、つはものだむろ、くにのしづめ(兵隊

の屯集所)

ちんちん(名) 陣代(舊陣屋の長官)



ちんせい【する】(他自) 鎮靜、しづむる。しづまる(病氣或は亂等に用ふ)
 ちんせい【する】(他) 陳請、ねがふ(官府に)
 ちんせい 鎮西(九州地方を云ふ)
 ちんせい【名】 塵世、ちりのよ、うきよ、塵土、塵境(此世界を謂ふ)
 ちんせつ 珍説、めづらしきはなし
 ちんせき【名】 鎮石、ねもし、ねし、壓石
 ちんせき 陳迹、ふるきわと
 ちんせき【する】(他) 珍惜、めでをしむ(大切にする)
 ちんせん【名】 賃錢、やとひせに、あたひ
 ちんせん【名】 珍膳、珍羞、うまきもの
 ちんせん【副形】 驟然、大に笑ふ貌、はあはあ、あはは
 ちんせん【名】 陣扇、ぐんばい、うちは軍陣に用る扇
 ちんすい【する】(自) 沈醉、多ひしづむ、泥醉、銘醒
 ちんすい【名】 沈水香、沈香、ちんかう)

り

り 利、里 是は「る」の父音と「い」の母韻と合して生ずる音にして五十韻の中にて第九行第二段に位す。此音も「らるれろ」と同じく純粹の日本語の首に冠る事なし。因て此部にあるは大低漢語なりと知るべし
 り【名】 里(地の遠近を算ふる語にして三十六丁を其長さとし、古は漢土の如く六丁を一里とせし事あり)
 り【名】 鯉、理、たぬき(動物)
 り【名】 里、さとむら

り【く】(俗【名】) 利得、利徳、まうけ、利潤
 り【ん】 利鈍、するどきとにみせ
 り【ち】(名) 吏治、やくにんのをさめかた(地方等の)
 り【ち】(支那音【名】) 蒹葭、れいし(荒き尖點ある皮の中にある菓又その樹(植物))
 り【ぢう】(する) 離住、はなれすむ、離居
 り【ちうてんわう】 履中天皇人皇第十八代の帝
 り【ちやう】(名) 里長、むらをさ
 り【ちぎ】(名形) 律義、正直、しやうちぎ、まめやかり
 り【ぢんぶく】(名) 離塵服、けさ袈裟
 り【りよ】(名) 里閭、むらざと、ざと
 り【りよう】(名) 驪龍、くろうま(動物)
 り【りよう】(名) 鸕龍、あまよりよう(動物)
 り【りしき】(形) 凜凜敷、ねごそかなる、きびしき、凜然
 り【をく】(名) 離屋、はなれや、ひとつや
 り【かい】(する) (他) 理解、理會、さとる、わかる
 り【かい】(する) (自他) 離解、はなれとくる、ばらばらになる
 り【がい】(利害、ためため、利益損害、得失)
 り【かた】(俗【名】) 利方、よきこと(他の事よりも、さいはひりから【名】) (する) (他) 履行、ふみれこなふこと(契約等をりかのかんむり 李下冠(梨の木の下にて冠の曲れるを正す事是人に梨と盗み食ふと疑はる可し))
 り【かく】(する) (自) 離隔、はなれへだたる
 り【かく】(する) (他自) 齋革、あたらむる。改革、あたらまる
 り【かく】(名) 理學、物の道理を究る學、物理學
 り【かく】(名) 理學者、理學士(物理の學に長けたる人)
 り【かん】(名) 離間、反問、なかわれさすること(敵中に)

り【名】 利、まうけ、とく、利益、利潤、又りそく
 り【名】 犁、すき(農具)
 り【名】 鯉、こひ(動物)
 り【名】 理、ことわり、道理、すぢめ、文理
 り【名】 梨、なし(植物)
 り【名】 痢、はらくだりやまひ
 り【名形】 驪、くろうま、又くろき(動物)
 り【名】 李、すもも(植物)
 り【名】 離(八卦の第三、うま(南方)又(動)はなる
 り【名】 理、うち、うら、裏
 り【名】 裏衣、裡衣、したぎ、じゆばん
 り【い】(名) 理由、わけ、わけがら、次第道理
 り【い】(名) 吏員、役員、官員、やくにん、つかさびと
 り【い】(名) 藜蘆、れいろ、わをやぎさう、ししのくびき、しゆろさう(植物)
 り【ろん】(名) 理論、實地に非ずして道理を談論する事
 り【はい】(名) 離杯、わかれのさかづき、離宴、はなむけ
 り【はつ】(名形) 利發、はつめい、かしこき、伶俐
 り【はつ】(名) 理髮、かみつくろひ、かみわけ、かみゆひ
 り【はつ】(名) 理髮所、かみゆひどころ、こば
 り【はつ】(名) 理髮職、かみゆひ、とこや
 り【はん】(名) 籬畔、籬落、まがき、かきね
 り【はん】(名) 離叛、はなれそむく、民心が君に
 り【は】(する) (自) 遡歩、ねりあるく、そろそろあゆむ
 り【べつ】(名) (する) (自) 離別、わかれ、わかるる
 り【へん】 籬邊、まがきのあたり、かきねのそば
 り【ど】(名) 理奴、ねこ(動物)
 り【よ】(名) (する) 旅泊、たびのどまり、やどり、やどとる
 り【より】(名) 閭里、ざと、むらざと
 り【より】(名) 濟力、うでぢから
 り【より】(名) 呂律、音樂の聲調に云ふ)
 り【より】(名) 虜掠、どらへかすめる
 り【よ】(名) (する) (自) 旅行、たびゆき、たびあるき
 り【よ】(名) 藎蒿、きつねのまゆはき(植物)
 り【よ】(名) 閭巷、ちまた、よこまち、うらまち
 り【よ】(名) 旅券、とほりぎつて、通行免狀
 り【よ】(名) 旅客、たびびと、旅人
 り【よ】(名) (俗【名】) 旅用、たびつひね、路用、路費
 り【よ】(名) 滌袋、みづこし、こしふくろ
 り【よ】(名) (する) (他) 利用、よくもちふること。よくつかふ利益に成る様に用ふる)
 り【よ】(名) 龍、たつ(鱗出長なりと謂ふ想像物(動物))
 り【よ】(名) (する) (自) 陵夷、れとろへ、やぶるる(道德風俗等が)
 り【よ】(名) 稜威、みいつ、いきはひ
 り【よ】(名) 陵遊草、ねやみぐさ(植物)
 り【よ】(名) 凌陰、こほりぐら、ひむろ、氷室
 り【よ】(名) 龍馬、たつば(高き八尺ある馬を謂ふ)駿馬
 り【よ】(名) 凌犯、しのぎをかす
 り【よ】(名) 龍盤魚、るもり(動物)
 り【よ】(名) 菱縫、ひしぬひ

りようとう(形) 倭僮、よたよたする、つかればたたる、ちからぬけたる

りようとうする(名) 龍漆水、たつまき(海水等の天にまきあがる事)

りようち(する) 自) 陵遅れをうへる

りようり(名) 鱗鯉、いしごひ(穿山甲(動物))

りようが(名) 龍駕、みかどののりもの

りようが(する) 自) 凌駕、しのぎこす、うへへでる

りようだん(する) 壘斷、ひとりにじめにする、ひとりにてかひしめる

りようら(綾羅、わやうすもの)

りようら(名) 綾羅、なめくじり(動物)

りようら(名) 綾羅綿織、わやうすものにしきぬひ

りようら(名) 綾羅、わやうすもの

りようくわ(名) 菱花菱、ひしのはな、かがみ鏡

りようくわ(副) 兩回、ふたたび、兩度、二度

りようくわ(名) 菱花臺、かがみたて、鏡臺

りようくわ(形副) 菱輪、がらがらなる(車の音が)

りようけん(名) 綾絹、わやぎぬ

りようふ(する) 他) 陵侮、わなどりはづかしむる

りようふ(名) 綾文、わやもやう

りようてい(名) 龍蹄、たつのひづめ(良馬の事を曰ふ)

りようき(名) 菱菱、ひし(植物)

りようぎやく(名) 一する(他) 陵虐、暴虐、しのぎしへたぐ

りよくこう(名) カ工、ちからわき

りよくこう(名) 力攻、ちからせめ

りよくてん(名) 綠天、ばせう(植物)

りよくさう(する) 自) 力争、ちからあらしひする

りよくさう(名) 綠草、わをくさ、青草

りよくしよ(名) 綠醜、うまささけ

りよくしよ(名) 綠色、みどりいろ、あをいろ

りよくじゆ(名) 綠樹、あどきはのあるき

りよくねふ(名) 綠葉、あをば、青葉

りよくねき(名) 一する(自) 力役、かせぎ、はねどり、はねと

りよくせき(名) 綠石、あをいし

りよくせん(する) 自) 力戦、つとめたたかふ

りよくすぬ(名) 綠水、あどみづ

りよけん(名) 旅券、たびぎつて、通行券、どほりてがた

りよこ(名) 旅買、たびあきんど、旅商

りよてん(名) 旅店、やどや、はたごや、旅舎

りよさう(名) 旅装、たびよそはひ、たびじたく

りよじよ(名) 蘭苴、蘆菱(植物)

りよじゆ(名) 虜囚、どらはれびと、どりこ

りようし(名) 漁夫、うをどり、また獵師、かりうど

りようし(形) 蹠踵、たどる、とぼとぼ(小兒の歩む如く)

りようしよう(名) 龍鍾、年老たるを云ふ、老年

りようじよく(する) 他) 凌辱、しのぎはづかしむる

りようじつ(名) 凌室、ひむろ、氷室、こほりぐら

りようしん(名) 陵寢、みささぎ、はかつか(帝王等の)

りようしん(名) 凌晨、いなめのめ、あけぼの、しののめ、晨旦

りよくいん(名) 綠齒、あをしば

りよくいん(名) 綠陰、みどりのかげ、木蔭、こかげ

りよくばん(名) 綠礬、硫磺、ろうは(藥物)

りよくどう(名) 綠豆、やへなり、あをまめ(植物)

りよくどう(名) 綠豆粉、あどきなこ

りよくちよ(名) 景壽、かりやす(植物)

りよくちよ(名) 綠竹、あをたけ(植物)

りよくりん(名) 綠林、あをばやし(山の)

りよくりん(名) 故にいと

りよくわい(形) 慮外、れもひのほか、意外、また失禮、失敬

唐突

りよくわく(する) 他) 虜獲、いけとる、どりこにする

りよくわん(名) 旅館、はたごや、やどや、旅舎、客舎

りよくがく(名) 綠萼梅、あをじく(植物)

りよくたい(名) 綠苔、あをこけ、青苔

りよくぐう(名) 旅寓、たびやどり、客舎

りよくやう(名) 綠楊、あどやぎ(植物)

りよくまう(名) 綠毛龜、みのがめ(背に毛ある龜(動物))

りたう(名) 利刀、わざもの、するどきつるぎ

りたう(名) 利刀、此形を謂ふ、文字の傍に用ふ

りたう(名) 李桃、すばいも、油桃(植物)

りたう(する) 他) 利導、よきにみちびく、よくつかふ、えきに

なるやうにみちびく

りれき(名) 履歴、由来、たひたち、來歴

りれき(名) 履歴書、ゆらいがき(一身の)

りそつ(名) 吏卒、したやくにん、下官

りそく(名) 利息、利足、利金、子金、息銀(金穀等を貸して取る利益金)

りぞく(名) 里俗、さとびと、ぞくじん

りつ(名) 律、なきて、法律、また(詩の)一體、また樂器の管

りつ(名) 立意、こころばせをたつる、立志

りつらん(名) 立論、議論のたてかた

りつぱ(俗) 形) 立派、みごと、きれい、美麗

りつぱ(名) 立方、上下四方とも平等なる角體

りつぱ(名) 立方體、上下四面の平等なる角體

りつぱ(形) 立法、をきてをたつる

りつぱ(名) 律法、をきてのり、規則、例規

りつぱ(名) 立法院(法律を制定する所をいふ)

りつぱ(名) 立法家(立法者に同じ)

りつぱ(名) 立法者、なきてをたつるもの、立法家

りつどう(名) 立冬、ふゆのはじめ(廿四節の一)

りつりよ(名) 律呂(音樂の調に言ふ所)

りつりつ(副) 慄慄、ふるふる貌(戰戰、わなわな

りつりやう(名) 律令、わきて、さだめ法律

りつつか(名) 立夏、なつのはじめ(二十四節の一)

りつつかう(形副) 嶺嶽、けはしき

りつれい(名) 律令、わきて(官府の)のり、さだめ

りつれつ(形) 慄烈、さむさはげしき、さびしき

りつそ(名) 栗鼠、りす、さねすみ(動物)

りつそ(名) 律僧、律宗の教法と修する僧

りつそ(名) 立花、いけばな、插花、活花

りつそ(名) 律管、

てうしふい(樂器)

(會津家藏)

りつそ(名) 立君、きみ

をたつる、さみと

いたたく

りつそ(名) 立君政體(王ありて治と爲す政體を

いふ)

りつそ(名) 立腹、はらたつ、いかる

りつそ(名) 律文、わきてふみ

りつそ(名) 六國史(日本紀、續日本紀、日本後紀、續日本後

紀、文徳實錄、三代實錄を云ふ)

りつそ(名) 律條、わきてのすぢ、條例

りつそ(名) 立案、かんがへだし

りつそ(名) 葦草、むぐら、かなむぐら、かなひぎさう、ホ

ツブ(植物)

りつそ(名形) 律義(りちぎ)、まめまめしき、しやうちぎ

りつそ(名形) 理詰ことわりせめ(理を以て詰る事)

りつそ(名) 律師、昔の僧官にて五位に准す)

りつそ(名) 龍鳳帖、こんれいふだ(支那にて婚禮の

時にねくる名帖)

りつそ(名) 流弊つひに、あしきところ

りつそ(名) 留別、わかれのさかもりする(旅立つ

人が)

りつそ(名) 龍燈、海上にもゆる如く見ゆる火を云ふ、筑

紫の不知火即ち是なり)

りつそ(名) 龍頭、たつがしら(天子の乗船等の船首に多

く之を施せり)

りつそ(名) 龍吐水、みづまきうつは

りつそ(名) 留置、ちめれく、存留

りつそ(名) 溜池、ためいけ

りつそ(名) 流注、ながれそそぐ、ながしそそぐ

りつそ(名) 龍茶、りうさ、よさちや

りつそ(名) 流暢、なめらか、すらすら、ごつごつせぬ

(文章に云ふ)

りつそ(名) 流離、さすらふ、さまよふ

りつそ(名) 瀾亮、らんりやう、きよくあきらか(水又は聲

等に云ふ)

りつそ(名) 流涙、なみだをれどす、落涙

りつそ(名) 龍王、たつぎみ(龍魚の王)

りつそ(名) 龍蝦、いせえび(動物)

りつそ(名) 龍駕(天子の御のり物)

りつそ(名) 龍艇(帝王の乗れる船を云ふ)

りつそ(名) 異流、りうさちがひ

りつそ(名) 流行、はやり、ばやる、れこなはれ

りつし(名) 立志、こころざしをたつる

りつし(名) 律書、法律の書

りつし(名) 立食、たちてくらふ

りつし(形) 嶺峯、山の高きを云ふ

りつし(名) 律宗(八宗の一)にして戒律を本とす

りつし(名) 立秋、あきたつひ(廿四節の一)

りつし(名) 立春、はるたつひ(廿四節の一)

りつし(名) 立身、みをたつること、よにいづ

る

りつし(名) 立身、ふるふ、ふるえる、戰慄

略なり)

りつし(名) 慄然、ぞつと、ふるふる

りつし(名) 立錐之地、さりをたつるところ(極少しの

餘地を謂ふ)

りつし(名) 籬落、まがき、籬邊、籬、かさね

りつし(名) 吏務、やくにんのつとめ

りつし(名) 柳(二十八宿の一)にし

て北方に位す)

りつし(名) 龍たつ(此字の熟字は

「りよう」の下に就ても求むべし)

りつし(名) 留飲、胸に酸敗液の溜る病、酸敗液

りつし(名) 流露、あらはる、あらはにみゆる

りつし(名) 龍樓(東宮を云ふ)、太子宮

りつし(名) 流派、ながれ、わかれ、はだわかれ

りつし(名) 柳陌、くるわ、いろざと、北里

りつし(名) 龍鳳帶、こんれいふだ

りつし(名) 柳巷、花街、くるわ、いろざと

りつし(名) 流行病、はやりやまひ

りつし(名) 留學生(海外の國へ往て學術修行する

者)

りつし(名) 龍牙草、きんみづひき(植物)

りつし(名) 龍鬚、たつのひげ(植物)

りつし(名) 流汗、ながるるあせ

りつし(名) 龍肝、たつのきも(八珍の一)

りつし(名) 龍顔(天子の御顔を云ふ)、天顔

りつし(名) 龍眼、龍目、圓眼(植物)

りつし(名) 龍眼肉(龍眼の實)

りつし(名) 流用、くりかへもちふる(他用の爲の

金等を)

りつし(名) 隆替、盛衰、れとろへさかぬ

りつし(名) 留滯、とどこほる

りつし(名) 龍膽、りんどう(植物)

りつし(名) 流例、ためし、ならはし

りつし(名) 流連、むつづけする、あそびつづけす

る

りつし(名) 流蘇、ふさ、飾りの(繸)

りつし(名) 龍足、料足(錢の異名)、わし、鳥目

りつし(名) 流俗、よのひと、ぞくじん

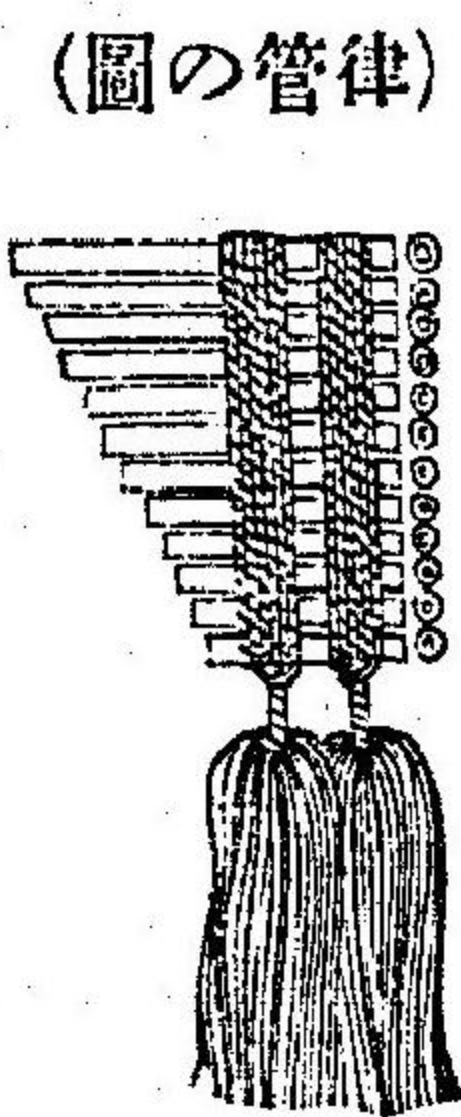
りつし(名) 龍孫、たけのこ

りつし(名) 龍頭、梵鐘の頂にある龍形の物を云ふ)

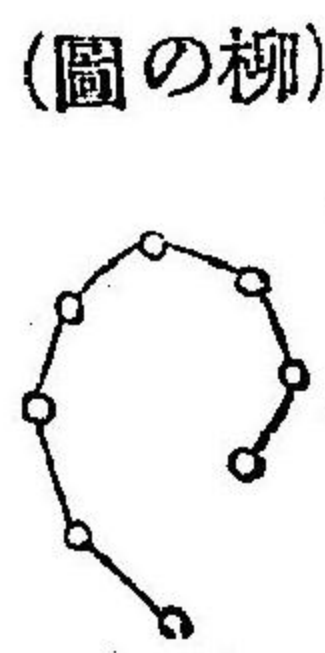
りつし(名) 流通、通用、れこなはるること、と

はる(貨幣等が)

りつし(名) 流通證書(爲替手形約束手形の



(圖の管律)



(圖の柳)

類を謂ふ
 りうづまき(名) 龍頭捲(時計の捲き器を自身に具ふる者)
 りうなう(名) 龍腦(樟腦の製したる者)
 りうなうかう(名) 龍腦香(片腦藥品)
 りうなうぐさ(名) 龍腦草(水蘇植物)
 りうら(名) 流螺(ばいじ(動物))
 りうらう(名) 流瀨(るらう(さすらふ、さまよふ))
 りうらく(名) 流落(たぢぶれる)
 りうらん(名) 一(する)他) 瀏覽(他人の覽る事を重に云ふ、然れども又自ら見るといふにも用ふ)
 りうらん 隆運(さかんなるとき、盛運、さかんなるめぐり)
 わはせ
 りうのひげ(名) 龍鬚(小葉麥門冬、沿階草植物)
 りうくわ 流火(とぶひかりもの、流光)
 りうくわ(形名) 硫化(硫黄に化せられたるを謂ふ)
 りうくわん(する)他自) 流瀝(ながしそそぐ、ながれそそぐ)
 りうくわん(する)他自) 流瀝(ながしそそぐ、ながれそそぐ)
 りうぐらう(する)自) 流寓(さそらひやざる、さまよふ)
 りうぐらう(する)自) 龍宮城(紫貝闕珠宮、貝宮かひのみやこ(海底の宮城))
 りうぐらう(する)自) 龍華會(佛事の會の名)
 りうぐらう(する)自) 流言(とりにたうはさ、つくりごと、ねなし)
 りうぐらう(する)自) 龍蟻(斑猫に同じ(動物))
 りうけい 留計(胎謀、ばかりごとをこのす(後に))
 りうけん(名) 柳篋(やなぎがうり、やなぎばこ、柳行李)
 りうげん(名) 龍華會(佛事の會の名)
 りうげん(名) 流言(とりにたうはさ、つくりごと、ねなし)

ごと、うきたるはなし
 りうふ(する)自) 流布(るふ) (ながれしく、つたはる、ねこなはるる(評判等が))
 りうぶん(する)他) 流聞(うはさにきく)
 りうぶ(名) 流鼓(輪鼓、つむのうへのちひさきわ(紡錘の上)に施して絲をかよはす小輪)
 りうこつ(名) 龍骨(まきりがはら(船の底の骨木))
 りうこつ(名) 龍骨(まきりがはら(船の底の骨木))
 りうこつ(名) 龍骨(まきりがはら(船の底の骨木))
 りうこう(名) 一(する)自) 隆興(れこる、さかんになる)
 りうこう(名) 龍骨車(翻車、踏車(田圃へ水をひきあぐる車製の器))
 りうてい(名) 龍蹄(りようていを見よ)
 りうてい(する) 流涕(なみだながそ)
 りうてい(する) 流涕(ながしめみる、流盼)
 りうてん(名) 龍纏(金米糖を謂ふ)
 りうてん(する)自) 流傳(うはさにつたはる、きこえわたる)
 りうてん(名) 柳蛙(やなぎかはづ(動物))
 りうさ(名) 龍茶(上品の茶といふ)
 りうさ(名) 流沙(りうしやを見よ)
 りうさい(名) 流罪(しまあがし、流刑)
 りうさい(名) 隆額(でびたひ、れでこ)
 りうさう(名) 柳箱(つづら、やなぎごり)
 りうざう(名) 龍造寺(氏)
 りうざん(名) 硫酸(藥品)
 りうざん(名) 流産(半産半途にして生れ死する事)
 りうざん(する)他) 流質(しまながしにする(流刑に處す))
 りうざん(する)他) 流質(しまながしにする(流刑に處す))

りうざん(名) 硫酸礬土
 りうざん(名) 硫酸銅
 りうざん(名) 硫酸曹達(藥品)
 りうざん(名) 硫酸苦土(硫酸麻痺濕矢亞)
 りうざん(名) 硫酸鐵
 りうざん(名) 硫酸亞鉛
 りうざん(名) 硫酸安母尼亞銅
 りうざん(名) 硫酸謀兒比涅
 りうざん(名) 流旗(ふきながし(旗の類))
 りうざん(名) 龍葵(いぬほほづき(植物))
 りうざん(名) 流義(流派(一種特別の法を謂ふ)しかた、みち)
 りうざん(名) 劉寄奴草(はんこんさう、あきのまりんさう(植物))
 りうざん(名) 龍馭(天子の馬を謂ふ)
 りうざん(名) 琉球芋(蕃薯、さつまいも(植物))
 りうざん(名) 天南星(植物)
 りうざん(名) 琉球黃梅(黃素馨植物)
 りうざん(名) 白杜鵑(花植物)
 りうざん(名) 琉球國(ちうざんこく、うるまのくに(大琉球、小琉球二あり今沖繩縣に改む))
 りうざん(名) 琉球珊瑚(海松さんごじゆの類)
 りうざん(名) 麝香百合(植物)
 りうざん(名) 柳菌(やなぎたけ(植物))
 りうざん(形) 流金(鏝金、さんながし)
 りうめ(名) 龍馬(たけ八尺に達する良馬)
 りうめん(する) 流刷(ながしめ或しりめにみる、流睇)

りうみん(名) 流民(さまよふたみ)
 りうし(名) 柳絲(やなぎのいと(柳枝の細きを絲に准ふ))
 りうし(名) 流矢(ながれや、それや(弓の))
 りうし(名) 柳絲竹(ねきま(植物))
 りうし(名) 柳翠(やなぎのはな、やなぎわた)
 りうし(名) 龍鍾(年老たる事を謂ふ、老年)
 りうし(名) 龍繩(さげふりふり)
 りうし(名) 龍舟(帝王の船を謂ふ(動物))
 りうし(名) 隆車(大車をいふ、ねほぐるま)
 りうし(名) 流沙(ながれすな、くえすな、すなほら、沙漠、沙地(支那より天竺に至る所にある沙漠を然か名く))
 りうし(名) 瀏淨(きよき、きよらか)
 りうし(名) 龍沙草(かくまぐさいぬとくと(植物))
 りうし(名) 龍集(はしのやどり)
 りうし(名) 龍珠(たつのたま(龍が頭に持ちをるといふ))
 りうし(名) 流出(ながれいづること、ながれいづる)
 りうし(名) 龍鬚菜(いぎす、しらも(植物))
 りうし(名) 龍鬚草(うしのひたひ(植物))
 りうし(名) 隆準(はなたかき(鼻高))
 りうし(名) 露神(たかをかみ、雨師、あめがみ)
 りうし(名) 留神(こころをとむる、きにかける)
 りうし(名) 龍神(たつがみ)
 りうし(名) 柳營(將軍の陣所を云ふ、幕府)
 りうし(名) 龍驤(はし(橋)を謂ふ)

りうえふちや(名) 柳葉茶やなぎばちや
 りうえふさい(名) 柳葉菜あかはなやなぎさう(植物)
 りうえふひん(名) 柳葉蘆やなぎも(植物)
 りうび 柳眉やなぎのまゆはそまゆ
 りうびんたい(名) 観音座蓮(植物)
 りうも(名) 龍母(天子の御母)
 りうもん 龍文、たつみや龍を畫ける形
 りうもん 龍門(支那の勝區)又たつのかど(鯉の登る)
 りうもん(名) 龍紋、青袖、青綱(織物の名)
 りうもん(名) 龍門灘(大和吉野郡に在り)
 りうせい(名) 流星、よはひぼし、ながればし
 りうせい(形) 隆盛、旺盛、さかん、とぎめく
 りうせつ(する) 流駿がぶがぶのみする(酒と)がつがつ
 のみはす、ひやみにのむ
 りうせつ(名) 龍舌(琴曲に云ふ詞)
 りうせつらん(名) 呂宗麻、まんねらん(植物)
 りうせつさう(名) 龍舌草、たつのした、あだん(植物)
 りうせうふん(名) 龍消粉、れしろう
 りうせんかう(名) 龍涎香(鯨の腸中より出る者にて半透
 明にして熱すれば香氣を發す)
 りうする 流水、ながれみづ、活水
 りうする(名) 溜水、ためみづ、たまりみづ
 りうん(名) 利運、幸福、しあはせ
 りく(する) 戮つみする、ころす。又あはする(力を)
 りく(名) 陸をかくが海に對す
 りくろ(名) 陸路、くがちをかみち(海路に對す)
 りくろ(名) 鴉鷲、わをかり(動物)

て元は陸軍卿といへり

りくぐんじやう(名) 陸軍省陸軍の軍務を執行ふ官署
 りくぐい 六藝禮、樂、射、御、書、數
 りくげつ(名) 六月櫻、ひむろざくら(植物)
 りくてう 六朝、吳、東晉、宋、齊、梁、陳
 りくてん(名) 陸田、をかばたけ
 りくわけ(名) 陸揚、上岸、くがわけ(船より荷物の)にれろ
 りくさん(名) 陸産、をかのできもの(陸産物)
 りくし 戮尸(死骸を刑戮する事)
 りくし 六師(天子の軍勢を云ふ)
 りくじやう 六情、喜怒哀樂愛惡
 りくじゆつくわ 六出花(雪を云ふ)ひつのはな
 りくしん 六親、父子、兄弟、姉妹、舅甥、婚媾、姻婭
 りくせい(名) 陸英、とくづのはな(植物)
 りくせき 六戚、父母、兄弟、妻、子
 りくせきのこ 六尺之孤、みなしご
 りくせん(する) 戮戦、はげしくたたかふ
 りくせん 陸前(東山道の國名)
 りぐん 離群、なかまをはづれる。ひとりだちする
 りやう(する) 他 諒、さとる、よつする
 りやう(名) 靈、たましひ、みたま
 りやう(名) 利養、利慾、わがみをこやすこと
 りやうい 良醫、よきくすし、名醫
 りやうい(名) 涼衣、ゆかた、すましき、さきもの
 りやうい(名) 良友、よきとも、だち
 りやうい(名) 領地、りやうぶん、領地

りくはく(名) 六駭、かこのき(植物)
 りくぼつ(する) 陸没、陸沈(隠遁する)
 りくち(名) 陸地、くがちをか
 りくちう 陸中(東山道の國名)
 りくちん(する) 陸沈(入中に隠遁するを謂ふ)
 りくり(形) 陸離、いりみだれ、いりまじりたる。はなやか
 りくりよ 六呂、大呂、夾鍾、仲呂、林鐘、南呂、應鍾、六陰調
 りくりよく(する) 戮力、ちからをわはする
 りくりつ 六律、黃鍾、大簇、姑洗、蕤賓、夷則、無射、六陽調
 りくりやう(形) 陸梁、みだれはしる。をどりはしる(孔走
 の貌)
 りくわ 梨花、なしのはな
 りくわ 罹禍、遭厄、逢難、わざはひにあふ
 りくわい 理外、ことわりのほか
 りくかう(する) 陸行、をかをゆくこと、くがよりゆく(陸
 路を行く)
 りくがふ 六合、六極、六幕、六幽(天地四方を云ふ)
 りくたう 六韜、大公望の貽せしといふ兵書
 りくぞく(副) 陸續、ひきつづき、たえまなく、絡繹
 りくつ(名) 理屈、すぢみち、道理
 りくつ(俗) 俗名、理屈家、逞辯者、ぎろんすき
 りくうん(名) 陸運、をかこび(陸地より運搬する也、海
 運に對す)
 りくうんくわいしや 陸運會社(陸運を事とする社)
 りくくわ(名) 六花、むつのはな(雪を云ふ)
 りくぐん 陸軍、をかのつはもの(海軍に對す)
 りくぐんたいじん 陸軍大臣(陸軍を總理する長官にし

りやうち(名) 涼爐、こんろ
 りやうは 双刃、もろは(刀等に兩方に刃ある事)
 りやうば 良馬、よきうま
 りやうばい 良媒、よきなかだち
 りやうはう 兩方、双方、ふたつのかた
 りやうはう 良方、よきかた、よきしかた
 りやうにせんせき 良二千石(良太夫を謂ふ)
 りやうにん 兩人、ふたり二人
 りやうぼう 良謀、良策、よきはかりごと
 りやうへん 兩邊、かなたこなた、ふたつのほとり
 りやうべん 兩便、小便と大便をいふ、二便、また(双方に
 都合よきを云ふ)
 りやうど(名) 梁斗、ます
 りやうど 良圖、よきはからひ
 りやうど 兩度、ふたたび、二回、再度
 りやうどうだ 兩頭蛇、かしらふたつのへび、岐首、越王蛇
 (動物)
 りやうち(名) 領地、りやうぶん、支配地
 りやうち(名) 良知、たのづからのさとりに生れながらに知
 る本能)
 りやうちよく(形) 諒直、正直、なほき
 りやうちう 良籌、智計、良謀、よきはかりごと
 りやうり 良吏、よきやくにん、よきつかさびど
 りやうりやう(形) 恨恨、かなしき悲愴、なつかしき、眷
 眷
 りやうりん 兩輪、ふたつのわ(車等の)
 りやうか 兩可、どちらもよろしき。どちらもよじとする

りやうがへ(名) 兩替、兌換、かねとりかへ
りやうがへや(名) 兩替屋、銀行、匯理、兌換鋪、兌換坊、かねかへや

りやうかう(形) 良好、よき、うるはしき、善良

りやうかう(名) 量耗、かけべり、ばかりべり

りやうがけ(名) 兩搭、肩にかつぐ二箇相つらなる箱

りやうかん 兩間、ふたつのあひだ

りやうがん 兩眼、雙眼、ふたつのめ

りやうがんきやう(名) 兩眼鏡、雙眼鏡、兩眼にあたる小きとほめがね

りやうたう(自) 悵悼、かなしむ、なげく

りやうたう(名) 兩禮、うちかけ

りやうだう(名) 糧道、かてはこびみち(兵糧の道)

りやうだく(名) 領諾、うけひき、承諾、がてん、うけひく、うべなふ

りやうたん 兩端、りやうはじ、ふたはじ

りやうたんをぢす 持兩端、どちらにもつかず、或どちらにもつく

りやうれう(形副) 亮察、かすかなる(聲の)よみしき

りやうそく 兩足、もろあし、ふたつのあし

りやうない 領内、封内、領地の内を謂ふ

りやうなふ(自) 領納、うけとる、領収

りやうのう 良能、うまれながらにものをしるちから

りやうぐ(名) 靈供、みたまへのそなへもの、はとけへのさ

りやうくち 兩口、雙口、兩方に口あはる事

りやうくわい(自) 領會、さとる、さどくする

りやうさん(名) 涼傘、ひがさ、ひよげがさ

りやうさん(名) 涼衫、かたびら、ゆかた

りやうき 兩儀、天地と云ふ

りやうきやう(名) 良莠、くまたけらん(植物)

りやうゆう 兩雄、ふたりのますらを

りやうめ(名) 兩友、量目、貫目、ばかりめ

りやうめい 領命、たふせとかしこまる(命を受る)

りやうし 良士、よきひと

りやうし(名) 令旨、皇太子及び親王の命令書を云ふ

りやうし 良時、よきとき、良辰

りやうしよ(自) 諒恕、さつしゆるす

りやうしよ(自) 領承、かしてこまる、うけたまはる

りやうしよ(名) 糧食、糶米、くひもの、かて

りやうし(名) 領袖、えりそで、首領、長をさ、かしら

りやうしやう 良將、よきいくさのきみ

りやうしやう(自) 領掌、うけとる、落手

りやうしやう 良相、賢相、良宰相

りやうしやうくんし 梁上君子、ぬすびと、盜賊

りやうしゆ 兩手、もろて、ふたつのて

りやうしゆ(名) 領主、地頭、くにかみ、國主

りやうしゆ(自) 領取、うけとる、落手

りやうしゆ(名) 掠子、樹、むくのき(植物)

りやうしん 兩親、ふたれや、父母

りやうしん 良辰、めでたきとき、吉日、嘉辰、良日、靈辰、令日、吉辰、穀日

りやうじん(名) 良人、をつと、つれあひ、夫、郎君

りやうえん 良媛、よきをんな、名媛、美女

りやうくわい 良會、よきあふせ(多く婚媾を謂ふ。佳會、をりよきあひかた)

りやうぐん 兩軍、ふたつのつばもの

りやうや 良治、よきかちや、鍛冶の名人

りやうや 良夜、よきよる。よふけ。又名、こんれいのばん

(婚禮の夜)

りやうやう 兩様、ふたつこと、ふたみち

りやうやく 良藥、よきくすり、良劑、妙藥

りやうまい(名) 糧米、かてごめ、糧食、ぶじき

りやうげ(名) 靈氣、もののけ

りやうげん 良犬、よきいぬ、良狗

りやうげん(名) 量減、かけべり、ばかりべり

りやうふ 兩夫、ふたりのをつと

りやうふ(名) 兩部(真言宗の秘密金剛界胎藏界。又神佛の混合をも然か謂ふ)

りやうふう 涼風、すずしきかせ

りやうぶん(名) 領分、所有する土地を云ふ

りやうて 兩箇、ふたつ、二箇

りやうこう 良工、よきわざし、よきたくみ

りやうこく(名) 領國、領分(りやうぶん)領地

りやうわん(名) 諒闇、諒陰、天子の親の喪の間を云ふ

りやうざい 良劑、よきくすり、良藥

りやうざつ(自) 亮察、諒察、あきらかにみわくる、さどりわくる

りやうざう 兩造、さうばう(原告被告)

りやうざく 良策、妙計、よきはかりごと

りやうざん 靈山、くすしきやま、名山

りやうえん 良縁、よきえにし

りやうひ 良否、よしあし、善惡

りやうひ(自) 悵悲、かなしむ、なげく

りやうひつ 良弼、よきたすけて、良輔、良佐

りやうひつ(名) 輛匹(車馬を謂ふ)

りやうひん 良品、よきしな

りやうもく(名) 量目、りやうめ、めかた、ばかりめ

りやうせつ(名) 兩舌、いつはり(二枚の舌つかふ事)

りやうせき(名) 量積、ばかり、かさ

りやうせん(形副) 亮然、あきらか、判然

りやうせん 兩全、ふたつながらまつたき

りやく(形) 畧、はぶける、つづめたる、省畧

りやく(自) 畧、はぶく、つづむる、又かすめる、うばふ

りやく(或りえき) 利益、めぐみ(神佛の)「りえき」を見よ

りやくばい(自) 畧賣、かどわかしようる(兒女等を)

りやくりやく(自) 畧掠、かすめとる

りやくだつ(名) 一する(他) 掠奪、畧奪、かすめどり、うばひとる

りやくだつ(名) 一する(他) 掠奪物、ぶんどりもの

りやくらう(自) 掠擄、かすめさらふ、うばひとる

りやくやく(自) 畧約、つづめる、みじかくする

りやくげん(自) 畧言、わらましをいふ

りやくふく(名) 畧服、ふだんぎ、便服

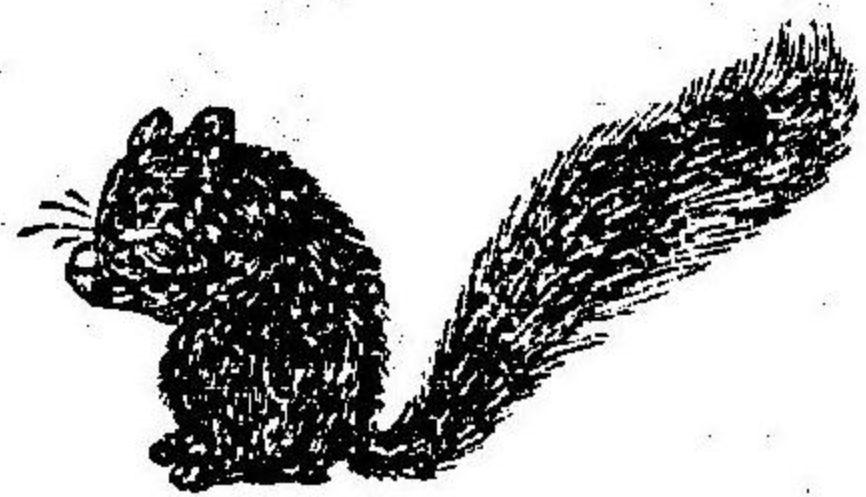
りやくぶん(名) 畧文、あらましがき

りやくき 畧儀、さまりをはぶくこと、畧式

りやくしき 罌式はぶけるぎしき(簡罌の法式)
 りやくしゆ(他) 罌取、かすめとる、せめとる
 りやくしゆつ(する) 罌述、あらまじとのふる
 りやくひつ 罌筆、罌書、はぶきがき
 りけん 利剣、よまつるぎ、利刀
 りげん(名) 俚言、ひなかことば
 りげん(名) 俚諺、ひなかことわざ、鄙語、いやしさいひな
 らはし、里諺
 りふ(名) 粒、つぶ
 りふべ(名) 粒米、こめつぶ、米穀
 りふく(名) 裏服、したぎ、裏衣
 りふぐわん(名) 立願ねがひだて(神佛への)
 りふご(名) 鞍子、輪蓑紡車につける小車
 りふじよく(する) 粒食、こめつぶをくらふ(貧困ならぬ
 を謂ふ)
 りふじん(俗) 形 理不盡、無理無體、ことわりなしの、むり
 なる、みだりなる
 りふせつ(名) 粒雪、つぶふき、あられ
 りぶん(名) 利分、利息、あがりかね
 りご(名) 裡勝、うちもも、またぐら
 りご(名) 俚語、さどことば、ひなかことば
 りこう(名) 里塚、いちりづか
 りこう(形) 利口、くちきき、かしこき
 りこん(名) 利根、はつめい、かしこさ
 りこん(名) 離魂、ねもかけ(死者等の)
 りこん(名) 離婚、はんきれ、離別夫婦の
 りこんさう(名) 利根草、かしくさ、たで植物)

りしや(名) 吏舎、やくにんのいへ、官舎、官宅
 りしやう(名) 利生、いきものをつたすこと
 りじゆ(名) 李樹、すもものき、植物
 りじゆん(名) 利潤、まうけ、うるほひ、りどく、くぼさ
 りじん(名) 里人、さとびと
 りしんりよく(名) 離心力、廻轉する物が中心を離れ飛去
 んとする勢力)
 りねき(名) 利益、まうけ、どく、ねき、みため
 りえん(名) 離宴、わかれのさかもり、離筵、はなむけ
 りえん(名) 離縁、えんきれ、離婚、つまをさること
 りえん(名) 梨園、なしばたけ、又しはむば
 りえん(名) 里園、むかひさと
 りえんじやう(名) 離縁狀、みくだりはん、さりじやう(妻
 に與ふる)
 りえんして(名) 梨園子弟、やくしや、俳優
 りひ 理非、是非、よしあし
 りひ形 俚卑、俚鄙、いやしき、ひなびたる
 りひ(名) 鯉尾、八珍の美味の一
 種)
 りびやう(名) 痢病、くだりはら
 しぶりはら
 りせい(名) 里正、しやうや、なぬ
 し、むらをさ、村長
 りせつ(する) 自 離絶、はなれ
 たつ、なかつがひする
 りせき(名) 理石、すぢめいし
 りす(名) 栗鼠(鼠属の獸にて尾

(圖の鼠栗)



りこんびやう(名) 離魂病、ふらふらやまひ、きやみ
 りてい(名) 里程、みちのり、路程
 りわひ(俗) 名 理合、わけあひ、道理、すぢ
 りさい(名) 里幸、むらをさ、なぬし
 りさい(名) 罹災、わざはひにかかる、さいなんにあふ
 りさい(がく) 名 理財學、經濟學、金銀の使用増殖等の理を
 講ずる學)
 りさう(名) 離騷、うれひにあふこと(古文の名)
 りさん(する) 離散、はなれちらばる
 りさ 利器、とさうつはもの
 りさりやう(名) 力量、ちから、つよさ
 りきよ(する) 自 離居、はなれをる
 りきむ(俗) 自 示威、おはる
 りさう(名) 離宮(天子の出で宿りたまふ宮殿)、はなれみ
 や
 りぎう(名) 犂牛、こぐま(動物)
 りぎう(名) 犂牛、まだらうし(動物)
 りきけ(名) 力狭、うでこさうでだてするをそこ
 りきみかへる(自) 強反、むばりだてる
 りきし(名) 力士、ちからびと、すまふどり(相撲取)
 りきしや(名) 力者、ちからもち
 りきん(名) 利金、りそくがね
 りみん(名) 里民、さとびと
 りし(名) 利子、利足(貸金の利)
 りし(名) 鯉耳、さとびみみ
 りしよ(名) 鯉書、てがみ、書翰
 りしう(名) 離愁、わかれのうれひ、離別之愁

太く前足に四指後足に五指あり常に果實を食す種類
 数多あり)
 りすのさい 利水劑(小便つうじ藥)
 りすぼん 里斯本、カス門、葡萄牙國の都府)
 りすう 里數、みちのり(一里二里の數)
 りん(名) 隣、さりん(動物)
 りん(名) 釐、數量の名にして分の下に位す)
 りん(名) 鈴、すず
 りん(名) 隣、陰火、ねにび
 りん(名) 隣、花頭、はなのをほきさ
 りん(名) 隣、林衣、木葉、さのは、このは
 りん(名) 隣、湊、さざなみ、小波
 りん(名) 隣、佑、近所、となり
 りん(名) 隣、保、近所、となり、さんじよ
 りん(名) 隣、番、まはりばん、輪班、かはりばん
 りん(名) 隣、ぼんじよ(名) 輪番所、かはりばんじよ
 りん(名) 隣、ぼつ(する) 淪没、わちいりしづむ苦境等に)
 りん(名) 隣、ぼらぎ(名) 山蘿蔔(植物)
 りん(名) 隣、ぼく(名) 林木、林樹、はやし、もり
 りん(名) 隣、べい(名) 廩米、くらごめ(米倉にたくはへたる米)
 りん(名) 隣、べん(名) 隣邊、となり、さんじよ
 りん(名) 隣、とう(名) 輪燈、輪にて用せる佛前の列燈)
 りん(名) 隣、とう(名) 霖霖、ながあめ
 りん(名) 隣、ち(名) 臨池、視に向ひて書くを謂ふ、かくこと、書
 りん(名) 隣、ちよく(名) 輪直、かはりばんとまり(輪番の宿直)
 りん(名) 隣、ちう(名) 隣蟲、うろこあるいきもの

りんちやうちやう 隣蟲長龍を云ふ
 りんちやう 隣町となりまち
 りんぢやう「する」 臨場臨席ほしよにのぞむ
 りんちやうげ(名) 輪丁花、ちんちやうげ(香る花さく小
 木(植物))
 りんり(名) 倫理(人倫の道理)ひとのみち
 りんり(名) 隣里となりざととなりむら
 りんり(形副) 淋漓、したたる、たくたく(血涙等が)
 りんり(形) 淋漓、したたる、たくたくたれる(水血などが)
 したしたふる(雨が)又たつびつなる(書文などに云
 ふ)
 りんりがく(名) 倫理學(人倫の道と教る學)修身學
 りんりよ(名) 隣園となりざと、ちかきほとり
 りんりつ(形) 凛凛、すさまじき、すさまじき
 りんりう「する」(自) 輪流、まはりながる
 りんりん(形副) 凛凛、すさまじき、いきはひはげしき
 りんりん(形副) 轉轉、ころころ(車の音をいふ)
 りんりん(形副) 隣隣、ひかひか、かがやく、隣隣
 りんをく(名) 隣屋となりや
 りんか 臨下、したにのぞむ、みえろす
 りんか(名) 淋符、さし(矢幹竹)
 りんか(名) 隣家、隣屋、運堀、比屋、比舎、となりや
 りんかい(名) 隣介、隣甲、うろこあるいきもの
 りんかう(名) 臨幸、行幸、みゆき(天子の)
 りんかう(名) 輪講(順次に講義する事)
 りんかう(名) 隣郷となりざと
 りんかく(名) 隣閥(高貴の人々の集る堂閥)

りんかふくわ(名) 隣甲花、はかまかつら(植物)
 りんかん 凛寒、はげしきさむさ
 りんかん 林間、はやしのみだ
 りんよく(名) 悋欲、吝嗇、しはさげち、ものをしみ
 りんたう(名) 龍膽、えやみ々(植物)
 りんだめ(名) 釐等(小秤を云ふ)
 りんれつ(形副) 凛烈、さむさはげしき、いきはひするとき
 りんれき(形) 霖瀝、つづけふり(雨の)あがくふる
 りんそん 隣素(元素の名)
 りんそん 隣村、となりむら
 りんねる(名) 麻布、あさぬの
 りんらく「する」(自) 淪落、たぢふれる、わちいりしづむ
 りんらく(名) 林落、はやし、もり、森林
 りんらう(名) 霖雨、ながあめ、あまつづき、長雨
 りんらうちけい(名) 自鳴鐘、ひとりでになるどけい
 りんのだま(名) 緬鈴、勉鈴
 りんく 隣區、となりまち
 りんくわ 隣火、たにび、くさび、陰火
 りんくわ「する」(自) 淋過、こしとほる、しみとほる
 りんくわい「する」(自) 輪會、めぐりあふ
 りんくわだい(名) 菱華臺、かがみだい、鏡臺
 りんくわう(名) 林篋、たかばやし、たかむら
 りんくわく(名) 輪廓、まはりのわ書物の)
 りんくわん(形副) 輪奐、はなやか、かがやきわたる、みこ
 となる
 りんぐんじん(名) 稷軍人、ばんばち(粗米を云ふ)
 りんげつ(名) 臨月、うみづき、産月

りんけう(名) 輪橋、そりほし
 りんげき 林隙、はやしのみすま
 りんけん「する」(他) 臨檢、のぞみしらべる
 りんげん(名) 繪言、みことりの(天子の語言)
 りんげんあせのことし 繪言如汗(天子の語言は一たび
 出れば取消す可らざる者なるを謂ふ)
 りんふく「する」(自) 淪伏、かくれふす
 りんこ(形) 凛乎、はげしくさむくするごとく
 りんこ(名) 林檎、棠梨、聯珠果、文林郎果(植物)
 りんこく 隣國、となりくに
 りんごじゆ(名) 林檎酒、萃菓酒
 りんてふ 臨帖、手本を見てならひ書く
 りんてん「する」(自) 輪轉、まはりまはる、又輪廻に同じ
 りんご(名) 輪座、くるまざ、わにすわること
 りんざいは 臨濟派(禪家の一派にして又濟家と云ふ)
 りんざいはふ(名) 輪裁法(田圃に作物をしつくるに年年
 同一物を以てせずして彼此取かへて栽植するを謂ふ)
 りんざう(名) 輪藏、經藏(佛寺にて經卷と納むる倉庫を云
 ふ)
 りんざん(名) 隣酸、隣素が酸化せる者
 りんざん 臨産、むしけづく、うみにかるる(子を)
 りんざき 臨機、はづみじのぞむ(時に應ずるをいふ)
 りんざき(名) 悋氣、やきもち、嫉妬、ねたみ、妬氣
 りんざたうへん 臨機應變(其事にしたがひて處置する
 を云ふ)
 りんざよ「する」 臨御、のぞみたまふ(天子の來臨をいふ)
 りんざやう(名) 林響、こだま、やまびこ(山谷に響く音)

りんきふかき(俗形) 悋氣深嫉忌嫉妬、ねたみふかき
 りんきん(名) 輪勸、まはりづとめ
 りんきん(形副) 輪困、まがりくねる
 りんめい(名) 繪命、みことりの、ねはせこと、繪旨
 りんめつ「する」(自) 淪滅、しづみはらふ(惡趣等に)
 りんし(名) 繪旨、繪宣、みことりの
 りんし(名) 醜柿、たるがき、しぶぬきがき
 りんじ「する」(自) 隣次、うろこのごとくつづく
 りんじ(形) 臨時、ときじのぞんでの非時、不意、ときなら
 ん
 りんしばい(名) 繪旨梅植物
 りんじよ(名) 隣書、にじりがき
 りんじよ「する」(自) 淪胥、あひひきふるふる、もじども
 にはるふる
 りんじよう(名) 臨衝、いくさぐるま、戰車
 りんじよう(名) 林鐘、六月を云ふ
 りんじよく(名) 吝嗇、しはさげち、ものをしみ
 りんじつ(名) 淋疾、りんびやう(淋病)
 りんじう(名) 臨終、いまは、をばりにのぞめるとき、末期
 最後、易費
 りんしふ「する」(自) 隣集、うろこのごとくあつまる
 りんしん(名) 林神、こだまはやしのかみ
 りんしん(名) 林森、もり、はやし
 りんそん(名) 輪廻、うまれかはりしにかはり、輪轉(佛法)
 りんそん(名) 林園、はやし、もり、その
 りんびやう(名) 淋病、淋疾(小便しふる病)

ぬたはだ(名) 鮎(角の根本の纏める處)
ぬたなます(名) 饅頭、饅頭(魚を切りて酢と青物に和したる者)
ぬたくる 轉廻、のたくる

ぬたあ(名) 饅頭、ぬたなます

ぬれい(名) 奴隸、しもべ、奴僕、めしつかひ

ぬれいろ(名) 濡色、玄めりいろ

ぬれどほ(名) 濡透びしよぬれになる

ぬれる(自) 濡、沾溼、濡、うるほ(水等に)

ぬれがみ 濡紙、うるほひがみ

ぬれつち 濕地、溼地、うるほひつち

ぬれふみ(名) 情書、いろふみ、ちはふみ

ぬれごも 濡衣、ぬれぎぬ、ぬれたるきもの

ぬれぎぬ 濡衣、濡衣、ぬれたるころも、又むしつ(つみ)無實之罪、なきな

ぬつと(俗) 突如(忽ちに出来る貌)

ぬづな(名) 犢鼻褌、ふんどし、したたけ

ぬなは(名) 蓴、じゆんさい(川藻の類)、露葵、蕪、河童蓴、水葵、金絲荷葉(植物)

ぬなど(名) 瓊音、たまのねど

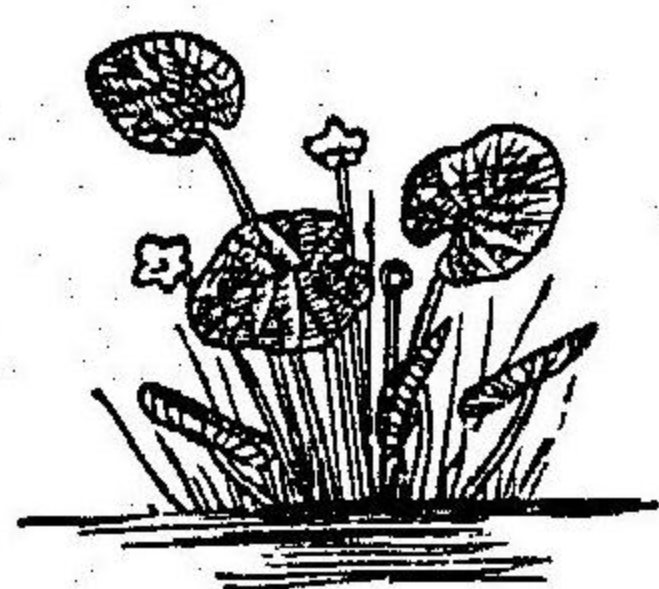
ぬなのみ(名) 鬼臼草、山荷葉害

ぬらぬら(副) 滑滑、ぬるぬる

ぬらつく(自) 滑着、ぬるぬるする

ぬらす(他) 濡、うるほす、濡ぬ(名) 布、たりもの(重に木綿の)、また夏布、さらし

(圖の蓴)



ぬの 沼野(氏)

ぬのはた(名) 布機、もめんばた、腰機

ぬのこ(名) 布子、棉衣、温袍、温衣、布襖、もめんわたいれ

ぬのこし(形) 布濾、ぬのこしたる(豆腐の如く)

ぬのさらし(名) 漂布、ぬのさらすひと、晒布者

ぬのさらし(名) 晒布場、調布場、ぬのさらすところ、漂布所

ぬのざら(名) 布衣、ぬのざら

ぬのめ(名) 布目布の織目の形の陶器瓦等にうつれる者

ぬのめがみ(名) 布目紙、ぬのめがあるかみ

ぬのめが(名) 布目貝、かひのたぐひ(動物)

ぬのした 布下(氏)

ぬのひき(名) 布引(布を引きあふ戲)

ぬのびき(名) 竹蓍草(名) (植物)

ぬく(他) 扱、ひきとる、抄、ぬきうつす

ぬく(他) 脱、とりさる(衣等を)、釋卸

ぬくい(俗) (形) 暖、あたたか

ぬくむ 温井(氏)

ぬくどい(俗) (形) 温、あたたか、温暖

ぬくれ(名) 袖手(袖にいられたる手)

ぬくまる(自) 温、あたたまる

ぬくふ(他) 拭、揩、揩、ふく、扱

ぬくめどり(名) 暖鳥(寒夜に鷹が爪で己れを暖むるに用ふる小鳥)

ぬくめる(他) 温、あたためる

ぬくしな 温科(氏)

ぬぐひいた(名) 漆簡、ていた、うるしぬりたるいた、ぬりいた、漆板簡板

ぬけさく(俗) (形) 鈍呆、あほう、ばか

ぬけざけ(名) 私酒、逃酤、かくしつくれるさけ、密醸酒

ぬけめ(名) 抜目、ぬけどころ、さのつかぬどころ

ぬけめなき(形) 綿密、用意周到、てれなき、てぬけなき

ぬけみち(名) 間道、脱路、陰道、抜道、暗路、かくれみち、はやみち

ぬけもの(名) 抜物、ぬけに、又ぬすみもの

ぬけものかひ(名) 窩家、けいづかひ、ぬすみものかひ

ぬふ(他) 縫、縫裁、とちあはせる(糸と針にて)

ぬさ(名) 奴佐、大麻、袂、麻、幣、幣、幣、にぎて、みてぐら(神前にささぐる麻の飾り物今は紙を用ひて作る)、御幣、こへし

ぬき(名) 緯、緯子、よこいと(はたの)、又横線(地球の東西に渉る者)

ぬきい(名) 貫木、貫柱、梶、よこぎ

ぬきい(名) 緯、よこいと(旗等の)

ぬきいだす(他) 抽出(籤等を)、拔出、ひきぬく

ぬきはなす(他) 抜放、さやをはらふ(刀の)

ぬきとほす(他) 貫通、つらぬく

ぬきをさ(名) 杼(機械の用具)

ぬきかぶり(名) 繻車(織紡の具にて絲を管につける者)

ぬきがき(名) 抄書、拔萃、かきぬき

ぬきつれる(他) 拔運、貫運、ひとしくぬく(一齊に刀を抜く)

ぬきうち(他) 拔撃、抜打、ぬきながらさりかくる(刀を)

ぬきうつす(他) 拔寫、ぬきがきする

ぬきでわた(名) 拔出綿、抜綿、ふるわた(一度綿入に用ひ

ぬま 沼間(氏)

ぬま(名) 沼水のじくじく出る地、また池をいふ

ぬまどらのを(名) 星宿菜、鐵脚鳳尾草(植物)

ぬまた 沼田(氏) 又は地名

ぬまたいこん(名) 鯉腸草、さはたららび、たかさぶらう(植物)

ぬまづ 沼津(地名) また氏

ぬまのゐ 沼井(氏)

ぬまやま 沼山(氏)

ぬまめぐり(名) 水龍、みづちやうじ、みづきんばい(植物)

ぬませ 沼瀬(氏)

ぬませり(名) 水斬、さはせり(植物)

ぬけいづる(自) 拔出、ぬけてでる

ぬけば(名) 脱齒、ぬけたるは

ぬけに(名) 抜荷、ぬすみにもつ、又密商貨、ばはんもの、奸關

ぬける(自) 脱出、ぬけてでる、又たちる(齒等が)

ぬけがら(名) 蛻、むじのから、脱殻

ぬけがけ(名) 拔駈、拔驅、挺身私進(一人一人に先つて密かに進みゆく事)

ぬけがみ(名) 落鬘、落髮、髪、れちがみ

ぬけまわり 拔參(伊勢參宮に一人して密かに行くを謂ふ)

ぬけあな(名) 抜穴、ぬけどほるあな、匿穴、かくれみちのあな

ぬけあきなひ(名) 潜商、隱賣、密賣、ひそかあきなひ、ばはん

わいご(名) 老子(老年に至りて擧けたる子)

わいて(後置詞) 於于、わきて、にて、で

わいで 御出、きたること。いづること。ゆくこと(尊敬の語)

わいざらぼふ(自) 老醜、老衰、わいぼれる、としよりてや

せをどろへる

わいさき 老木、老樹、古木、ふるさ

わいしい(俗)形 旨、有滋味、美、うまい、あぢはひよき(婦

人の語)

わいしろふ(自) 老耄、わいぼれる

わいびと(名) 老人、としよりびと

をろ(名) 尾、やまどりのを

をろち(名) 大蛇、へび、たはへび、じや、巨蛇(動物)

をろねろ(副) 概畧、あらわら些、すこし、いささか

をろか形 愚、魯、俗、癡、愚昧、愚駭、愚痴、頑鈍、癡鈍、痴

頑鈍才、短才、ばか、にふき、かしこからぬ、不佞、不肖

をろかたひ(名) 稽ひつじいね

をろかも(名) 愚物、鈍物、ばかもの

をろそか(形) 魚畧、等閑、疎漏、疎畧、なほざり、をこたる、輕

忽、かろんする

をろし(名) 卸、をろすこと。又、をろしうり(成單賣)

をろし(名) 蕪研、すりわろすうつは、わさびわろし

をろし(名) 鍍餘、くひのこし、殘屑のこりくづ

をろし 下石(氏)

をろしうり(名) 御賣、包攬賣、成單賣、まどめうり(問屋な

どの)

をろしご(名) 墮胎胎中の小兒を流産する事

わはせる(他) 課、いひつける(税金を)

わはする(自) 生坐、をる、いませ(尊敬の語)

わに(名) 鬼、魁、惡魔

をに(名) 喰食、どくみ(毒見)

わにば(名) 重銀、やへば、二重齒

わにばば(名) 鬼婆、あしきわうな、惡婆

わにばす(名) 茨、みづぶき(植物)

わにところ(名) 草薺、いどごころ、いものたぐひ(植物)

わににこそ(名) 虎魚、うをのな(動物)

わにがはら(名) 鬼瓦、鳴吻、牡瓦、蛭吻、獸頭、大瓦、たはがは

ら(屋棟の端の)

わにがしら(名) 蕪毛羽幢、わにのかしらをつけたるはた

(蠶たう)の下に圖あり見るべし)

わにたちばな(名) 臭橙、靈柑、みかんのたぐひ(植物)

わにたびらこ(名) 黃鰻菜、くさのな(植物)

わにそく(名) 空足、いどごころ、わけごころ、絲底

わにつばな(名) 老黃(植物)

わになづな(名) 薪箕、たはなづな(植物)

をになめ(名) 喰食、どくみ(毒見)

わにむし(名) 鬼蟲、天牛、つのみし、八角兒(動物)

わにうこぎ(名) 五加の一種、うにうこぎ、あぶらぎ(植物)

わにのや(名) 鬼鍼草、たにばり、くさのな(植物)

わにのやがら(名) 天麻、くさのな(植物)

わにのまゆはき(名) 飛廉、くさのな(植物)

わにのしこくさ(名) 鬼醜女草、紫苑(植物)

わにぐるみ(名) 山胡桃(植物)

わにやらひ(名) 儼、騙、儼、名、追儼、つゐな、なやらひ、儼儀

わろす(他) 研、切磨、すりわろす

わろす(他) 下墮、脱、降、さげる、くだす。又、よびくだす(神

ど)

をば 尾羽、しりをばね

をば(名) 伯母、叔母、嬪、姑、姨、家姑、姨母、從母(母の姉妹)

をばち(俗)名 飯櫃、めしびつ

をばり(名) 終、はて、しまひ、最終、末節、終結、結局、結局、完

結、しまひ、はて

をばり(名) 尾張(東海道の國名)

をばり(名) 阿針、鍼線女、裁縫女、ぬひものし、たちぬひね

んな

をばりだいこん(名) 尾張大根、大蘿蔔、大蘆薈(植物)

をばる(自)他 終、畢、竟了、卒、はてする、しまひになる

をばた 小幡、小畑(氏)

わはれる 被負、たふはれる、かつがれる(「たふ」の被動體)

をばな(名) 尾花、芒花、すすき(植物)

をばむ(名) 姑壇、をばのむこ

をばぐる(名) 鉄漿、かね齒を染る漿

をばぐる(名) 涅齒、蜻蛉(動物)

をばやう 御早朝の挨拶の語

をばま 小濱(氏)

わばあさん 御婆様、ばばさま、祖母、又は老女を呼ぶ詞

わばしま(名) 搦、欄、欄干(らんかん)、やらい

わはします(他) 在、あます

わはもじ(俗)形 面羞、はづかしき(婦人の語)

わはせる(他) 負擔、擔任、になはする、かつがする、駄(馬に、

つける)

(節分の夜豆をまきて惡鬼を逐ふ事、また禁中にては

桑弓蓬矢を以て惡鬼を射たりと云ふ)

わにまさ(名) 常春藤、土鼓藤、さづた(植物)

わにふた(名) 鬼生田(氏)

わにふす(名) 馬勃、はぼつ、まぐそ、だけ、みみつふし、め

つふれ、だけ、牛屎、菰、南星(植物)

わにこうろぎ(名) 三尾、促織(動物)

わにこし 鬼越(氏)

わにあざみ(名) 小薔、さはあに、あざみ、猪薔、青刺薔、大薔

虎薔、馬薔、鬼薔(植物)

わにゆり(名) 鬼百合、卷丹、番山丹(植物)

わにしばり(名) 白瑞香、なつばうす、はなちやうじ(植

物)

わにじゆすたま(名) 籐米(植物)

わにび(名) 燐火、きつねび、鬼火、青炬

わにびし(名) 裝、ひしのたぐひ

わにせんまい(名) 狗脊(植物)

わは 太、また多(氏)

わはい 大炊(官名、また氏)

わはる(名) 蕪(植物)

わはいどの 大臣殿、殿下、たふとさきひと(大殿に住む人)

わはいぬ 大犬、獒、獒(動物)

わはいだ 大分(氏、また地名)

わはいなる(形) 大偉大、巨大、廣大、巨、般、洪、宏、碩、偉、奕、龜

(龜、龜等の) 洪大、雄大、高大、長大、鴻、鉅、浩、浩、は

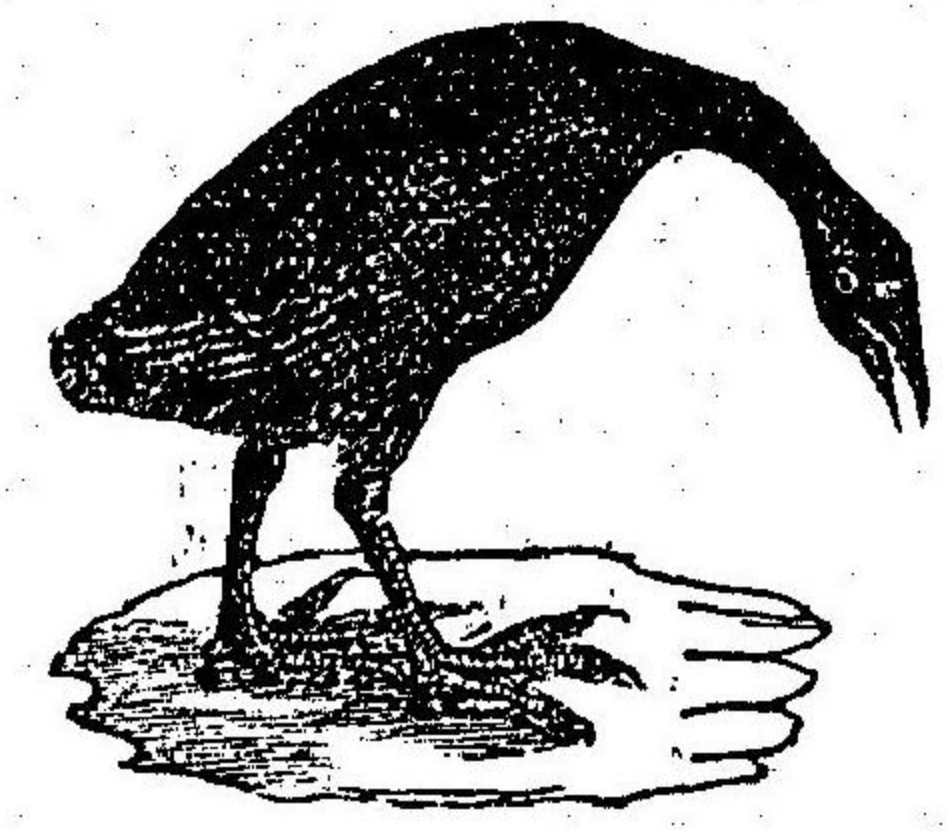
さい

わはいなる(名) 鴻益、巨利、洪益、大益、大利益

ねほいなど(名) 阜籬(ばつた)(動物)
 ねほいのかひ(名) 大淡菜(植物)
 ねほいもうちぎみ 大臣(ねとど)(朝廷の重臣)
 ねほいも(名) 連禪(せん)のな(植物)
 ねほいき(名) 大息(ふといき)ためいき(なげき)
 ねぼろ(形) 朦朧(もうろう)かすみわたる、うすくらき、朦朧(もうろう)無明(むめい)朦朧(もうろう)
 ねぼろよ 朦朧(もうろう)夜(よ)うすくらきよる
 ねぼろづき 朦朧(もうろう)月(つき)うすくらきつきよ
 ねぼろつきよ 朦朧(もうろう)月(つき)夜(よ)うすくらきつきよ
 ねぼろくぐ 大六具(たいりく)緋(ひ)籠(かご)小旗(せうし)鞭(むち)輪(りん)扇(せん)
 ねぼろげならぬ(形) 非小縁(ひせうえん)あつさ、うすからぬ、ふかき
 ねぼろぶね(名) 大古艦(たいこくせん)朽船(くせん)を云ふ、ふるぶね
 ねほば(名) 祖母(そぼ)母(はは)の母(はは)ねばばさん
 ねほば 大場(おほば)大庭(おほてい)氏(し)
 ねほはからし(名) 大芥(おほか)植物(ぶつ)
 ねほはら 大原(おほはら)氏(し)
 ねほばら(名) 大稜(たいりょう)六月(じゅうごく)十二月(じゅうにがつ)の末(すえ)に年中(ねんちゆう)の諸罪(しよざい)を除く(をのぞく)式(しき)ねほみそぎ
 ねほはまぐり(名) 車螯(くるまぢょう)屋螯(いぢょう)(動物)
 ねほばまゆみ(名) 桃葉(とうや)衛茅(ゑぼう)植物(ぶつ)
 ねほばこ(名) 車前草(くるまぜんそう)牛遺(ぎゅうい)牛舌(ぎゅうじつ)車輪菜(くるまわたり)うしのした、芥苳(かいた)
 蝦蟇衣(せまがひ)植物(ぶつ)
 ねほはし 大橋(おほはし)氏(し)
 ねほばん(名) 大判(たいはん)(黄金の大片にして幕府の時貨幣に用ひたる者)又ねほいなるかた

ねほばん(名) 骨頂(こつてい)(平常水中に住し水産動物を食し穀類を食せず)(動物)
 ねほはんげ(名) 由跋(ゆはつ)ひさしわふみ(植物)
 ねほには(名) 大庭(おほてい)ねもてには(ま)關前(せきぜん)の庭(にわ)を云ふ
 ねほへび(名) 蜻蛉(せみ)にしきへび(うは)ばみ(動物)
 ねほど 大音(おほね)氏(し)
 ねほどはり 大通(おほとほ)大街道(おほかいどう)ねほぢ
 ねほどち(名) 茶(ち)苦菜(くさい)にがな(植物)
 ねほどり(名) 大鵬(たいほう)鵬鳥(ほうじう)小説(せうせつ)の大鳥(たいじう)(動物)
 ねほどりぐさ(名) 葦苳(あしどう)麻睡(ましう)を起す草(くさ)(植物)
 ねほどかけ(名) 大蜥蜴(たいしぎ)ねほいなるどかけ(動物)
 ねほどねり 大舍人(たいしゃにん)(禁中雜仕の官人)
 ねほどどの 大殿(たいでん)宮殿(みやうてん)ねほいなるみや(天子の御殿)
 ねほどこのはが(名) 大殿祭(たいでんさい)天子(てんし)の宮殿(みやうてん)の祝祭(しゆさい)
 ねほどこ(名) 椰(やし)ひつき(箱の外圍)
 ねほどき(名) 茶(ち)苦菜(くさい)にがな(植物)
 ねほどしのかみ 大歳神(たいとしのかみ)(神の名)
 ねほどびう(名) 海鱈(かいだう)魚(いし)動物(ぶつ)
 ねほども 大友(おほとも)大伴(おほとも)氏(し)
 ねほどんぼ(名) 大崎蛭(おほさきむし)(動物)
 ねほち 大内(おほうち)氏(し)
 ねほぢ 祖父(そふ)父(ちち)の父(ちち)ねちいさん

(圖のんばほね)



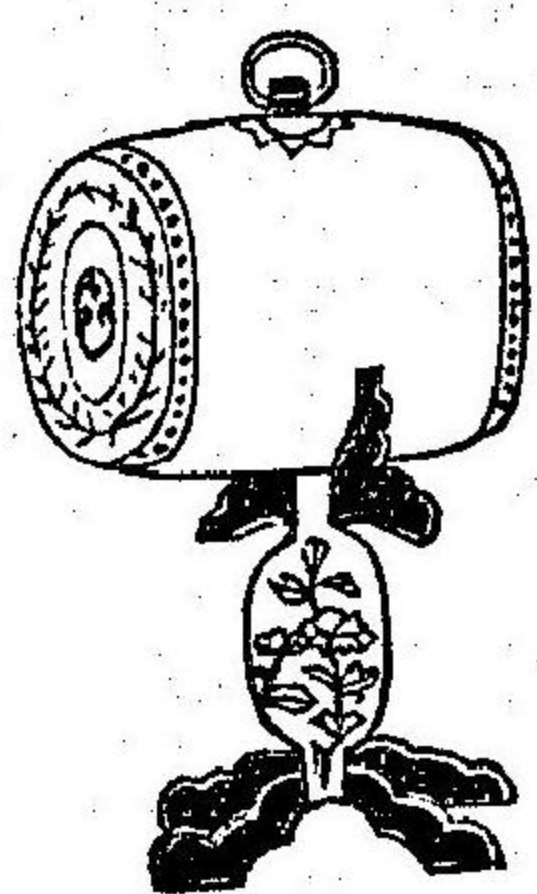
ねほぢ(名) 大路(たいち)正路(せいじゆ)大遠(たいえん)往還(おうわん)の大路(たいち)
 ねほりば(名) 鰻魚(うなぎ)(動物)
 ねほねば(名) 曾祖母(そそぼ)母(はは)いばば
 ねほねばぢ(名) 祖姑母(そこぼ)母(はは)の姉妹(あねいまい)
 ねほねとど(名) 曾祖父(そそふ)父(ちち)いぢぢ父(ちち)の父(ちち)の又父(またちち)
 ねほねとど(名) 太弟(たいてい)天子(てんし)の御弟(ごてい)を云ふ
 ねほねぢ(名) 從祖父(じゆそふ)父(ちち)の父(ちち)の兄弟(あにがた)
 ねほをか 大岡(おほおか)氏(し)
 ねほをそどり(名) 大食鳥(たいじきう)からす、ひもすどり(動物)
 ねほをぐるま(名) 土木香(どもぎ)植物(ぶつ)
 ねほをさむし(名) 馬蘇(ばそ)むしのな(動物)
 ねほねび 大帶紳(たいたいしん)ひろねび
 ねほわ(名) 輜(そ)車(くるま)輪(りん)の郭(くわく)を謂ふ
 ねほわらひ 大笑(たいしやう)賑(にぎ)たかわらひ抱腹(ほうぶく)絶倒(ぜつたう)
 ねほわし(名) 鷄(けい)ねほいなるわし(動物)
 ねほが(名) 纜車(らんくるま)いとどりくるま
 ねほが(名) 大鏡(おほかがみ)ねほのこぎり
 ねほが 鉦鹿(しやうら)氏(し)
 ねほかた(副) 大方(おほかた)たいてい(大抵)
 ねほかた 桑善(そうぜん)大隅國(たいよ)桑原郡(そうはら)の地名(ちめい)
 ねほがね 洪鐘(こうしゆ)大鐘(たいしゆ)ねほいなるかね又氏(またし)
 ねほがうち 大河内(おほがうち)氏(し)
 ねほかやつり(名) 草三稜(くささんりやう)植物(ぶつ)
 ねほかめ(名) 霽(はら)よろひむし(動物)
 ねほかみ 大神(おほかみ)氏(し)
 ねほかみ(名) 狼(おほかみ)豺(さい)狼(ら)やまいぬ(動物)
 ねほかみのこ 狼見(おほかみ)獺(た)動物(ぶつ)

ねほが(名) 大貝(たいがい)屋(い)はまぐり魁蛤(けいが)動物(ぶつ)
 ねほかせ 大風(たいふう)狂風(きやうふう)疾風(しやくふう)猛風(まうふう)烈風(れつふう)颶風(くわふう)颶(くわ)はげしきか

世

ねほよそ(副) 大凡(たいはん)大都(たいと)ねほむね(大概)大略(たいりやく)
 ねほよめ(名) 嫂(せう)娼婦(じやう)あによめ(家婦)長婦(ちやう)
 ねほた 大田(おほた)氏(し)
 ねほた(名) 大鼓(おほつづ)た
 いこ(樂器)
 ねほたはら 大田原(おほたはら)氏(し)
 ねほたに 大谷(おほたに)氏(し)
 ねほたち 大館(おほたち)氏(し)
 ねほたか 大高(おほたか)氏(し)
 ねほたか(名) 大鷹(おほたか)蒼鷹(そうやう)鳥屋鷹(とりやたか)動物(ぶつ)
 ねほたかだんし 大高檀紙(おほたかだんし)紙(し)の名(な)
 ねほたがき 大田垣(おほたがき)氏(し)
 ねほたれ(名) 覆垂(おほたれ)ねほひねほひ
 ねほたけ(名) 大竹(おほたけ)母竹(ぼちやく)籊竹(しやく)の類(るい)また氏(し)
 ねほたで(名) 水蓼(みづれう)植物(ぶつ)
 ねほれる(目) 溺(おほれる)はまる、ねちいる(水に)また淫(おほれる)溺(おほれる)沈溺(しんおほれる)心醉(しんおほれる)ふける
 ねほれ(名) 溺死(おほれ)淹死(おほれ)水死(みづし)
 ねほぞら 大空(おほぞら)虚空(こくう)宇宙(うちう)穹蒼(きゆうそう)絳霄(じやうせう)雲漢(うんぱん)皇天(かうてん)浮虛(うきよ)丹霄(たんせう)みそら
 ねほそけい(名) 大素馨(おほそけい)植物(ぶつ)
 ねほつぼ(名) 獸子(じゆし)便器(べんき)也(なり)ねまる、虎子(こし)
 ねぼつかなき(形) 無覺束(むかく)寢(ね)不審(ふしん)いぶかしき、さだかならぬ

(圖の鼓大)



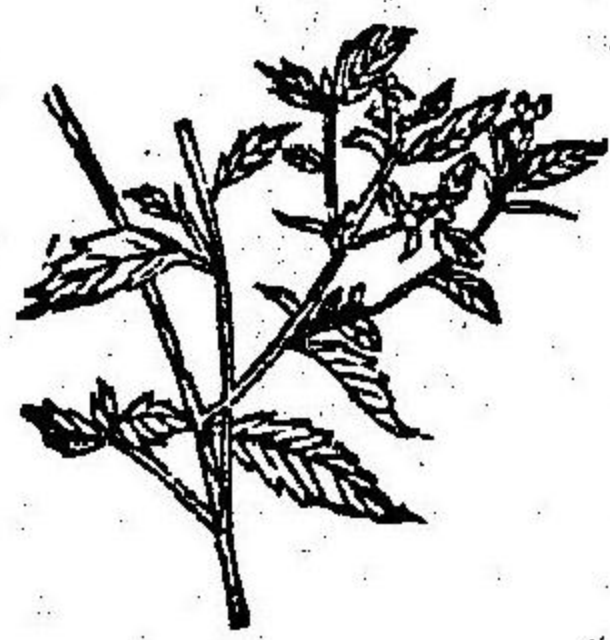
ねはづつ(名) 大砲、巨煩、ねはいなるてつばう
 ねはづな 大綱、ねはいなるつな
 ねはづき 大槻(氏)
 ねはづめ 大角集(氏)
 ねはね(名) 蘿蔔、ろふ、すすしろ、大根、菜蕪、雹突、温菘(植
 物)

ねはねぢ 大陽螺、ねはいなるねぢ
 ねはねむし(名) 蝸、いねむし、いなご(動物)
 ねはねずみ(名) 鼯鼠、碩鼠、老鼠、ねはきなるねずみ(動物)
 ねはなはび 大直日、大嘗會の稱
 ねはなかとみ 大中臣(氏)

ねはなら 檜(植物)
 ねはなめまつり 大嘗祭、天子即位の後に行く大禮
 ねはなみ 洪波、大波
 ねはなし(名) 鶯梨(植物)
 ねはむかし 大古、ふるきむかし
 ねはむね(副) 大抵、大畧、大概、大卒、梗概、ねはよそ、あらか
 た、あらし

ねはむら 大村(氏)、また地名
 ねはむらくさ(名) 大村草(小
 笠原島に産する木にて薬
 材となすべし)
 ねはむらじ 大連、古昔の大臣
 の稱

(圖の草村大)



ねはむぎ(名) 大麥、ふとむぎ、
 雜麥(植物)
 ねはむし(名) 天牛、つものむし(動物)

ねはやう(俗二形) 大様寛裕、ねはまか、こころひろき
 ねはやま 大山(氏)
 ねはやまと 大倭、日本國の二稱

ねはやまれんげ(名) 天女花(植物)
 ねはやけ(名形) 官、公、官府、又ねもてむぎ(公然、公明正
 ねはやけに(副) 公然、ねもてむぎに
 ねはやけうり 公賣、官にて人の所有物を賣り拂ふ事
 ねはやけのざらん 公議、公論、輿論、衆論、衆議、世論
 ねはやけごと 公事、官の事、又ねもてむぎのこと

ねはやぎ 大八木、大谷木(氏)
 ねはやしまのくに 大八洲國(日本の一)
 ねはまはり 洋船、大海を航する船
 ねはまんごころ 大政所(將軍の妻等の稱)
 ねはけたで(名) 菘草、龍、鴻、蕪(植物)

ねはけなく(副) 添、かたじけなく、恭
 ねはふ(俗二形) 大膳、ねはまか、ねはやう
 ねはふ(他) 覆蓋、掩、庇蔽、かぶせる、かくす、掩蔽、かばふ、
 かくまふ、庇陰、覆蓋、揜蔽、藩屏
 ねはふね 舸、ばやふね
 ねはふう(俗二形) 尊大、たかぶる
 ねはこ(俗二形) 阿蒙兒、恍惚子、あどけなき
 ねはこ(名) 撥尾魚、鰯魚、ぼらのこ、なよし(動物)

ねはごじよ 大御所、退隱せる將軍の尊號
 ねはごゑ 大聲、大喝、大呼、大音、叱囀
 ねはて 大手(城の前門)
 ねはて(名) 大手(兩手を廣げたる者)

ねはうち 大内(氏)、また大裏禁裡を謂ふ
 ねはうちき(名) 大袿、あはせのうちきをふたつかさねた
 るもの
 ねはうを(名) 大魚(大なる魚の名)、また鯉(北溪にあると
 いふ大魚)

ねはうそ(名) 大鱷(動物)
 ねはうつしば(名) 鴨跖草、つゆくさ(植物)
 ねはうみ 大海、巨海、溟海、鯨海、あとうなばら、蒼海
 ねはうみのはら 大洋、ねはうなばら、大海
 ねはのみ 大飲、健飲、鯨飲、強飲、ねはいにのむこと
 ねはく(副) 多、あまた、たくさん、多分
 ねはくは 大鯨、大鯛、烏鱈、大肥(農具)

ねはくにぬしのかみ 大國主神、ねはなむちのかみ
 ねはくぼ 大久保(氏)
 ねはくち 大口、ねはいなるくち、また袴(下を見よ)
 ねはくちばかま(名) 大口袴、長袴、ながばかま
 ねはぐるま(名) 土木香、をぐるま(植物)
 ねはくらくだ(名) 大胡桃、核桃(植物)

ねはくらくさやう 大藏卿、大藏大臣
 ねはくらしやう(名) 大藏省、政府の金銀と主る官署
 ねはぐらひ 大食、貪食、饕餮、ねはぐらひ
 ねはぐま 大熊、大隈(氏)
 ねはぐひ 大食、健食、貪饒、飽食、狼餐、饕餮、ねはぐらひ
 ねはくび(名) 袷衣の前の襟
 ねはや 大屋、家主(いへぬし)

ねはやがら(名) 接骨草、くさのな(植物)
 ねはてら 巨剎、大寺、大伽藍
 ねはあは(名) 梁、黃梁米、あはのたぐひ、ししくはす、さる
 あは(植物)

ねはあに(名) 伯兄、長兄(第一の兄)
 ねはあれ 大荒風、ねはあらし、大風、雨、浪
 ねはあね(名) 長姉、伯姉(第一の姉)
 ねはあなむち 大已貴、素盞鳥尊の子孫にて大國主と云
 ふ、ねはなむち

ねはあらめ(名) 大荒目、胴丸の鏡の名
 ねはあらし 大嵐、あはれ、大風、雨
 ねはあむむの 大安殿、大極殿をいふ
 ねはあふひ(名) 戎葵(植物)
 ねはあざみ(名) 大薊(植物)

ねはあきんど 大賈、巨商、豪商、紳商、富貴、大商人
 ねはあめ 大雨、甚雨、沛雨、迅雨、覆盆、傾盆、洪雨、霪、霽、霽
 霽、たきあめ、はげしきあめ
 ねはあし(名) 接脚戲、遊戯の名
 ねはあんす(名) 金杏、金剛拳(植物)

ねはさは 大澤(氏)
 ねはさか 大坂(攝津國東成郡にある大都會)
 ねはざつばい(俗二形) 大雜配、ねはやう、ねはまか
 ねはさき 大崎(氏)
 ねはさんざし(名) 羊机子(植物)
 ねはき(形) 多、衆、庶衆多、夥多、饒多、濟濟、あまた、たくさ
 ん、稠、しげき
 ねはき 大木(氏)
 ねはきりしま(名) 映山紅、つつじのたくび(植物)

ねほさうり(名) 大胡瓜(植物)

ねほさまち 正親町(氏)

ねほさまちてんわう 正親町天皇(人皇第百代の帝)

ねほさき(名) 太后(天子の御母堂)

ねほさき(名) 大君(天子を云ふ)

ねほさき(名) 直衣姿(王姿、なほしすがた)

ねほさき(名) 大膽、ふとさき(こころ)

ねほゆみ(名) 怒、いしゆみ

ねほゆみ(名) 拇、たやゆび、巨指、大指、將指

ねほゆみ(名) 大目見、みのがと、黙許

ねほみだ(名) 大御堂(所將軍の母公)

ねほみだ(名) 大御寶、黎元(人民、百姓、萬民をいふ)

ねほみそ(名) 大晦日(十二月の終の日)

ねほみそ(名) 大水、洪水、あふれみづ

ねほみそ(名) 葇荳(植物)

ねほみや(名) 大宮司(神官の最も高き稱)

ねほみや(名) 大宮人、公家衆、公卿、宮廷に伺候する人々

ねほみけ(名) 大御食(天子の御食物)

ねほしは(名) 大潮、たかしは

ねほしか(名) 麋、ねほいなる

ねほしか(名) 凡河内(氏)

ねほしま(名) 大島(氏)、また(島)

ねほし(名) 思敷、ねもは

ねほしめ(名) 思召、所念

ねほす(名) 大須賀(氏)

ねほす(名) 大隅(西海道の國名)

ねほす(名) 御黄李(植物)

ねほん(名) 供(追憶の夜に假面を被りて疫鬼を追ふ人)

ねほん(名) 御衣、輔衣(天子の御衣服)

ねほん(名) 終、をはらす(了、完結)

ねほん(名) 汗、汗がす、よこす

ねほん(名) 諂媚、へつらひ

ねほん(名) 小集樂(六月晦日の住吉の神事をいふ)

ねほん(名) 鳥媒、をとり

ねほん(名) 於菟、烏魁(虎の一名にて楚國の方言)

ねほん(名) 乙季、すゑ、末子

ねほん(名) 音、音聲、ね

ねほん(名) 小門(小海門をいふ)

ねほん(名) 茨、いばら、むら、むら、棘、蓬(植物)

ねほん(名) 表弊、表額、表微、式微、表耗、表麓、澆季、陵

ねほん(名) 夷、あらくなる

ねほん(名) 可懼、ねそろしき、こはい

ねほん(名) 令驚、ねどろかしむる、びつくりさせる

ねほん(名) 蓬頭、蓬髪、みだれがみ、ほうけだちたるか

ねほん(名) 驚愕、驚愕、驚愕、驚怖、びつくりする

ねほん(名) 驚見、駭駭、駭駭、駭然として見る

ねほし(名) 王鮪、鱧(三板魚(動物))

ねほえ(名) 大江、大枝(氏)

ねほえ(名) 覺、感觸、感覺(感じ知る事)。また記憶、記念、わすれぬこと

ねほえ(名) 覺、錯記、誤記、ねほえわやまる

ねほえ(名) 覺、帳、手記、手冊、手扣、てびかへ

ねほえ(名) 蓋、葎、覆、ねほえもの、ねひ

ねほえ(名) 昔、著、うまごやし(植物)

ねほえ(名) 高祖母(祖母の母の又母)

ねほえ(名) 高祖父(祖父の父の又父)

ねほえ(名) 大廣間、大廳、ねほざしき

ねほえ(名) 大蕨(植物)

ねほえ(名) 藤、長苗(植物)

ねほえ(名) 大日靈貴、ひのかみ(日神)

ねほえ(名) 掩藏、かふせてかくす、つつむ

ねほえ(名) 正東、まひがし

ねほえ(名) 胡羊(動物)

ねほえ(名) 大百姓、大戸、豪農、巨農

ねほえ(名) 大娘、おねむすめ

ねほえ(名) 覆物、覆蔽巾、かぶせもの

ねほえ(名) 大森(氏、また地名)

ねほえ(名) 仰、命令、いひつけ

ねほえ(名) 大勢、ねほくのひと、衆

ねほえ(名) 芹、葉、釣、物(植物)

ねほえ(名) 大關、相摸の最も強き者

ねほえ(名) 樨耳草、たちすべりひゆ(植物)

ねほえ(名) 弟、舎弟、れとうと

ねほえ(名) 大臣、ねほいさうちぎみ(朝廷の高官の人)

ねほえ(名) 弟、姉、ねちよめ、れとうとのよめ、姉

ねほえ(名) 去、去年、一昨年、こぞのまへのとし

ねほえ(名) 兄弟、さやうだい、あねねと、はらから

ねほえ(名) 姉妹、あねいもと、をんなさやうだい

ねほえ(名) 一昨日、再昨、昨日の前の日

ねほえ(名) 媒、鳥、てらてら、てれ、囀、遊鳥(他鳥誘をはする鳥)

ねほえ(名) 跳、躍、とびはねること、又跳舞、伎踊、まふこと、まひ

ねほえ(名) 妾、腹、めかけばら

ねほえ(名) 跳、込、とびこむ、躍入

ねほえ(名) 川、續、野、芝、麻(植物)

ねほえ(名) 踊、超、とびこす、躍越

ねほえ(名) 踊、上、距離、曲、踊、跟、跳、とびあがる

ねほえ(名) 續、断、くさのな(植物)

ねほえ(名) 劣、くだる、まける、しながれる

ねほえ(名) 踊、跳、躍、躑、躑、陸、梁、はねる、とびあがる、ま

ねほえ(名) 跳、舞、まふ

ねほえ(名) 疎、疎、ふるふる(恐懼、戰慄の貌)

ねほえ(名) 響、鐵(弓の兩端に附けたる金にして射る時響きを發す)

ねほえ(名) 領、頤、あご

ねほえ(名) 解、頤、あごをはづす(大笑して)

ねほえ(名) 姉、婦、稚、婦、ねとよめ

ねほえ(名) 音、信、聲、息、聲、聞、息、耗、たより、しらせ、文、通

ねぢけ(名) 畏慄、ねぢけること
 ねぢける(自) 畏慄、ねぢれること
 ねぢふるひ 十二神氏
 ねぢふた(名) 落札(入札の當り札)
 ねぢふれる(自) 落魄、潦倒、半落、漂泊、零落、まづしくなる
 をぢこち 遠近、おなたこなた、遐邇、彼此
 をぢこむ(自) 落込、ねぢこむ、陥落
 ねぢあつまる 脱集(逃走人等が離散して復集まるを謂ふ)

ねぢあひ 落合(氏)
 ねぢあひ(名) 合流、尾合、濼河、ねぢあひながれ(河水の双方より流れ来りて會ふ處)
 ねぢぎく(名) 知羞草、さはればしほむく(植物)
 ねぢめ(名) 落日、凋落、さかりめ、ねぢめ、ねぢめ、さかるとさ(人の身に云ふ)
 ねぢえん(名) 落椽、椽の低き處
 ねぢびと(名) 逃人、かけねぢびと、亡命者、脱走人
 ねぢ(名) 澱物、沈渣、濁滓、近滓、かす、ねぢみもの
 ねぢ(名) 機機會はづみ
 ねぢ(名) 欄、牢、柵、圍、檻、獸園、圍牢、けものいれ、ところ、又ねぢこめ、ところ(狂人等の)
 ねぢ(名) 盒、薄き板にて造れる器にて食物等を容るる者
 ねぢ(名) 折入、切、しきりにせち
 ねぢ(名) 太上天皇(仙洞御所を云ふ)、くらゐ
 ねぢ(名) 折羽、下端(雙六に云ふ所)
 ねぢ(名) 折延、ひきつづきて

ねぢ(名) 折梯子、たたみばし
 ねぢ(名) 折本、摺本、折帖、たたみぶみ
 ねぢ(名) 織部司(宮中織物の事を掌る官)
 ねぢ(名) 織部蓋、京蓋、酒杯の一種
 ねぢ(名) 折戸、たたみ
 ねぢ(名) 居所、むところ、すまひ
 ねぢ(名) 織地、ねぢたりたるぢあひ
 ねぢ(名) 下、降、くだる(又神が祈禱に由て下り来たまふをも謂ふ)
 ねぢ(名) 折折時時、よりより、屢次、ときどき
 ねぢ(名) 屈折、をりまがり
 ねぢ(名) 折柄、とさ、とさしも
 ねぢ(名) 折紙、保證紙(古物等の)、うけあひがき
 ねぢ(名) 機好、とさよく、恰好
 ねぢ(名) 折摺椅子、たためるこしかけ
 ねぢ(名) 折摺椅子、たためるこしかけ
 ねぢ(名) 下立、くだりたつ
 ねぢ(名) 惡慄、さひげだち、惡寒、ねぢふるひ
 ねぢ(名) 汚隆、感寒、さかりねぢ
 ねぢ(名) 折句、香冠、題物名等を讀こみて冠せたる歌を云ふ
 ねぢ(名) 折釘(本の曲れる釘)
 ねぢ(名) 機屋、織屋、織匠、ねぢりものや、はたや、はたねり
 ねぢ(名) 折曲、摧撓、しなはせまげる
 ねぢ(名) 折節時、恰好、をりから、とさ
 ねぢ(名) 織子、ねぢりもの、はたし
 ねぢ(名) 折惡敷、機會惡あひにく

ねぢあひ(名) 折合、なからひ、關係
 ねぢめ(名) 折目、折痕、をりたるあど、たたみめ
 ねぢめだか(形) 折目高、かたくなるしき、さしきさばる
 ねぢひめ(名) 織女、たなばた、めたなばた
 ねぢりもの(名) 水勝、月血(産後の下血)
 ねぢりもの(名) 織物、はたにてねぢれるもの
 ねぢりもの(名) 織物師、織匠、經緯師、機工、はたし、はたや
 ねぢ(名) 折折、折挫、折截、取折、まげてくじく、又たたむ(疊、摺)
 ねぢ(自) 居、坐、すまふ、ゐる
 ねぢ(名) 自鳴琴、ひとりでになるなりもの
 ねぢ(名) 雄雄敷、たけき、つよき
 ねぢ(名) 在、坐、ゐます、をる、こざる
 ねぢ(名) 岡丘、陵、阜岳、たかきところ、小山、また陸、陸地、くが(海に對す)
 ねぢ(名) 獸子、ねぢまる、虎子、藝器、溺器、洩器、しゆびん、ゆばりつぼ
 ねぢ(名) 小川、ちひさきかは、こがは、また(氏)
 ねぢ(名) 觀、颯、まるがはら、杜瓦(上にかぶせる瓦)
 ねぢ(名) 小河原(氏)
 ねぢ(名) 蝦蟇虫の(動物)
 ねぢ(名) 陸穂、岡穂、占城米(水田にわらすして水なき圃に作る所の稻)
 ねぢ(名) 岡部(氏)
 ねぢ(名) 荷鷹、くさのな(植物)
 ねぢ(名) 陸路、くが
 ねぢ(名) 丸牛車、くさのな(植物)

ねぢ(名) 家婦、ごしんざう、ねぢみさん、ねくさま、主婦
 ねぢ(名) 岡田(氏)
 ねぢ(名) 緒方(氏)
 ねぢ(名) 小賀玉木、歳木、鬼打木、黄心樹(植物)
 ねぢ(名) 苗芋、くさのな(植物)
 ねぢ(名) 鮎、魚(動物)
 ねぢ(名) 岡引(今の刑事巡查に當る)
 ねぢ(名) 麻幹、麻柄、あさがら
 ねぢ(名) 拜、禮拜、はいする、ふしてうやまふ
 ねぢ(名) 岡野(氏)
 ねぢ(名) 冬萎植物
 ねぢ(名) 大錫屑のこぎりくづ
 ねぢ(名) 白楊、はこやなぎ、まるばやなぎ(植物)
 ねぢ(名) 陸運、くがはこび
 ねぢ(名) 御蔭高庇、高蔭、庇蔭、資蔭、ねぢみ(ねぢ者もと尊敬の詞)
 ねぢ(名) 御蔭參、くわんぼどき、れいまるり、還願
 ねぢ(名) 小笠原(氏)
 ねぢ(名) 小笠原島、伊豆沖にある島國
 ねぢ(名) 岡崎(氏、また三河の地名)
 ねぢ(名) 陸眼、はため、かたはらよりみるめ、傍目
 ねぢ(名) 瑤瑤龜、かめのたぐひ(動物)
 ねぢ(名) 御上(朝廷或は政府をいふ)
 ねぢ(名) 龍神(水雨を主る神)
 ねぢ(名) 拜打、まつかふうち、あひせかけ、あたまのうへよりうつこと

をがみめかみ 陽神陰神、男女神(即いぎなぎ及びいぎなみ
兩神をいふ)

をかじようき(名) 陸蒸瀛瀛車鐵道車をいふ

をかじき(形) 可笑、鳥情、わらふべき

ねがひき(名) 大鋸挽木挽、こびき

ねかひもの(名) 蓄妾、嬖女、かかひめかけ、かこひめ

ねかもち(名) 提筒料理を入れて手に提て運ぶ物

ねかもの(名) 陸産、陸毛、はたけもの(陸に産する物)

ねがせ(名) 纏、わさのかせい

ねかす(他) 犯、干犯、やぶる法律などを、架、侵、侵畧、侵掠

ねかす(他) 人の國を、味犯、冒犯、涼犯、借(不禮を加ふる)

ねかす(他) 犯、婦女を汚す、蒸淫(父母或は親戚と淫する)

ねかす(俗) 菜、さい、飯と共に食ふ物、釘

ねかん(名) 悪寒、そぞろさむさむさむけだち

ねかん(名) 巫、男の巫祝、をこのみこはふり

ねよばす 不及、とどかぬ、また不要、不須、いらぬ、もちひ

ねよばす(他) 及、とどかしむる、いたらしむる

ねよる(俗) 御寝、げしなる、ねる、ねむる

ねよる(副) 凡、都、すべて、大都、大凡、大畧、概畧、大概、大抵

ねよづれ(名) 或たよづれ(名) 妖言、いつはりごと、ひとま

ねよは(名) 老女、わうな、としよりをんな

ねよ(自) 泗游泳、油、糸、水練、游泳、浮泳、泗泳、みづをか

ねよ(自) 及、速、追、單、蟹、いたる、とどく、達

ねよ(自) 及、速、追、單、蟹、いたる、とどく、達

ねよ(自) 及、速、追、單、蟹、いたる、とどく、達

ねよ(自) 及、速、追、單、蟹、いたる、とどく、達

ねよ(自) 及、速、追、單、蟹、いたる、とどく、達

ねよ(自) 及、速、追、單、蟹、いたる、とどく、達

ねよ(自) 及、速、追、單、蟹、いたる、とどく、達

ねよ(自) 及、速、追、單、蟹、いたる、とどく、達

ねよ(自) 及、速、追、單、蟹、いたる、とどく、達

ねよ(自) 及、速、追、單、蟹、いたる、とどく、達

ねよ(自) 及、速、追、單、蟹、いたる、とどく、達

ねよぎふく(名) 游瓢、要舟、游ぐ時に體につくる浮瓢

ねよ(自) 指、ゆび(手足の)

ねよ(自) 考、腰、ふたへこし、まがりこし、又まへか

ねだ 織田(氏)

ねだ 小田(氏)

ねだ 小田(氏)

ねだ 小田(氏)

ねだ 小田(氏)

ねだ 小田(氏)

ねだ 小田(氏)

ねだ 小田(氏)

ねだ 小田(氏)

ねだ 小田(氏)

ねだ 小田(氏)

ねだ 小田(氏)

ねだ 小田(氏)

ねだ 小田(氏)

ねだ 小田(氏)

ねだ 小田(氏)

ねだ 小田(氏)

ねだ 小田(氏)

ねだ 小田(氏)

ねだ 小田(氏)

ねだ 小田(氏)

ねだ 小田(氏)

ねだ 小田(氏)

ねだ 小田(氏)

ねだ 小田(氏)

ねだ 小田(氏)

ねだ 小田(氏)

ねだ 小田(氏)

ねだ 小田(氏)

ねだ 小田(氏)

ねだ 小田(氏)

ねだ 小田(氏)

ねだ 小田(氏)

ねだ 小田(氏)

ねだ 小田(氏)

(圖の豚)



れつとりこめる(他) 追取籠とりかこむ

れつとせい(名) 夫婦、めをと、夫妻

れつとせいの(名) 臘腸(海鹽の外腎「墨丸」の事にて臍と共に取るを以て然か云ふ但し常に之を其動物の名とす)

れつとん(形) 臘腸、こねたる、ふとれる

「れつちよ(名) 乙女、をとめ、又れとむすめ

れづる(自) 懼(れぢる)、怖、恐、畏、れそる

れづれづ(副) 悚、悚怖、れそる、れそる

れつかい(形) 越階(位階を一二階飛こけて位に叙せらるるを云ふ)

れつかない(俗) (形) 怯、可畏、こはい、れそらしき

れつかける(自) 追駈(れひかけるを見よ)

れつかあ(俗) (名) 阿母、はは、うへ(子供が母を呼ぶ詞)

れつそ(名) 越訴(順序を経ずして直訴する事)

れつつか(名) 尾筒馬の尾にかぶせる布袋、をぶくろ

れつつかへしつ 且追且被追、れふたりれひかへされた

れつつけ(俗) (副) 追付、とほからず、ぢきに

れつねん 越年、越歳、超歳、加年、迎年、としこし

れつな(俗) (形) 奇異、れかしな、奇代

れつこち(俗) (名) 戀人、こひびと、いろ

れつこつ 音骨(信濃國諏訪郡の地名)

れつこく(名) 越獄、らうやぶり

れつて(俗) (名) 追手、れひて、れふひと、追人

れつて(俗) (副) 追而、そのうちに、とほからず

れつき 小槻(氏)

れらんだ 阿蘭陀、紅毛(羅歐巴洲の國名)

れらんだいばら(名) 繡絲花(植物)

れらんだいちご(名) 鐘毒、いちごのたぐひ(植物)

れらんだりんご(名) 苹果、りんごのたぐひ(植物)

れらんだな(名) 牛肚(植物)

れらんだくこ(名) 枸棘(植物)

れらんだみつば(名) 早芹菜、さよまにんじん

れらんだびゆ(名) 破胡紙、補骨脂(植物)

れらんだせり(名) 塘蒿

洋芹(秋季より冬候

に掛けて日日食膳

に供すべき良菜な

り)

れむば(名) 乳母、うば

めのと

れういん(自) 應

允、がてんする、うけがふ

れうはう(名) 應報、むくい(善惡の)

れうへい(名) 應兵加勢の人数

れうへん 應變、へんにれうする(臨機の取計ひをなすを云ふ)

れうと(名) 夫、をとと、女が耦する男

れうと(名) 吐、嘔、はき、えづき、ばく

れうか(自) 謳歌、うたうたひはむる、たたへうたふ、うたひあがむる

れうよう(自) 應用、あてもちふる、適用

れうだ(自) 毆打、うちたたく

をつきやく(自) 嘔、嘔、むせびわらふ

れつし(名) 乙子、ねとご、すゑこ

をつえつ(自) 嘔、嘔、むせびかへる

れねば(名) 炊湯飯の上の湯を云ふ、めしのとりゆ

をねつ(名) 惡熱、あじきねつ

をなは(名) 苧繩、麻繩、あさなは

れなり(名) 御成(公方家または天子の出行を云ふ、れでまし)

れな(俗) (名) 腹肚、はら、婦人の語

をながどり(名) 尾長鳥、山鳩、かささぎのたぐひ(動物)

をながうじ(名) 尾長蛆、かみさげむし、うじ(動物)

をながざる(名) 尾長猿、果然(動物)

をながさ(名) 鷓鴣、をのあがさ(動物)

れなら(俗) (名) 尻、轉失氣、へ

をならしへ(名) 響尾蛇、ををならすへ(北米などに居る動物)

をなご(名) 女兒、女子、をんなのこども、をんなども

をなごらし(名) 女子敷、をんならしき、婦人に似合はしき

をなめ(名) 牝牛、めうし(動物)

れなじと(名) 同時、同刻

れなじやう(形) 同様、れなじさまなる

れなもみ(名) 菜耳、耳瑠草、蒼耳、胡菓、蒼耳(植物)

れなんどちや(名) 深油、緑色の名

れらぶ(自) 哭叫、なきさけ

れうたい(名) 應對、うけこたへ、あいさつ、應接

れうたく(自) 應諾、がへんする、承諾、うけひく

れうたふ(名) 應答、うけこたへ、あひさつ、こたへる、うけこたへする

れうな(名) 老女、嫗、老嫗、としどりをんな

をううつ(形) 蒼鬱、こんもりしげる(樹木が)

をうげき(自) 毆撃、うつ、たたく

れうけん(名) 應驗、しるし、きさめ、功驗

れうぶん(名) 歐文(西洋の文字)

れうぶん(形) 應分(身分相應をいふ)

れうこく 澳國、歐羅巴洲の國名、れうすとりのあ

をうさつ(自) 毆殺、たたきこころす、こころす、うちこころす

をうき(名) 嘔氣、むかひけ、はきけ

れうぎ(名) 奧義、れくぎ、蘊奧、かくれたるところ、秘密

れうきやう(自) 應響、こたへひびく、こたえにひびく

れうぎやく(名) 嘔逆、はきけ、むかつき

れうめう(名) 奧妙、極意、奧義、れくぎ、れくふかき

をうみ(名) 緝麻匠、麻を撻りて續くる者、ををうむもの

れうし(名) 奧旨、奧意、ふかさいみ、奧義

れうし(名) 牝牛、ことうし、牝、犢、特牛(動物)

れうし(自) 應酬、こたへむくいる

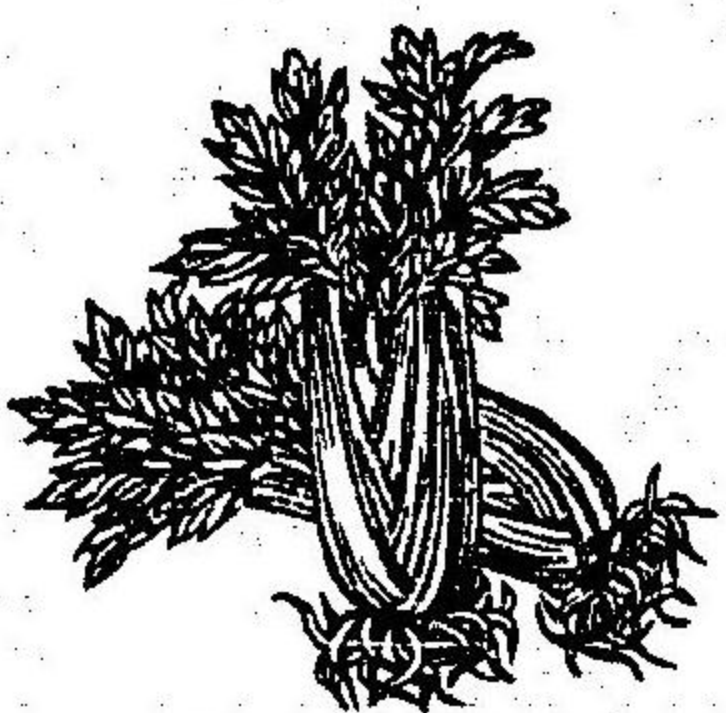
をうしやう(自) 毆傷、うちさすつける

れうじゆん 奧峻、れくふかくしてたかき(深山等が)

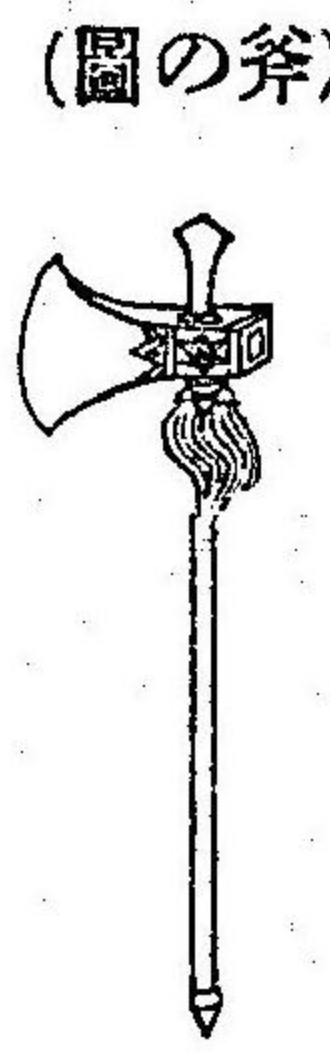
れうじてんわう 應神天皇(人皇第十五代の帝)

をうえつ(名) 嘔噦、えづき、はきけ

(圖の蒿塘)



をうえうする(他) 誦誦うたふ
 ねうえんする(他) 應援、たすけつくふ、かせいする
 ねうせつ(名) 一する(自) 應接、應待、接遇、うけこたへ、あ
 いさつ
 ねうせつしつ(名) 應接室、うけこたへのま
 ねうすどりや 澳地利(歐羅巴洲の國名)
 をの 小野(氏)
 をの名) 斧、鉞、鎌
 鉄まさかり
 をのはじめ 斧始
 (建築の起工式)
 をのへ(名) 峯上、みね、丘上、標峰、岑上、をかのうへ、いただ
 き
 をのへ 尾上(氏)
 をのをれ(名) 斧折(植物)
 ねのねの(副) 各、各自名、ひとりびどり
 をのから(名) 斧柯、をのの
 ねのれ代名詞) 己、みづから、自身
 ねのづから(副) 自、自然、天然、ひとりでに
 をののく(自) 慄、驚、戰慄、ねそれふるへる、わななく
 をのこの(名) 男子、をこのこの男兒、又とこの丈夫
 ねのこの(名) 自疑島、磯取島(日本海中の一島にして
 古へ陰陽神の始て降りし處)
 をのこの(名) 男兒、男子、息男、をこのこのこ、むすこ
 をのでら 小野寺(氏)
 をのぎ 小野木(氏)
 ねく(名) 奥、ふかきところ、ねくまりたるば



(圖の斧)

送、贈遺、贈與、贈貽、餽贈、あたへやる、送致、ねくりやる、
 送達、遞送、送付、送餞、はなむけする
 ねぐるま(名) 旋覆花、益庚、金沸花、かまのつば、金錢花、艾
 菊(植物)
 をぐるま 小車、ちひさきくるま、また(氏)
 をくわい(形) 汗穢、けがれたる、またなま
 ねくか(名) 奥處、ねくふかきところ
 ねくがた(名) 奥方、夫人、尊圓(貴人の妻)
 ねくがき(名) 奥書、ねくしよ
 をくよく(名) 屋翼、ひさし
 ねくたく(する) 臆度、はかりつもの
 ねくだひら 奥平(氏)
 ねくだん(名) 臆斷、推量、ねしはかり
 ねくればせ(名) 後走、後駈、ねくれてはすること
 ねくれる(自) 後、おとになる
 ねくれざ(形) 後咲、ねそざき
 ねくそ 屋租、やちん(屋賃)
 ねくそく(名) 臆測、ねしはかり
 ねくそこなく(副) 無奥處、つつみかくしなく
 ねくねん(する) 自) 憶念、ねもふ、かえ
 がふ
 ねくら(名) 御藏、國幣、政府の金銀、又は
 米穀貯蓄所)
 ねくら(名) 黄蜀葵、とうろあふひ(西洋
 にて是を種種の調理に用ふ(植物)
 をくら 小倉(氏)
 をくら(名) 窳突、香篠、裝籠、稍闇、小

(圖の葵蜀黄)



ねく 奥(氏)

ねく(名) 億萬萬をいふ
 ねくする(自) 臆、ねされる
 ねく(他) 置、する、措、實、奠、留置、とめねく
 をく(名) 屋、いへ、家
 ねくい(名) 奥意、奥旨、ねくぎ、又そこ
 をくろ(名) 屋漏、家の西南隅を屋漏といふ
 ねくば(名) 奥齒、頬齒、牙關、齒、ねくにあるは
 をくは(名) 屋背、やね家の
 ねくり(名) 送、贈、ねくること
 をくり 小栗(氏)
 ねくりをさめ(名) 葬、はうむりねさむる
 ねくりがう(名) 贈號、ねくりな
 ねくりかんきり(名) 喇帖石(ざりがに之胃壁中に生ずる
 堅塊、らつこせきを見よ)
 をくりよ(名) 屋柁のき
 ねくりだす(他) 送出、ねくりやる
 ねくりな(名) 諡、諡號、贈號(死後に與へし名)
 ねくりぐら(名) 贈位(死後に與ふる位)
 ねくりやる(他) 送遺、發遣、ねくりつかはす
 ねくりこむ(他) 送込、ねくりいれる
 ねくりじやう(名) 送状、送帖、載貨單、ねくりてがた(荷物
 の)
 ねくりび(名) 送火(舊七月十六日の夜たきて亡靈を冥府
 に送る火)
 ねくりもの(名) 贈物、贈與、惠贈、進物、つかひもの
 ねくる(自) 送(出行く人を)、又やる、つかはす、饋遺、餽贈、

暗、峠嶺、うすくらき

ねくらせん(う) (名) 煎秋羅(植物)
 ねくのどの 内殿、後殿、ねくのみや
 ねくのて(名) 左手、ゆんで、また後手段
 ねくぐら 奥藏(家の裏の藏)
 ねくくう(俗) (形) 難事、むづかしき
 ねくやま 奥山、深山、みやま
 ねくけい(名) 臆計、むなづもり、ねしはかり
 ねくけん(名) 臆見、私見、ひとりかんがへ
 ねくふか(形) 奥深、深遠、幽深、ねくゆかしき、こころと
 はき
 ねくて(名) 晚稻、晚熟、晚梗、ねしね、ねしね(植物)
 ねくてう(名) 億兆(數の最大なる者にして常に人民をし
 か稱す)
 ねくさま 奥様、尊圓、恭人(貴紳の妻女の尊稱)
 ねくざ(し) (名) 奥坐敷、奥殿、奥室、後堂、ねくまりたるへ
 や
 ねくさん(名) 臆算、むなづもり、むなざん
 ねくゆかし(形) 奥床敷、ねくそこふかき、深枕
 ねくゆき(名) 奥行、ねくのふかさ(家の)
 ねくめん(名) 臆面、はづかしさ、はばかり
 ねくめん(形) 無臆面、はぢしらぬ、ねてんば、ですぎ
 ねくみん 褌、ねくび(衣服の)まへのまち
 ねくみん 億民(多くの人民)
 ねくし(名) 屋址、いへあと、いへのあれあと
 ねくし(する) (他) 臆揣、かんがへはかる
 ねくし(名) 御頭、御髪、かみ、ゆひたるかみ

わくじよ(名) 奥書願書等の奥に書添ふる文
 をくじら(名) 鯨をこくじら(動物)
 をくじや(名) 屋舎、いへ、家屋
 をくじやう(名) 屋上、いへのうへ
 をくえん(名) 屋敷、ひさし
 わくび(名) 噎、噎氣、噎氣、呑酸、喉からでる氣
 わくびやう(名形) 臆病、こはがり、ものねそれする、いく
 ぢない
 わくびやうもの(名) 臆病者、怯夫、こはがるひと、こころ
 よわきひと
 をくせい(名) 屋税、やちん屋賃
 わくせつ(名) 臆説、自分一己の意見
 わくすみ 奥隅(氏)
 わや(名) 親、父母、雙親、兩親、己を生育せる者
 をやいづ 小柳津、小柳箇(氏)
 わやいも(名) 芋魁、いもがしら(植物)
 わやぢ(名) 親仁、親父、家父、嚴父、家嚴、ちちれや、また老
 夫、老人、としよりひと
 わやがり(名) 親許、わやのもの
 わやかた(名) 親方、主人、あるじ、長者
 わやだま(俗)(名) 親玉、わやかた、わや
 わやま(名) 阿媽、娼婦、ぢやうら(女郎)、又をんながた(演劇
 の)且
 わやまさり 親優(賢子にいふ、即ち親にもまされるを謂
 ふ)
 をやけ 小宅、こやけ(氏)
 わやふね(名) 大船、小舟を有する船

をけもの(名) 牡をこげもの
 わふ(他) 追、追逐、追趕、追躡、追跡、追隨、おどをつけゆく
 逐、驅逐、わひはらふ
 わふ(他) 負、任、かつぐ、になふ
 をふ(名) 芋生、あさのはたけ
 をふ(飯富、いひとみ(氏)
 わふ(他) 帶佩、腰に結び附ける、はく
 わふる(自) 生、はゆる
 わふだ 御符(神佛の守護札)、たまもり
 をふつ 汚物、きたなまもの、よこれもの
 をふね(名) 艇、こぶね、小舟、扁舟
 わふくろ(名) 北堂、阿母、ははうへ
 をふくろ(名) 尾韜馬の尾にかぶせる袋
 をぶさ(名) 翹、はつを、なさを、鳥の尾上の長毛
 わぶさ(名) 御佛器、ほどけのうつは
 わふし(名形) 瘡癩者(物いはれず又開ぬぬ人)、わし、いは
 ず、啞
 わふしせみ(名) 啞蟬、なかぬせみ(動物)
 をこ(形) 嗚呼、わろか、しれたる、愚
 わこ(名) 蠶、蚕、かひこ、くはむし(動物)
 わこ(名) 海髮、頭髮、菜、薩、薩(植物)
 わこ(代名詞) 汝、わんまへさま、そなた(男女に通じて
 云ふ)、なんぢ
 わことはじめ(名) 御事始、政事始、まつりごとはじめ
 わこをさめ(名) 御事納、政事終、まつりごとはり
 わこり(名) 瘡、わらはやみ、瘡、疔、痲病名
 わこり(名) 原因、はじめ、起源、はじまり、みなもと

わやぶ(名) 親分、義父、假父、乾父(親の如くする人)、又か
 しら

わやぶ(名) 親御、わや(父あるひは母)
 わやゆづり(形) 親讓親より受けたるを謂ふ
 わやゆび(名) 拇、わはゆび
 をやみ 小止、小歇、こやみ(降雨に云ふ)
 わやみまひ(名) 省父母、寧親(家に歸りて父母を訪ふ事、
 歸省)
 わやすみなされ 請安、請了(夜分別るる時の挨拶)
 わまへ 御前、てまへ、なんぢ
 わまる(名) 虎子、わかば
 わまがとき(名) 王莽時、俗に黃昏を云ふ、ゆふぐれ
 をまた 小股、小俣(氏)
 をまつ(名) 男松、黒松、陽松(植物)
 わまけに(副) 刺あまつさへ、そのうへ、且又
 をまんする(他) 汗漫、けがしみだす
 わまんま(俗)(名) 飯、めし
 わまんこ(俗)(名) 陰門、かくしどころ(婦人の)
 をけ(名) 桶(物を入るる器)
 をけ(名) 麻笥、をうみをけ
 わける 於、わいてある
 をけがはさう(名) 桶皮、胴、篋、桶、捲、胴、籠の一種
 をけつ(名) 惡血、ふるち、瘀血
 をけら(名) 蒼朮、山姜、白朮(植物)
 をけのわ 種、篋、たが
 をけのき(名) 飲熱木(植物)
 をけや(名) 桶匠、種匠、をけつくり

わこりさめ 休作、住來、發歇、間歇、ふけさめ
 わこりび 活火、熱火、もゆるすみ
 わこる(俗)(自) 怒、憤、いかる
 わこる(自) 熾、もゆる(炭火が)
 わる 是
 をぐる(自) 奢侈、奢侈をこりをする、豪奢、驕奢、驕傲、驕
 慢、傲慢、倨放、夸大、太侈、泰奢、不遜、誇、たかふる
 をこがまし(形) 嗚呼、たかふる、こしやくなる、わろ
 か
 をこたる(自) 怠、慢、懈、懈、懈、懈、怠、慢、懶、惰、緩、慢、なまけ
 る、又うすらぐ
 わこそか(形) 嚴、嚴然、威、嚴、重、嚴、格、莊、嚴、威、重、むせいわ
 る、いかめしさ
 わこなふ(他) 行、執行、施行、舉行、實行、踐行、いたす
 わこなひびと(名) 道人、入道者、僧人
 わこなひすす 修道行、爲淨行、さよきれこなひする
 をこう(名) 汚垢、きたなま、けがれ
 わこう 御講、一向宗の祖師の法會式をいふ
 わこのり(名) 海髮、いぎす、於胡菜(植物)
 わこのふん 躑沙、こくそ、かひこのくそ
 をこのもの(名) 嗚呼者、わろかもの、しれもの、愚物
 をさけ(名) 麻笥、をけ、縹、篋、續、桶、をうみをけ
 わこし(名) 拒、米、果、扁、米、柵、米、與、米、柵(菓子の名)
 わこし(名) 鱒、魚、わこせ(に同じ)(動物)
 わこし(名) 炭、火、すみび
 わこせ(名) 虎、魚、鱒、魚、わこせ(動物)

ねこす(他) 起發興、ねこらしむる。たらしむる。醒起、めを

ねこす(他) 耕起、犁起、鋤起、すきかへす(田圃を)

ねこす(他) 送越、ねくりこす、遣、つかはす

ねてだま(名) 阿手玉(女兒の遊戯の名)

ねてて(名) 御傳母、ださうば、かしづきめ

ねてんば(形) 鹵莽、不羞、不謹慎、あらあらしき、ですきたる(女にいふ)

ねあし(俗名) 鏡せに、かね

をさ(名) 長、かしら

をさ(名) 箒、笮、梳、櫛の具にて經絲を通す器

をさ(名) 譯人、譯者、通辨、通事、また翻譯(古語)

ねさへ(名) 押ねしとどむるもの。鎖、錠、しづめ、壓具、ねす

もの。文鎖、けいさん

ねさへ(とどむる)他) 抑留、ねしてひきとどむる

ねさへる(他) 抑壓、ねしつける。壓制、抑壓、率制

ねさへ(名) 壓木、ねさへるき、支柱、びんき

をさ(名) 頗、専、専、はとん

をさ(とどむる)形) 治治敷、優長、ねどならしき。はかばかしき。ふさはしげなる

ねさかへ 刑部(氏)

をさかま(名) 笠、框、機(の具)

をさかめ(名) 鼯、鼯、鼯の種類(動物)

をさだ 長田(氏)

をさ(名) 小字、幼字、幼名、いとけなきことこのな

をさ(名) 稚子、幼童、幼沖、小兒、いとけなきことこのな

をさ(名) 幼稚、いとけなき、わかき

ねさ(名) 煨爬、煨昇、ひかき(把火器)

ねさ(名) 藜、藜(植物)

ねさ(名) 興津(氏)

ねさ(名) 客土、運び來りて置きし土

ねさ(名) 沖津、風海の沖と吹く風

ねさ(名) 鷲腸菜(植物)

ねさ(名) 置付、すゑつけ(器具、いふ)

ねさ(名) 墳墓、ねさ(名) ばかどころ

ねさ(名) 海藻、うみも、うみぐさ(植物)

ねさ(名) 翁、叟、者、頑白、老夫、老人、としより

ねさ(名) 呼索、鷹の用具

ねさ(名) 沖繩、琉球國の一名

ねさ(名) 改置、すゑかへる

ねさ(名) 翁鳥(動物)

ねさ(名) 息長(氏)

ねさ(名) 白頭翁、野丈人、胡王使者(植物)

ねさ(名) 補充、補充、補給、補欠、禰補、補綴、たす、た

ねさ(名) 著宿、としよりめく、としよりらしくな

ねさ(名) 補、補足、たし、また保養、くすり、やしなひ

ねさ(名) 故老、老叟、翁、ねさ(名)

ねさ(名) 補藥、強壯劑

ねさ(名) 起情、ねさ(名) ぶしやう

ねさ(名) 荻野(氏)

ねさ(名) 除、かけでかふ、かりてかふ

ねさ(名) 典、しちにねく、しちにいるる

をさ(名) 請安、請呀、さやうなら(別れる時の挨拶)

ねさ(名) 大佛(氏)

ねさ(名) 雀、鶺鴒(植物)

ねさ(名) 蛭、馬陸、蜘蛛、蚊、蚋、蚊、やすで(動物)

をさ(名) 治世、太平之世、治國

をさ(名) 長船(氏)

をさ(名) 小篠、こさ(植物)

ねさ(名) 岬、みさき、はな

をさ(名) 尾頭、まへうしろ、前後

をさ(名) 少女、めのわらは、婢、はしため

をさ(名) 老女、とじねいたるをんな、ねうな

をさ(名) 納上、納納、いれる。奉納、さしあぐる

をさ(名) 經治、理治、理、經綸、制御、駕御、平治、定治、整

理、調理、統治(天下國家を)、修(身を修る)、韃弓を韃る。

義矢を入る。振(いくさ)とを。收藏、斂

をさ(名) 治者、政府の人をいふ

をさ(名) 被治者、人民をいふ

ねさ(名) 石山、稜(植物)

ねさ(名) 隱岐、山陰道の國名

ねさ(名) 煨、ねこれるひ、火塊

ねさ(名) 沖瀛、うみのねさ(名)

をさ(名) 荻、烏、交、亂、荻、藜、藜(植物)

ねさ(名) 領、ねとがひ

をさ(名) 荻原(氏)

ねさ(名) 置時計、すゑつけ(時計)

ねさ(名) 置所、ねさ(名)

ねさ(名) 措替、變置、ねさ(名) はず

ねさ(名) 水袋、衣(植物)

ねさ(名) 蜺、こぐろむし、縊女(體黒く頭赤くして

其虫蛹を作るに空に懸りて自ら縊るが如く見ゆ)動

物)

ねさ(名) 大給(氏)

ねさ(名) 置古、ながくれく、かこひねきてふるくす

ねさ(名) 起臥、坐臥、ねさ(名) たちる

ねさ(名) 被爐、置火、閣、てあしあぶり

ねさ(名) 掟法、法律、律法、法令、法條、法例、法規、法制、のり

さだめ

ねさ(名) 起上、小法師、不倒翁、だるまがたち

ねさ(名) 起上、たちあがる

ねさ(名) 隠起、うきわけぼり、すこしたかきぼりもの

ねさ(名) 隠起形、隠起工、うきわけぼり、ねさ(名)

ねさ(名) 置去、棄去、すててにげさること

ねさ(名) 置土産、留贈、遠行する人等が跡に残して

形見とする者

ねさ(名) 熾火、すみにつきたるひ

ねさ(名) 置物、すゑかざるもの(床の間等に)

ねさ(名) 置据、物を据置て替へぬ事

をさ(名) 汚名、あしき名、臭名

ねさ(名) 御命講(日蓮宗の會式にして十月十三日

に行ふ者)

ねさ(名) 帶周、鎧の胸板をいふ、また矢返しとも云ふ

ねさ(名) 羞、はづる

わめれめ(副) 阿容阿容屈辱、ちからなく、めんぼくなく

をめぐむ(名) 地風、わらじむし、ねずみのめ(動物)

をめぐむ(自) 號叫喚、わめく、さけぶ

をめぐむ(名) 見參、まみゆること(貴人に)

わめすれくせず(副) 不畏不慮、ばからずれそれず

をみ(名) 小忌、をみごころも

をみ(名) 臣、君臣の臣と云ふ、また八姓の二

をみ(名) 女、をんな、婦人

をみなへし(或をみなめし)名) 女郎花、蓓之(植物)

をみま(名) 御見聞(禁中の一室)

をみごころも(名) 小忌衣(大嘗祭)

新嘗祭などにて神に事ふる

者が着たる衣なり、又「をみ」

と而已も云ふ)

をみ(名) 御神酒(神に獻ぐる

酒)みき

れし(名) 鸛鳥の短羽をいふ

れし(名) 御師(神職)かんぬし、はふり

れし(名) 横わざじかけ、はねじかけ、また鼠髯、ねずみと

れし(名) 押し壁、樹ものいれと、だな

れし(名) 白粉面に塗る白粉、鉛粉、鉛華、粉錫、たうの

れし(名) 押し、ねもし、ねすもの

れし(名) 押し、ねもし、ねすもの

れし(名) 押し、ねもし、ねすもの

れし(名) 押し、ねもし、ねすもの

れし(名) 押し、ねもし、ねすもの

れし(名) 押し、ねもし、ねすもの

れし(名) 押し、ねもし、ねすもの

れし(名) 押し、ねもし、ねすもの

れし(名) 押し、ねもし、ねすもの

れし(名) 押し、ねもし、ねすもの

れし(名) 押し、ねもし、ねすもの

れし(名) 押し、ねもし、ねすもの

れし(名) 押し、ねもし、ねすもの

れし(名) 押し、ねもし、ねすもの

れし(名) 押し、ねもし、ねすもの

れし(名) 押し、ねもし、ねすもの

れし(名) 押し、ねもし、ねすもの

れし(名) 押し、ねもし、ねすもの

れし(名) 押し、ねもし、ねすもの

れし(名) 押し、ねもし、ねすもの

れし(名) 押し、ねもし、ねすもの

わしろいば(名) 紫茉莉、山

胭脂(植物)

わしろいば(名) 粉盒、粉匣

胭脂花箱、わしろいば

わしろいば(名) 粉舖、香粉店

粉房、わしろいば

をしろうま(名) 尾白馬、しりをのしろさうま(動物)

をしろ(名) 教訓、誨、教誨、いひさとすこと

をしろ(名) 教訓、誨、教誨、いひさとすこと

をしろ(名) 雄藥、花の心蕊のまはりの小蕊

をしろ(名) 教誨、教訓、教示、教導、訓導、ととす、指點、し

めす

わしへだてる(他) 推隔、あひだをわしへなす

わしへす(他) 押壓、わしてひくくする

わしへす(他) 押通、たゆまずつらぬく

わしへす(他) 推止、わしてさへる

わしどり(名) 推取、強奪、しひてうばふこと

わしどり(名) 鴛鴦、匹鳥、交禽、鴛鴦(動物)

わしどり(名) 行刑場、刑場、罪人と所刑する處、しれさ

わし(名) 推分、わしへだつる

わし(名) 推分、わしへだつる

わし(名) 推分、わしへだつる

わし(名) 推分、わしへだつる

わし(名) 推分、わしへだつる

わし(名) 推分、わしへだつる

わし(名) 推分、わしへだつる

わし(名) 推分、わしへだつる

わし(名) 推分、わしへだつる

わし(名) 推分、わしへだつる

わし(名) 推分、わしへだつる

わし(名) 推分、わしへだつる

わし(名) 推分、わしへだつる

わし(名) 推分、わしへだつる

わし(名) 推分、わしへだつる

わし(名) 推分、わしへだつる

わし(名) 推分、わしへだつる

わし(名) 推分、わしへだつる

わし(名) 推分、わしへだつる

わし(名) 推分、わしへだつる

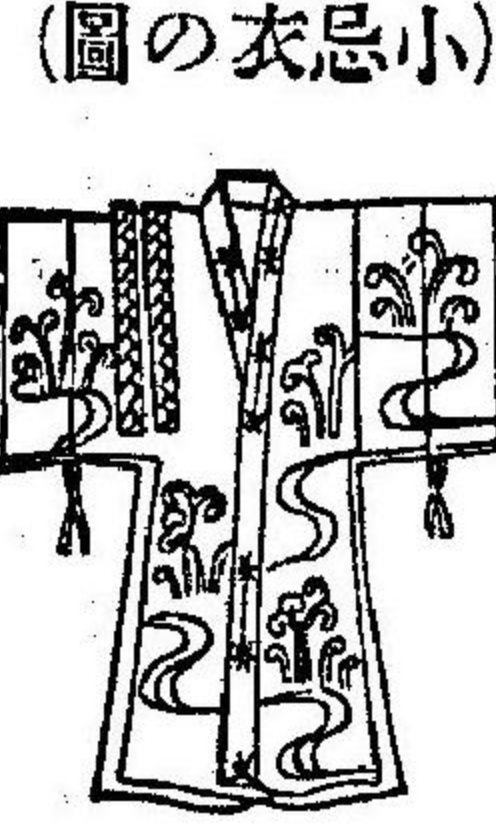
わし(名) 推分、わしへだつる

わし(名) 推分、わしへだつる

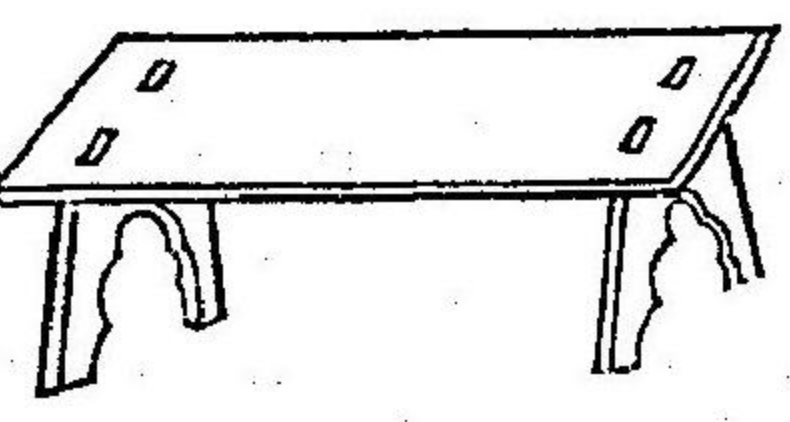
わし(名) 推分、わしへだつる



(圖の茉莉紫)



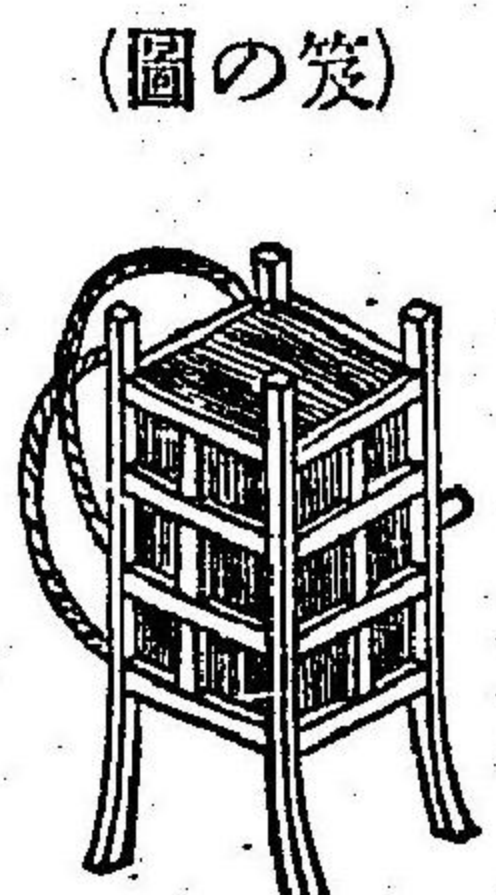
(圖の衣忌小)



(圖のきづましれ)

てる
 をしさう(俗) 惜相をしむやうす、をしさうす
 をしさげる(他) 推下、れしてひくくする
 をしき(形) 惜をしむべき、くやむべき、残念、無念
 をしき(名) 折敷、盤方盆、ぼん、だいの膳
 をしきはめる(他) 推究、たづねつくす
 をしきり(名) 釣籠、くさきり(懸等を截る器械の名)
 をしきう(名) 鰯魚、鰯魚(動物)
 をしめ(名) 襦袢、むつき、赤子を負ふに用ひまた之にあて
 れく布片
 をじめ(名) 鈕口、鈕扣子、鈴口、扣、壓口、緒綱、鈕をくくる玉
 等の具
 をとし(名) 牡獅をとし(動物)
 をとし(名) 脚どじり、あぶらしり、ひつたり(鳥の尾の肉
 をいふ)
 をしじづめる(他) 鎮壓、れしてしづます。れしてたひら
 かます
 をしじ(名) 押書、貼繪(繪を押寫して貼りて作る法)
 をしひろめる(他) 擴張、張、皇張、布演、ひろくする
 をしひらく(他) 推開、擠排、れしてあける
 をしひし(他) 拗、どりひし
 をしせみ(名) 寒蟬、なかにせみ、啞蟬(動物)
 をしずみ 印具(氏)
 をえ 麻殖(氏)
 を多(名形) 汚穢、けがれ、よごれ
 をわら(代名詞) 我等、われら
 をひ(名) 甥、姪、猶子、從子(兄弟姉妹の子)

れひ(名) 笈(往昔學生の書
 を入れて負ひし箱)
 れび(名) 帶紳、こしにしめ
 るもの
 れひい(自) 逐出、擯出、
 しりぞける
 れひい(自) 生出、はえいつる
 れひば(名) 鷹翅、たかのつばさ
 れひはな(他) 追放、れひはらふ
 れひばら(名) 追腹、殉死、主人の死を吊ふて自殺するを謂
 ふ
 れひはら(他) 追拂、驅逐、はらひのぞく、れひだす、逐放
 逐
 れひは(名) 退穢、行切、ひはぎ、やまだち
 れび(名) 首、かしら、つかさ、かみ、長官
 れびどり(名) 鞆、髻、ひらを、劍帶(劍を帶る帶)
 れびどめ(名) 帶留、婦人の帯を束ぬる鈕をいふ
 れひちらす(他) 追散、驅散、れひてちらばらす
 れびる(他) 帶佩、用、こしにはく
 れひねろ(他) 逐下、れひくだす
 れひねど(他) 追落、高き處より追て落しむる
 れひね(副) 追追、だんだん、次第次第
 れひわ(名) 邊分(氏)
 れひわ(名) 追分、岐路、わかれみち
 れひわ(名) 鱒、鱒、石鱒、鮒魚(動物)
 れひかは(名) 及川(氏)
 れひかは(名) 帶草、れびにするかは
 れひやかす(他) 却、脅、恐嚇、れれしむる
 れひやら(俗) 俗(他) 嘲、噴、あざける、なぶる
 をひやけ 尾宅(氏)
 れひまは(自) 追廻、れひめぐる、驅廻
 れひまは(他) 追廻、れひめぐる
 れひま(自) 追捲、れひしりぞくる
 れひこ(他) 追込、れひいれる
 れひこ(自) 追越、れひはしりこゆる
 れひて(名) 追手、追者、れひもの、れひひと
 れひて(名) 追風、れひかせ、順風
 れひあつめる(他) 驅集、かりあつむる
 れひさ(名) 生長、生末、ゆくさき(一生の)
 れひめ(名) 負目、債負、借財、かり、しやくきん、ひきれ
 れび(名) 臙、れびしり、よわこし(腰の細き處をいふ)
 れびしめ(自) 逐斥、驅斥、れひさらす
 れびしり(自) 逐斥、驅斥、れひさらす
 れびした(名) 帶下、れびしむるところ(れびしをみよ)
 れびしく(他) 追及、れひつく
 れびし(自) 生繁、繁茂、繁盛、鬱蒼、蒼鬱、ははびこる
 (草木が)
 れびね(名) 客忤、鬼忤、憎寤、小兒の時時驚くを云ふ
 れびえ(自) 嚇死、れどろきじに
 れびもの(名) 珮、玉珮、玉珮、腰に帶ぶる飾り物
 れびせん(俗) 名 追錢、盜賊等を追ふて費やす金子
 れひすが(自) 將追及、れひつかんとす
 れも(名) 母、ははをや、慈母



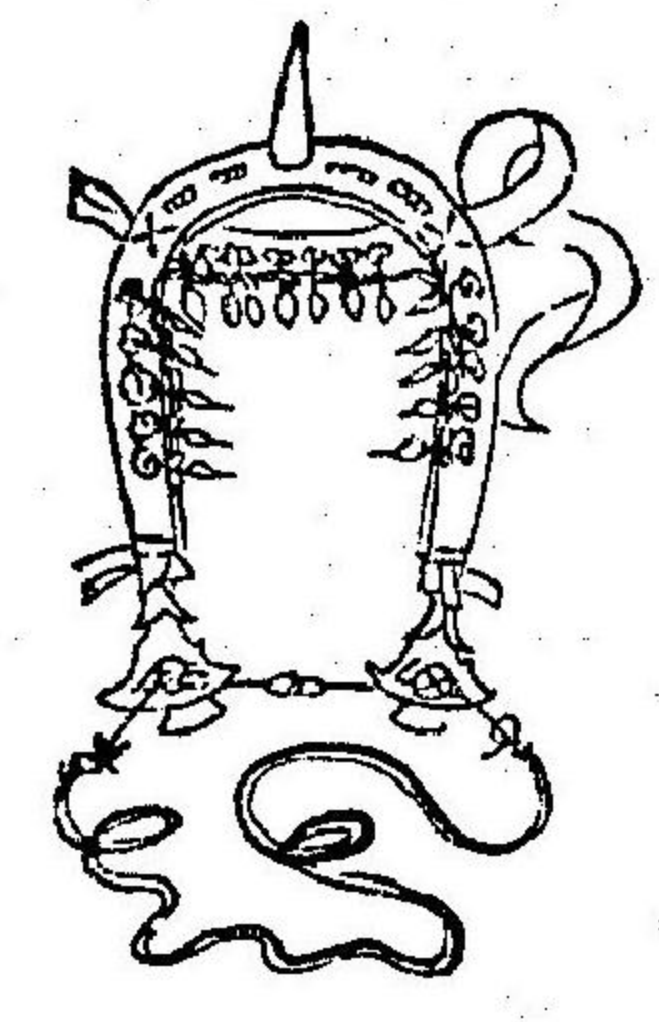
(圖の笈)

れひかなもの(名) 帶鈎、れびにつくるかなもの
 れひか(名) 追掛、れびにつくるかなもの
 れひか(名) 追風、れひてかせ、順風
 れひかせ(名) 衣風、れひてかせ、衣服の裾より生ずる風
 をひよめ 姪婦、をひのつま
 れひたち(名) 生立、そだち、成長
 れびた(名) 夥、夥多、饒、たくさん
 れびた(自) 成長、そだちあがる、ねほきくなる
 れびた(他) 逐立、れひはらふ
 れひだ(名) 再炊、ふたたびめしたくこと(不足と足すた
 めに)
 れひだ(自) 發表劑、おせとりくすり、發汗劑
 れひだ(他) 逐出、追放、放逐、れひはらふ
 れひづ(名) 禪衣、袈裟、順禮者の着服
 れひつか(他) 驅使、驅役、せつきてはたらかす
 れひつく(自) 追着、追及、れひしく
 れひつ(自) 追詰、れひつめられる
 れひつ(他) 追詰、れひつめられる
 れひつ(自) 牡羊、羯羊、羯をこひつ(動物)
 れひつ(他) 追撃、尾撃、追打、あとをれひてせむるこ
 ど
 れひうつ(他) 追討、れひせめる
 れひう(自) 追失、れひつめられる
 れびく(他) 偽引、誘引、さそひだす、あざむきだす
 れひく(自) 追崩、せめやぶる
 れひや(俗) 名 御冷、冷水をいふ東京婦人の詞
 れひやる(他) 逐遣、れひてさらしむ

たも(形) 重大重要、かるからぬ、たいせつ。長上
 たも(名) 面(めん)、たもて
 たもはれ(名) 面浮腫、うきはれ
 たもはく(名) 以謂、たもひ、かんがへ
 たもはゆき(形) 面煩、可憐、報顔、はづかしき
 たもはしき(形) 可好、可嗜、このまじき
 たもに 重荷、重任、大任、たもきにもつ
 たもに(き) 面憎、つらにくき
 たもほえる(自他) 念、思、たもふ、かんがふ
 たもど(名) 水藜蘆、萬年春、千年葺、萬年青、植物
 たもど(代名詞) 汝、そなた、そち
 たもど(名) 侍臣、たもどびと
 たもど(くすし) 侍醫、天子に侍する醫者
 たもど(名) 御許人、侍女、こしもと、又左右侍従、たつ
 きびと、侍臣(天子の)
 たもど(名) 侍従、侍臣、たもどびと
 たもちや(俗名) 玩物、もてあそびもの
 たもり(名) 鍾、たもし(權衡等に附くる鉄或は鉛の具)、測
 鉛、さげふり
 たもたもし(形) 重重敷、いかめしき、むぎただしき
 たもわ(名) 面輪、たもてかは、まるきかたち(月等の)
 たもわすれ(名) 面忘、みわすれたること、みそれ
 たもがはり(名) 面變、かはがはり
 たもかぢ(名) 面楫、左舷、ひだりかぢ(船を左にまぐる
 事)
 たもかげ(名) 面影、離魂、かはかたち。すがた(居らぬ人
 の)さうさうすがた

たもがひ 面懸、鉄、羈
 緒馬具(大和國奈
 良東大寺八幡宮藏)
 たもだか(名) 澤瀉、烏
 瀉、禹孫、野茨、菰、水
 慈姑、藻、みつなぎ
 (植物)

(圖の惡面)



たもだつ(自) 重立、かしらだつ、めだつ
 たもだて(名) 面貌、かはだち、かはつき
 たもつら(名) 羈、たもがひ、鞦、緒頭、鞦勒、鞦馬具
 たもねり(自) 謔言、詔語、へつらひこと
 たもねる(自) 阿便僻、詔諛、阿諛、呈媚、阿曲、阿順、曲從、面
 從、へつらふ
 たもなが(形) 長面、馬面、かはながき
 たもなき(形) 赤面、赧然、無面、はづかしき、めんぼくなき
 たもむろ(形) 徐々、ろろろ、しづか
 たもむろに 徐、しづしづ
 たもむく(自) 赴、語、趣、趣、走、むかひゆく、いたる
 たもむき(名) 趣旨、趣意、趣向、歸趣、わけがら、いみわひ
 たもの(名) 御膳、供御、御食、たんくひもの(天子の)
 たもの(名) 御膳、御食、たんくひもの(天子の)
 たもの(名) 御膳、御食、たんくひもの(天子の)
 たもくさ(名) 面瘡、かはくさ、かはのふきで(病名)
 たもや(名) 母屋、本家、正屋、家屋の本建物
 たもやつれる(自) 面腫、かはやせかじける
 たもやせる(自) 面瘦、かはやつれる、かはやせる
 たも(自) 思想、懷念、意思、意欲、思度、思料、思量、顧念、思
 憶、懷念、思惟、以爲、謂、心にかんがふる

たもふどち(名) 親友、したしきともたち
 たもふとし 思同、士、共念、同志、なかよきひとびと
 たもふつば 思所、思區、たもふとち
 たもふくら(形) 豐下、豐頬、ぼちやばちや、かはふくら
 たもふさま 思儘、たもふとくなること、さまさま
 たもふさま 思様、任意、たもふとくきこと、たもふさま、ど
 んふん
 たもふせ(名形) 面伏、はぢ、はづかしき
 たもて(名) 面、つら、かは、正面、まへつら、表面、うはつら
 たもて 重手、重傷、重創、いたで、たもさず
 たもてをねこす 擧面、はまれをえる、かはをたてる
 たもて(てこし) 面起、施面目、はまれ
 たもてがは 表層、うはかは
 たもて(だち) 表立、公然、たもてむきに
 たもて(自) 表立、たもてむきになる
 たもてつき 表附、たもてのつきたる、また履、たもてのつ
 きたるげた
 たもてむき(名副) 表向、たもてだて、公然、あらは
 たもてうら 表裏、はかうち、うちこと
 たもてふせ(名形) 面伏、はぢ、不面目、恥辱
 たもてもん(名) 前門、表門、まへのもん、又たふて
 たもさ(名) 重量、たもさきこと、めかた
 たもさし(名) 面體、面相、かはつき
 たもさ(形) 重、かるからぬ、烈、はげしき
 たもさやまひ 重病、大病、危篤病、はげしきやまひ
 たもゆ(名) 醜、稀粥、米、飲米を煮たる湯
 たもじ(名) 鎮子、壓子、たし、鎮石、壓石、うへよりたすもの。

けいさん
 たもしろ(形) 面白、有興味、有興味、催笑、こころをたの
 しまする、又たかしき
 たもひ(名) 思羽、舵羽、鳥の背の中にある美麗なる羽
 たもひ(名) 思停、たもひきる
 たもひ(名) 思違、誤想、誤解、たもひあやまる
 たもひ(名) 思加、かへす、翻思、こころをひるがへす
 たもひ(名) 思置、たもひとのこす(死者が)
 たもひ(名) 遺問、破問、書懷、寫懷、うれへをちらす
 たもひ(名) 想起、たもひいだす
 たもひ(名) 思煩、たもひひてなやむ、憂思
 たもひ(名) 思佗、こころをなやます(戀人等の事を
 考へて)たもひなやむ
 たもひ(名) 思忘、失念、遺忘、わすれる
 たもひ(名) 難思、たもふてやすんずるあははす、おも
 ひにたへぬ
 たもひ(名) 思構、こころがまへする、思料、預期
 たもひ(名) 無念、掛、不意、不慮、突然、偶然、忽然、ふ
 い、ねみみにみつ
 たもひ(名) 不思、依、たもひがけなき、たもひまうけ
 たもひ(名) 思立、起想、發意、起念、企圖、かんがへれ
 たもひ(名) 思絶、斷念、たもひやむ、たもふことを
 やめる
 たもひ(名) 思出、想起、回想、たもひつく

ねもひれ〔俗〕副 思入、十分、ねもふぞんぶん
 ねもひそめる 思初、ねもひはじむる、こひそむる
 ねもひつく〔自〕 思付、想起、ねもひだす。立意、かんがへい
 だす
 ねもひづま〔名〕 愛妻、さけいりたるつま、はしづま、かは
 ゆくねもふつま

ねもひつめる〔自〕 思詰、切思、ふかくねもふ、ほれこむ
 ねもひね〔名〕 思寝、思ひて夢等を見る事
 ねもひなほす〔自他〕 思直、翻思、改意、こころをもちなほ
 す
 ねもひなす〔他〕 思做、みなす、ねもふ
 ねもひのほか〔形〕 意外、非常、ねもふたよりはるかにちが
 ふ

ねもひのたま〔名〕 念珠、じゆず〔數珠〕
 ねもひのたま 存分、こころのたま
 ねもひのこす〔他〕 思殘、殘念のこりをしくねもふ
 ねもひくたく〔他〕 思碎、熟考、かんかへまはす
 ねもひぐさ〔名〕 思草、茅草〔植物〕

ねもひやる〔他〕 怒、同情、相憐、さつしあはれむ
 ねもひまはす〔他〕 思回、熟想、ねもひめぐらす
 ねもひまうける〔自〕 思設、預期、かねてねもひをる
 ねもひご〔名〕 思子、愛子、かはゆきこ、かわいがるこ
 ねもひごど〔名〕 思事、念願、こころざしのごみ
 ねもひこむ〔自〕 思込、ふかくねもふ、切思、決意
 ねもひこす〔自〕 思越、どりこしてねもふ
 ねもひわたる〔自〕 思當、かんがへつく
 ねもひあやまる〔自〕 思誤、ねもひちがふ、誤想

ねもひあまる〔自〕 思餘、むねいつばい下なる、ねもひえぬ
 (餘りに哀しき等のため)
 ねもひあふ 思合、相思、相戀慕、ほれあふ
 ねもひさだめる〔他〕 思定、決意、こころをさめる
 ねもひざし〔名〕 思獻、酒を飲む時に我が好む人に杯を獻
 ずる事
 ねもひさる〔他〕 思切、斷念、絶念、ねもふことをやむる
 ねもひさや 豈思、おにはからんや、豈料
 ねもひめぐらす〔他〕 思回、回想、かんがへまはす
 ねもひみだれる〔自〕 思亂、こころがみだるる〔憂等の多き
 がため〕

ねもひびと〔名〕 思入、こひびと、戀人
 ねもひもの〔名〕 寵者、そばめてかけ、妾、嬖女、めかけ
 ねもひすてす〔他〕 思過、あまりにふかくねもふ
 ねもひすてる〔他〕 思捨、ねもひたゆる
 ねもひすぎる〔自〕 思過、あまりにふかくかんがへまは
 す

ねももち〔名〕 面持、面體、かはつき、かはかたち
 ねもんばかる〔他〕 慮、思料、ねもひはかる、かんがへる
 ねもんみれば 惟以、かんがふれば
 ねもんする〔他〕 重、たつとふ、貴重、尊重、だいにしにする
 をせ 小瀬〔氏〕
 をせん〔する〕他自 汚染、けがす、よごれる、しみこむ〔惡
 風等が〕

をす〔名〕 牡獸の男、雄鳥の男、をどこ
 ねす〔他〕 推、ねしすめる、押、壓、ねしへす、邊船を
 ねすちから 壓力、ねしへすちから、推力、ねしすすむちか

ねんどく〔名〕 音讀、ねんよみ〔漢字の音にしたがひて讀む
 事〕
 ねんち〔形〕 温遲、てぬるさ
 ねんち 恩地〔氏〕
 ねんちよう〔名〕 恩寵、寵遇、いつくしみ、なまき〔君王の〕
 ねんりよ 恩慮、めぐみあつさおぼしめし
 ねんりつ〔名〕 音律、てうし、こゑ〔音樂の〕
 ねんりやう 温涼、寒暖、あつさすまじさ
 ねんりやう〔名〕 怨靈、うらむるたましひ、うらみのりやう
 ねんりん〔名〕 愧、愧いかり、いさざはり
 ねんる 遠流、遠き所へ移す事、しまながし
 ねんをん 温温、やさしき、ものやはらか
 ねんわ〔形〕 温和、にこやか、ねとなしき、ものやはらか
 ねんが〔形〕 温雅、しどやか、やさしき、みやびやか〔文章な
 どが〕

ねんがへし〔名〕 恩返、報恩、めぐみのむくい
 ねんがく〔名〕 音樂、絲竹管絃の類を總て云ふ
 ねんがん 温顔、やさしきかほ〔貴人の〕
 ねんたい〔名〕 恩待、めぐみふかきあひしらひ、厚遇
 ねんたい〔する〕他 恩貸、めぐみてかす
 ねんたらし〔名〕 御弓〔天子の御弓を云ふ〕
 ねんたう 温湯、わたたかさゆ
 ねんたう〔形〕 穩當、おだやか、よくにあふ、かなふ
 ねんたく〔名〕 恩澤、あつさめぐみ、君主の
 ねんだん〔形〕 温暖、わたたかさ
 ねんどく〔名〕 御衣〔天子の御服〕

をすめどり〔名〕 鸚鵡、護田鳥、うすべ、さほり
 ねすゑ〔名〕 御末、婦人調食の所を云ふ、だいでこ
 ねん〔名〕 恩、めぐみ、なまき
 ねん形 温あたたか
 ねん 御ごぎよ、みた、尊敬の稱にして語の上に加ふ
 ねんい〔形〕 温煖、あたたか
 ねんろく 恩祿、君主より受くる扶持米金
 ねんば〔名〕 穩婆、とりあげば
 ねんば〔名〕 乳母、うば、めのこと
 ねんはかせ〔名〕 御帶刀、こしがたな〔王者などの〕
 ねんばう〔名〕 温袍、わたいれ、あたたかさもの
 ねんばう〔名〕 焚屍人、瘞墓死人を焼く人、又はかもり
 ねんばう 御坊、わたら

ねんばこ〔名〕 車前、ねはばこ〔植物〕
 「ねんにふさう」〔名〕 音入、緇、ねくひばり〔動物〕
 ねんべ 織部、たりべ〔氏〕
 ねんべい〔俗〕名 御幣、ごへい、幣束
 ねんべいかつき〔俗〕名 御幣擔、迷信者、まよひもの
 ねんべん〔名〕 音便、ねんつがふ〔文字の〕
 ねんど〔名〕 溫度、あつさのはど、天氣熱度の高下の程
 ねんど〔名〕 御廁、雪隠、かはや
 ねんどどり〔名〕 音頭取、號頭、うたがしら〔真先に歌を謠
 ひ出す者〕、歌頭
 ねんどり〔名〕 雄、をどこどり
 ねんどう〔名〕 音頭、大勢の最初に歌をうたひ出す事
 ねんどく〔名〕 恩徳、めぐみ、君主の

をすめどり〔名〕 鸚鵡、護田鳥、うすべ、さほり
 ねすゑ〔名〕 御末、婦人調食の所を云ふ、だいでこ
 ねん〔名〕 恩、めぐみ、なまき
 ねん形 温あたたか
 ねん 御ごぎよ、みた、尊敬の稱にして語の上に加ふ
 ねんい〔形〕 温煖、あたたか
 ねんろく 恩祿、君主より受くる扶持米金
 ねんば〔名〕 穩婆、とりあげば
 ねんば〔名〕 乳母、うば、めのこと
 ねんはかせ〔名〕 御帶刀、こしがたな〔王者などの〕
 ねんばう〔名〕 温袍、わたいれ、あたたかさもの
 ねんばう〔名〕 焚屍人、瘞墓死人を焼く人、又はかもり
 ねんばう 御坊、わたら

をんそう(名) 燭窓けむりだし
 をんねん(名) 怨念、うらみ、遺恨
 をんな(名) 女婦、婦人、婦女、をなご(男の對)
 をんなべや(名) 女室、閨房(婦人の住居する室)、又つぼね、ながつぼね
 をんなわらべ(名) 女童、女婦、めのわらは、をんなのこ、女
 兒、女子
 をんながた(名) 女方演劇の時に女の役をする者
 をんなかつら(名) 川芎、をんなぐさ(植物)
 をんながみ(名) 女神、めがみ、女なる神
 をんなつぎ(名) 女容、をんなぶり
 をんならしき(形) 女敷、をんなのこどき、しどやか、纖柔、やさしき、よわよわしき
 をんなのこ 女兒、女子、をなご
 をんなぐさ(名) 川芎、をんなかつら(植物)
 をんなざか(名) 陰坂、坂の急ならざる者、めざか
 をんなざんまい(俗名) 女三味、をんなずき、女淫に溺るるを謂ふ
 をんなじしやう 女師匠、婦人にして物を教授する者
 をんなしもべ(名) 婢、下女、げちよ、つかひめ、はしため
 をんならい(名) 恩頼、めぐみ、なさけ(君主の)
 をんのこ(名) 臣、おみのこ(臣下をいふ)
 をんくわ(名) 恩化(神佛の感化)
 をんぐう(名) 恩遇、めぐみ、あむる、あしらひ、厚待
 をんやうし(名) 陰陽師、うらなひし、卜筮者
 をんま 老馬氏
 をんけい(名) 恩恵、いつくしみ、めぐみ

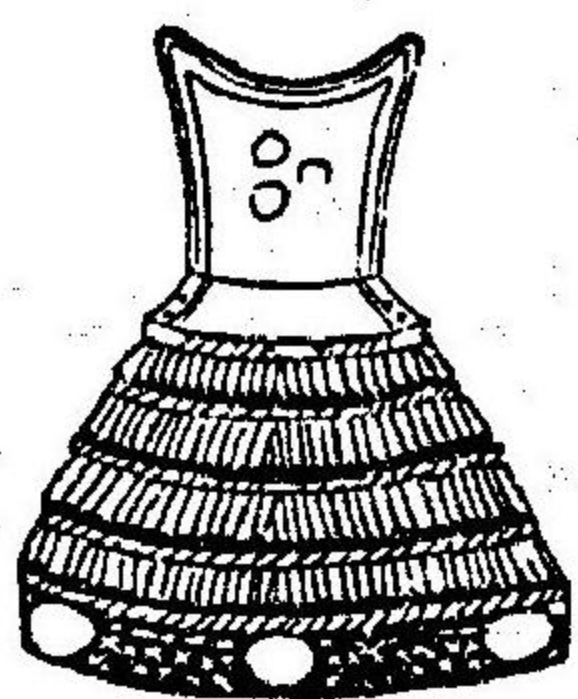
をんけつじう(名) 温血獸(温かき血を有する動物)
 をんげん(名) 温言、やさしきことば
 をんこ 温故、ふるきをたづぬる
 をんこ(名) 恩願、めぐみ、たすけ、ひいき
 をんこう(形) 温厚、すなは、をどなしき
 をんてき(名) 怨敵、おだかたき
 をんてん(名) 恩典、めぐみ(君主の)
 をんでん(名) 隠田、かくしだ(隠蔽田)
 をんわい(名) 恩愛、いつくしみ、なさけ
 をんわいのやつこ 恩愛奴、いつくしみにつながるもの
 をんざうし(名) 御曹司(高位貴人の公達若君を云ふ)、わ
 かの
 をんぎ(名) 瘟鬼、はやみのかみ
 をんぎ(名) 恩義、いつくしみ及ぎり
 をんぎよ(名) 鯉魚、いわし(動物)
 をんぎよく(名) 音曲、なりもの
 をんぎよくか(名) 音曲家、音楽専門家なりものし
 をんきふ(名) 恩給、めぐみのたまもの
 をんきん(名) 恩金、めぐみのかね
 をんめい(名) 恩命、ありがたきおぼしめし
 をんめいでん 温明殿(禁中綾綺殿の東に在りし御殿)
 をんめん(名) 恩免、めぐみのゆるし、特赦
 をんみつ(形名) 隠密、ひそか、ないしよ、又しのびのもの
 をんみつめつけ(名) 察事卒、探偵吏を云ふ
 をんし(名) 恩賜、めぐみのたまもの
 をんじ(名) 遠恙、ものしりぐさ、ひめはぎ、こぐさ(植物)

厘

わ

をんしよく(名) 愠色(怒れる顔色)、はらたちがは
 をんじよく(名) 音色、ねいろ、たん
 をんじつ(名) 温室、むろ、ふるやかた、あたたかきむろ
 をんじう(名) 怨讎、おだかたき
 をんじう(形) 溫柔、やはらか、やさしき
 をんじや 恩救、めぐみのゆるし
 をんじや(名) 恩謝、かたじけなさ、ありがたさ
 をんじやう(名) 恩賞、めぐみのはうび
 をんじやう(名) 音聲、こゑ、ね
 をんじやう(名) 恩情、いつくしみどころ、なさけどころ
 をんじやく 恩借、めぐみによりてかりる金等を
 をんじやく(名) 温石、あたたまいし(焼て腹等を温むる石)
 をんしふ(する) 他) 温習、さらふ、よみならふ(書物等を)
 をんじき(名) 飲食、のみものくひもの
 をんじゆつ(名) 恩恤、めぐみ、あはれみ、なさけ
 をんじゆん(形) 温順、すなは、やさしき
 をんしん(名) 愠噴、いきまき、いきどほり
 をんしん(名) 音信、音問、おとづれ、たより
 をんじん(名) 恩人、めぐみのぬし
 をんえき(名) 瘟疫、えやみ、疫病、傳染病
 をんびん(形) 穩便、れだやか
 をんせい(名) 音聲、こゑ、ね、こゑ
 をんせき(名) 温石、をんじやく
 をんせん(名) 温泉、いでゆ、源泉、浴泉、沸泉
 をんせん(副形) 温然、落つきて柔和なるを云ふ
 をんす(名) 弓(英國の度量の目方にして我が八匁二分三

わ、和、倭、輪 是は「う」の父音と「わ」の母韻と合して生ずる音にして五十韻の中に在ては第十行(即ち末行)第一段に位す
 わ(和) 和人を呼ぶに蒙むらざる美稱にして例へば和子「わこ」、和主「わぬし」などの如し
 わ(名) 輪車、の両傍或は真中に在て廻る物、りん、まる(まゐるくしてなかのからなるもの)
 わ(代名詞) 我、われ、わ
 わ(名) 話、はなし、ものがたり
 わ(名) 倭、和、日本、やまと、ひのもと
 わいろ(名) 賄賂、まひなひ、苞苴、たくりもの
 わいは(名) 煨爬、たきかき、ひかき
 わいへ(名) 吾家、わがいえ
 わいへい(名) 矮屏、腰屏風、ひくさびやうぶ
 わいへん 我家、わがいえの訛
 わいどうさい(名) 歪頭菜、なつばき、植物
 わいり(名) 匯理、かはせ(支那語)
 わいをく 矮屋、ちひさき
 わいへ 陋屋
 わいかち(名) 脇楫、わきか
 わいだて(名) 脇楫、わきか
 (圖の楫脇)



らよろひ(體の脇を護る武具。此圖なるは南都本談議

屋敷藏義經朝臣所用と云ふ)

わいだめ(名) 差別けぢめ、わかち、區別

わいく(名) 矮狗、ちん(動物)

わいくわ(名) 煨灰、あつばひ、あつきはひ

わいくわ(名) 矮檜、ちやぼひば、そなれまつ(植物)

わいくわい(名) 矮檜、ちやぼひば、そなれまつ(植物)

わいくわい(名) 矮檜、ちやぼひば、そなれまつ(植物)

わいくわい(名) 矮檜、ちやぼひば、そなれまつ(植物)

わいくわい(名) 矮檜、ちやぼひば、そなれまつ(植物)

わいくわい(名) 矮檜、ちやぼひば、そなれまつ(植物)

わいくわい(名) 矮檜、ちやぼひば、そなれまつ(植物)

わいくわい(名) 矮檜、ちやぼひば、そなれまつ(植物)

わいくわい(名) 矮檜、ちやぼひば、そなれまつ(植物)

わいくわい(名) 矮檜、ちやぼひば、そなれまつ(植物)

わいくわい(名) 矮檜、ちやぼひば、そなれまつ(植物)

わいくわい(名) 矮檜、ちやぼひば、そなれまつ(植物)

わいくわい(名) 矮檜、ちやぼひば、そなれまつ(植物)

わいくわい(名) 矮檜、ちやぼひば、そなれまつ(植物)

わいくわい(名) 矮檜、ちやぼひば、そなれまつ(植物)

わいくわい(名) 矮檜、ちやぼひば、そなれまつ(植物)

わいくわい(名) 矮檜、ちやぼひば、そなれまつ(植物)

わいくわい(名) 矮檜、ちやぼひば、そなれまつ(植物)

わいくわい(名) 矮檜、ちやぼひば、そなれまつ(植物)

わいくわい(名) 矮檜、ちやぼひば、そなれまつ(植物)

わいくわい(名) 矮檜、ちやぼひば、そなれまつ(植物)

わいくわい(名) 矮檜、ちやぼひば、そなれまつ(植物)

わいくわい(名) 矮檜、ちやぼひば、そなれまつ(植物)

わいくわい(名) 矮檜、ちやぼひば、そなれまつ(植物)

わいくわい(名) 矮檜、ちやぼひば、そなれまつ(植物)

わいくわい(名) 矮檜、ちやぼひば、そなれまつ(植物)

わいくわい(名) 矮檜、ちやぼひば、そなれまつ(植物)

わいくわい(名) 矮檜、ちやぼひば、そなれまつ(植物)

わいくわい(名) 矮檜、ちやぼひば、そなれまつ(植物)

わいくわい(名) 矮檜、ちやぼひば、そなれまつ(植物)

わいくわい(名) 矮檜、ちやぼひば、そなれまつ(植物)

わいくわい(名) 矮檜、ちやぼひば、そなれまつ(植物)

わいくわい(名) 矮檜、ちやぼひば、そなれまつ(植物)

わいくわい(名) 矮檜、ちやぼひば、そなれまつ(植物)

わいくわい(名) 矮檜、ちやぼひば、そなれまつ(植物)

わいくわい(名) 矮檜、ちやぼひば、そなれまつ(植物)

わいくわい(名) 矮檜、ちやぼひば、そなれまつ(植物)

わいくわい(名) 矮檜、ちやぼひば、そなれまつ(植物)

わいくわい(名) 矮檜、ちやぼひば、そなれまつ(植物)

わいくわい(名) 矮檜、ちやぼひば、そなれまつ(植物)

わいくわい(名) 矮檜、ちやぼひば、そなれまつ(植物)

わいくわい(名) 矮檜、ちやぼひば、そなれまつ(植物)

わいくわい(名) 矮檜、ちやぼひば、そなれまつ(植物)

わいくわい(名) 矮檜、ちやぼひば、そなれまつ(植物)

わいくわい(名) 矮檜、ちやぼひば、そなれまつ(植物)

わいくわい(名) 矮檜、ちやぼひば、そなれまつ(植物)

わいくわい(名) 矮檜、ちやぼひば、そなれまつ(植物)

わいくわい(名) 矮檜、ちやぼひば、そなれまつ(植物)

わいくわい(名) 矮檜、ちやぼひば、そなれまつ(植物)

わいくわい(名) 矮檜、ちやぼひば、そなれまつ(植物)

わいくわい(名) 矮檜、ちやぼひば、そなれまつ(植物)

わいくわい(名) 矮檜、ちやぼひば、そなれまつ(植物)

わいくわい(名) 矮檜、ちやぼひば、そなれまつ(植物)

わいくわい(名) 矮檜、ちやぼひば、そなれまつ(植物)

わいくわい(名) 矮檜、ちやぼひば、そなれまつ(植物)

わいくわい(名) 矮檜、ちやぼひば、そなれまつ(植物)

わいくわい(名) 矮檜、ちやぼひば、そなれまつ(植物)

わいくわい(名) 矮檜、ちやぼひば、そなれまつ(植物)

わいくわい(名) 矮檜、ちやぼひば、そなれまつ(植物)

わいくわい(名) 矮檜、ちやぼひば、そなれまつ(植物)

わいくわい(名) 矮檜、ちやぼひば、そなれまつ(植物)

わいくわい(名) 矮檜、ちやぼひば、そなれまつ(植物)

わいくわい(名) 矮檜、ちやぼひば、そなれまつ(植物)

わいくわい(名) 矮檜、ちやぼひば、そなれまつ(植物)

わいくわい(名) 矮檜、ちやぼひば、そなれまつ(植物)

わいくわい(名) 矮檜、ちやぼひば、そなれまつ(植物)

わいくわい(名) 矮檜、ちやぼひば、そなれまつ(植物)

わいくわい(名) 矮檜、ちやぼひば、そなれまつ(植物)

わいくわい(名) 矮檜、ちやぼひば、そなれまつ(植物)

わいくわい(名) 矮檜、ちやぼひば、そなれまつ(植物)

わいくわい(名) 矮檜、ちやぼひば、そなれまつ(植物)

わいくわい(名) 矮檜、ちやぼひば、そなれまつ(植物)

わいくわい(名) 矮檜、ちやぼひば、そなれまつ(植物)

わいくわい(名) 矮檜、ちやぼひば、そなれまつ(植物)

わいくわい(名) 矮檜、ちやぼひば、そなれまつ(植物)

わいくわい(名) 矮檜、ちやぼひば、そなれまつ(植物)

わいくわい(名) 矮檜、ちやぼひば、そなれまつ(植物)

わいくわい(名) 矮檜、ちやぼひば、そなれまつ(植物)

わいくわい(名) 矮檜、ちやぼひば、そなれまつ(植物)

わいくわい(名) 矮檜、ちやぼひば、そなれまつ(植物)

わいくわい(名) 矮檜、ちやぼひば、そなれまつ(植物)

わいくわい(名) 矮檜、ちやぼひば、そなれまつ(植物)

わいくわい(名) 矮檜、ちやぼひば、そなれまつ(植物)

わいくわい(名) 矮檜、ちやぼひば、そなれまつ(植物)

わいくわい(名) 矮檜、ちやぼひば、そなれまつ(植物)

わいくわい(名) 矮檜、ちやぼひば、そなれまつ(植物)

わいくわい(名) 矮檜、ちやぼひば、そなれまつ(植物)

わいくわい(名) 矮檜、ちやぼひば、そなれまつ(植物)

わいくわい(名) 矮檜、ちやぼひば、そなれまつ(植物)

わいくわい(名) 矮檜、ちやぼひば、そなれまつ(植物)

わいくわい(名) 矮檜、ちやぼひば、そなれまつ(植物)

わいくわい(名) 矮檜、ちやぼひば、そなれまつ(植物)

わいくわい(名) 矮檜、ちやぼひば、そなれまつ(植物)

わいくわい(名) 矮檜、ちやぼひば、そなれまつ(植物)

わいくわい(名) 矮檜、ちやぼひば、そなれまつ(植物)

わいくわい(名) 矮檜、ちやぼひば、そなれまつ(植物)

わいくわい(名) 矮檜、ちやぼひば、そなれまつ(植物)

わいくわい(名) 矮檜、ちやぼひば、そなれまつ(植物)

わいくわい(名) 矮檜、ちやぼひば、そなれまつ(植物)

わいくわい(名) 矮檜、ちやぼひば、そなれまつ(植物)

わいくわい(名) 矮檜、ちやぼひば、そなれまつ(植物)

わいくわい(名) 矮檜、ちやぼひば、そなれまつ(植物)

わいくわい(名) 矮檜、ちやぼひば、そなれまつ(植物)

わいくわい(名) 矮檜、ちやぼひば、そなれまつ(植物)

わいくわい(名) 矮檜、ちやぼひば、そなれまつ(植物)

わいくわい(名) 矮檜、ちやぼひば、そなれまつ(植物)

わいくわい(名) 矮檜、ちやぼひば、そなれまつ(植物)

わいくわい(名) 矮檜、ちやぼひば、そなれまつ(植物)

わいくわい(名) 矮檜、ちやぼひば、そなれまつ(植物)

わいくわい(名) 矮檜、ちやぼひば、そなれまつ(植物)

わいくわい(名) 矮檜、ちやぼひば、そなれまつ(植物)

わいくわい(名) 矮檜、ちやぼひば、そなれまつ(植物)

わいくわい(名) 矮檜、ちやぼひば、そなれまつ(植物)

わいくわい(名) 矮檜、ちやぼひば、そなれまつ(植物)

わいくわい(名) 矮檜、ちやぼひば、そなれまつ(植物)

わいくわい(名) 矮檜、ちやぼひば、そなれまつ(植物)

わいくわい(名) 矮檜、ちやぼひば、そなれまつ(植物)

わいくわい(名) 矮檜、ちやぼひば、そなれまつ(植物)

わいくわい(名) 矮檜、ちやぼひば、そなれまつ(植物)

わいくわい(名) 矮檜、ちやぼひば、そなれまつ(植物)

わいくわい(名) 矮檜、ちやぼひば、そなれまつ(植物)

わいくわい(名) 矮檜、ちやぼひば、そなれまつ(植物)

わいくわい(名) 矮檜、ちやぼひば、そなれまつ(植物)

わいくわい(名) 矮檜、ちやぼひば、そなれまつ(植物)

わいくわい(名) 矮檜、ちやぼひば、そなれまつ(植物)

わいくわい(名) 矮檜、ちやぼひば、そなれまつ(植物)

わいくわい(名) 矮檜、ちやぼひば、そなれまつ(植物)

わいくわい(名) 矮檜、ちやぼひば、そなれまつ(植物)

わいくわい(名) 矮檜、ちやぼひば、そなれまつ(植物)

わいくわい(名) 矮檜、ちやぼひば、そなれまつ(植物)

わいくわい(名) 矮檜、ちやぼひば、そなれまつ(植物)

わいくわい(名) 矮檜、ちやぼひば、そなれまつ(植物)

わいくわい(名) 矮檜、ちやぼひば、そなれまつ(植物)

わいくわい(名) 矮檜、ちやぼひば、そなれまつ(植物)

わいくわい(名) 矮檜、ちやぼひば、そなれまつ(植物)

わいくわい(名) 矮檜、ちやぼひば、そなれまつ(植物)

わいくわい(名) 矮檜、ちやぼひば、そなれまつ(植物)

わいくわい(名) 矮檜、ちやぼひば、そなれまつ(植物)

わいくわい(名) 矮檜、ちやぼひば、そなれまつ(植物)

わいくわい(名) 矮檜、ちやぼひば、そなれまつ(植物)

わいくわい(名) 矮檜、ちやぼひば、そなれまつ(植物)

わいくわい(名) 矮檜、ちやぼひば、そなれまつ(植物)

わいくわい(名) 矮檜、ちやぼひば、そなれまつ(植物)

わいくわい(名) 矮檜、ちやぼひば、そなれまつ(植物)

わいくわい(名) 矮檜、ちやぼひば、そなれまつ(植物)

わいくわい(名) 矮檜、ちやぼひば、そなれまつ(植物)

わいくわい(名) 矮檜、ちやぼひば、そなれまつ(植物)

わいくわい(名) 矮檜、ちやぼひば、そなれまつ(植物)

わいくわい(名) 矮檜、ちやぼひば、そなれまつ(植物)

わいくわい(名) 矮檜、ちやぼひば、そなれまつ(植物)

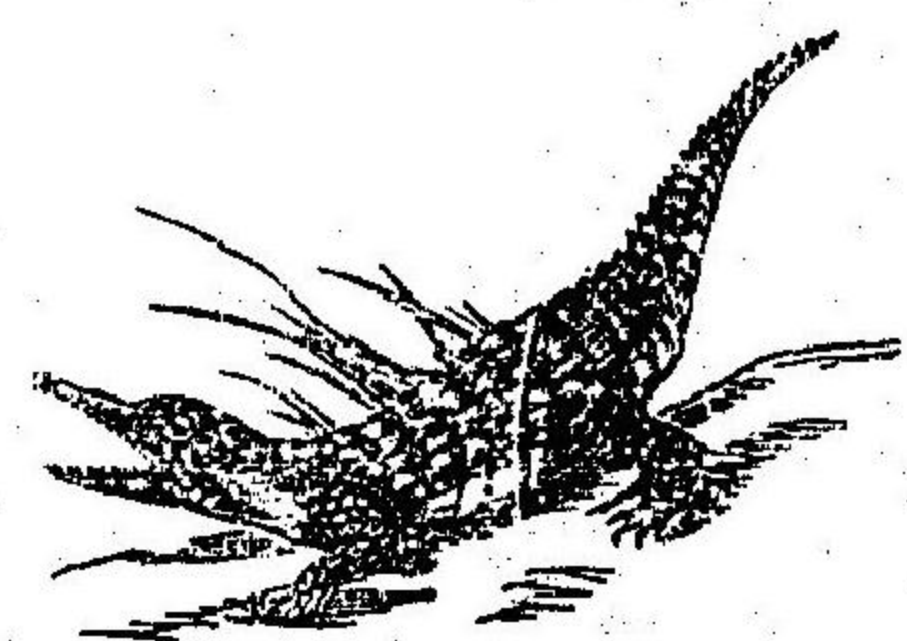
わいくわい(名) 矮檜、ちやぼひば、そなれまつ(植物)

わいくわい(名) 矮檜、ちやぼひば、そなれまつ(植物)

わいくわい(名) 矮檜、ちやぼひば、そなれまつ(植物)

わいくわい(名) 矮檜、ちやぼひば、そなれまつ(植物)

(圖の魚鱗)



わに(名) 鱈、鰯魚、骨雷(動物の

尤も懼ろしき者にて多く亞

非利加の大河に住む)

わにぐち(名) 鱈口(寺社の前に

掛る一種の敲鐘にて其形鱈

の口に似たり)

わにわし(名) 戻脚、捲足、まがり

あし

わにざめ(名) 鱈魚(北海道に産

する大魚(動物)

わにし(名) 假漆、かりうるし、漆の如き西洋の塗り品)

わぼく(名) 一する(自) 和睦、むつまじきな。和熟、和合、

和親、なかなほりする、和解、行成、平成、講和

わへい(形名) 和平、ただやか、平和、やすきこと

わどう(名) 話頭、はなしくち、はなし

わどう(名) 和銅開珍(日本古代の錢の名)

わど(代名詞) 吾殿、たてまへ、貴殿(同輩に向て言ふ)

わどめ(名) 輪制(坂と降る時に車の輪を引とめてはしら

せざる具)

わちがひ(名) 輪違、月谷(兩つの輪の半ば重りたる形の

紋)

わちき(俗代名詞) 我、吾、わたい、わたし(婦人の語)

わり(名) 破麥、ひきわりむぎ

わりいん(名) 割印、分契、わりはん(印章を二の物に半分

づつ押したるを謂ふ)

わりはん(名) 割判、わりいん

わりちう(名) 割註、挿註(二つに並べて書きいれたる註

文(問註)

わりわたす(他) 割渡、わりてわけわたふる

わりかうがい(名) 割筭、かんざしのたぐひ

わりがき(名) 割書、ふたつにわりてかきたるもの(註文の

如く)

わりがゆ(名) 割粥、餲、ひきわりのかゆ

わりつける(他) 割付、分賦、分配、わかちあたふる、又わか

ちてとりたつる、賦課、分課

わりつぎ(名) 割接、接木に云ふ所にて木を割てつぎ事

わりなき(形) 無別、親密、したしき、へだてなき、ばなれに

くさ

わりなき(形) 無理、ことわりなき、むりなる、わけのわか

らぬ、きのしれぬ

わりなき(形) 無限、はてしなく

わりむぎ(名) 割麥、ひきわりむぎ

わりぐり(名) 割栗、壊石、こはれいし、砕きたる小石

わりくま(名) 分染、わりぞめ、そめわけ(各種の色どる事)

わりまへ(名) 割前、分頭、股分、わけまへ、分(ぶん)

わりふ(名) 割符、符節、左券、符木、符信、割印等ある符にし

て官吏等の帶る者、圭、圭玉、わりふのたま

わりぶ(名) 破籠、行厨、箆食、様子、べんたう、めしけれ

わりこむ(自) 割込、おしわけてはいる(人人の中へ)

わりあひ(名) 割合、比例(ひれい)

わりさん(名) 割算、除算(數を數箇に分つ算法)

わりき(名) 破木、薪、わりたるたき、まき

わりきだい(名) 柴碓、たきぎをわるだ

わりもどしがね(名) 割辰金、紅股金(出金人に分ちかへす

金)

わぬし(代名詞) 吾主、たんみ、たてまへさま

わかどの(名) 若殿小侯、わかぎみ
 わかどしより 若年寄(徳川の時間老の下に位せる官人)
 わかち(名) 差別區別、けちめ、分別
 わかちめ(名) 分界、さかひめ
 わがり 吾許、わがもと、わがところ
 わかを 若尾(氏)
 わかわかしき(形) 若若敷、わかくみゆる、わかやぎたる
 わかがへる(自) 若反、若回變少、わかやぐ、わかくなる
 わかた 若田(氏)
 わかたか 新鷹、あらたか(黄鷹動物)
 わかたう(俗名) 若黨、白齒者、あをばもの(士の従者、頭目、儼人、儼徒)
 わかたけ 蒼筤、幼竹、あをだけ、なよたけ、新竹、籜
 わかだん 若旦那、小主、若檀那、わかしゆじん、わかぎみ
 わかれ(名) 訣別、はなるること、別離、べつになること、旁系支属、えだわかれ、別家、分家、いへのわかれ
 わかれる(自) 分、別離、分離、べつになる。訣別、別離、はなる(友等に)。離散、ちらばる
 わかれをぬくる 送別、餞別、分袂、祖道、たびゆくひとをぬくる。はなひける
 わかれのさかもり 離筵、別筵、離宴、離杯、別盃、別饌、はなひけ
 わかれみち(名) 岐路、またみち
 わかつ(他) 分別、わけける。判別、判定、分別、分斷、みわけける。分拆、區別、區分、區劃、くべつする。辨別、差別、識別、鑒別、わきまへる。分配、くばる
 わかつき 岩槻(氏)

わかぎみ(名) 若公若君、稚君、わかどの
 わかめ(名) 若芽、新芽、嫩芽、しんめ(樹の)
 わかめ(名) 和布、石蓴、裙帶菜、若和布、稚海藻(植物)
 わかみどり(名) 新緑、しんみどり(若葉の色をいふ)、わかみさをば
 わかみづ(名) 若水(一月一日に早く汲みとる水)
 わかみや(名) 若宮、わかぎみ(天子の)
 わかみこ 若巫(氏)
 わかじに(名) 癩疾、天死、天亡、天札、蚤歿、早世、短命、夭折、はやしに
 わかしらが(名) 若自髮、宣髮、緜髮(壯年の人の頭にある白髮をいふ)
 わかしゆ(名) 若衆、小圃、わかもの
 わかゆる(自) 若、わかくてある。わかくなる
 わかえだ 新枝、柔條、嫩枝、あたらしきえだ
 わかもの(名) 壯者、わかきひと、少壯者、少年、また小童、こもの
 わがせて 吾兄子、わがをつと、わがせ
 わかす(他) 沸、燗(湯を)、鏝、鎔(金を)
 わかん 和漢、やまとものこと
 わかん(名) 和姦、あひたらしること、とくしんいすること
 わた(名) 綿、絮、温ふるわた、續(わたらしわた)
 わた(名) 鴈、はらわた、さうふ
 わた(名) 洋、はらうみ、瀾
 わだ 和田(氏)
 わだいろ(名) 和大黄、羊蹄苗(植物)
 わたいろ(名) 綿入、絮衣、寒衣、わたつめたるきもの

わかぬ(名) 若根、しんぬ(新根)
 わかねる(他) 縮、わにする、まるとまく
 わかな(名) 東風菜、さいたつま、春菜、若菜、嫩菜、柔芽(植物)
 わかなへ 嫩苗、しんなへ(柳木の)、わかにはのなへ
 わかむらさき(名) 若紫、嫩紫、艶紫(色をいふ)
 わかうど(名) 少年、壯僕、わかきひと
 わかく(名) 和學、日本の文學、皇學
 わかくに 我國、我朝、わがてう、本朝
 わかくさ 若草、弱草、稱草、春草、新草、しんぐさ
 わかやか(形) 年少、弱冠、わかき、わかみゆる
 わかやぐ(自) 成少、わかかがへる、こまがへる、わかくなる
 わかやま 若山(氏)
 わがまま(名形) 我儘、自恣、自擅、縦意、隨意、自尊、自主、自由、不羈、放肆、放縱、さままま、ほしいまま
 わかげ(名) 若氣、わかさ、わかきこと
 わがふ(名) 一する(自) 和合、したしみ、一致、むすびあひ、むつむ
 わかご(名) 若子、みどりこ、ちのみご
 わかごま(名) 春駒、はるごま
 わがてう 我朝、わがくに、本朝
 わかさ(名) 幼弱、年少、わかきこと
 わかさ 若狭、北陸道の國名
 わかざかり(名) 若盛、壯年、をどこざかり、丁年
 わかき 若木、新樹、弱木、稱樹、わたらしき
 わかき(形) 若、少弱、稚、少壯、稱富春秋、としのいかぬをさなき、いとけなき、嫩、嫩

わたぼうし(名) 綿帽子、冒絮、綿にて作れる帽子
 わたどりぐるま(名) 紡車、いとぐるま
 わたどの(名) 渡殿、わたりの、はそどの、らうか、行廊
 わだち(名) 轍車、輪の跡を云ふ
 わたり(名) 渡川、を横ぎる場、馬頭
 わたり 亘理(氏)
 わたり(名) 直徑、さしわたし、圍、徑圍
 わたりいた(名) 歩板、あゆみいた(陸より船などへ渡る板)、舟板、板艇板、上岸板道
 わたりどの 渡殿、行廊、長廊、はそどの、わたどの
 わたりわかつ(名) 儼徒、承差、侍兵、頭目、ともまはり、わかつ
 わたりがは(名) 三途川、みつせがは
 わたりぶね(名) 渡船、わたしぶね
 わたりあふ(自) 渡合、あひたたかふ、さりあふ
 わたりびと(名) 儼人、承差、わかたう、ともびと
 わたりもの(名) 渡物、舶來品、舶貨、舶載品、たうぶつ、外國品
 わたぬき 綿貫、四月朔日(氏)
 わたぬき(名) 綿脱、裕、あはせ
 わたる(自) 濟、涉、渡、こえる(川等を)、度(世を)、亘、ながくよこたはる
 わたをんじやく(名) 綿温石(綿にて作りて腹をあたたいひる具)
 わだか(名) 鱒、黃鰻魚(動物)
 わだかまり(名) 奸曲、よこしま
 わだかまる(自) 蟠、蟠蜿、蟠屈、彎屈、どぐらまく(龍等が)。

わうの(名) 王位、きみのくらゐ
 わうの(名) 王儲、たはしび(動物)
 わうの(名) 王威(王者の威權)
 わういん(する) 枉允(勘辨して承知するをいふ)、まげてゆるす

わうばい(名) 黃梅、迎春花(植物)
 わうはつ(名) 黃髮(老人の髪の白くなりてのち又變じて黃になる者と云ふ)

わうはう(名) 黃袍、鶯、うぐひす(動物)
 わうばく(名) 黃栢、黃藥、山屠(植物)
 わうはふ(名) 王法(王國の法律をいふ)、王者之法
 わうばん(名) 黃斑(藥品)

わうばん(名) 黃胖、はらやまひ(腹痛をいふ)
 わうはんぎ(名) 王板魚、たはしび(動物)
 わうばん(きやう) 王飯(饗應)(古昔武家にて正月に行ひし馳走の名)

わうぼ(名) 王母(王者の母堂)龍母
 わうほう(名) 王峰、たはしち(動物)
 わうへん 往返、ゆきかへり、往復
 わうへんぎ(する) 往返、ゆきかへり、往復

わうど(名) 王土(王者の治むる國)
 わうど(名) 黃土(彩色に用ゆる黄色の土)
 わうど(名) 黃豆、さまめ(植物)
 わうど(名) 黃獨、かしういも(植物)

わうちやく(俗) 横着、こすい、ただしからぬ、不正
 わうりやう(名) 王良(御者の最も巧みなりし支那人)
 わうらう(副) 往往、まましばしば

わうらいぎ(する) 往來、切手、どほりてがた
 わうらいもの 往來物(庭訓消息の如き書物をいふ)
 わうらう(名) 王老、錢の異名
 わうくわ(名) 王化(王者の徳化)

わうくわ(名) 黃瓜、そばうり、さうり(植物)
 わうくわ(名) 王瓜、からすうり、ひさごうり、野甜瓜(植物)
 わうくわ(名) 王黃、李、しろとも(植物)
 わうくわ(名) 黃花菜、うぐひすな(植物)

わうくわん 往還、ゆきかへり、往來(俗)たはどほり、どほりみち
 わうぐう 王宮、わうのみや
 わうま(名) 黃麻、かなひきを、つなし(植物)

わうま(名) 王業(王者の産業)
 わうま(名) 王權(王者の權力)
 わうま(名) 王不、留行、だうくわんさう、眞金花(植物)

わうふく 往復、ゆきかへり、往返(わうへん)往來
 わうふん(名) 横文、よこもじ、歐文(西洋文)
 わうこ(名) 往古、いにしへ、むかし

わうこ(名) 王國(王者の治る國)
 わうこ(名) 黃胡、蝶、きいろのてふ(動物)
 わうごん(名) 黃琴、はひひらぎ、はひしば(植物)

わうごん(名) 黃金、こがね、金(きん)
 わうごん(名) 黃金、草、菊科の草(植物)
 わうごん(名) 黃金、雄黃(同じ)

わうか 王家(王者の家)

わうが 枉駕、くるまをまげる、他人の來るに云ふ
 わうかう(する) 枉行、はしりまはにあるく
 わうかう(名) 橫行、かに(動物)

わうかう(名) 黃鶯(植物)
 わうき(名) 王餘魚、かれい(動物)
 わうだ(する) 他、毆打、うつぶつ

わうだい 往代、いにしよ、そのかみ、いにしへ
 わうだつ(する) 他、横奪、よこどりする、うばふ
 わうだう 横道、よこみち、よこしまわざ

わうだう(名) 王道(王者の道にして正道をいふ)
 わうだん(名) 黃疸、黃疸(身體の黄色に成る病)
 わうれん(名) 黃連、かくみく(植物)

わうれん(名) 黃連、かくみく(植物)
 わうれん(名) 竹筴、くさになんじん、せんたうさう
 (植物)
 わうれん(つ) 羊躑躅、きれんげつつと、きつつと(植物)

わうぞく 王族(王者の一族)
 わうそん(名) 王孫、たちあふひ、つくばねさう(植物)
 わうそん(名) 王孫、さる(動物)
 わうねん 往年、むかし、さきつと、し、すぎに、し、し、し

わうなん(名) 横難、わざはひ、さいなん
 わうらい 往來、ゆきかへり、たこりさめ、さしひき、又(俗)たはどほり、どほりみち
 わうらい(名) 往來人、ゆきかへりのひと
 わうらい(名) 往來止、みちどめ、通行止

わうて(名) 王手(將棋にて王を襲ふをいふ)
 わうて(名) 横笛、よこぶえ
 わうてん(する) 自、横轉、よこにまらぶ

わうさい(名) 黃菜、さばやけ(植物)
 わうさい(名) 黃頰魚、ぎさうをのな(動物)
 わうさい(名) 王佐之才、きみをたすくるちる(政治家の有名なる者を謂ふ)

わうさぎ(名) 黃沙魚、かすぎめ(動物)
 わうさん(名) 横産、よこざん(生るる兒が横に出る事)
 わうさん(名) 黃山丹、きひめゆり(植物)

わうき(名) 王畿、みやこのまはり(王者の所有地)
 わうき(名) 黃薯、やはらぐさ、もめんづる、黃芪(植物)
 わうき(名) 王渠、はら、たはり、壘

わうき(名) 王宮(王者の住む家)
 わうき(名) 王不、留行、だうくわんさう、眞金花(植物)
 ひだう

わうぎ(名) 王皇族又は外國の王をいふ
 わうめい 王命、みこと、のり(王者の命令)
 わうめい(名) 黃明膠、水膠、みづにかは

わうみん 王民、きみのたみ(王者の民)
 わうし(名) 横死、非命、變死(非業の死)
 わうし(名) 王師、わうのい、くさ、わうのぐんせい

わうし(名) 往事、すぎたりしこと
 わうし(名) 往時、いにしよ、むかし
 わうし(名) 王子、皇子、みこのみや(王者の子)また地名

わうし(名) 王事、きみのこと(王の爲の事)まつりごと

わらしよくき(名) 黄蜀葵(とうとう)とうとうわふひ(植物)
 わらしつ(名) 王室(王者の室)
 わらしつ(形) 拗執、かたくな、かたいぢ、執拗
 わらしつ(名) 往日、さきごろ、さきのひ
 わらしつ(名) 黄漆紙、まんねんがみ(万年紙)
 わらしや(名) 王者(王たる人)
 わらしや(副) 往者、このごろ、さきに
 わらしや(形) 横斜、よこにななめ
 わらしやう(名) 王城(王者の城)
 わらしやう(名) 一する(自) 往生、ゆきてうまるとこと(極樂等へ)又しぬること。うまれゆく、しぬる
 わらしやく(形) 庭弱、よわき、かよわき、ひよわき
 わらしゆくかう(名) 黄熟香(南都東大寺の寶庫に納むる蘭奢待をいふ)
 わらしん(名) 王臣、わうのけら
 わらしん(名) 黄蘗、さしめじ、きいろのきのこ(植物)
 わらひ(名) 横披、横尾僧衣の名
 わらせい(形) 旺盛、さかん、さかぬる
 わらせい(名) 黄精、あまごころ(植物)
 わらせい 王制(王政の制度)
 わらせい 王政(王者の政)
 わらせいふくこ 王政復故(まつりごとのむかしにかへること)
 わらせき 往昔、いにしへ、むかし
 わらせん(名) 黄鱈、鱈やつめうなぎ(動物)
 わらすぬ(名) 王水(硝酸をいふ)
 わらすいかう(名) 黄瑞香、むすびき(植物)

わのり(名) 輪乘、まるとりのまはること(馬の乘法)
 わのこぎり(名) 環鋸、まるとりのこぎり
 わく(和久(氏))
 わく(自) 湧涌、ながれあがる、沸、にわたつ
 わく(名) 木框、かまち
 わく(名) 絡車、線車、糸柁、いとまきぐるま、篋、篋、棧、棧、篋
 わくわうどうちん 和光、同慶神が人間に在るを云ふ
 わくらば(名) 病葉、うらがれたるは、かれは
 わくらば(副) 邂逅、たまたま、かまれに
 わくらん(自) 惑亂、みだれまどふ
 わく(名) 若子、わかご、ちひさきこども
 わく(自) 若子、わかご、ちひさきこども
 わく(自) 惑溺、まどひねばる(女等に)
 わく(名) 蟻、あまごころ、あまごころ(動物)
 わく(名) 和訓、につばんよみ
 わやく(名) 和洋(日本と外國をいふ)
 わやく(俗(名)) 倭厄、いたづら、ふざける
 わやく(名) 理、理由、原由、緣由、起由、原因、起源、起因、緣故、ゆゑ、わけがら
 わけ(代名詞) 戯奴、やつがれ(自ら卑うして言ふ詞)
 わけ(名) 一する 和解(日本語にて解明をいふ)
 わけ(名) 鬚鬢、まげ、角子
 わげ 和氣(氏)
 わげべ 分部(氏)
 わげる(他) 曲、まげる、たわめる

わげる(他) 縮、わがねる
 わけまへ(名) 分前、とりまへ、わりまへ、ぶん
 わけあたへる(他) 分與、わかちてたまふ
 わけあひ(俗(名)) 譯合、理合、わけがら
 わけぎ(名) 分葱、刈葱、漢葱、冬葱、木葱、早韭、ねぎのほそきもの(植物)
 わけめ(名) 分目、わかれごころ
 わふ(名) 和布、にぎたへ、やはらかなるわりもの
 わふち(名) 輜(車の輪の周圍の縁)
 わぶん 和文、日本文、やまとぶみ
 わこ 和子(小兒を親しむ呼ぶ詞)
 わこ 和語(日本語やまごころをいふ)、にはんことば
 わこく 和國、倭國、日本、ひのもと
 わこさう(名) 和姑草、からすひさく(植物)
 「わこん(名) 和魂、にぎみたま
 わこん(名) 和琴、嶋尾琴、あづまごころ
 わさ 和佐(氏)
 わさ(名) 事業、所爲、すること、作業、作用、工業、職業、そへ
 きこと、態、ありさま
 わさはひ(名) 災殃、葑、禍殃、禍災、害、妖孽、あしきこと、まがごと、さいなん
 わさはひ(名) 機槍星、はきははし、彗星
 わさど(名) 伎人、わざびと、手に伎ある人
 わさど(俗(副)) 特故、ことさら、わざわさ
 わさをやめる 廢業、休業、停業、しやうばいとやむる
 わさをぎ(名) 俳優、やくしや、演劇のしはひし
 わさわざ(副) 態態、ことさらに、故、殊

わさだ(名) 早田、わせのた、はやくみのれるた
 わさうり(名) 早瓜、あさうり、越瓜、花圓(植物)
 わさうた(名) 童謡、わらべうた、はやりうた
 わさこ(名) 勸詞、はたらきことば、用言
 わさ(名) 醋、新酒、早酒を謂ふ、あたらしきさけ
 わさ(名) 山葵、山葵、沙羅、からさねあくる(植物)
 わさび(名) 俳人、わざをさ、俳優
 わさび(名) 伎人、わざと
 わさび(名) 蓋擦、擦子、わざびするうつは
 わさび(名) 名劍、利刀、きれもの(刀劍などの鋭利なる者)を云ふ
 わさん(名) 和算、日本算、つばんそろばん、珠算、算算、たまざん
 わさん(名) 和讚、佛を讚る日本語の讚美歌
 わさんぼん(名) 和三盆、日本太白砂糖
 わき(名) 側傍、かたはら
 わき(名) 和伎、わざし
 わき(名) 腋、わきのしたのところ、わきばら
 わき(名) 和議、なかなほりのはなし、和談
 わきいでる(自) 涌出、ながれあふる
 わきばら(名) 庶出、庶腹、庶子、めかけばら(妾より生れたるを謂ふ)
 わきばら(名) 脇腹、わきのした
 わきばら(名) 脇子、妾腹子、てかけばらのこ
 わきばら(他) 挾、腋夾、わきのしたにはこむ
 わきはね(名) 助、かたはらぼね、たすけのはね、あばらばね、肋骨、脇骨

わうわ(名) 王位、さみのくらゐ
わうわ(名) 王領、たはしび(動物)
わうわ(名) 王威(王者の威權)
わういん(する) 枉允(勘辨して承知するをいふ)、まげてゆるす

わうばい(名) 黄梅(迎春花植物)
わうはつ(名) 黄髮(老人の髪、白くなりてのち又變じて黄になる者云々)

わうはう(名) 黄袍(鷹、うぐひす(動物))
わうばく(名) 黄栢、黄葉、山履(植物)
わうはふ(名) 王法(王國の法律をいふ)、王者之法

わうばん(名) 黄斑(藥品)
わうばん(名) 黄胖、はらやまひ(腹病をいふ)
わうはんぎよ(名) 王板魚、たはしび(動物)
わうばん(さやうらう) (名) 椀飯(釋應)〔古昔武家にて正月に行ひし馳走の名〕

わうぼ(名) 王母(王者の母堂、龍母)
わうほう(名) 王蜂、たはし(動物)
わうへん 往返、ゆきかへり、往復
わうへんぎつて 往返切手、ゆきかへりぎつて

わうど(名) 王土(王者の治むる國)
わうどう(名) 黄土(彩色に用ゆる黄色の土)
わうどく(名) 黄獨、かじういも(植物)
わうちやく(俗) 横着、こすい、ただしからぬ、不正

わうりやう(名) 王良(御者の最も巧みなりし支那人)
わうわう(副) 往々、ままたしばしば

わうらいぎつて(名) 往來切手、とほりてがた
わうらいもの 往來物、庭訓消息の如き書物をいふ
わうらう(名) 王老(鏡の異名)

わうくわ 王化(王者の徳化)
わうくわ(名) 黃瓜、そばうり、さうり(植物)
わうくわ(名) 王瓜、からすうり、ひささうり、野甜瓜(植物)

わうくわ(名) 王黃李、しろそもも(植物)
わうくわ(名) 黃花菜、うぐひすな(植物)
わうくわ(名) 往還、ゆきかへり、往來、俗にたはどほり、とほりみち

わうぐう 王宮、わうのみや
わうま(名) 黃麻、かなびきを、つなし(植物)
わうまう(名) 往亡日(凶日の名)

わうげん 王業(王者の産業)
わうけん 王權(王者の權カ)
わうふるぎやう(名) 王不留行、だうくわんさう、剪金花(植物)

わうふく 往復、ゆきかへり、往返(わうへん)、往來
わうふん(名) 横文、よこもじ、毆文(西洋文)
わうこ(名) 往古、いにしへ、むかし
わうこ(名) 王國(王者の治る國)

わうこ(名) 黃胡蝶、きいろのてふ(動物)
わうごん(名) 黃金、はひいらぎ、はひしは(植物)
わうごん(名) 黃金、こがね、金(きん)
わうごん(名) 黃金竹、きんちく、ちござ(植物)
わうごん(名) 黃金草、菊科の草(植物)
わうごん(名) 黃金石、雄黃(同じ)

わうか 王家(王者の家)
わうが 枉駕、くるまをまげる(他人の來るに云ふ)
わうかう(する) 自、横行、はしいままにわるく
わうかう(名) 横行、かに(動物)

わうか(名) 黃蒿(植物)
わうよぎよ(名) 王餘魚、かれい(動物)
わうだ(する) 他、毆打、うつ、ぶつ

わうだい 往代、いにしよ、そのかみ、いにしへ
わうだつ(する) 他、横奪、よこどりせる、うばふ
わうだう 横道、よこみち、よこしまわざ

わうだう(名) 王道(王者の道にして正道をいふ)
わうだん(名) 黃疸、黃疸(身體の黄色に成る病)
わうれん(名) 黃連、かくみく(植物)
わうれん(だま) (名) 竹菜、くさになじん、せんたうさう

わうれん(植物)
わうれん(つ) (名) 羊躑躅、きれんげつつじ、きつつじ(植物)
わうぞく 王族(王者の一族)

わうそん(名) 王孫、たちあふひ、つくばねさう(植物)
わうそん(名) 王孫、さる(動物)
わうねん 往年、むかし、さつとさつと、しすぎに、し、しに、し

わうなん(名) 横難、わざはひ、さいなん
わうらい 往來、ゆきかへり、たこりなめ、さしひき、又「俗」にはどほり、どほりみち
わうらい(にん) (名) 往來人、ゆきかへりのひと
わうらい(どめ) 往來止、みちどめ、通行止

わうて(名) 王手(將棋にて王を襲ふをいふ)
わうて(き) (名) 横笛、よこぶえ
わうてん(する) 自、横轉、よこにまろぶ

わうさい(名) 黃菜、はやく(植物)
わうさい(名) 黃頰魚、ささうをのな(動物)
わうさい(名) 王佐之才、きみをたすくるちる(政治家の有名なる者を謂ふ)

わうさぎよ(名) 黃沙魚、かすさめ(動物)
わうさん(名) 横産、よこざん、生るる兒が横に出る事)
わうさん(名) 黃山丹、きひめゆり(植物)

わうき(名) 王畿、みやこのまはり(王者の所有地)
わうき(名) 黃薯、やはらぐさ、もめんづる、黃芪(植物)
わうき(名) 王渠、はり、たはり、壟

わうき(名) 王宮(王者の住む家)
わうき(名) 往舊、ふるきむかし
わうき(名) 横逆、よこしまわざ、惡逆、横虐、よこしま、ひだう

わうき(名) 王(皇族又は外國の王をいふ)
わうめい 王命、みこと(のり(王者の命令))
わうめい(かう) (名) 黃明膠、水膠、みづにかは
わうみん 王民、きみのたみ(王者の民)

わうし(名) 横死、非命、變死(非業の死)
わうし(名) 王師、わうのし、くさ、わうのぐんせい
わうし(名) 往事、すぎざりしこと
わうし(名) 往時、いにしよ、むかし
わうし(名) 王子、皇子、みこのみや(王者の子)、また(地名)
わうし(名) 王事、きみのこと(王の爲の事)、まつりごと

わうしよくき(名) 黄蜀葵(とうろう)とうろうわふひ(植物)
 わうしつ 王塞王者の室
 わうしつ(形) 拗執、かたくな、かたいぢ、執拗
 わうじつ 往日、さきごろ、さきのひ
 わうじつし(名) 黄漆紙、まんねんがみ(万年紙)
 わうじや(名) 王者(王たる人)
 わうじや(副) 往者、このころ、さきに
 わうじや(形) 横斜、よこにななめ
 わうじやう 王城王者の城
 わうじやう(名) 一する(自) 往生、ゆきてうまるとこと(極樂等へ)又しぬること、うまれゆく、しぬる
 わうじやく(形) 庭弱、よわき、かよわき、ひよわき
 わうじゆくかう(名) 黄熟香(南都東大寺の寶庫に納むる蘭奢待をいふ)
 わうしん 王臣、わうのけら
 わうしん(名) 黄鰐、さしめじ、きいろのきのこ(植物)
 わうひ(名) 横披、横尾僧衣の名
 わうせい(形) 旺盛、さかん、さかぬる
 わうせい(名) 黄精、あまごころ(植物)
 わうせい 王制(王政の制度)
 わうせい 王政(王者の政)
 わうせいよくこ 王政復故(まつりごとのむかしにかへること)
 わうせき 往昔、いにしへ、むかし
 わうせん(名) 黄鱧、鱈やつめうなぎ(動物)
 わうすの(名) 王水(硝酸をいふ)
 わうすいかう(名) 黄瑞香、むすびき(植物)

わのり(名) 輪乘、まるとりのまはること(馬の乘法)
 わのこざり(名) 環鑲、まるとりのこざり
 わく 和久(氏)
 わく(自) 湧、涌、ながれあがる、沸、にわたつ
 わく(名) 木框、かまち
 わく(名) 絡車、線車、糸村、いとまきぐるま、篋、篋、椽、椽、椽
 わくわうどうちん 和光同塵、神が人間に在るを云ふ
 わくらば(名) 病葉、うらがれたるは、かれは
 わくらば(副) 邂逅、たまたま、まれに
 わくらんする(自) 惑亂、みだれまごふ
 わく(名) 若子、わかご、ちひさきこと
 わく(自) 惑溺、まごひたばる(女等に)
 わく(名) 蟾蜍、ひきがへるのたぐひ(動物)
 わく(名) 和訓、につばんよみ
 わやくや(名) 嘈嘈、人聲の多く騒がしき事、がやがや
 わやく 和洋(日本と外國をいふ)
 わやく(俗) 倭厄、いたづら、ふざける
 わやく(名) 和譯(日本語への翻譯)
 わやく(名) 理由、原由、緣由、起由、原因、起源、起因、緣故、ゆゑ、わけがら
 わけ(代名詞) 戯奴、やつがれ(自ら卑うして言ふ詞)
 わけ(名) 一する 和解、日本語にて説明すをいふ
 わけ(名) 鬻鬻、まげ、角子
 わけ 和氣(氏)
 わけべ 分部(氏)
 わげる(他) 曲、まげる、たわめる

わげる(他) 緯、わがねる
 わけまへ(名) 分前、とりまへ、わりまへ、ぶん
 わけあたへる(他) 分與、わかちてたまふ
 わけあひ(俗) 譯合、理合、わけがら
 わけぎ(名) 分葱、刈葱、漢葱、冬葱、木葱、早韭、ねぎのはそ、もの(植物)
 わけめ(名) 分目、わかれごころ
 わふ(名) 和布、にぎたへ、やはらかなるわりもの
 わふち(名) 輜(車の輪の周圍の縁)
 わふん 和文、日本文、やまとぶみ
 わこ 和子(小兒を親しむ呼ぶ詞)
 わこ 和語、日本語、やまとことば、にはんことば
 わこく 和國、倭國、日本、ひのもと
 わこさう(名) 和姑草、からすひさく(植物)
 「わこん(名) 和魂、にぎみたま
 わこん(名) 和琴、鶴尾琴、あづまこ
 わさ 和佐(氏)
 わさ(名) 事業、所爲、すること、作業、作用、工業、職業、とへ
 さこと、態、ありさま
 わさはひ(名) 災殃、菑禍、殃禍、災害、妖孽、あしきこと、ま
 がごと、さいなん
 わさはひはじ(名) 機軸星、ははきばし、彗星
 わさ(名) 伎人、わざびと、手に伎ある人
 わさ(俗) 特、故、ことさらに、わざわさ
 わさをやめる 廢業、休業、停業、しやうばいとやむる
 わさをぎ(名) 俳優、やくしや、演劇のしはるし
 わさわさ(副) 態態、ことさらに、故、殊

わさだ(名) 早田、わせた、はやくみのれるた
 わさうり(名) 早瓜、あさうり、越瓜、花圓(植物)
 わさうた(名) 童謡、わらべうた、はやりうた
 わさ(名) 勸詞、はたらきことば、用言
 わさ(名) 醋新酒、早酒を謂ふ、あたらしきさけ
 わさ(名) 山葵、山葵、沙羅藤、からきねあくる(植物)
 わさ(名) 俳人、わざをぎ、俳優
 わさ(名) 伎人、わざ
 わさ(名) 畫擦、擦子、わざびするうつは
 わさ(名) 名劍、利刀、きれもの(刀劍などの鋭利なる者を云ふ)
 わさん(名) 和算、日本算、つばんそろばん、珠算、算算、た
 まさん
 わさん(名) 和讚、佛を讚る日本語の讚美歌
 わさんぼん(名) 和盆(日本太白砂糖)
 わさ(名) 側、傍、かたはら
 わさ(名) 和伎、わざし
 わさ(名) 腋、わきのしたのころ、わきばら
 わさ(名) 和議、なかなはりのはなし、和談
 わさい(自) 涌出、ながれあふるる
 わさばら(名) 庶出、庶腹、庶子、めかけばら(妾より生れたるを謂ふ)
 わさばら(名) 脇腹、脇よこはら
 わさばら(名) 庶子、妾腹子、てかけばら(こ
 わさばら(他) 挾、腋夾、わきのしたにはさむ
 わさばら(名) 脇、かたはらばね、たすけのはね、あばらば
 ね、肋骨、脇骨

かい(名) 階、きざはし、段、級
 かい(名) 海、うみ、洋
 かい(名) 櫻、櫻、水を撥て船と進むる具、うし船
 かい(名) 蝦夷、えぞ、北海道の舊名、又わみし同島人をいふ

かい(名) 下衣、ゆもじ、こしまさ、したぎ
 かい(名) 可畏、かしこき、れそるべき
 かい(名) 害、わざはひ、あしき(利に對す)そこなふ、いためる

がい(名) 咳、せき、咳嗽がいらう、しはぶき
 がい(形) 該、該件、該事の該、かの、その、あの
 がい(名) 雅意、みやびどころ、又貴意、きみのところ

がい(名) 我意、わがたまひ、わがたま、我執
 かい(名) 解頤、たごがひをどく(大笑の貌)
 かい(名) 介意、こころにかけける、まにかけける

かい(名) 解圍、かこみをどく
 かい(名) 階位、くらゐ、位階
 かい(名) 階位、くらゐ、位階

かい(名) 註違、ちゐだがふ(規則などに)
 かい(名) 海溢、つなみ、海嘯
 かい(名) 開誘、ひそひそなふ

かい(名) 介佑、たすける
 かい(名) 蠟燭、わりつ、か、蠟燭
 かい(名) 海驢、わしか、とど(動物)
 かい(名) 海路、ふなぢ
 かい(名) 崖路、けはしきみち、がけみち
 かい(名) 加義羅、亞非利加洲埃及國の首府
 かい(名) 海鹿、わしか(動物)

かい(名) 改封、あらためれぎなふ
 かい(名) 開發、(新地をひらくこと)開墾、開拓
 かい(名) 改封(諸侯を他國に移すをいふ)、くじが
 かい(名) 改封(諸侯を他國に移すをいふ)、くじが

かい(名) 改封(諸侯を他國に移すをいふ)、くじが
 かい(名) 改封(諸侯を他國に移すをいふ)、くじが
 かい(名) 改封(諸侯を他國に移すをいふ)、くじが

かい(名) 改封(諸侯を他國に移すをいふ)、くじが
 かい(名) 改封(諸侯を他國に移すをいふ)、くじが
 かい(名) 改封(諸侯を他國に移すをいふ)、くじが

かい(名) 改封(諸侯を他國に移すをいふ)、くじが
 かい(名) 改封(諸侯を他國に移すをいふ)、くじが
 かい(名) 改封(諸侯を他國に移すをいふ)、くじが

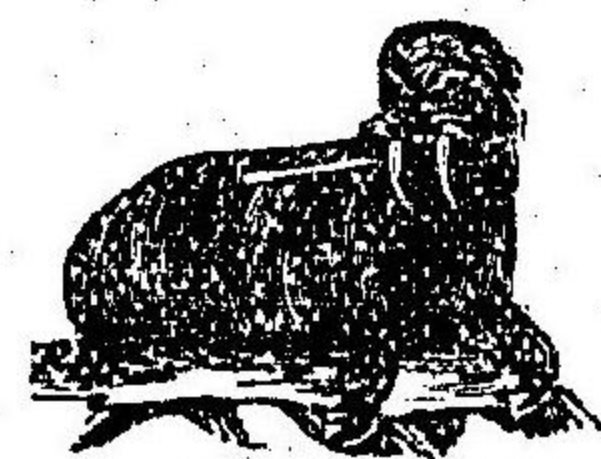
かい(名) 改封(諸侯を他國に移すをいふ)、くじが
 かい(名) 改封(諸侯を他國に移すをいふ)、くじが
 かい(名) 改封(諸侯を他國に移すをいふ)、くじが

かい(名) 改封(諸侯を他國に移すをいふ)、くじが
 かい(名) 改封(諸侯を他國に移すをいふ)、くじが
 かい(名) 改封(諸侯を他國に移すをいふ)、くじが

かい(名) 改封(諸侯を他國に移すをいふ)、くじが
 かい(名) 改封(諸侯を他國に移すをいふ)、くじが
 かい(名) 改封(諸侯を他國に移すをいふ)、くじが

かい(名) 海蛇、たからがひ(動物)
 かい(名) 海馬(頭圓く頸短く眼細く唇厚く口小く牙あり重量大約二千磅長さ十八英尺に至る(動物))
 かい(名) 界牌、ぼうぐひさか

(圖の馬海)



かい(名) 海鬚、いぎす(植物)
 かい(名) 開發、ひらけゆき、ひらけゆき
 かい(名) 開發、ひらけゆき、ひらけゆき
 かい(名) 開發、ひらけゆき、ひらけゆき

かい(名) 開發、ひらけゆき、ひらけゆき
 かい(名) 開發、ひらけゆき、ひらけゆき
 かい(名) 開發、ひらけゆき、ひらけゆき

かい(名) 開發、ひらけゆき、ひらけゆき
 かい(名) 開發、ひらけゆき、ひらけゆき
 かい(名) 開發、ひらけゆき、ひらけゆき

かい(名) 開發、ひらけゆき、ひらけゆき
 かい(名) 開發、ひらけゆき、ひらけゆき
 かい(名) 開發、ひらけゆき、ひらけゆき

かい(名) 開發、ひらけゆき、ひらけゆき
 かい(名) 開發、ひらけゆき、ひらけゆき
 かい(名) 開發、ひらけゆき、ひらけゆき

かい(名) 開發、ひらけゆき、ひらけゆき
 かい(名) 開發、ひらけゆき、ひらけゆき
 かい(名) 開發、ひらけゆき、ひらけゆき

かい(名) 開發、ひらけゆき、ひらけゆき
 かい(名) 開發、ひらけゆき、ひらけゆき
 かい(名) 開發、ひらけゆき、ひらけゆき

かい(名) 開發、ひらけゆき、ひらけゆき
 かい(名) 開發、ひらけゆき、ひらけゆき
 かい(名) 開發、ひらけゆき、ひらけゆき

かい(名) 開發、ひらけゆき、ひらけゆき
 かい(名) 開發、ひらけゆき、ひらけゆき
 かい(名) 開發、ひらけゆき、ひらけゆき

かい(名) 開發、ひらけゆき、ひらけゆき
 かい(名) 開發、ひらけゆき、ひらけゆき
 かい(名) 開發、ひらけゆき、ひらけゆき

かい(名) 開發、ひらけゆき、ひらけゆき
 かい(名) 開發、ひらけゆき、ひらけゆき
 かい(名) 開發、ひらけゆき、ひらけゆき

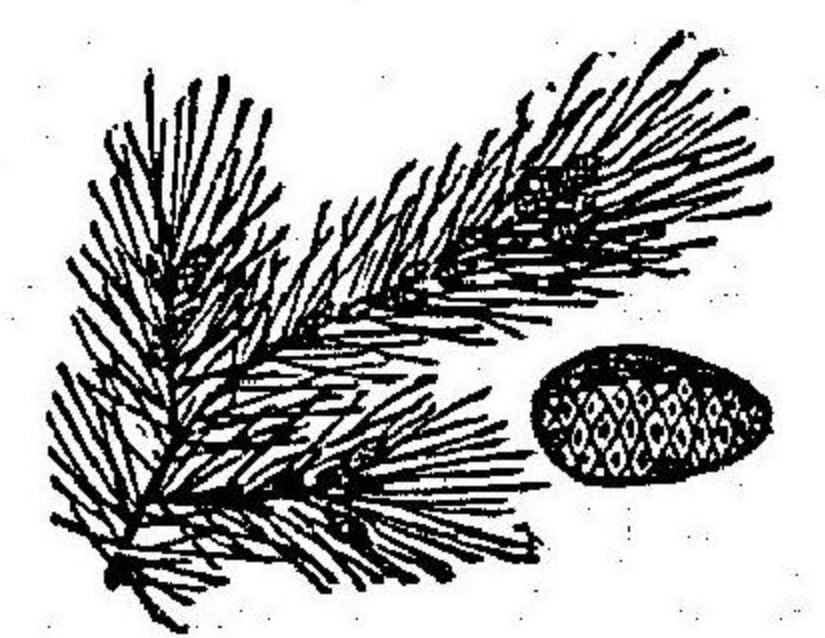
かい(名) 開發、ひらけゆき、ひらけゆき
 かい(名) 開發、ひらけゆき、ひらけゆき
 かい(名) 開發、ひらけゆき、ひらけゆき

かい(名) 開發、ひらけゆき、ひらけゆき
 かい(名) 開發、ひらけゆき、ひらけゆき
 かい(名) 開發、ひらけゆき、ひらけゆき

いん(甲) 海王星(最も遠き遊星にして天王星の外にあり)
 かいわん(名) 海灣、いりうみ
 かいわん(名) 改嫁、さいわんする、ふたたびよめいる
 かい(名) 海蝦、いせび(動物)
 かい(名) 凱歌、かちいくさのうた
 がい(形) 皚皚、澄澄、まつしろなる、しろき(皚皚の貌にて雪刃などに用ふ)
 かい(自) 介行、ひとりゆく、獨行
 かい(自) 開港、みなとをひらく(外國貿易の爲に)又ひらきたるみなと
 かい(自) 開講、講談を開く
 かい(名) 艾糕、くさもち
 かい(名) 甲香(香具)又ばいのへた(海螺蓋)
 かい(名) 開港場、外國貿易場、ふなつきみなと
 かい(名) 改革、あらたむる
 かい(名) 海角、みさぎ、岬
 かい(名) 解甲、よろひとぬぐ
 かい(名) 甲香、かひかふの下を見よ、へなたり、ばい
 がい(自) 唯合、いがみあふ
 かい(名) 階下、饗、かゝりものあると(饗應の世話人)
 かい(自) 畏承、かここまる
 かい(名) 解顔、わらひがはする
 かい(名) 開眼、かいげん、ためわけ(新造の佛像を安置する禮をいふ)

かい(名) 海岸、うみばた、うみべ
 がい(名) 涯岸、さし
 かい(名) 海岸、さし
 かい(名) 海容、わはゆるし(寛大にして罰せぬ事)
 かい(自) 改容、かたちをあらたむる、ひなはる
 かい(名) 海蛇、うみへび(動物)
 かい(名) 懈惰、をこたひ
 がい(名) 咳唾、つばき、つば
 かい(自) 拐帶、かどわかす、さらふ(女などを)
 かい(自) 懈怠、けだいなまけ、ゆだん、をこたひ、なまける、をこたふ
 かい(名) 海苔、のり(海草にて製して食ふ可き者、淺草苔の類をいふ)
 かい(名) 海帶、こぶ、ほそめ(植物)
 かい(名) 海内、中國内(一國の内)の義、天下
 かい(自) 開達、ひらける(智慧等が)
 かい(名) 海獺、らつこ(動物)
 かい(名) 街道、わうくわん、とほりすぢ
 かい(名) 海道、海路、うみぢ、又ふなぢ
 かい(名) 海棠、海紅いどぎくら(植物)
 かい(名) 核桃、わはくるみ(植物)
 かい(名) 海糖魚、あみ(動物)

(圖の松岸海)



かい(他) 開拓、とちをひらく、開墾
 かい(名) 欄格、欄橋、勝蓋、楯の(名)
 かい(名) 倦乏、かつたるい
 かい(名) 海膽、うに(動物)
 かい(名) 戒壇、佛寺にある受戒の壇、また佛壇
 かい(名) 階段、はしご、だんだん
 がい(自) 概歎、なげく、いさごほりあげく
 がい(他) 効彈、つみをうつたへる(官人等の)
 がい(名) 街談巷説、いちまちのうはさ
 かい(名) 改曆、開曆、曆の改まる事、としのはじめ
 かい(名) 海鱧魚、いなだ(動物)
 かい(名) 開祖、元祖、開基、はじめにひらきたるひと
 かい(自) 解訴、うつたへをやめる
 かい(名) 海租、うみのうんじやう
 かい(名) 海鼠、なまこ(動物)
 かい(名) 海蛆、ふなび(動物)
 かい(名) 相室、媵、女相者、よめのとも、つきそひをんな
 かい(名) 介副、つきそひ、たすけて
 かい(名) 海鼠腸、このわた
 かい(名) 海葱、にぎめ(植物)
 かい(名) 海櫻、からなづな(植物)
 かい(名) 鸕鷀、くろつぐみ(動物)
 がい(自) 咳嗽、せき、しはぶさする
 がい(他) 効奏、うつたへあぐる(官人の罪を天朝に)
 かい(名) 海賊、うみぬすびと

かい(名) 開樽、さかもり
 かい(自) 暇供、あそびたのしむ
 がい(自) 該通、ゆきわたる(事理等が)
 かい(自) 搔着、いだきつく
 かい(名) 鵲、いよめ(動物)
 かい(名) 父寧、れさまりてやすき、治安
 かい(名) 紅表裏衣、うすくれあるのころも(女官の服)
 かい(名) 改年、新年、あらたまのとし、としのはじめ
 かい(名) 黃草、かりやす(植物)
 かい(名) 皆納、みなをさむる(租税等を)
 かい(名) 艾納、まつおのせにぞけ(植物)
 かい(名) 初心、よのつね、ひとどほりなること
 かい(名) 海男子、いりこ(動物)
 かい(名) 海螺、つら(動物)
 かい(名) 海蕪、ふのり(植物)
 かい(名) 疥癬、かつたい、はたけがさ
 かい(名) 傀儡師、でくつかひ、人形遣(にんぎやうつかひ)
 かい(自) 開朗、はれわたる
 かい(名) 海老、むらじらか
 かい(自) 借老、もろじらか
 かい(自) 借老同穴(夫妻一生同棲して相樂の譬)
 かい(名) 借老根、えびね(植物)

がいらくする(自) 愷樂たのしみ

がいらん(名) 梅華皮さめのかは

がいらんする(他) 該覽ひろくみる(書籍等)

がいむ 皆無かたなし、なにもなし、ざるでなし

がいう(名) 海芋、みづばせう(植物)

がいう(名) 海宇、よのなか、海内、天下

がいう 雅遊、みやびあそび

がいうつ 開鬱、さばらし、さざんじ

がいうん(名) 海雲、もづく(植物)

がいうん 開運、うんがひらく(好運に向ふをいふ)

かいうの(名) 他) 搔拭、はらひぬぐふ

かいう(名) 海狗、あざらし、わつとせ(動物)

かいう(名) 皆具、ひとそろひ(家具の)

がいく(名) 街衝、ちまた、まちのどほり

がいくわ(名) 開明、文明

がいくわい(名) 改悔、くいあらため、くいあらたむる(前非等を)

かいうわい(形名) 海外、うみのそと。又うみのそとのくに外國、とつくに

かいくわつ(形) 開豁、はがらか、はつきり、豁然

がいくわつ(名) 概括、とくくすること、すぶる、くる

かいくわてんわう 開化天皇(人皇第九代の帝)

かいくわし 開化史、文明史(一國の開明に赴ひける事の歴史)

かいくわせき(名) 海花石、さくめいし

かいくわん 解官(官職を罷ると云ふ)

かいくわん(名) 解願、ぐわんはとぎ、還願、ぐわんはたし

かいくわんせい 海關稅(稅關にて徵收する輸出入物品の稅)

がいくつ(名) 崖窟、いはあな、巖穴

かいうらみ(名) 昏黃、ひくれとぎ

かいうら(名) 海隅、うみのすみ、つづらうら

かいうん(名) 海軍卿、海軍大臣の舊稱

かいうん(名) 海軍省(海軍事務を執扱ふ所の官廳)

かいうん(他) 搔遣、とりのけすつる、かきのける、また梳くしける

かいま(名) 抱卷、ねまき

かいま(名) 垣間見、闕窺(垣根其他の物の間よりのぞき見るをいふ)、かいはじ

かいまん(名) 海鏡、あなご(動物)

かいつ(名) 海月、くらげ(動物)

かいつ(名) 海峽(兩陸地間の狭き海流をいふ)、せと

かいつ(名) 開業、開舖、みせびらき、みせだす、開店

かいつ(名) 開業式、みせびらきのいはひ

かいつ(名) 蟹蟻、がうた(動物)

かいつ(名) 改元、年號を改むると云ふ

かいつ(名) 戒嚴、兵備を嚴にするをいふ

かいつ(名) 解嚴、いましめをとく、ようじんをやめる(兵備を解くを云ふ)

かいつ(名) 開眼、ためあけ(神佛の像へ靈をいれる式)

かいつ(名) 開墾地(新に開ける土地)

かいつ(名) 階梯、さざはし、段段、はしご、てがかり

かいつ(名) 解停、停止を解きゆるす

かいつ(名) 改替、かへる

かいつ(名) 海底、うみのそこ

かいつ(名) 海程、ふなぢ

かいつ(名) 愷悌、しんせつ、なさけある

かいつ(名) 海底苔、まくり(植物)

かいつ(名) 孩提之童、をさなご、ちのみご

かいつ(名) 海底石、いかり

かいつ(名) 開店、みせびらき、開業

かいつ(名) 海鱧、うみうなぎ、あなご(動物)

かいつ(名) 父安、やすき、治平、平安、れだやか

かいつ(名) 開鎖、あけたて、開闢(戸等の)

かいつ(名) 改歳、あらたまるとし、改年、新年、年頭(一年の始まるをいふ)

かいつ(名) 芥菜、からしな、菘(植物)

かいつ(名) 海菜、いざす、うみくさのな植物

かいつ(名) 普濟、みなすむ(借財等の償還を終るをいふ)

かいつ(名) 涯際、かぎり、はてし

かいつ(名) 睡耻、にらむこと、ねめつけ、疾視

かいつ(名) 開札、ふだをひらく、入札にいふ

かいつ(名) 海藻、うみくさ、海葱

かいつ(名) 海藻、じまも、め(植物)

かいつ(名) 茂草、よもぎ(植物)

かいつ(名) 改葬、はらひりなほす

かいつ(名) 開鑿、はらわる(河等を)

がいけん(する) 他) 該兼、かねそなへる、兼備

がいけん 概見、あらましのみね

がいげん(する) 他) 概言、ねほよそをいふ、畧言

がいげんせん 開元、錢唐高祖の鑄たる通貨の名

かいう(名) 介婦、かいらそへ、よめのとも

かいう(する) 他) 開封書狀の封緘をさりひらく

かいう(名) 凱風、あたたかさみなみかせ、颯風

かいう(名) 蓋袱、ふくさ

かいう(名) 蚊燠、かやりび

かいう(名) 海夫人、いがひ、淡菜(動物)

かいう(名) 概開、あらましきき

かいう(名) 涯分、みのほぞ、又ぞんぶん、れもふほど

かいう(する) 戒護、いましめまもる、警護

かいう(する) 他) 解語、ことばがわかる、ことばをけする

かいう(する) 他) 解悟、さとる、きがつく

かいう(名) 蓋骨、あたまのはね、腦蓋骨、頭骨

かいう(名) 骸骨、かばね、死者の體骨、からだぼね

かいう(名) 骸骨、年老て辭職するをいふ、致仕

かいう(他) 抱込、推込、わきばさむ

かいう(する) 選近、たまたまであふ、ふとめりあふ、たまたまかいであふ

かいう 開口、口を開きて發するの義にて字音にいふ

かいう(名) 海紅柑、じやがたらみかん(植物)

かいう(名) 解語花、ことばのわかるはな(物言はぬ草)

かいう(名) 開國、建國(國の創立を云ふ)

かいう(名) 開墾、あらさきはり、開拓

かいざん(名) 解散、らちじ。ちんず。ちる(集會にいふ)

かいざん(名) 開山、開基、始祖、鼻祖、くさきり、ひらきて

かいざん(名) 海參、なまこ(動物)

かいざん(名) 改竄、あらたむる、なほす(文章等を)

かいざん(名) 概算、あらつり、概計

かいざん(名) 蓋簪、かんざし(装束の具)

かいざん(名) 開基、開祖、開山、ひらきて、創立

かいざん(名) 解忌、さわけ、いみわけ、ぶくわけ

かいざん(名) 海黄絹、絹布の名

かいざん(名) 海氣、うみのき

かいざん(名) 海龜、つしやうがくばう、正覺坊(動物)

かいざん(名) 佳域、よきところ、美境、佳境

かいざん(名) 咳氣、せき、咳嗽

かいざん(名) 介居、獨居、ひとりをる

かいざん(名) 改料、あらためた、だす

かいざん(名) 海牛、すずめう(動物)

かいざん(名) 犢牛、さんきりう(動物)

かいざん(名) 艾菊、をぐるま(植物)

かいざん(名) 海鏡、くらげ(動物)

かいざん(名) 海薑、わかくらげ(動物)

かいざん(名) 戒行、佛戒を持ち行ふこと

かいざん(名) 諧謔、ざれこと、ねをけ

かいざん(名) 楷書、眞書、まながき(四角の字をいふ)

かいざん(名) 火鋤、すきとる(草等と)

かいざん(名) 海松、てうせんまつ、かんしやう(植物)

かいざん(名) 解訟、くじをやる、ねがひさげる

かいざん(名) 海松茶、みるちや、うぐひすちや(色の名)

かいざん(名) 解職、職務を罷むるをいふ

かいざん(名) 海鯨、くじら(動物)

かいざん(名) 改宗、しうしがへ、轉宗

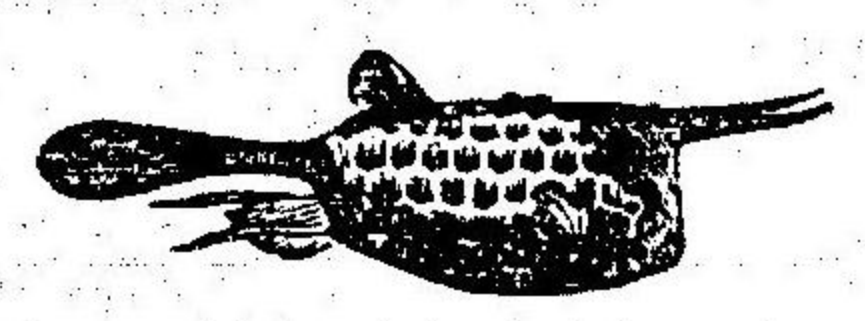
かいざん(名) 海絨、うみへちま、海綿(植物)

かいざん(名) 解社、商社其他の結社ととさやむる

かいざん(名) 開城、しうをわけわたせ

かいざん(名) 改易、あらためかへる
かいざん(名) 海燕、ひとで、又たこのまくらう、うみつばめ、
かいざん(名) 海神、うみのかみ
かいざん(名) 改進黨、政黨の一派にして温和の自由黨
かいざん(名) 海鯨魚、ねはとびうをどびえひ、とびう(動物)
かいざん(名) 改易、あらためかへる
かいざん(名) 海扇、はたてがひ(動物)
かいざん(名) 開扉、開帳、とびらびらき(佛菩薩の)
かいざん(名) 諧媚、こびへつらふ
かいざん(名) 餡餅、そばがき(食物)
かいざん(名) 海嘯、つなみ
かいざん(名) 海扇、はたてがひ(動物)
かいざん(名) 開闢、ひらくる、ひらく
かいざん(名) 凱旋、かちてかへる(軍にいふ)凱陣
かいざん(名) 慨然、なげく貌、憤然
かいざん(名) 呆然、あきれはてて、びつくり
かいざん(名) 駭然、ぞろく貌、愕然
かいざん(名) 海仙花、さつさばな(植物)
かいざん(名) 佳音、よきとづれ

(圖の牛海)



かいざん(名) 階級、くらゐのしな、等級
かいざん(名) 皆既食、みながくれ(日月の蝕にいふ)
かいざん(名) 海黄絹、絹の織物の名
かいざん(名) 開覺、ひまをひらくなががるくなる、生際
かいざん(名) 海金沙、すなぐさ、つるしにふ、かひくさ(植物)
かいざん(名) 改名、なをかへる、變名
かいざん(名) 嗜鳴、なく、さへづる(鳥が)
かいざん(名) 開明、ひらけすすめる(世が)開化
かいざん(名) 海面、うみづら、海上
かいざん(名) 海綿、うみへちま、うみわた(植物)
かいざん(名) 戒名、法號、死後につくる釋名
かいざん(名) 界紙、野紙、けいし
かいざん(名) 戒指、ゆびがね、ゆびわ、指環
かいざん(名) 戒師、戒を授ける法師
かいざん(名) 楷子、はしご、梯子
かいざん(名) 海士、あま、鰻漁夫
かいざん(名) 海鬚、みさき、脚
かいざん(名) 海市、あま、蜃氣樓
かいざん(名) 介士、かた、蟹(動物)
かいざん(名) 芥子、からし(植物)
かいざん(名) 拐兒、かどわかし、かたり
かいざん(名) 獸子、あほう、ばか
かいざん(名) 蓋柿、ねんざがき(植物)
かいざん(名) 孩兒、をさなご、みどりご、嬰兒
かいざん(名) 垣代、たながく、とるひと

かろん(名) 下院(人民より成立つ議院にして上院に對す)

かろう(名) 可漏とばきり、黒兒、蕎麥麩、そば

かろく(名) 駕籠のりもの、かこ

かろく(名) 河鹿、かじか(河に住て鳴く蛙の類)(動物)

かろく(名) 家鹿、ねずみ(動物)

かろく(名) 家鹿、ふち(俸祿(政府より賜はる米銀をいふ)

かろく(形) 輕便、輕快、輕便なからぬ

かろく(名) 輕便、輕快、輕便なからぬ

かろく(名) 輕便、輕快、輕便なからぬ

かろく(名) 輕便、輕快、輕便なからぬ

かろく(名) 輕便、輕快、輕便なからぬ

かろく(名) 輕便、輕快、輕便なからぬ

かろく(名) 輕便、輕快、輕便なからぬ

かろく(名) 輕便、輕快、輕便なからぬ

かろく(名) 輕便、輕快、輕便なからぬ

かろく(名) 輕便、輕快、輕便なからぬ

かろく(名) 輕便、輕快、輕便なからぬ

かろく(名) 輕便、輕快、輕便なからぬ

かろく(名) 輕便、輕快、輕便なからぬ

かろく(名) 輕便、輕快、輕便なからぬ

かろく(名) 輕便、輕快、輕便なからぬ

かろく(名) 輕便、輕快、輕便なからぬ

かろく(名) 輕便、輕快、輕便なからぬ

かろく(名) 輕便、輕快、輕便なからぬ

かろく(名) 輕便、輕快、輕便なからぬ

かろく(名) 輕便、輕快、輕便なからぬ

かろく(名) 輕便、輕快、輕便なからぬ

かろく(名) 輕便、輕快、輕便なからぬ

かろく(名) 輕便、輕快、輕便なからぬ

かはは(名) 鱸魚、ふぐ(動物)

かはは(名) 鱸魚、ふぐ(動物)

かはは(名) 鱸魚、ふぐ(動物)

かはは(名) 鱸魚、ふぐ(動物)

かはは(名) 鱸魚、ふぐ(動物)

かはは(名) 鱸魚、ふぐ(動物)

かはは(名) 鱸魚、ふぐ(動物)

かはは(名) 鱸魚、ふぐ(動物)

かはは(名) 鱸魚、ふぐ(動物)

かはは(名) 鱸魚、ふぐ(動物)

かはは(名) 鱸魚、ふぐ(動物)

かはは(名) 鱸魚、ふぐ(動物)

かはは(名) 鱸魚、ふぐ(動物)

かはは(名) 鱸魚、ふぐ(動物)

かはは(名) 鱸魚、ふぐ(動物)

かはは(名) 鱸魚、ふぐ(動物)

かはは(名) 鱸魚、ふぐ(動物)

かはは(名) 鱸魚、ふぐ(動物)

かはは(名) 鱸魚、ふぐ(動物)

かはは(名) 鱸魚、ふぐ(動物)

かはは(名) 鱸魚、ふぐ(動物)

かはは(名) 鱸魚、ふぐ(動物)

かはは(名) 鱸魚、ふぐ(動物)

かはは(名) 鱸魚、ふぐ(動物)

かはは(名) 鱸魚、ふぐ(動物)

かはは(名) 鱸魚、ふぐ(動物)

かはは(名) 鱸魚、ふぐ(動物)

かはは(名) 鱸魚、ふぐ(動物)

かはは(名) 鱸魚、ふぐ(動物)

(圖の鳩原河)



(圖の瓦)



かはらごけ(名) 瓦藓、瓦衣(瓦の上に生ずる草苔)(植物)

かはらわかざ(名) 水落藜(植物)

かはらさい(名) 委陵菜、翻白草、鶏腿根(植物)

かはらし(名) 瓦師、かはらや(瓦工)

かはらしやうしやう(名) 蜚鴻(動物)

かはらひは(名) 金翅雀(動物)

まひさぎ、角楸(植物)

かはらもの(名) 河市樂、河原考、やくしや(下等芝居の)

かはむかひ或かはむかふ(名) 川向(前岸の地を云ふ、對岸)

かはむら 河村(氏)

かはむぎい(名) 半肛菌、さのこのたぐひ(植物)

かばむしろ(名) 蒲蘆、蒲にて織れるしきもの

かはう(名) 荷包、につつみ

かはう(名) 牙保、さいどり(商法上等の)、とりもち

かはうと(名) 水瀬、河瀬(動物)(か

はをくに同じ)

かはの 川野、河野、かうの(氏)

かはのかみ 河伯、川后、河神

かばのき(名) 樺木、かば(植物)

かはく(名) 河伯、かはのかみ

かはくぼ 川窪、河久保(氏)

かはぐち(名) 河港、津、港口、ふなつき

かはくち(名) 河口、かはしり(河が海に注ぐ處)

かはぐち 河口(氏)

かはぐつ(名) 草履鞋(革にて造れるはきもの)

かはぐくら(名) 樺櫻、ひざくら、朱櫻、かにはぐくら(植物)

かはさき 河崎、川崎(氏また地名)

かはさき「俗」(名) 皮切はじめ、はじまり、とつつき(事物を始めて爲す事)

かはぎし(名) 河岸、沿岸、かじ

かはぎす(名) 白楊魚(動物)

かはゆらし(名) 可愛、可憐、かわいらしい

かはみどり(名) 藿香、くわくかう、排草香(植物)

かはしり(名) 川尻、かはぐち、かはのすゑ、又(氏)

かはねび(名) 蝦(動物)

かはひ 河合、川合(氏)

かはびら(名) 蝶てふ(動物)

かはびら(名) 川開、夏日河の中にて烟花を打撃げなどして此事を行ふ

かはせ 河瀬(氏)

かはせ(名) 爲替、替錢(金錢をとりかへにして遠地に送る法)

かはせてがた(名) 爲替手形、爲替券、匯單(かはせがねのてがた)

かはせみ(名) 翡翠、かはすずめ、せうび、熊虎鳩、魚狗、魚虎鳥

かはす(他) 躲、退避(身を轉じて避くるをいふ)

かはん(名) 河畔、かはのほとり、(翠の圖)

みぎは

かはん 加判、連判、書面等に己の印を人の印と同く押す



(翠の圖)

かはぐつわ(名) 革轡、鞞、かは

にてつくれるくつわ(馬具)

かはくま(名) 河隈、河曲、かはわ

かはくさ(名) 河伯草、さはあ

さみ(植物)

かはや(名) 圓、廁、淨房、後架、雪

隠てうづば、大便所

かはや(名) 皮匠、革屋、かはあさうを

かはやなき(名) 檉、赤楊、くまやなき、あかやなき、河柳、江柳、水楊(植物)

かばやま 樺山(氏)

かばや(名) 蒲燒、樺燒、炙鱧、模燒、煤鱧、炙鱧、醬油つけ

て鱧、海鱧等を燒きたるを謂ふ

かはまた(名) 川又、河の三又に成りし所をいふ

かはまた 川俣(氏)

かはふ(名) 加法、よせさんのしかた(加算法)

かはふ(名) 家法、いへのきこく、家風、家例

かはふ(他) 苛法、いらひとされきて、あしきまつりごと

かはぶくろ(名) 革囊(革にて造れる袋にて酒又は水を容る)

かはぶえ(名) 皮笛、くちぶえ、嘯

かはぶん(名) 革文庫、革にて造れるてばこ

かはぶ(名) 革籠、革にて造れる手提

かはぶ(名) 蓑、蓑にて造れる衣服

かはわ(名) 蹄、蹄(ちよくり)の下を見よ(植物)

かはざい(名) 革工、革にて造れる物

こと

かばん(名) 革包、革の手提

かはんにん(名) 加判人(加判せる者また證人)

かに(名) 蟹、蘆虎、徒歩、横行、介士、横に歩く介蟲(動物)

かに(名) 樺、かば、かにはぐくら(植物)

かに(名) 蛤、蛤(動物)

かに(名) 蛤、蛤(動物)

かに(名) 蛤、蛤(動物)

かに(名) 蛤、蛤(動物)

かに(名) 蛤、蛤(動物)

かに(名) 蛤、蛤(動物)

かに(名) 蛤、蛤(動物)

かに(名) 蛤、蛤(動物)

かに(名) 蛤、蛤(動物)

かに(名) 蛤、蛤(動物)

かに(名) 蛤、蛤(動物)

かに(名) 蛤、蛤(動物)

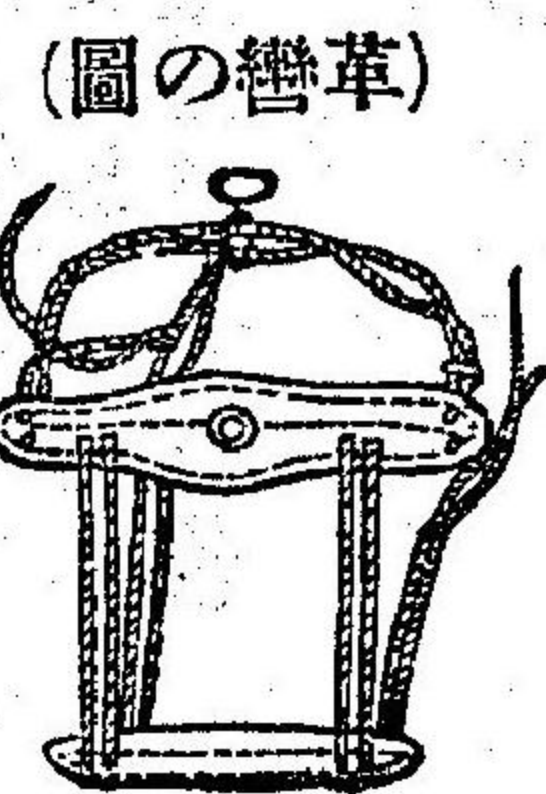
かはどり(名) 貌鳥、顔鳥、うるはしきどり(動物)

かはちや(名) 南瓜、番南瓜、たうなす(植物)

かはがはり(名) 面變、れもがはり(病氣により又は年をとりて面の様子の初と異なるに至れる事)

かはかたち 顔貌、顔容、かはとすがた

かはよば(名) 馬鬣、かきつばた(植物)



(轡の圖)

かほよぐさ(名) 芍薬しやくやく(植物)
 かほよき(形) 姝妍國色、みめよき、うるはしき
 かほそき(形) 纖弱、たよわき、きやしや、ほそくやせたる
 かほつろく(名) 何勃勒、なんばんさいかし(植物)
 かほつくり(名) 假粧かほけしやう、ねしまひ。また面容
 かほのかたち
 かほつき(名) 顔付、顔臉、面容、かほのさま
 かぼく(名) 家僕、家來、しもべ
 かぼく(名) 下僕、しもをとこ、しもべ
 かぼく(名) 佳墨、ねてがみ(他人の書翰をいふ)
 かほやう(名) 顔様、かほさま
 かほわからめる 赤面、赧顏、潮紅、羞愧
 かほわらふ 洗面、頰積
 かほざま(名) 顔様、かほつき
 かほみせ(名) 顔見世(役者が芝居に出て見物人に見ゆる
 事、また芝居の初日の大入をもいふ)
 かへ(名) 櫃、かや(植物)
 がべ(名) 壁(家のまはりの塗りたる所) 牆壁
 かべはふた(名) 壁羽二重絹布の名
 かへりばな(名) 復花狂花唐花(年内に再び開く花)
 かへりちう(俗名) 反忠、歸忠敵に内應する事をいふ
 かへりがけ 歸次、歸路、かへりみち
 かへりづの(名) 反角逆角(刀の鞘の飾に云ふ)
 かへりうち(名) 反擊、反討(かたきうちうちをさるるを
 いふ)
 かへりまうす 復命、へんじをのべる
 かへりごど(名) 復言、かへりまうし、返命

かへりざき(名) 復咲かへりばなのさくをいふ
 かへりみ(名) 眷顧、なさけめぐみ、愛顧
 かへりみち 歸途、歸路、歸程、かへりがけ
 かへりみる(他) 顧春、省、回顧、顧慮、省慮、反慮、みかへる。
 あはれむ。かまふ
 かべぬり(名) 壁塗、職坊工、壁塗、坊者、手鏡、しやかん、左官
 かへる(自) 歸、飯、復還、旋回、翻、反返、復歸、歸來、歸宅、も
 ぞる
 かへる(自) 孵、字、卵が化するをいふ、孵化、うまると
 かへる(自) 養熟、にほる、にわたることくなる(卵くす等
 か) 飼
 かへる(名) 蛙、かはづ、田雞、蝸、蝦蟇、ひきがへる(動物)
 かへる(他) 交換、取換、兌換、とりかへる
 かへる(他) 變易、改、かはらせる。あらたむる
 かへる(他) 漂、さらふ、井水等を
 かへる(副) 重重、かへすがへすも、諄諄
 かへる(名) 蝸、れたまじやくし、活東、活師、懸針、立
 魚、動物)
 かへるまた(名) 發股(破風の構造に用ふる木)
 かへるでの(名) 鷄冠木、かへでの(名) 植物
 かへれとり(名) 替劣、とりかへたればれとりてみゆるこ
 と
 かべかけ(名) 壁帳(壁に垂るる帳幔)
 かべそじよう(名) 壁訴訟、ひとりつぶやき、ひとりかこち
 かべつち(名) 壁坭、白壁、かべぬるつち
 かへつて(副) 却、反之、うつてかはつて
 かへつてとく 却説、さてまた
 かどべ(名) 門邊、いりくちのほどり
 かどり(名) 綉、繡、純絹布の名
 かどり 香取氏、また地名
 かどりつく(名) 加特力(耶穌教を云ふ)、天主教
 かどわかす(他) 勾引、誘拐、畧取、畧賣、さらふ、婦女小兒等
 を
 かどかどしき(形) 稜稜敷、かどだちたる
 かどた 門田(氏)
 かどた(名) 門田(家の門口の近くに在る田圃)
 かどつけ(名) 門附(家の門口をまはる三味線ひき等を
 いふ)
 かどなみ 門並、いへごと、每家
 かどらくしよ 河圖洛書(支那太古の經典の名)
 かどむかへ(名) 門迎、いりくちにてむかふること
 かどう(名) 歌頭、ねんどり、ねんどるひと
 かどう 加藤(氏)
 かどう 下等、ひくきくらゐ、ひくきば
 かどう(名) 家僮、めしつかひのわらは
 かどうまん(名) 河童、まぬなは(植物)
 かどの 葛野(氏、また地名)
 かどのを(名) 看督長、檢非違使の屬官
 かどのこ(名) 鯨、鯨、かすのこ
 かどく(名) 家督(家名相續をいふ)、あどとること
 かどくにん 家督人、あどとり、家嗣、繼嗣
 かどぐち(名) 門口、いりくち
 かどや(名) 門舍、かどにあるへや
 かどや(名) 角屋、かどにあるへや

かへな(名) 替名、變名、異名、役者等多く之を爲す
 がへ(名) 餓草、うゑじに、餓死
 かべのぬき 壁帶、壁を貫く横木
 かべげんざん(名) 壁見參、かげながらまみゆること
 かへふた(名) 替蓋、とりかへふた、かはりのふた(器具の)
 かへで(名) 楓、槭、糖楓、蛙手、もみち、かひで(植物)
 かへさうする(他) 反(身にひきあてて考る也)
 かへさま(名) 反、うらがへし
 かへし(名) 反、切、韻鏡學に言ふ所にして字音を求め得る
 の法)
 かべしろ(名) 防壁(壁の代りに垂るる帳帷の屬を云ふ)
 かべしたち(名) 壁下地、壁骨(壁の心をいふ)
 かへしつ(名) 北風、きたかせ
 かへしうた(名) 返歌(人の讀れくれるに答ふる歌、また長
 歌の後に置く物括の歌)
 かへす(他) 返、復報、還却、返濟、還付、返却、もどす。むくゆ
 る
 かへすがへす(副) 返返、くれぐれ
 かへん(名) 河邊、かはべ
 がへんする(他) 肯諾、承認、了承、應諾、認諾、領承、うけが
 ふ、うけひく
 かど(名) 家鬼、かひうさぎ(動物)
 かど(名) 下土、世界、地球、また僻陬(ひなな)
 かど(名) 角方、すみ(方隅)、また點、廉(俗用)
 かど(名) 門、いりくち
 かど(名) 鯨、青魚、にしん(動物)
 かどら(名) 門出、首途、啓行、出發、發程、いでたち

かどら(名) 門出、首途、啓行、出發、發程、いでたち

かどや 門谷氏
かどま 門真氏
かどまつ(名) 門松一月家の門口に立る飾り松
かどで(名) 首途たびだち
かどさは 門澤氏
【かどさん(名) 家土産、いへうと、みやげ
かどび(名) 門燎、門火招靈祭の日又は送葬の時等に門口
に焚く火
かどひろげる 門廣いへさかゆる
かどもり(名) 關人門番看門門候
かどもりのかみ 關神矢大臣を云ふ
かどん(名) 嘉遼、よをのがれる、隱逸
かどん(名) 河豚、いるか(動物)
かち(名) 徒士諸侯行列の時歩行する士の稱
かち(名) 徒歩、行歩、徒行、歩行、あるき
かち(名) 勝嶺、勝利かつこと
かち(名) 禍、ぬのころも
かち 加治氏
かち(名) 梶、楫、舵、柁、棹、櫂、櫓、船尾に在て其方向を定む
る具
かち(名) 一する(他) 加持、いのり(佛教者の祈禱拂攘を謂
ふ)
かち(名) 鍛冶(かぬち) 鐵工、かぢや
かち(名) 椿、かうす(古語) 植物
かち(名) 雅致、風致、みやび
かちいく(名) 歩兵、歩卒、馬に乗らぬ兵
かちいひ(名) 搗飯、つきめし

かちば(名) 鍛鐵場、鐵工場
かちはだし(名) 徒跣、そはだし
かちはら 梶原氏
かちはらむし(名) 馬蚊、百足、刀環蟲(動物)
かちにげ(名) 勝逃、勝負事に勝て逃去る事
かちほこる(自) 勝誇、勝て自慢する
かちどほし(名) 旗魚、かぢさまぐろ
かちどり(名) 楫師、柁人、楫取、把舵、梶取、楫人、柁師、かん
どり(船柁を主る人)
かちどき(名) 勝鬨、凱歌、巴兪歌、勝利の呼聲
かちる(他) 齧、くひつく、かむ、咬、耗、くひへらす
かちわたり(名) 徒涉、步渡、馮(舟なくして河を渡るを云
ふ)

かち(名) 梶、楫、舵、柁、棹、櫂、櫓、船尾に在て其方向を定む
る具
かち(名) 一する(他) 加持、いのり(佛教者の祈禱拂攘を謂
ふ)
かち(名) 鍛冶(かぬち) 鐵工、かぢや
かち(名) 椿、かうす(古語) 植物
かち(名) 雅致、風致、みやび
かちいく(名) 歩兵、歩卒、馬に乗らぬ兵
かちいひ(名) 搗飯、つきめし

かち(名) 許、もと(人の許を云ふ)、ところ
かりいへ(名) 借家、しやくや、かりや
かりいぬ(名) 獵犬、検、たかいぬ、獵狗
かりろく(名) 詞梨、勒、からかし(植物)
かりば(名) 狩場、獵場、かりするところ
かりばね(名) 刈株、かりかた(木萱の刈りたるあとの株)
かりばなのくつ(名) 鷹鼻之靴、はなたかぐつ(指先の反り
あがれる靴)
かりはし(名) 假橋、かりにかけたるはし、義橋
かりに(副) 假權、しばらく
かりほ(名) 刈穂、かりいぬ
かりほ(名) 假座、かりのいほり
かりどりがま(名) 假種、鎌、いぬ、かりがま
かりの(名) 假殿、行在所(天子の)
かりぢめん(名) 借地面、租地、かりたるぢめん
かりぬし(名) 借主、借主
かりぬひ(名) 假縫、まにあはせぬひ
かりかた(名) 借方、負債主、借主、かりぬし
かりがね(名) 鷹鳴、鷹音、かりのこゑ、又鷹
かりがねさう(名) 猶、はかけさう(植物)
かりかた(名) 刈科、刈株、かりばね
かりようびん(名) 迎陵、頻伽(極樂の鳥の名)
かりよく(名) 蛾、縁、まゆみ
かりたてにん(名) 獵起人、かりいだすもの(獸を)
かりそめ形 假初荷、荷且、ちよつと、造次
かりつか(他) 驅使、たひつかふ
かりね(名) 假寐、うたたね

かち(名) 許、もと(人の許を云ふ)、ところ
かりいへ(名) 借家、しやくや、かりや
かりいぬ(名) 獵犬、検、たかいぬ、獵狗
かりろく(名) 詞梨、勒、からかし(植物)
かりば(名) 狩場、獵場、かりするところ
かりばね(名) 刈株、かりかた(木萱の刈りたるあとの株)
かりばなのくつ(名) 鷹鼻之靴、はなたかぐつ(指先の反り
あがれる靴)
かりはし(名) 假橋、かりにかけたるはし、義橋
かりに(副) 假權、しばらく
かりほ(名) 刈穂、かりいぬ
かりほ(名) 假座、かりのいほり
かりどりがま(名) 假種、鎌、いぬ、かりがま
かりの(名) 假殿、行在所(天子の)
かりぢめん(名) 借地面、租地、かりたるぢめん
かりぬし(名) 借主、借主
かりぬひ(名) 假縫、まにあはせぬひ
かりかた(名) 借方、負債主、借主、かりぬし
かりがね(名) 鷹鳴、鷹音、かりのこゑ、又鷹
かりがねさう(名) 猶、はかけさう(植物)
かりかた(名) 刈科、刈株、かりばね
かりようびん(名) 迎陵、頻伽(極樂の鳥の名)
かりよく(名) 蛾、縁、まゆみ
かりたてにん(名) 獵起人、かりいだすもの(獸を)
かりそめ形 假初荷、荷且、ちよつと、造次
かりつか(他) 驅使、たひつかふ
かりね(名) 假寐、うたたね

かち(名) 許、もと(人の許を云ふ)、ところ
かりいへ(名) 借家、しやくや、かりや
かりいぬ(名) 獵犬、検、たかいぬ、獵狗
かりろく(名) 詞梨、勒、からかし(植物)
かりば(名) 狩場、獵場、かりするところ
かりばね(名) 刈株、かりかた(木萱の刈りたるあとの株)
かりばなのくつ(名) 鷹鼻之靴、はなたかぐつ(指先の反り
あがれる靴)
かりはし(名) 假橋、かりにかけたるはし、義橋
かりに(副) 假權、しばらく
かりほ(名) 刈穂、かりいぬ
かりほ(名) 假座、かりのいほり
かりどりがま(名) 假種、鎌、いぬ、かりがま
かりの(名) 假殿、行在所(天子の)
かりぢめん(名) 借地面、租地、かりたるぢめん
かりぬし(名) 借主、借主
かりぬひ(名) 假縫、まにあはせぬひ
かりかた(名) 借方、負債主、借主、かりぬし
かりがね(名) 鷹鳴、鷹音、かりのこゑ、又鷹
かりがねさう(名) 猶、はかけさう(植物)
かりかた(名) 刈科、刈株、かりばね
かりようびん(名) 迎陵、頻伽(極樂の鳥の名)
かりよく(名) 蛾、縁、まゆみ
かりたてにん(名) 獵起人、かりいだすもの(獸を)
かりそめ形 假初荷、荷且、ちよつと、造次
かりつか(他) 驅使、たひつかふ
かりね(名) 假寐、うたたね

かりらう 假半かりひとや
 かりう(名) 下流、しもながれ、かはしも、しもぎま
 かりう(名) 我流、わがりうぎ、わがままふう、かつてりう

かりうど(名) 獵人、獵者、かりびと、れうし、敗獵者
 かりうち(名) 樽浦、ちよぼ博奕の類

かりうるし(名) 假漆、わにし
 かりのつかひ(名) 雁使、てがみのたどづれ(後漢の蘇武が
 書信を雁に托せしといふ故事より出づ)

かりのやど 假宿、寄寓、客館、逆旅、僑居、客停、旅館
 かりくら(名) 狩庫、狩倉、かりすること、田獵、また狩場か
 りば

かりくらす(他) 狩暮、かりして日をくらす
 かりく(名) 新杣、さりがぶ斬株

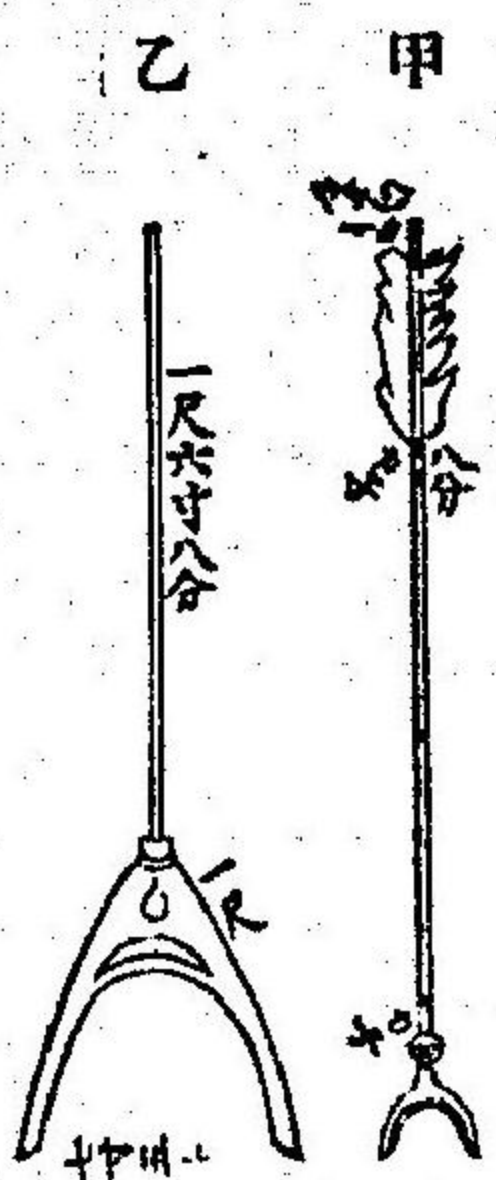
かりくび(名) 斬首、屋頭、さりととりたるくび
 かりや 假屋、假宅、かりは、かりやど

かりやう(名) 河梁、はし、橋梁、かはのはし
 かりやす(名) 刈安、蓋草、茶竹、茶藨、菁茅(植物)

かりやす(名) 獵槍、獵に用る槍の類
 かりやすぞめ(名) 蓋草、染黄尿、染黄色染

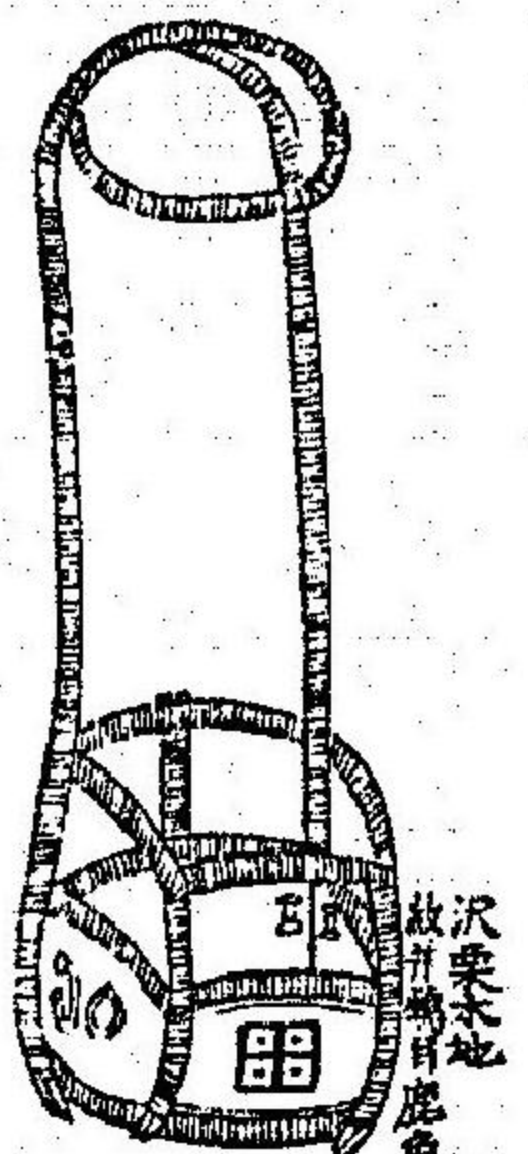
かりまた(名) 馬
 股、刈站、燕尾
 箭(や)のねの
 一種、甲圖は

相摸、國鎌倉
 鶴岡八幡宮
 (圖の股馬)



種時
 かりにびら(名) 狩
 籠、獵籠、往昔狩
 の時に矢を盛
 りたるもの、佐
 竹の舊臣、今村

(圖の籠狩製古)



かりびと(名) 獵師、狩人、かりうど

かりもがり(名) 殯裝、かりうづめ(死人の)
 かりもよほす(他) 驅催、かりあつむる

かりもの 借物、借用品、かりたるもの
 かりもぎ(名) 刈摘、すゑなり

かりすまひ(名) 假住居、かりやどり、寓居、寄寓
 かぬち(名) 鍛冶、かぢ、かぢや(古語)

かる(他) 驅、驅逐、れん、はしらす、驅除、れひのぞく
 かる(他) 借、貸、かりうくる、冒(名)を

かるいし(名) 家累、いへのわづらひ、厄介
 かるば(名) 浮石、海泡石、うくいし、火山の焚け石

かるはづみ(形) 流傳氣、電氣滅金、英語
 かるに(名) 輕荷、輕忽、輕卒、輕逸、かるがるしき

かるわ(名) 輕業、輕態、上竿伎、都盧、あやうさげいごと
 かるわ(名) 輕業師、繩技師、つなわたりするひと
 かるか(名) 糊杖、通條、糊板、鐵炮の丸をこめる棒
 かるがるしき(形) 輕輕取、佻佻、輕佻、輕忽、輕舉、輕躁、卒

の所藏、乙圖は越後國一宮彌彦神社の所藏、鎮西八郎
 爲朝の鎌

かりふ(名) 刈生、刈りたる後に復はえたる草木
 かりぶし(名) 假臥、うたたね、かりね

かりこ(名) 狩子、獵卒、刈卒、せこ、かりたてにん
 かりこ(他) 刈込、剪枝、或葉を、疏、疏開、樹枝等を、また
 剪髪、かみのけをかる

かりこみ(名) 剪髪、かみかりばさみ、剪枝刀、さ
 ばさみ

かりて(名) 借人、かりぬし、借主
 かりて(名) 借代、かりしろ、かりだい

かりで(名) 假手、かさあて、かさのまくら
 かりてい(名) 迦梨帝母、鬼子母神をいふ

かりあつめる(他) 駈集、蒐聚、驅集、人數等を
 かりあふ(名) 狩獲、かりぎぬ

かりさうぞく(名) 狩裝束、かりしやうぞく、かりころも
 かりぎ(名) 借着、借衣、かりたるきもの

かりぎ(名) 漢葱、冬葱、木葱、針葱、わけぎ、ほそぎねぎのた
 ぐ(植物)

かりぎぬ(名) 狩衣、紋色定
 まらず其裁縫布衣に似
 て少く異なり

かりみや(名) 假宮、行宮、あ
 んぐら、かりどの
 かりしは(名) 刈時、かりど

かりしゆん(名) 変時節、かりいれどき(未熟等の)、收割時、
 爾倉卒、かんがへなき、かるはづみなる

かるかや(名) 刈萱、秋の七草の一にて圓き花さく草(植
 物)

かるがゆるに(副) 故是以、因、ゆゑに、このゆるに
 かるた(名) 骨牌、ふた、楊子、弄牌、版牙牌、紙牌、樽浦(奕藏
 の具)

かるたあそび(名) 骨牌藏、かるたあはせ、ふだあはせ
 かるくち(名) 輕口、笑口、利辯、利口

かるや(名) 烘餅、焼たる輕き菓子
 かるこ(名) 輕籠、かるさかど、にもち、人足

かるこの(名) 輕籠者、擔夫、にもち、人足
 かるさん(名) 輕衫、校衫、短股引、はんももひき

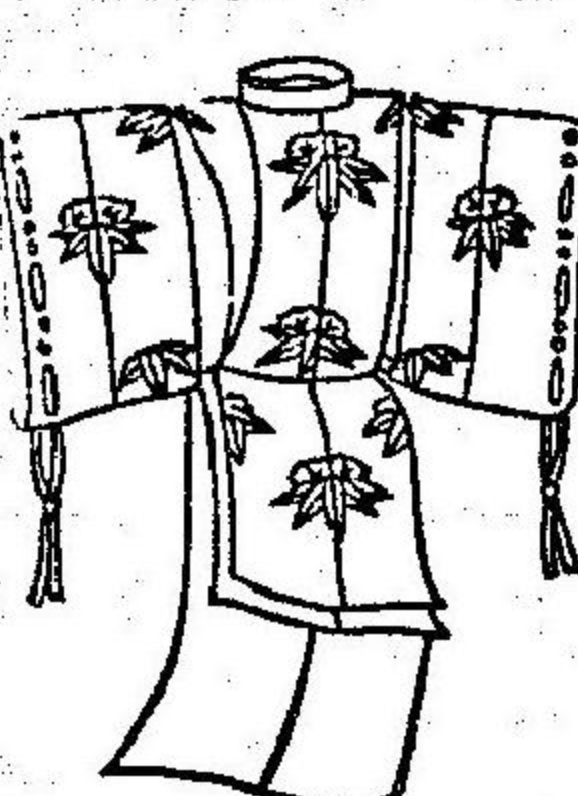
かるき(名) 灰精、あく
 かるきもの 輕衣、輕裝、うすくかるきころも

かるきもの(名) 輕輩、下賤の人々
 かるめいら(或かるめら) 浮石糖、輕半羅、炕糖(砂糖を
 煮て棒にして製する菓子)

かるもの(名) 絹布、さぬもの
 かるり(名) 薰馨香、香氣、にはひ、よきにはひ

かるりか(名) 薰風、春風の如きといふ
 かるりね(名) 香猫、靈猫、靈狸、香狸、じやかうね(動物)
 かるり(名) 香木、沈香、沈水香(植物)
 かるり(名) 麝香、麝香鹿(動物)
 かるる(自) 發馨香、有香氣、かうばしくある
 かるる(名) 家屋、すまひ、いへ
 かるる(名) 假屋、かりや、かりたてや
 かわい(俗) 可愛、あいらしさ、あはれもへき、ちひさ

(圖の衣狩)

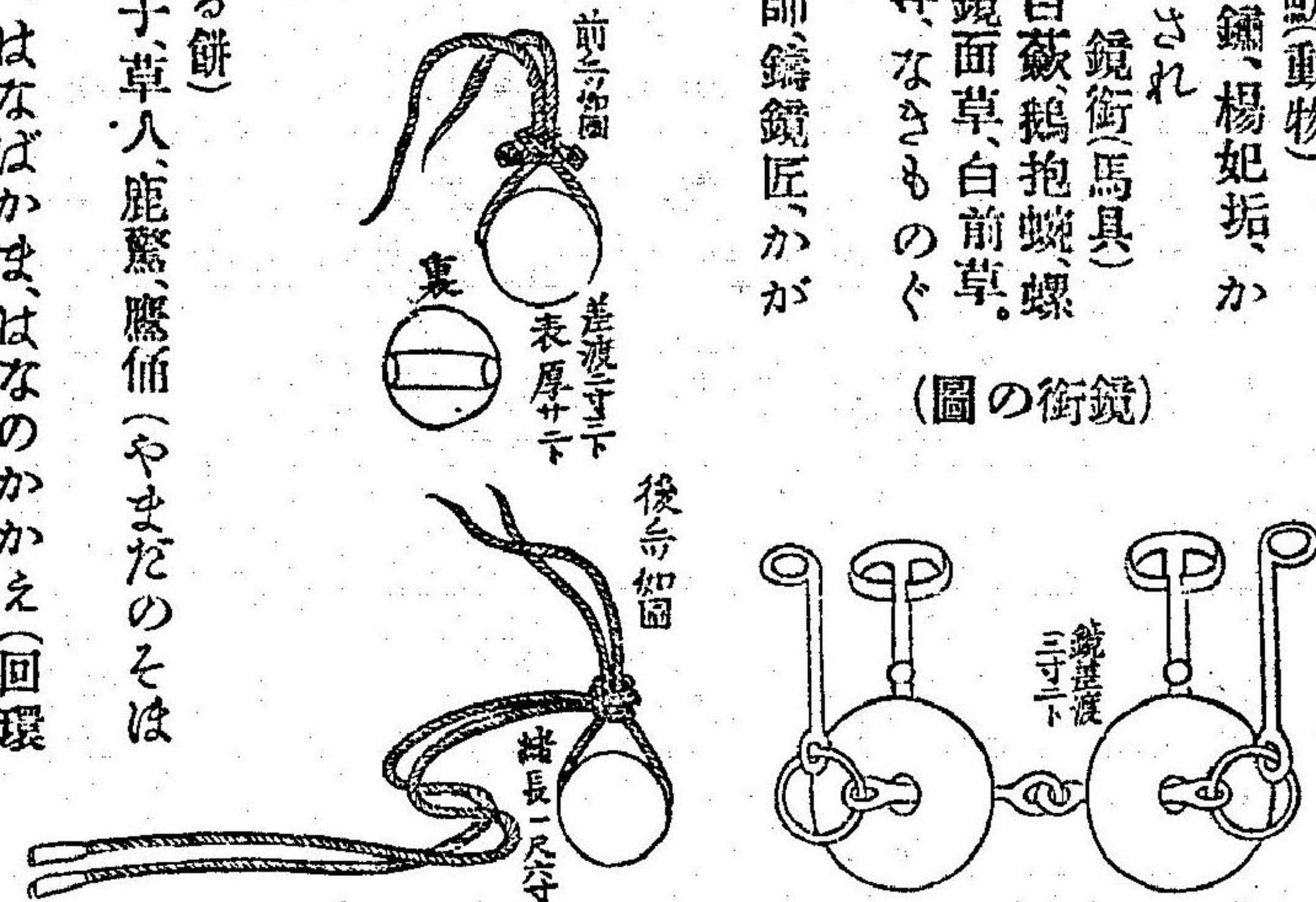


かわいらしい「俗」形 可愛敷、可憐、わいらしき
 かわいさう「俗」形 可愛相、憫然、可憐、おはれなる
 かわかす「他」 乾、干、はす
 かわく「自」 啼、乾、干、ひる、渴、喉が
 かわきつち「名」 槁壤、乾土、かわきたるつち
 かわきのやまひ「名」 消渴、せうかつ、放尿
 かが「名」 呵、呵、はは、わらふこと
 かが「副」 箇箇、ひとつひとつ
 かが「名」 阿母、れつかさん、又家婦、妻、つま
 かが「名」 利くばさ
 かが「加賀」北陸道の一國
 かが「形」 峨峨、山たかさ貌、巖巖、けはしき
 かが「い」 加階、階を進め加ふるをいふ
 かが「いも」 蘿藤、何首烏、植物
 かが「は」 加川、香川氏
 かが「はる」 加賀、拘、かはづらふ、局、拘泥、なづむ
 かが「はゆる」 加賀、拘、かはづらふ、局、拘泥、なづむ
 かが「へいれる」 他、抱入、いだきこむ、又やとひいれる
 かが「へる」 他、抱、かかえる、いだく、だく、又やとふ、臣僕な
 どを
 かが「と」 睡、くびす、あしのうしろ
 かが「ち」 酸醬、ははづき、植物
 かが「り」 倒鈎、釣鈎等のかぎ
 かが「り」 簞、警火、かがりび、戦争其他の時の戒めに焚
 く火
 かが「りう」 食客、寄宿人、むさうらふ

かか「りまけ」 名、費負、入費負、費用多きに過ぐるを謂ふ
 かか「りあふ」 自、係合、懸合、かかはる、たづさはる
 かか「りび」 名、篝火、燎火、屯火、雲火、かがりを見よ
 かか「りもの」 障翳、目とれば雲のさきもの、くもり
 かか「る」 形、斯在、かくある、かくのごとき
 かか「るところ」 浩處、斯處、そのとき
 かか「なく」 自、鳴、なく、さへづる
 かか「む」 自、屈、蟄、ちぢかまる、まがる、僕腰の
 かか「う」 佳穀、佳肴、よきさかな、美味
 かか「く」 名、價格、わたひ、ねだん
 かか「く」 自、遐隔、とほくへ、だたる、隔離
 かか「く」 他、掲、かさあぐる、かきのせる、掲載
 かか「く」 名、雅樂、音樂、れんがく、なりもの、わが
 かか「く」 自、燿燿、光輝、光耀、的、燦、灼、燦、照曜、輝輝
 輝、きらめく、ひかる
 かか「や」 自、わたる、自、輝、わたる、あまねくひかる
 かか「まり」 名、曬、ひかがみ
 かか「げ」 自、掲、掲出、看板杯を
 かか「げる」 他、掲、掲、さへ、に、あ、げ、る、衣等を、掲載、のせる
 (紙上等に) 挑、燈火を
 かか「ふ」 名、假甲、ことづめ、琴爪
 かか「ぶ」 名、金銀蓮、植物
 かか「ぎぬ」 名、加賀絹、絹布の名
 かか「める」 他、屈、まげる、搦
 かか「み」 名、鏡、鑿、鑿、照子、身を照し
 うつす具、本圖なるは伊勢國多



かがみ 度大神宮藏
 かがみ「いし」 名、玉莢、石鏡、すきとほるいし
 かがみ「ばこ」 名、鏡盒、かがみ入れ
 かがみ「どぎ」 名、磨鏡人、磨鏡職、かがみどぎ
 かがみ「たて」 名、鏡架、きやうだい、鏡臺
 かがみ「うを」 名、魴、動物
 かがみ「のさび」 名、鏡鏽、楊妃垢、か
 がみのしみくされ
 かがみ「くつは」 名、鏡銜、馬具
 かがみ「ぐさ」 名、白蕨、鶴抱、蠅螺
 醫草、蘇、蘿、藤、鏡面草、白前草、
 また紫背浮萍、なまものぐ
 さ、植物
 かがみ「し」 名、鏡師、鑄鏡匠、かが
 みつくり
 かがみ「しを」 名、鏡四緒手、鏡
 鏡鞍、馬の四緒
 鞍に付き
 たる紐
 かがみ「もち」 名、鏡餅、圓餅
 (鏡形になせる餅)
 かがし「名」 案山子、草人、鹿驚、鷹怖、やまたのそは
 づ
 かがえ「名」 裏包、はなばかま、はなのかかえ、回環



かが「ひ」 名、耀歌會、往古男女相集りて盆踊の如くに歌舞
 せし其會をいふ
 かが「ん」 名、家監、ようじん、用人、支配人、いへつかさ
 かが「ん」 名、河漢、あまのがは、銀河、又譬へて漠然取りと
 めなき事に用ふ
 かが「ん」 名、可汗、かはん、蒙古等の蕃王の稱、かん、汗
 かが「ん」 名、假體、にせ、いつはりなる、うその
 かが「ん」 名、河岸、かし、かはざし
 かが「ん」 名、假眼、いれめ、つくりめ
 かが「ん」 名、鵝眼、錢の異名、おあし
 かが「する」 自、暇豫、あそびたのしむ、逸豫
 かが「り」 自、寄合、よりあふ、あつまる、か、は添たる音
 かが「る」 自、接近、そばへよる、ちかよる
 かが「る」 自、腰、柔弱たよわき
 かが「よ」 自、通往、還往、ゆきまする
 かが「よ」 自、通帳、賒帳、商家にて得意客に渡しれく
 除賣、預等を記する帳面
 かよ「ひみち」 名、通路、とほりみち
 かよ「ひびつ」 名、通櫃、物いれて持運ぶ櫃
 かた「名」 肩、項の下兩腕の附根
 かた「名」 片、なかば、半

かた(名) 型いかた、模型。また形、象、物体の、かたち
 かた(名) 瀉しほひがた(瀉の干て顯はれたる地をいふ)
 かた(名) 方むき、そのとこ
 かた(名) 抵當、ひきあて

かた 荷田氏

かた(名) 伽陀、偈(佛經中の詩様の句)

かた(名) 癩、かつたい、天刑病、癩病

かた(名) 下體、しも身體の腰部以下をいふ

かた(名) 假貸、ゆるやかにする(責罰等を)

かた(名) 下帯、したのねび、ゆまき

かた(名) 名食、花兒、乞丐、人乞兒、ものもらひ、こじき

かた(名) 架臺、たなだい(物と載る)

かた(名) 片糸、よりいとのかたいつば、ひとこ

かた(名) 堅意地、偏意地、執拗、硬頸、がうじやう

かた(名) 片田舎、僻村、僻郷、僻縣、偏鄙

かた(名) 片膝行、はんひざり、かたあしのるざり

かた(名) 肩息、半死、半生をいふ

かた(名) 片羽、かたつば(鳥の)

かた(名) 癩、不具、からだそらはぬ

かた(名) 偏袒(天竺にて昔は敬禮の時是の如くせり)

かた(名) 抱腹、肋骨、脇骨、たすけぼね、あばらぼね

かた(名) 傍左側、右側、わき、脇、よこつばら

かた(名) 癥瘕(腹の堅くなる病にて膽の結石に因る)

かた(名) といふ、臍石

かた(名) 偏腹痛、傍痛、をかしき、わらふべき

かた(名) 片側、半面、かたつら

かた(名) 片生、幼女、八九歳ぐらゐの女子をいふ

かた(名) 片思、單情、片戀慕、かたこひ、ひとりねも

かた(名) 片圓(氏)

かた(名) 比肩、拮抗、相比

かた(名) 片破、偏破、なかばわれたる

かた(名) 片假名、偏假字、アイウの類の假名をいふ

かた(名) 片假名、偏假字、アイウの類の假名をいふ

かた(名) 片假名、偏假字、アイウの類の假名をいふ

かた(名) 片假名、偏假字、アイウの類の假名をいふ

かた(名) 片假名、偏假字、アイウの類の假名をいふ

かた(名) 片假名、偏假字、アイウの類の假名をいふ

かた(名) 片假名、偏假字、アイウの類の假名をいふ

かた(名) 片假名、偏假字、アイウの類の假名をいふ

かた(名) 片假名、偏假字、アイウの類の假名をいふ

かた(名) 片假名、偏假字、アイウの類の假名をいふ

かた(名) 片假名、偏假字、アイウの類の假名をいふ

かた(名) 片假名、偏假字、アイウの類の假名をいふ

かた(名) 片假名、偏假字、アイウの類の假名をいふ

かた(名) 片假名、偏假字、アイウの類の假名をいふ

かた(名) 片假名、偏假字、アイウの類の假名をいふ

かた(名) 片假名、偏假字、アイウの類の假名をいふ

かた(名) 片假名、偏假字、アイウの類の假名をいふ

かた(名) 片假名、偏假字、アイウの類の假名をいふ

かた(名) 片假名、偏假字、アイウの類の假名をいふ

かた(名) 片假名、偏假字、アイウの類の假名をいふ

かた(名) 片假名、偏假字、アイウの類の假名をいふ

かた(名) 片假名、偏假字、アイウの類の假名をいふ

かた(名) 片假名、偏假字、アイウの類の假名をいふ

かた(名) 片假名、偏假字、アイウの類の假名をいふ

かた(名) 片假名、偏假字、アイウの類の假名をいふ

かた(名) 傍目、をかめ、はため
 かた(名) 片方、かたはら、かたかた
 かた(名) 方波見(氏)
 かた(名) 酢醬草、鳩酸草、すくさ、すいものぐさ、三葉
 酸酢漿植物

かた(名) 片端、かたはらのはじ、はじ

かた(名) 跛人、不具者、畸形者、癩人

かた(名) 片帆、船の帆の一方をいふ

かた(名) 片類、一方のははべた

かた(名) 肩骨、髑髏、缺盆骨、かひがね、肩髀骨

かた(名) 傍、かたはら、側、そば

かた(名) 燕脂、えんじ、くちべに

かた(名) 形取、形像、象貌、偵、にせる

かた(名) 片時、へんじ、半時

かた(名) 形像、容貌、骨法、形體、形象、形容、狀

かた(名) 態、形狀、すがた

かた(名) 堅地、かたきつち

かた(名) 威儀、禮貌、禮儀を以て進退する事

かた(名) 威儀、禮貌、禮儀を以て進退する事

かた(名) 威儀、禮貌、禮儀を以て進退する事

かた(名) 威儀、禮貌、禮儀を以て進退する事

かた(名) 威儀、禮貌、禮儀を以て進退する事

かた(名) 威儀、禮貌、禮儀を以て進退する事

かた(名) 威儀、禮貌、禮儀を以て進退する事

かた(名) 威儀、禮貌、禮儀を以て進退する事

かた(名) 威儀、禮貌、禮儀を以て進退する事

かた(名) 威儀、禮貌、禮儀を以て進退する事

かた(名) 威儀、禮貌、禮儀を以て進退する事

かた(名) 威儀、禮貌、禮儀を以て進退する事

かた(名) 威儀、禮貌、禮儀を以て進退する事

かた(名) 威儀、禮貌、禮儀を以て進退する事

かた(名) 威儀、禮貌、禮儀を以て進退する事

かた(名) 威儀、禮貌、禮儀を以て進退する事

かた(名) 威儀、禮貌、禮儀を以て進退する事

かた(名) 威儀、禮貌、禮儀を以て進退する事

かた(名) 威儀、禮貌、禮儀を以て進退する事

かた(名) 威儀、禮貌、禮儀を以て進退する事

かた(名) 威儀、禮貌、禮儀を以て進退する事

かた(名) 威儀、禮貌、禮儀を以て進退する事

かた(名) 威儀、禮貌、禮儀を以て進退する事

かた(名) 威儀、禮貌、禮儀を以て進退する事

かた(名) 威儀、禮貌、禮儀を以て進退する事

かた(名) 威儀、禮貌、禮儀を以て進退する事

かた(名) 威儀、禮貌、禮儀を以て進退する事

かた(名) 威儀、禮貌、禮儀を以て進退する事

かた(名) 威儀、禮貌、禮儀を以て進退する事

かた(名) 威儀、禮貌、禮儀を以て進退する事

かた(名) 威儀、禮貌、禮儀を以て進退する事

かた(名) 威儀、禮貌、禮儀を以て進退する事

かた(名) 威儀、禮貌、禮儀を以て進退する事

かた(名) 威儀、禮貌、禮儀を以て進退する事

かた(名) 威儀、禮貌、禮儀を以て進退する事

かた(名) 威儀、禮貌、禮儀を以て進退する事

かた(名) 威儀、禮貌、禮儀を以て進退する事

かた(名) 威儀、禮貌、禮儀を以て進退する事

かた(名) 威儀、禮貌、禮儀を以て進退する事

かた(名) 威儀、禮貌、禮儀を以て進退する事

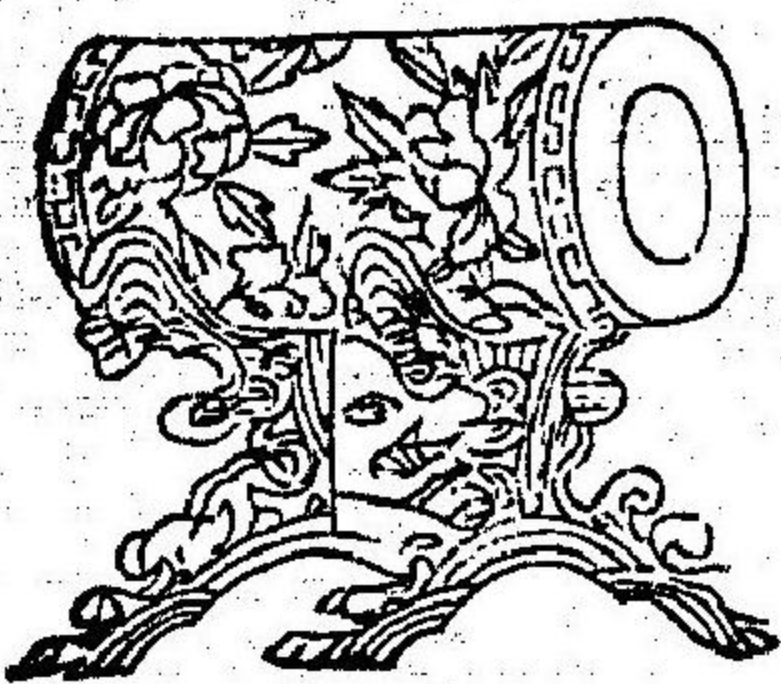
(圖の盾肩)



の人また月自身をいふ
 かつらのを(名) 葛絨、ここのを
 かつらまき 葛巻(氏)
 かつらぎ 哥枕(氏)
 かつらめ(名) 桂女(婚禮の時新婦に従ふ者、勝よめのこと)
 もをんな

かつら(名) 鞆(かたばね)
 かつらのきぬ(名) 勝軍木(植物)
 かつら(他) 擔、負、負擔、になふ、ねふ
 かつくわさい(名) 葛花葉、くづたけ(植物)
 かつくわしん(名) 葛花葷、べにたけ(植物)
 「かつや」 葛野、かどの(氏)
 かつやかす 合飢(うゑさする)「かつける」の他(動物)
 かつやま 勝山(氏)
 かつま(名) 羯磨(けも)密家の法器の名
 かつまた 勝間田(氏)
 かつまん(名) 葛蔓、かづら(植物)
 かつけ(名) 脚氣脚疾、おしのけ、ペリペリ
 かつける(他) 歸負、おはせる、かぶせる(罪惡等を他人に)
 かつけもの(名) 被物、纏頭、は
 なたまもの、賜物

(圖の鼓鞆)



かつこ(名) 蟻虎、ひも(動物)
 かつこ(名) 羯鼓(樂器)(本圖)

かつぎ(名) 擔商、行商、かつぎうりするひと
 かつぎ(自) 割據(わたり)する諸侯等が國內の地を奪てしむるをいふ

かづさめ(名) 潛女、もぐりをんな(海中へもぐる女、海婦)
 かつめい(名) 渴命、かつえじに(飢渴に死ぬる事)
 かつみ(名) 蒲黃、蒲花、がまのはな(植物)
 かつみ 勝見(氏)

かつし(名) 甲子(十干十二支をいふ)
 かつしよく(名) 褐色、かちんいろ、かついろ
 かつしう(名) 渴境、こまがしら(動物)
 かつしうこく 合衆國(北米利堅の聯合國)
 かつしうさようち 合衆共和政治をいふ

かつしや(自) 割棄、れうりする
 かつしやう 賈商、こすい(わさうと)狡猾の商人
 かつしやう[する] 合掌、てをわはする
 かつしやうだち(名) 合掌立、手を合せて立ちをる事
 かつじやうてい(ちやう) 葛上亭長、まめはんめう(動物)

かつしん(自) 割收、科歛、かりいれる
 かつしん(自) 飢餓、餓、うゑる、ひもじくなる
 かつせい 割勢、さんたをさる(割斷腎勢の義にして男子にいふ)
 かつせん(名) 合戦、戦闘、たたかひ

かつすい 渴睡、ねたらぬこと
 かつすい 渴水、ひでり、みづぎれ

かね(名) 金、金屬(金銀、銅、鐵、鉛、白銀、水銀、黃銅、青銅、鐵、鋼、錫、亞鉛、錫鐵の類を皆かねといふ)、又貨幣、金錢

るは河内國琴田八幡宮藏
 かつこどり(名) 鳩鳩、かんどり、鳩鳩(動物)
 かつこん(名) 葛根、くすのね(藥品)
 かつて(副) 當會、さきに一時
 かつて(俗)(名) 勝手(都合の善き事)、又だいどころ、うち

かつて(俗)(名) 勝手方、まかなひかた、管家
 かつて(自) 合縁、あはせとづる
 かつて(俗)(名) 勝手向、くらしかた
 かつて(名) 渴鳥、みづぶきかけ、噴水器
 かつて(名) 便室、ひまくつろぎま
 かつて(名) 便門、通用口を云ふ、又うちうち、だいで

かつてん(自) 合點、あはせはうむる
 かつあい 割愛、おもひきる(珍重する物を手放す時に)
 かつあつ(名) 鶺鴒、よしむし(動物)
 かつあつて(名) 鞆、鞆、もす、反舌(動物)
 かつさ(名) 上總(東海道の一國)
 かつさい(名) 上り(自) 喝采、ほめことば、やんや、どよめ

(圖の衣被)



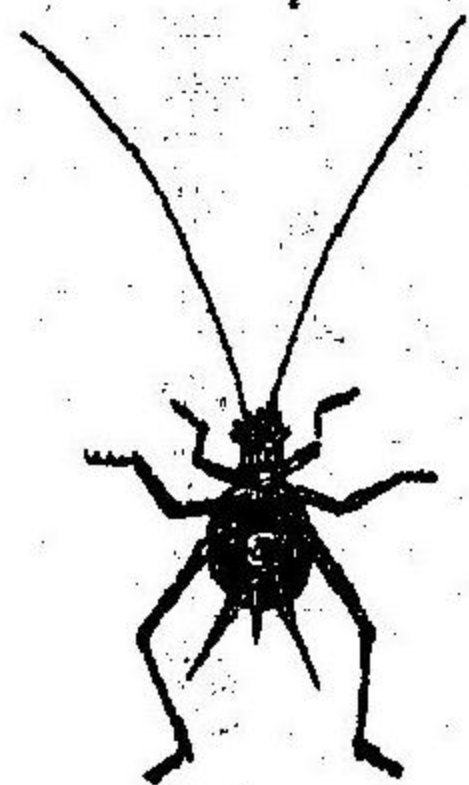
かつさう(自) 合葬、あはせはうむる
 かつさん(自) 喝讀、とつとほむる(喝采)
 かつき(名) 鹽麩子、ぬるで、かつのきぬるで(植物)
 かつき(名) 被衣、蒙衣、帽衣
 (婦人が外に出る時)
 に纏ひし衣
 かつぎ 勝木(氏)

かね(名) 鐘、つしがね、鉦(たががね)
 かね(名) 曲尺、勾尺、まがりかね、かねざし
 かね(名) 鉄漿、はぐろ、かねのさび
 かねいれ(名) 金入、金囊、財囊
 かねば(名) 金箱、貨幣函、弗箱(だらばこ)

かねなる(名) 成金、死ぬるを謂ふ
 かねほり(名) 礦夫、金山銅山に働く人夫
 かねる(他) 兼、兼帶、また攝、包つむ、いる
 かねる(自) 難、不能、不得、かたくある、あたはぬ

かねがね(副) 兼、兼預、まへかたより
 かねか(名) 金貸子、錢家、かねかすひと
 かねだ 金田(氏)
 かねた(名) 鉦、鉦、鉦

(圖の敲鉦)



かねつば(名) 鐵漿壺
 かねづく 爲金、爲財
 かねのため
 かねつけい(名) 試金石(金の善惡を試る石)
 かねつけい(名) 染齒、蜻蛉、紺、こんやとんぼ(動物)

かねつ(名) 鐘樓、つりがねだう
 かねのつる(名) 金蔓、金脈、鐘(金の脈路を云ふ)、又金を得る手蔓
 かねのて(名) 曲尺形、曲尺の如くに曲りたる形
 かねのさび 金屬錆、かなものさび、また錢幣、ねはぐろ

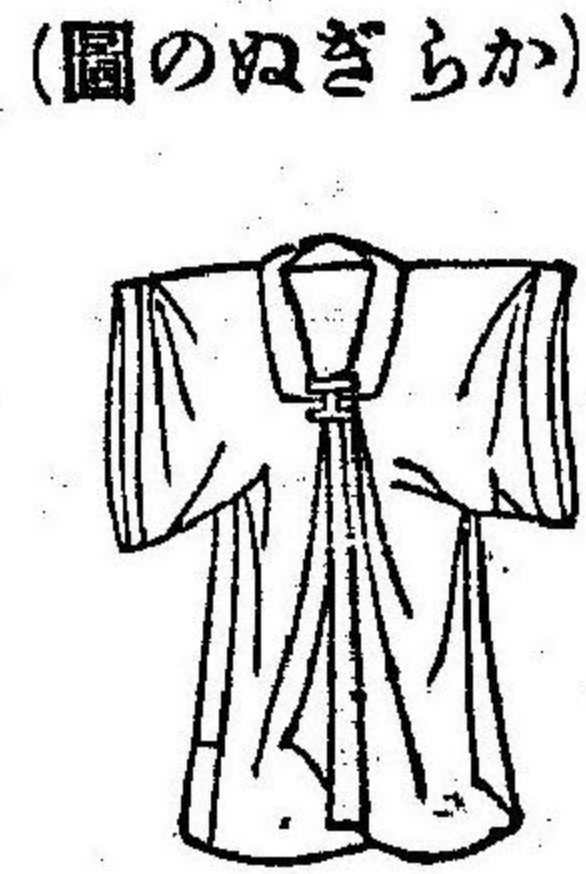
かねぐら(名) 金庫、金藏、財倉、國庫
 かねくさ(名) 尖鐵、かねのくさび
 かねやす(名) 金保、金安、兼康(氏)
 かねまはり(名) 金融(金錢の融通)
 かねまつ(兼松(氏))
 かねまうけ(名) 金得、金儲、利潤、かねをうるこ
 かねまき(印牧(氏))
 かねよで(名) 鉄槩筆、ねはぐらふで、かねつけふで
 かねふき(名) 金吹、冶金家、かねをふきわくるひと
 かねこ(金子(氏))
 かねごと(名) 前約、豫言、まへもつていひかはせしこと
 かねて(副) 豫、兼、まへもつて、すでに
 かねざし(名) 曲尺、さしがね、みじかさものさし(吳服ざしに對す)
 かねもち(名形) 金持、富豪、財産家、豪商、豪農、豪家、金満家
 かね(名) 哉、矣(歎感の辭)
 かね(名) 假字(いろはの如き者)をいふ
 かね(名) 紺絲、こんいと
 かね(名) 欲(深く願ふの意)を言顯はす語
 かねい(家内、いへのうち、いへのもの、家族、家眷、また妻、女房)
 かなる(金井(氏))
 かないろ(名) 銅銚、かねのさけつき、銚子
 かないぢ(家内中、闔家、いへぢ、全家)
 かなばさみ(名) 鐵針、火針、かなばし、ひばし
 かなはかり(名) 門竿、けんざを
 かなばし(名) 鐵鉗、火鉗、鋸、火箸、ひばし

かなづかひ(名) 假名遣、假名使用法、かなのつかひ、かたかなつくり(名) 金工、かざりや
 かなつめ(金集(氏))
 かなつんぼ(形名) 鐵鑿、耳聾、聾、まつたくつんぼ(すこしもきこえぬをいふ)
 かななべ(名) 鍋、かねのなべ、なべ
 かならず(副) 必、必然、是非(せひ)
 かなむぐら(名) 葎、葛、勒、蔓、澁、蕪、植物
 かなう(名) 荷囊、さんちやく、かねいれ
 かな(名) 金具、かねのうつけ、又、飾、金物、飾
 かな(名) 掻、採、採、ねぢ、とる、ひきぬく
 かな(名) 鐵屑、鐵尿、鐵滓、鐵渣、鐵落、かながす
 かな(名) 鐵靴、かねのくつ(馬の)
 かな(名) 金鞋師、蹄鐵工、馬に金の鞋をうつ人
 かな(名) 金庫、かねいれたるくら
 かな(名) 鉄(農夫が用ひて土をこなす具)
 かな(名) 金索、鐵、かねのくさり
 かな(名) 鐵釘、かねのくぎ
 かな(名) 鑛山(即ち銅坑、金坑、銀坑、鐵山、鉛山、銀山等)
 かな(名) といふ
 かな(名) 金梳、鏡、かねのわん
 かな(名) 金丸(氏)
 かな(名) 金氣、かねのくされたるあぢはひ
 かな(名) 叶、協、合適、諧稱、慝協、協合、あふ、よくあふ
 かな(名) 十七夜月(氏)
 かな(名) 加納(氏)
 かな(名) 金佛、かねのはとけ

かなばえ(名) 鐵盤、かなだらひ
 かなぼとけ(名) 金佛(金像、銅像、鐵像等)と凡てし(かいふ)
 かなはだし(名) 錠、罪人の足にかくる具
 かなぼう(名) 鐵棒、てつのぼう
 かなぼう(俗名) 鐵棒、杖(祭禮等に鐵棒ひき歩く者)
 かな(名) 又、ねしやべり、はなしあくるをえな
 かな(名) 鼎、あしがな
 かな(名) 泥鑄、鐵匙、かねのへら
 かな(名) 鑛、鐵砧、鐵床、かなしき(鍛冶が金屬と鍛鍊する時に載てうつ者)
 かな(名) 銅、かねのとゆ
 かな(名) 可也、隨分(するぶん)
 かな(名) 加、拿、利亞、鳥、時辰雀、とりのな(動物)
 かな(名) 鎮東、鎮輪、かねにてつくりたるわ
 かな(名) 假名書、かなにてかきたる
 かな(名) 火魚、方頭魚、金首魚、六角魚(動物)
 かな(名) 銅、銅螺、かねじやくし
 かな(名) 鐵滓、金滓(金屬を鎔したる跡に遺る屑、かながす)
 かな(名) なくづ
 かな(名) 銅、銅盤、真鍮盤(かねにてつくりたるたらひ)
 かな(名) 金工、かざりや
 かな(名) 彼方、此方、あちこち、方方
 かな(名) 金、椀、眼、大に開きたる目をいふ
 かな(名) 鐵椎、鐵槌、かねのつち(工具)
 かな(名) 奏、ひく、ならす(琴瑟を)
 かな(名) 銅、銅、かねのつるべ
 かな(名) 假名文、かぢがきのぶん
 かな(名) 鐵、かねのてこ
 かな(名) 銅、鐵、鐵線、かねのあみ
 かな(名) 金澤、文庫(武藏久良岐郡の金澤に北條顯時が建たる書籍館をいふ)
 かな(名) 金巾、西洋布、うすきぬの
 かな(名) 要、扇のくるるを謂ふ、要點、だいのところ
 かな(名) 鐵漿、ねはぐら、かね
 かな(名) 悲哀、慟、哭、憤、悽、愴、悲、哀、悲、慘、悲、愁、悲、歎、
 かな(名) 悲、憤、辛酸、辛楚、苦楚、號泣、斷腸、なげく
 かな(名) 愛、憐、いとほしむ、あはれむ
 かな(名) 銅、杓子、かねのしやもじ
 かな(名) 悲、慘、なげかはしき、可歎
 かな(名) 鐵、鉄、かねのくさり
 かな(名) 悲哀、かねしむを見よ
 かな(名) 鐵、火、筆、かねのひばし(「かなばし」を見よ)
 かな(名) 黃、麻、つな(植物)
 かな(名) 黃、麻、かなびきを(植物)
 かな(名) 百、葉、草、くさのな(植物)
 かな(名) 金、森(氏)
 かな(名) 金物、かねにてつくりたるもの、飾、飾、鐵物、
 かな(名) 假名文字(いろはの如き文字)をいふ。又、女文字
 かな(名) とも(氏)

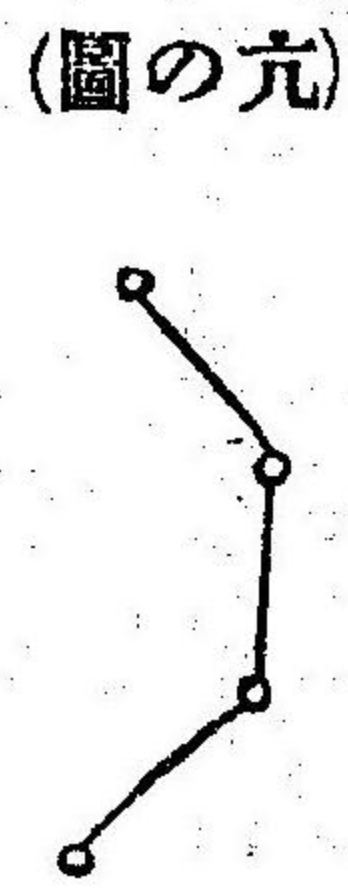
かな(名) 假名文字(いろはの如き文字)をいふ。又、女文字
 かな(名) とも(氏)

からさけ(名) 焼酒焼酎せうちう、火酒
 からさげ(名) 干維、はしげけ(はしげやけ)、しほびきさげ
 からさえ(名) 韓才(詩文の才などを謂ふ)
 からさ(形) 辛五味の二、辣びりびりする
 からさ(形) 昔(政事の嚴酷なる等に云ふ)、むごき、苛刻
 からさ(名) 唐木、からのさしなのさ
 からさぬ(名) 禱子(樂人又は
 諸舞人等の着せし者)
 からささいく 唐木細工(支那
 木にて作れる細工物)
 からさめ 辛目、つらさ、くる
 しきこと、困難
 からめどる(他) 搦捕速捕、拿捕、めしどる、しぼる、捕縛
 からめる(他) 搦、捕しぼる、からめどる
 がらめく(自) 舜、舜舜、舜舜がらがいふ
 からめて(名) 搦手(城の後門を云ふ)
 からみ(名) 辛味、からさあぢはひ、鹽、椒料、からさあぢは
 ひのくひもの(薬味にいふ)
 がらみ(名) 野葡萄(植物)
 からみつ(自) 絡着、からみつをみよ
 からし(名) 芥子、芥菜、辛辣、芥辛菜(植物)
 からしつぼ(名) 芥子壺、からしかくいれもの
 からしうけ(名) 芥子漬(茄子等を芥子と鹽の中に漬けた
 るをいふ)
 からしな(名) 芥菜、ほりいりな、たかな、菘(植物)
 からしじ(名) 狻猊(動物)
 からしす(名) 芥酢、からしませたるす



(圖のぬぎさらか)

からえ(名) 蘇麻、たうごま(植物)
 からえ(名) 唐畫、たうぐわ(支那の畫また支那風の畫)
 からえづき(名) 嘔逆、嘔吐、はきたが
 からえひ(名) 王餘魚、かれひ(動物)
 からひとつば(名) 金星草、七星草(植物)
 からびる(自) 乾枯、ひあがる
 からひつ(名) 韓櫃、唐櫃、からうと(朝鮮風の箱をいふ)
 からもも(名) 杏、あんず、巴旦杏、壽星桃(植物)
 からせき(名) 乾咳、痰の無き咳嗽をいふ
 からす(名) 烏鴉、ひもすどり、慈鳥、孝鳥、寒鴉、黒鳥(動
 物)
 からす(他) 枯槁、酒、かれしむる
 からす(他) 離はならず
 からす(名) 嚙拉、硝子、玻璃、ぎやまんびいどろ
 がらすいた(名) 玻璃板、ぎやまんびいた
 からすばい(名) 鴉羽色、黒色、くろいろ
 からすへび(名) 烏蛇、黒花蛇、蛇(動物)
 からすがね(名) 烏金、日歩、ひなしがね
 からすがひ(名) 烏貝(海の貝蟲の名)(動物)
 からすなへり(名) 轉筋、こむらがへり
 からすむぎ(名) 雀麥、燕麥(植物)
 からすうり(名) 王瓜、天瓜、たまづさ、ひさごうり、老鴉瓜、
 栝樓、澤姑(植物)
 からすのあぶら(名) 土大黃、またいわう(植物)
 からすぐろ(形) 烏黒、まつくろ、鷲馬の毛色にいふ
 からすまる 烏丸氏また地名
 からすまめ(名) 山黑豆のささげ(植物)
 かむりし(名) 冠師、かぶりし、かんむりつくるひと
 かむがかり(名) 神託、託宣、かみよせ、憑談(神が人にのり
 移りて語を垂る事)のりき
 かむさつか(名) 堪察加(露領西比里亞の東端の地)
 かう(名) 亢(二十八宿の一)
 して東方に位す
 かう(高氏)
 かう(名) 香たきもの、薰物香
 物、かうばしもの
 かう(名) 孝子の親に事ふる道、孝行
 かう(名) 郊、まちはづれののはら、郊地、郊野、外郊
 かう(名) 行、ゆくこと、たびたち、又みせ(舖)
 かう(名) 蟹、蟹、よなむし(動物)
 かう(名) 毫、ふで、又すこしばかり、つゆ
 かう(名) 號、な名號、となへ、又かす、番
 かう(名) 郷、さと、むなか、くにどころ
 かう(名) 更衣、ころもがへ(衣服を着かふる事、また天
 子の御衣を掌りし女官にて女御の下に位す)
 かう(名) 交意、まじはり、交誼
 かう(名) 交意、まじはり、交誼
 かう(名) 綯、ね、ねはそぢ、ねはづな
 かう(名) 綯、ね、ねはそぢ、ねはづな
 かう(名) 豪逸、はしひま、まらいらく、おほぼつばら
 かう(名) 交友、ともだち、朋友
 かう(名) 香油、にはひあぶら
 かう(名) 香油、にはひあぶら
 かう(名) 遊遊、たのしみあそび
 かう(名) 遊遊、たのしみあそび
 かう(名) 豪右、ぶげん、豪族、ねはひなるひと
 がう(名) 豪右、ぶげん、豪族、ねはひなるひと
 がう(名) 剛勇、たけき、つよき、いさまじき

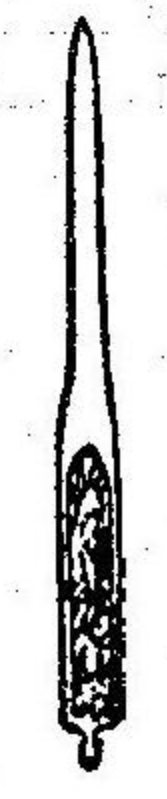


(圖の亢)

からすごま(名) 田麻(動物)
 からすわぶき(名) 射干、ひあぶき、ぬばたま、烏扇草、野薑
 花、烏蓮、やかん(植物)
 からすさんせう(名) 烏山椒、食菜、蕒、樞(植物)
 からすき(名) 犁(農具)
 からすきぼし(名) 參星、二十八宿の一、參を見よ
 がらすきり(名) 玻璃、鏡刀、金剛石刀
 からすみ(名) 繼子、鮪、はしうをこ、はしはらご、さかな
 のはしたるこ
 からすびさく成(からすびさく)(名) 半夏、守田草、和姑草、
 ほそくみ(植物)
 がらすびん(名) 硝子壺、ぎやまんびり
 がらん(名) 伽藍、てら、精舎(梵語)
 がらんかう(名) 伽藍香、さやら(伽羅)
 がらんのしちだう 伽藍七堂(三門、佛殿、法堂、方丈、食堂、
 浴室、東司といふ)
 がらんてう(名) 鴉、鴉、塘鴉(動物)
 かむ(他) 嚼、嚼、咀、咬、吹、齧、齧、齧、にて物と碎く
 かむろ(形名) 禿、禿人、禿、かぶろを見よ
 かむちよし(名) 黃脚、どりのな動物
 かむとこ(名) 神牀、神を祭る處
 かむとぎ(名) 霹靂、かみとけ、かみなりのれつること、ね
 ほがみなり
 かむり(名) 冠、かぶり(此假名の者は凡て「かぶり」の下を
 見るべし)
 かむりどり(名) 鸚鵡(動物)
 かむりがひ(名) 虎頭、螺(動物)

かうりよ(名) 行旅たびたびあるさ
 かうりよ(名) 一する(他) 考慮かんがへかんがへる
 かうりよ(名) 岡陵をかたかみ
 かうりよ(名) 効力ちからささめ功能成果
 かうりよ(名) 咬嚼(咀嚼) しゃがい(植物)
 かうりよ(名) 亢龍之悔(身の榮達よりして生ずる悔
 といふ)
 かうりやう(名) 較量くらべはかる
 かうりき(俗)(形) 強力、剛力、ちからつよき、又修験者
 の類をいふ
 かうりん(自) 降臨、おまくだる(天神等が)
 かうを 好悪、このみにくみ
 かうわ(自) 講和、講和、やはらぐ、和睦
 かうわん(自) 敲響、たたきまぐる
 かうわん(名) 港灣、みなと、ふなつき
 かうか(名) 香茄、まつはぐさ(植物)
 かうか(名) 耕稼、たがへしまきつけ
 かうか(俗) 高價、たかねだん、かうぢき
 かうか(名) 糠蝦、わみ(動物)
 かうか(自) 降下、くだる(高き所より)
 かうか(自) 交架、たがひちがひにわたす
 かうか(名) 姪娥、つぎのかみ(女神にして月中に住む又婦
 娥といふ、堯の女が上りて化せしといひ傳ふ)
 かうか(名) 豪家、かねもち、ぶげん
 かうか(形) 聾牙、聴聞するを好まぬ、或は解し難き意
 かうかい(名) 航海、うみをわたること、渡海

かうがい(名) 頭弁、かみさし掃枝、髪搔、かみかき(婦女が
 髪にさす具)
 かうがい(名) 弁(刀劍に 弁)
 挿す者此圖なるは會 圖
 津家臣坂本覺兵衛所 (圖)
 藏の足利尊氏が太塔宮より拜受せし者
 かうがい(自) 慷慨、うれたくれもふ、いさよはる、よ
 をうれふる
 かうかい(名) 熬海鼠、いりこ(動物)
 かうがい(名) 苔草(植物)
 かうが(名) 勘文、かもん、かんもん
 かうか(形) 狡黠、狡猾、わがしこさ
 かうか(形) 鞞、いりみだれたる貌
 かうか(名) 孝行(親に善く事ふる事)
 かうか(自) 校考、しらべかんがへる(文章等を)
 かうか(形) 姣好、うるはしき美
 かうか(自) 抗衡、たちさからふ(長上に)さそふ、
 せりあふ
 かうか(自) 航行、のりわたる(海上を)
 かうか(形) 皎皎、しろさ、あきらか、さよらか
 かうか(形) 膠膠(混雜の貌)
 かうか(形) 歌歌、ひかりかがやく、あきらか、ひかる
 かうか(形) 清濁、さらさら、さらめく
 かうか(形) 鏗鏘、玉等の鳴り音をいふ
 かうか(形) 嗷嗷、かまびすしき、やかましき
 かうか(形) 神神、數々、伶俐、發明なるをいふ
 かうか(名) 合歡木、かふかのき、ねむひのき(植物)



かうかく(名) 行客、たびびと、旅客
 かうかく(名) 講學、ものまなび
 かうか(名) 一する(自) 交合、まじはり(男女の)交接、い
 ろまじはる
 かうか(名) 高加索(世界五人種の一にして東歐地方の
 山地より起れり)
 かうかん(名) 港岸、ふなつき、みなと、べ
 がうかん(名) 一する(他) 強姦、がういん、婦女を無理に犯
 すをいふ
 かうより(名) 紙捻、紙縷、かみより、こより、もとゆひ
 がうより(名) 強姦、ねほよくばり、大慾
 かうたい(名) 一する(自) 交代、いりかはり、いりかはる、更
 代
 かうたい(名) 交態、なかなからひ(朋友の)まじわり
 かうだい(名) 香囊、かうづくろ
 かうたり 神足(氏)
 がうだつ(自) 強奪、劫奪、うばひとる
 かうたう(名) 炕糖、かるめら
 かうたう(名) 荇菁、あんなべら
 かうたう(形) 浩蕩、れほいなる、ひろさ
 かうたう(自) 高踏、けだかくをる(官位等に懸懸たらす
 して勇退して自ら屑ようするを謂ふ)
 かうたう(自) 敲撞、うつ、つく(鐘等を)
 かうたう(名) 簡棹、ふねのさそ
 かうたう(名) 孝道(孝行の道)
 かうたう(名) 講堂書を講する所
 がうたう(名) 強盜、劫盜、ねしこみ、どろぼう

かうたく(名) 行囊、たびにもつ行李
 かうたく(名) 膏澤、うるほひ、めぐみ、恩澤
 かうたく(名) 更闌、よふける(夜深也)
 かうたけ(名) 香菌、かうばしき、このこ、しひたけ(植物)
 かうたん(名) 一する(自) 降誕、くだりうまること、降世
 くだりうま(天神が地上に)
 かうたん(名) 香壇、かうをたくだん
 かうたん(名) 齧斷、噛断、かみきる(齒にて)
 かうたん 高談、けだかきはなし、たほいあるはなし
 かうたん(名) 講談、はなし、演説、講演
 がうたん 豪膽、ふとささきも
 がうたん 毫端、ふでさき筆端
 かうだん(名) 講談師、はなしか、かうしやくし
 かうれい 高齡、たかさよはひ、わいたるとし
 かうれい 高嶺、たかきみね、たかね
 かうれい(形) 抗戾、こむさもどる
 かうれい(名) 綱領、かうりやう、ねほづな、ねほかど、ねほ
 すぢみち
 かうれい(名) 伉儷、つれあひ、配耦
 がうれい(名) 一する(自) 號令、指揮、命令、げちする
 がうれいてんわう 孝靈、天皇人皇第七代の帝
 かうれう(名) 香料、せんかうれう、かうでん
 かうれう(名) 校初、かるさん、ももひき
 かうれき(自) 更歴、ふる、へる
 かうそ(名) 高祖、ひいぢぢ(父の父の又父。また第一の創
 立者をも然か名く)
 かうそ(名) 香鼠、ちやかうねずみ(動物)

かうぞ(名) 楮からすかみのき(植物)
かうそ(名) 強訴しひてうつたふること、たしてうつたふること

かうとぼ(名) 高祖母、ひいば(曾祖母の母)
かうぞり(名) 首剃(僧が信者の首を剃る様をする儀式)

かうぞりな(名) 毛連菜(植物)

かうそつ(名) 降卒(くだるつはもの(降参の兵))

かうそ(名) 高僧(聖僧、道徳高く知識すくれたる沙門、名僧)

かうそく(名) 耗息(たより、たどづれ)

かうぞく(名) 巷賊(すり、さんちやくきり)

かうぞく(名) 豪族(れき、ふげん)

かうそふ(名) 高祖父(ひいぢぢ(曾祖父の父))

かうぞめ(形) 香染(經等の色の如くに染たるをいふ、くろきぞめ)

かうそん(名) 耗損(へらす、つひやす)

かうそん(名) 郷村(むらさと)

かうづち(名) 上有智(氏)

かうつう(名) 交通(ゆきかよひ、つきあひ、ゆきかよふ)

かうづく(名) 香案(香たく机)

かうづけ(名) 上野(東山道に屬する一國)

かうづき(名) 上月(氏)

かうな(名) 寄生蟲(やどかり(他物の貝に住む甲蟲(動物))

かうな(名) 香囊(にはひふくろ)

かうなぎ(名) 巫(かんなぎ)

かうな(名) 江南(大星、あひたで(植物))

かううん(名) 耕耘(たがやす)

かううん(名) 行雲(ゆきぐも、はじるくも)

かうの(名) 河野(氏)

かうの(名) 鶴鷄(動物)

かうの(名) 耕農(たつくり、東作(農業と謂ふ))

かうの(名) 豪農(たはびやくしやう、ふげん)

かうの(名) 守頭(かうのどの、かみ、つかさ)

かうの(名) 香物(漬物(つけもの))

かうの(名) 剛者(つよもの)

かうの(名) 巷(ちまた、まぢのどはり)

かうの(名) 香具(にはひもの、香)

かうの(名) 餃具頭(かがしらを見よ)

かうの(名) 咬化(噛化、かみこなす)

かうの(名) 考課(課題、考究すべき課題)

かうの(名) 行過(ゆきすぎ)

かうの(名) 豪華(をどり、奢侈)

かうの(名) 狡獪(せちがしこき、わるがしこき)

かうの(名) 郊外(まちはづれののほら)

かうの(名) 羈縻(がやがや、かまびすしき、喧嘩)

かうの(名) 膏肓(急所、身體の)

かうの(名) 耕穫(たがへしかる(作物を))

かうの(名) 交驩(したしみをかよはす(朋友が))

かうの(名) 交換(とりかへる、更換)

かうの(名) 望丸(さんたま、陰囊、ふぐり)

かうの(名) 鄉貫(ふるさと、生國)

かうの(名) 香具屋(たきものや)

かうら(名) 香曝(ながはし(動物))

かうらい(名) 蒿菜(しろよもぎ(植物))

かうらい(名) 高麗(こま、朝鮮の古國の一、また直に朝鮮にも當て用ふ)

かうらい(名) 高麗(こまにしきのへり(墨等の))

かうらい(名) 高麗(こまにしきのへり(墨等の))

かうらい(名) 高麗(こまにしきのへり(墨等の))

かうらい(名) 高麗(こまにしきのへり(墨等の))

かうらい(名) 高麗(こまにしきのへり(墨等の))

かうらい(名) 高麗(こまにしきのへり(墨等の))

かうらい(名) 高麗(こまにしきのへり(墨等の))

かうらい(名) 高麗(こまにしきのへり(墨等の))

かうらい(名) 高麗(こまにしきのへり(墨等の))

かうらい(名) 高麗(こまにしきのへり(墨等の))

かうらい(名) 高麗(こまにしきのへり(墨等の))

かうらい(名) 高麗(こまにしきのへり(墨等の))

かうらい(名) 高麗(こまにしきのへり(墨等の))

かうらい(名) 高麗(こまにしきのへり(墨等の))

かうらい(名) 高麗(こまにしきのへり(墨等の))

かうらい(名) 高麗(こまにしきのへり(墨等の))

かうらい(名) 高麗(こまにしきのへり(墨等の))

かうらい(名) 高麗(こまにしきのへり(墨等の))

かうらい(名) 高麗(こまにしきのへり(墨等の))

かうらい(名) 高麗(こまにしきのへり(墨等の))

かうらい(名) 高麗(こまにしきのへり(墨等の))

かうらい(名) 高麗(こまにしきのへり(墨等の))

かうらい(名) 高麗(こまにしきのへり(墨等の))

かうらい(名) 高麗(こまにしきのへり(墨等の))

かうらい(名) 高麗(こまにしきのへり(墨等の))

かうらい(名) 高麗(こまにしきのへり(墨等の))

かうらい(名) 高麗(こまにしきのへり(墨等の))

かうらい(名) 高麗(こまにしきのへり(墨等の))

かうらい(名) 高麗(こまにしきのへり(墨等の))

かうらい(名) 高麗(こまにしきのへり(墨等の))

かうらい(名) 高麗(こまにしきのへり(墨等の))

かうらい(名) 高麗(こまにしきのへり(墨等の))

かうらい(名) 高麗(こまにしきのへり(墨等の))

かうらい(名) 高麗(こまにしきのへり(墨等の))

かうらい(名) 高麗(こまにしきのへり(墨等の))

かうらい(名) 高麗(こまにしきのへり(墨等の))

かうらい(名) 高麗(こまにしきのへり(墨等の))

かうらい(名) 高麗(こまにしきのへり(墨等の))

かうらい(名) 高麗(こまにしきのへり(墨等の))

かうらい(名) 高麗(こまにしきのへり(墨等の))

かうらい(名) 高麗(こまにしきのへり(墨等の))

かうらい(名) 高麗(こまにしきのへり(墨等の))

かうらい(名) 高麗(こまにしきのへり(墨等の))

かうらい(名) 高麗(こまにしきのへり(墨等の))

かうらい(名) 高麗(こまにしきのへり(墨等の))

かうらい(名) 高麗(こまにしきのへり(墨等の))

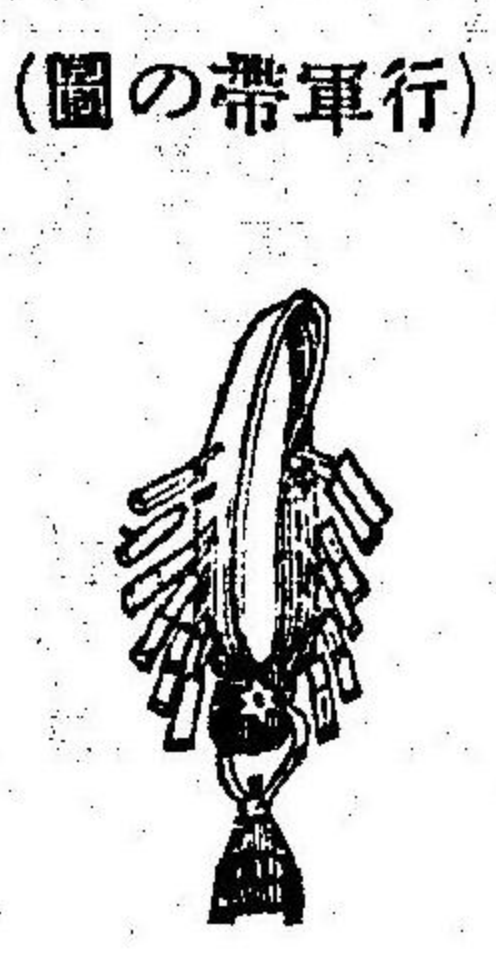
かうらい(名) 高麗(こまにしきのへり(墨等の))

かうらい(名) 高麗(こまにしきのへり(墨等の))

かうらい(名) 高麗(こまにしきのへり(墨等の))

かうらい(名) 高麗(こまにしきのへり(墨等の))

かうらい(名) 高麗(こまにしきのへり(墨等の))



かうさう(形副) 鏗鏘(玉等の鳴り音)
 かうさう(名) 較槍、やりじあひ、やりたたかひ(稽古の爲)
 ①
 かうさう(名) 校倉、わせくら、はつたてごや(稻等をいれ
 る)

かうさう[する]自 降躑、たちあがる。たちどまる
 かうさく[する]自 交錯、いりまじはる
 かうさく(名) 耕作、たがやし、たつくり、たが
 へしつくる

かうさく(名) 警策(秀逸の作を謂ふ)
 がうさく(名) 郷士、がうし
 かうさく(名) 香茶、茶さりのつぼ(植物)

かうさん[する]自 降参、くだる、降伏、降服、したたがふ
 かうさん(他) 耗散、へらしちらす(金錢等を)
 「かうざん」 香山、かぐやま、大和十市郡に在る山

かうざん 高山、たかみやま、たかやま
 かうざん(名) 香氣、かきり、よきにはひ
 かうざん(名) 降旗(降参の旗)

かうざん 好記、たばよきこと、よきればえ
 かうざん(名) 行器、はかい(食を盛る器)
 かうざん(形) 高貴、たふとぎ、くらわたかき
 かうざん[する]自 昂貴、ねがわがる、たかくなる(物價にい
 ふ)

かうざん(名) 巻議、ちまたのはなし、街談
 かうざん(名) 講義、とさわかし、講釋(文意の)
 かうざん(名) 交誼、なからひ、まじはり、したしみ
 がうざん(名) 號旗、あひづのはた

かうめい[する]他 講明、とさわかす
 かうめい(形) 皎明、さねる、かがやく(月にいふ)
 かうめい 抗命、いひつけにさからふ
 かうめいてんわう 孝明天皇(人皇第百廿一代の帝、例祭
 は一月二十日)

がうみん(名) 郷民、さとびと
 かうし(名) 行祠、わたびどころ(神の)
 かうし(名) 行使、つかひ、使者
 かうし(名) 筒子、ふなびと、ふねことびと

かうし(名) 筒齒、しるはは美人の)
 かうし(名) 筒師、さととり(船の、かこ
 かうし(名) 嚆矢、はじめ、まつさき(第一なるの謂)
 かうし 高士、よきひと、みさをただしきひと

かうし 交趾(安南を云ふ)、かうちん
 かうし(名) 好士、よきもの、ちやじん
 かうし(名) 孝子、親に善く事する子、ねやかうかうのこ
 かうし[する]自他 更始、一變一新するをいふ

かうし 巧思、たくみのかんがへ、好工夫
 かうし(名) 講師、かうしやくするひと(學校等の)
 かうし(名) 格子、桐子、桐子(木を網の如くに組たる戸)
 かうし[する]他 降賜、くだしたまふ(天子等より)

かうし(副形) 鏗爾、からり、がらがら(玉等の鳴る音)
 かうし(名) 麴、糴、酒母(米麥を醱させて製する物)
 かうし(名) 柑子、包橘、香果(蜜柑の屬(植物))
 かうし(名) 衡辭、直言といふ
 かうし(名) 郷士、一郷の強大なる富者をいふ
 がうし(名) 號職、はたじるし

かうき(形) 剛氣、つよきこと、強氣
 がうき(形) 剛毅、豪毅、つよくたけき、大膽
 かうきは(名) 髮際、はえぎは(髮の)、ひたひきは
 かうきよ[する]自他 耗盡、へらしなくす。へりてなくな
 る

かうきよ[する]自他 抗拒、さからひこばむ
 かうきよ[する]自 薨去、卒去(貴人の死を云ふ)
 かうきよ(名) 幸御、みゆき(天子のれでまし)

かうきよ(名) 香魚、あゆ、あひ(動物)
 がうきよ(形) 傲倨、たかぶる、たほへいほこりか
 かうきつ(名) 香橘、くねんぼ(植物)

かうきつ(名) 行宮、かりみや(他の地方に設くる天子の假
 居所、行在所、わたびどころ)
 かうきつ[する]自他 講究、たしきはむる、しらべる、かんが
 へきはむる(物理等を)

かうきつ(名) 香穂、そでかうち
 かうきつ(形副) 恒久、つねにひさしき、どこしへに
 がうきつ[する]自 號求、よばはりもどめる、さけびねがふ
 かうきく[する]自他 考鞠、ざんみする(罪等と)

かうきく(形) 豪強、わがまま、はしりまは
 かうきく(形) 硬頸、こはさうな、かたいぢ、がうじやう
 がうきく(形) 剛強、つよき、つよき
 がうきく[する]自 號泣、さけびなく、なきよばはる

かうきん(名) 單禽、つる(動物)
 かうゆ(形) 膏腴、こねてゆたかなる(土地が)
 がうゆ(形) 豪勇、豪雄、強勇、たけくいさましき、勇士
 かうゆい(名) 高名、はまれ、てがら

かうじいろ(名) 柑子色、みかんいろ
 かうじよ(名) 巧書、たくみにかくこと
 かうじよ(名) 校書(書をしらべる事、今は藝妓を然か名
 く)げいしや

かうじよ(名) 考証、しるし、じようこ、徵証
 がうじよ(名) 號鐘、おひづのかね、とぎのかね
 かうじよ(名) のくわん(名) 高勝、環兜の上面に附ける環

かうじよ(名) 好色、いろこのみ、をんなまき
 がうじよ(名) 強食、たはぐひ、暴食
 かうじつ(形) 膠漆、したしき、なかよき、したしみあふ
 くつつきてはなれぬ

かうじう[する]自他 校讎、よみあはする(書を)
 かうじのは(名) 麴塵、昔天子の御衣に此色を用ひたり
 かうじや(名) 絞車、まきぐるま

かうじや(名) 郷社(神社の格式に云ふ第三等に位す)
 がうじや(名) 豪者、をどり、せいたく
 かうじや(形) 高尚、けだかき、たふとぎ
 かうじや(名) 行商、たびあさうど、うりある

かうじやう[する]自 翺翔、まひかける(鳥が)
 かうじやう(名) 槁壤、かわきつち(乾土)
 かうじやう(名) 交情、なからひ、よしみ(朋友の)
 かうじやう(名) 高情、厚意、同じ

かうじやう(名) 綱常、つねのみち、たはすぢみち
 がうじやう(名) 豪商、かねもちあさうど
 がうじやう(俗) 強情、じやうのこはひ、かたくな
 かうじやうぼく(名) 交讓木、ゆづりは(植物)

かうす(名) 神主はふり、かんぬし
かうすい(名) 交鋒よつめざり
かうすいする(名) 交鋒、あひびきにする。こもこもとりぞ

かうすむ(名) 香水かをりみつ、にはひみつ
かうすむ 剛水、かなけあるみつ、つよきみつ
かうすむ(名) 號煙のろし、あひづのひ

かうすむ(自) 香水梨みづなし(植物)
かうすむ(自) 貴貴人の死ぬるを云ふ
かうすか(名) 好事家ものすき
かうすく(自) 香匙、かうさじ

かの(形) 狩野(氏)
かの(形) 夫彼該、あひ
かのにげ(名) 人參(植物)

かの(名) 幸(十干の一)
かのつま(名) 鹿妻草、かなぐさ(植物)
かのつめ(名) 鹿爪草、だけせり(植物)

かのふく(名) 鹿茸鹿角の初て生じたるをいふ
かの(名) 麋鹿鹿子、しかのこ、すがる(動物)、また(縮緬)
かの(名) 麋鹿鹿子、しかのこ、すがる(動物)、また(縮緬)
かの(名) 麋鹿鹿子、しかのこ、すがる(動物)、また(縮緬)

かの(名) 麋鹿鹿子、しかのこ、すがる(動物)、また(縮緬)
かの(名) 麋鹿鹿子、しかのこ、すがる(動物)、また(縮緬)
かの(名) 麋鹿鹿子、しかのこ、すがる(動物)、また(縮緬)

か(名) 家具家什、いへのだらう
か(名) 樂(音楽をいふ)
か(名) 額(座敷等に掲ぐる書畫の額をいふ、又片額、署扁)

か(名) 額(座敷等に掲ぐる書畫の額をいふ、又片額、署扁)
か(名) 額(座敷等に掲ぐる書畫の額をいふ、又片額、署扁)
か(名) 額(座敷等に掲ぐる書畫の額をいふ、又片額、署扁)

か(名) 額(座敷等に掲ぐる書畫の額をいふ、又片額、署扁)
か(名) 額(座敷等に掲ぐる書畫の額をいふ、又片額、署扁)
か(名) 額(座敷等に掲ぐる書畫の額をいふ、又片額、署扁)

か(名) 額(座敷等に掲ぐる書畫の額をいふ、又片額、署扁)
か(名) 額(座敷等に掲ぐる書畫の額をいふ、又片額、署扁)
か(名) 額(座敷等に掲ぐる書畫の額をいふ、又片額、署扁)

か(名) 額(座敷等に掲ぐる書畫の額をいふ、又片額、署扁)
か(名) 額(座敷等に掲ぐる書畫の額をいふ、又片額、署扁)
か(名) 額(座敷等に掲ぐる書畫の額をいふ、又片額、署扁)

か(名) 額(座敷等に掲ぐる書畫の額をいふ、又片額、署扁)
か(名) 額(座敷等に掲ぐる書畫の額をいふ、又片額、署扁)
か(名) 額(座敷等に掲ぐる書畫の額をいふ、又片額、署扁)

か(名) 額(座敷等に掲ぐる書畫の額をいふ、又片額、署扁)
か(名) 額(座敷等に掲ぐる書畫の額をいふ、又片額、署扁)
か(名) 額(座敷等に掲ぐる書畫の額をいふ、又片額、署扁)

かのんはう(名) 加農炮大砲をいふ
か(名) 角(二十八宿の一にて)
か(名) 東方にある第一の星宿
か(名) 一拍(馬に鞭を入るる)

か(名) 一拍(馬に鞭を入るる)
か(名) 一拍(馬に鞭を入るる)
か(名) 一拍(馬に鞭を入るる)

か(名) 一拍(馬に鞭を入るる)
か(名) 一拍(馬に鞭を入るる)
か(名) 一拍(馬に鞭を入るる)

か(名) 一拍(馬に鞭を入るる)
か(名) 一拍(馬に鞭を入るる)
か(名) 一拍(馬に鞭を入るる)

か(名) 一拍(馬に鞭を入るる)
か(名) 一拍(馬に鞭を入るる)
か(名) 一拍(馬に鞭を入るる)

か(名) 一拍(馬に鞭を入るる)
か(名) 一拍(馬に鞭を入るる)
か(名) 一拍(馬に鞭を入るる)

か(名) 一拍(馬に鞭を入るる)
か(名) 一拍(馬に鞭を入るる)
か(名) 一拍(馬に鞭を入るる)

か(名) 一拍(馬に鞭を入るる)
か(名) 一拍(馬に鞭を入るる)
か(名) 一拍(馬に鞭を入るる)

か(名) 一拍(馬に鞭を入るる)
か(名) 一拍(馬に鞭を入るる)
か(名) 一拍(馬に鞭を入るる)

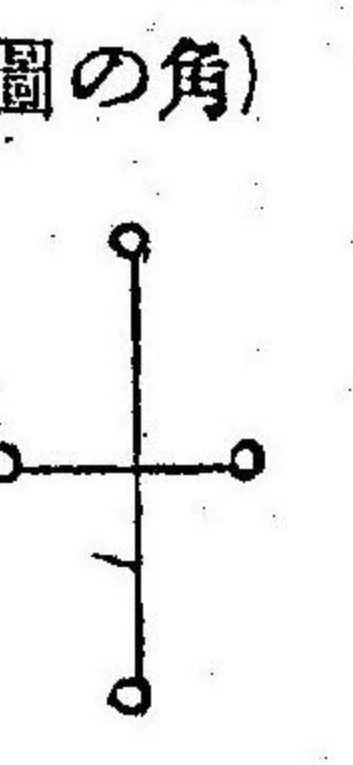
か(名) 一拍(馬に鞭を入るる)
か(名) 一拍(馬に鞭を入るる)
か(名) 一拍(馬に鞭を入るる)

か(名) 一拍(馬に鞭を入るる)
か(名) 一拍(馬に鞭を入るる)
か(名) 一拍(馬に鞭を入るる)

か(名) 一拍(馬に鞭を入るる)
か(名) 一拍(馬に鞭を入るる)
か(名) 一拍(馬に鞭を入るる)

か(名) 一拍(馬に鞭を入るる)
か(名) 一拍(馬に鞭を入るる)
か(名) 一拍(馬に鞭を入るる)

か(名) 一拍(馬に鞭を入るる)
か(名) 一拍(馬に鞭を入るる)
か(名) 一拍(馬に鞭を入るる)



角の圖

かくこ(副形) 確乎、たしか。うごかぬ、かたき、わやまりな

かくこ(名) 各箇、それぞれ、たの

かくこ(名) 郭公、はもととぎす(動物)

かくこ(名) 革工、かはぎ(職)

かくこ(名) 各國、もろもろのくに、諸國

かくこ(名) 額谷、ぬかや(氏)

かくこ(名) 各國公使、諸國政府の使節

かくこ(名) 恪勤、よくつとむる、まめやかにつと

かくこ(名) 斯而然而、しかして

かくこ(名) 確定、しかとさだむる、きめる

かくこ(名) 角抵、すまふ、角力(相撲)、ちからあらしひ

かくこ(名) 客亭、はたごや、やどや、客舎

かくこ(名) 客店、ちやみせ、やすみどころ

かくこ(名) 客歳、あとのとし、去年

かくこ(名) 客才、文才、ものまなびのちから、學問を活用さ

かくこ(名) 搭殺、うちころす

かくこ(名) 嚇殺、ねめころす。しかりつける、たど

かくこ(名) 客装、たびよそはひ

かくこ(名) 客作、日傭仕事、ひようかせぎ

かくこ(名) 鸞鷲、しめとり、鳳の一種(動物)

かくこ(名) 客氣、たびどころ。又はやりどころ(少年の靨

かくこ(名) 客處、すべのどころ

かくこ(名) 角黍、ちやまき

かくこ(名) 確證、たしかなるわかし

かくこ(名) 革職、支那にて罪過等の爲に官職を下げ

かくこ(名) 隱題、歌よむに其題の字を其歌の中によ

かくこ(名) 隔日、いちにちたれさ

かくこ(名) 密夫、みそかを、かくしをつと。また隱妻、

かくこ(名) 角楸、あづさ、かはらひさぎ(植物)

かくこ(名) 革車、兵車をいふ

かくこ(名) 客舎、はたごや、やどりば

かくこ(名) 客者、ものまなびたるひと、まなびて

かくこ(名) 客情、客心、たびどころ

かくこ(名) 學座、ものまなびどころ

かくこ(名) 學匠、宗匠の類をいふ

かくぎ(名) 格戲、むさし(双六の類)

かくぎ(名) 樂器、なりもの(音樂の器)

かくぎ(名) 學期、學校にて都合の爲め學年度を幾月と限

かくぎ(名) 客居、やどり、たびやどり、客寓

かくぎ(名) 客居、やどり、たびやどり、客寓

かくぎ(名) 客居、やどり、たびやどり、客寓

かくぎ(名) 客居、やどり、たびやどり、客寓

かくぎ(名) 客居、やどり、たびやどり、客寓

かくぎ(名) 客居、やどり、たびやどり、客寓

かくぎ(名) 客居、やどり、たびやどり、客寓

かくぎ(名) 客居、やどり、たびやどり、客寓

かくぎ(名) 客居、やどり、たびやどり、客寓

かくぎ(名) 客居、やどり、たびやどり、客寓

かくぎ(名) 客居、やどり、たびやどり、客寓

かくぎ(名) 客居、やどり、たびやどり、客寓

かくぎ(名) 客居、やどり、たびやどり、客寓

かくぎ(名) 客居、やどり、たびやどり、客寓

かくぎ(名) 客居、やどり、たびやどり、客寓

かくぎ(名) 客居、やどり、たびやどり、客寓

かくぎ(名) 客居、やどり、たびやどり、客寓

かくぎ(名) 客居、やどり、たびやどり、客寓

かくぎ(名) 客居、やどり、たびやどり、客寓

かくぎ(名) 客居、やどり、たびやどり、客寓

かくぎ(名) 客居、やどり、たびやどり、客寓

かくぎ(名) 客居、やどり、たびやどり、客寓

かくぎ(名) 客居、やどり、たびやどり、客寓

かくぎ(名) 客居、やどり、たびやどり、客寓

かくぎ(名) 客居、やどり、たびやどり、客寓

かくぎ(名) 客居、やどり、たびやどり、客寓

かくぎ(名) 客居、やどり、たびやどり、客寓

かくぎ(名) 客居、やどり、たびやどり、客寓

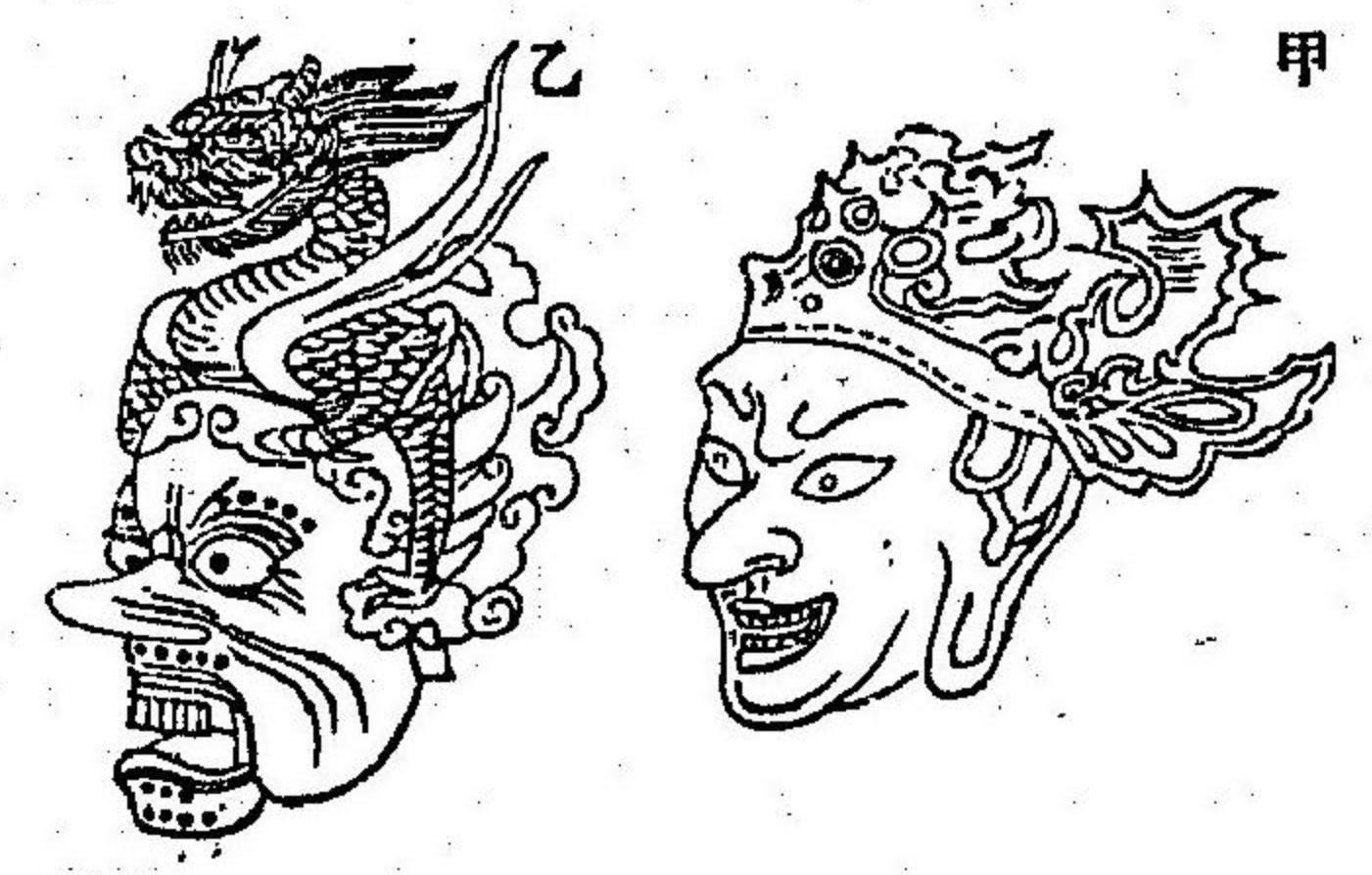
かくぎ(名) 客居、やどり、たびやどり、客寓

かくぎ(名) 客居、やどり、たびやどり、客寓

かくぎ(名) 客居、やどり、たびやどり、客寓

かくぎ(名) 客居、やどり、たびやどり、客寓

(圖の面樂)



かくじ(代名詞) 各自、たのたの

かくじ(名) 河具子、にな、みな(動物)

かくじ(名) 學士、學者の稱又學位の名

かくじ(名) 陰所、男女の生殖器をいふ

かくじ(名) 私夫、まをそこ、密夫

かくじ(名) 各處、すべのどころ

かくじ(名) 確證、たしかなるわかし

かくじ(名) 革職、支那にて罪過等の爲に官職を下げ

かくじ(名) 隱題、歌よむに其題の字を其歌の中によ

かくじ(名) 隔日、いちにちたれさ

かくじ(名) 密夫、みそかを、かくしをつと。また隱妻、

かくじ(名) 角楸、あづさ、かはらひさぎ(植物)

かくじ(名) 革車、兵車をいふ

かくじ(名) 客舎、はたごや、やどりば

かくじ(名) 客者、ものまなびたるひと、まなびて

かくじ(名) 客情、客心、たびどころ

かくじ(名) 學座、ものまなびどころ

かくじ(名) 學匠、宗匠の類をいふ

かくじ(名) 格戲、むさし(双六の類)

かくじ(名) 樂器、なりもの(音樂の器)

かくじ(名) 學期、學校にて都合の爲め學年度を幾月と限

かくじ(名) 客居、やどり、たびやどり、客寓

かくじ(名) 客居、やどり、たびやどり、客寓

かくじ(名) 客居、やどり、たびやどり、客寓

かくじ(名) 客居、やどり、たびやどり、客寓

かくじ(名) 客居、やどり、たびやどり、客寓

かくじ(名) 客居、やどり、たびやどり、客寓

かくじ(名) 客居、やどり、たびやどり、客寓

かくじ(名) 客居、やどり、たびやどり、客寓

かくじ(名) 客居、やどり、たびやどり、客寓

かくじ(名) 客居、やどり、たびやどり、客寓

かくじ(名) 客居、やどり、たびやどり、客寓

かくじ(名) 客居、やどり、たびやどり、客寓

かくじ(名) 客居、やどり、たびやどり、客寓

かくじ(名) 客居、やどり、たびやどり、客寓

